

# 第6回くらしと生活設計に関する調査 報告書

2024年3月

一般財団法人 ゆうちょ財団



# 目 次

I	調査の概要	1
1.	調査目的	3
2.	調査内容	3
3.	調査対象	3
4.	抽出方法	3
5.	調査方法	3
6.	調査期間	3
7.	回収状況	4
8.	回答者の属性	4
	(1) 性別	4
	(2) 未既婚	4
	(3) 本人および配偶者の健康状態	5
	(4) 年代	6
	(5) 本人・配偶者・それぞれの父母の最終学歴	7
	(6) 世帯主からみた続き柄	7
	(7) 住居および生計をともにしている家族人数	7
	(8) 子ども人数（養子・継子・非同居含む）	8
	(9) 子どもの状況	8
	(10) 現在同居者	11
9.	この報告書を読む際の注意	12
II	結果の概要	14
1.	消費生活等について	16
	(1) 買い物について	16
	(2) 雨具を持って出かける降水確率	21
	(3) 宝くじ購入意向	21
	(4) 電車やバスの中で他人に席を譲ること	22
	(5) 直近1年間の寄付・募金回数	22
2.	小学生の頃のことについて	23
	(1) 高学年の頃の家族との外食頻度	23
	(2) 高学年の頃の家庭の収入状況	23
	(3) 高学年の頃の父親と母親の職業	24
	(4) 高学年の頃のおこづかいやプレゼントの金額	26
	(5) 高学年の頃の家の仕事の手伝い	26

(6) 小学生の頃の両親の公営競技等 .....	27
3. 金融の知識について .....	30
(1) 暮らしに役立つ金融知識・情報 .....	30
(2) 預金保険の保護対象だと思う金融商品 .....	31
(3) 金利の計算 .....	31
(4) 株式購入と投資信託について .....	32
(5) 投資意向について .....	32
(6) 金融教育を受けた経験 .....	33
4. クレジットカードについて .....	34
(1) クレジットカードに対する意見 .....	34
(2) 自分名義クレジットカードの保有状況 .....	36
(3) 自分名義クレジットカードの利用状況 .....	37
(4) 自分名義クレジットカードの利用金額 .....	37
(5) 年間利用額の多い自分名義クレジットカードの年会費（税抜き） .....	38
(6) 自分名義クレジットカードの選択理由 .....	39
(7) 自分名義クレジットカードの利用先 .....	40
5. カードローンや消費者金融について .....	41
(1) カードローンや消費者金融からの借入経験 .....	41
(2) 現在のカードローンや消費者金融からの借入状況 .....	42
(3) 現在のカードローンや消費者金融からの借入総額 .....	43
(4) カードローンや消費者金融からの現在の借入への返済 .....	44
6. 決済方法について .....	45
(1) 各種支払いに利用する決済方法 .....	45
(2) スマホ決済の利用状況・利用意向 .....	49
(3) 利用しているスマホ決済（利用意向含む） .....	51
(4) スマホ決済を利用しない理由 .....	53
(5) 「賃金のデジタル払い」について .....	54
7. 相続対策について .....	55
(1) 自身の財産の相続に対する準備 .....	55
(2) 相続対策のきっかけ .....	56
(3) 相続対策を行っていない理由 .....	57
(4) 親の相続の準備 .....	58
8. リスク性金融商品について .....	59
(1) リスク性金融商品の保有・運用経験 .....	59
(2) リスク性金融商品の保有・運用の目的 .....	61

(3) リスク性金融商品を保有・運用しない理由 .....	63
(4) リスク性金融商品を保有する必要性 .....	64
(5) 魅力を感じるリスク性金融商品 .....	65
(6) 税制が優遇される長期資産形成制度の利用 .....	66
(7) 新しいNISAの利用意向 .....	67
9. 就業状況について .....	69
(1) 現在就業状況（本人・配偶者） .....	69
(2) 就業者の雇用形態（本人・配偶者） .....	70
(3) 就業者の業種（本人・配偶者） .....	72
(4) 就業者の職種（本人・配偶者） .....	74
(5) 就業者の就業先従業員数（本人・配偶者） .....	76
(6) 就業者の就労時間（本人・配偶者） .....	78
(7) 就業者の就労時期（本人・配偶者） .....	79
(8) 就業者の仕事に対する満足度（本人） .....	81
(9) 昨年と同じ月と比較した就労収入の変化 .....	82
10. 収入と支出、社会保険について .....	85
(1) 昨年1年間の就労収入（本人・配偶者） .....	85
(2) 昨年の世帯年収（総収入・手取り） .....	87
(3) 昨年ひと月あたりの世帯支出 .....	89
(4) 家計の収支状況 .....	90
(5) 消費者物価上昇に伴い家計で起こったこと .....	90
(6) 家計の保有金融資産残高 .....	91
11. 住居について .....	93
(1) 住居形態 .....	93
(2) 取得経路・取得時期 .....	94
(3) 住宅購入価格・資金の内訳 .....	95
(4) 自己資金以外の購入資金 .....	96
(5) 借入金融機関・金利タイプ・借入金利 .....	98
(6) 住居構造・築年数・敷地面積・床面積 .....	100
(7) 持ち家の3年後の資産価値予測（持ち家居住者） .....	103
(8) ひと月の家賃（賃貸居住者） .....	105
12. 金融機関の利用状況について .....	106
(1) 利用している金融機関 .....	106
(2) 最も預金残高が多い金融機関での利用サービス .....	108
(3) 行員等がいる窓口を利用している金融機関 .....	109

(4) 銀行等の窓口を利用する目的、理由.....	110
(5) 銀行等の窓口を利用する頻度・最もよく窓口を利用する金融機関.....	112
(6) 最もよく窓口利用する金融機関のロケーション.....	113
(7) 窓口利用する金融機関の店舗の変更.....	114
(8) 銀行等の窓口を利用しない理由.....	115
Ⅲ 調査票（付：単純集計結果）.....	117

# I 調査の概要





## 1. 調査目的

本調査は、個人の生活設計や暮らしむきに関する考え方を調査することにより、個人金融に関する調査・研究に役立てることを目的とする。

## 2. 調査内容

調査項目は次のとおりである。なお、具体的な質問内容については、「Ⅲ 調査票（付：単純集計結果）」を参照。

- (1) 消費生活等について
- (2) 小学生の頃のことについて
- (3) 金融の知識について
- (4) クレジットカードについて
- (5) カードローンや消費者金融について
- (6) 決済方法について
- (7) 相続対策について
- (8) リスク性金融商品について
- (9) 就業状況について
- (10) 収入と支出、社会保険について
- (11) 住居について
- (12) 金融機関の利用状況について

## 3. 調査対象

20歳以上の男女個人 5,000人

## 4. 抽出方法

- (1) 層化二段無作為抽出法により全国から 250 の調査地点を選び、各調査地点から 20 歳以上の個人を無作為に 20 人選ぶことによって、計 5,000 の調査対象者（標本）を抽出した。
- (2) 標本抽出には住民基本台帳を使用した。

## 5. 調査方法

本調査は、一般社団法人 中央調査社に委託して実施した。

抽出した調査対象者に依頼状と調査票を送付した後、記入済調査票の回収にあたっては、対象者に「調査員による訪問」ないし「郵送」のどちらかを選んで提出してもらった（郵送法と郵送留め置き法の併用）。

## 6. 調査期間

2023年11月17日（金）～12月24日（日）

## 7. 回収状況

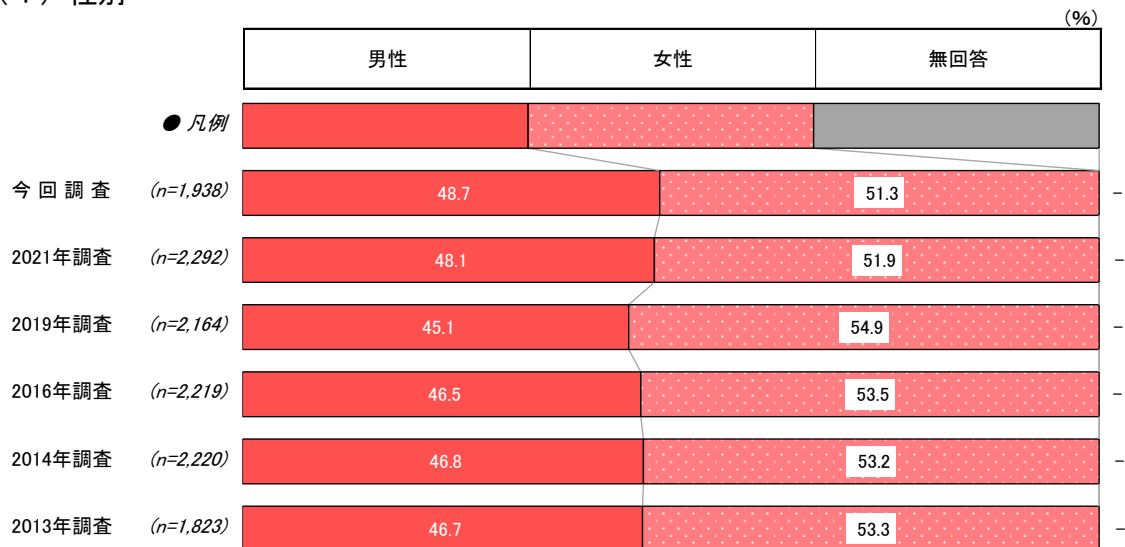
有効回収数（回収率） 1,938 票（38.8%）

〈地域別〉

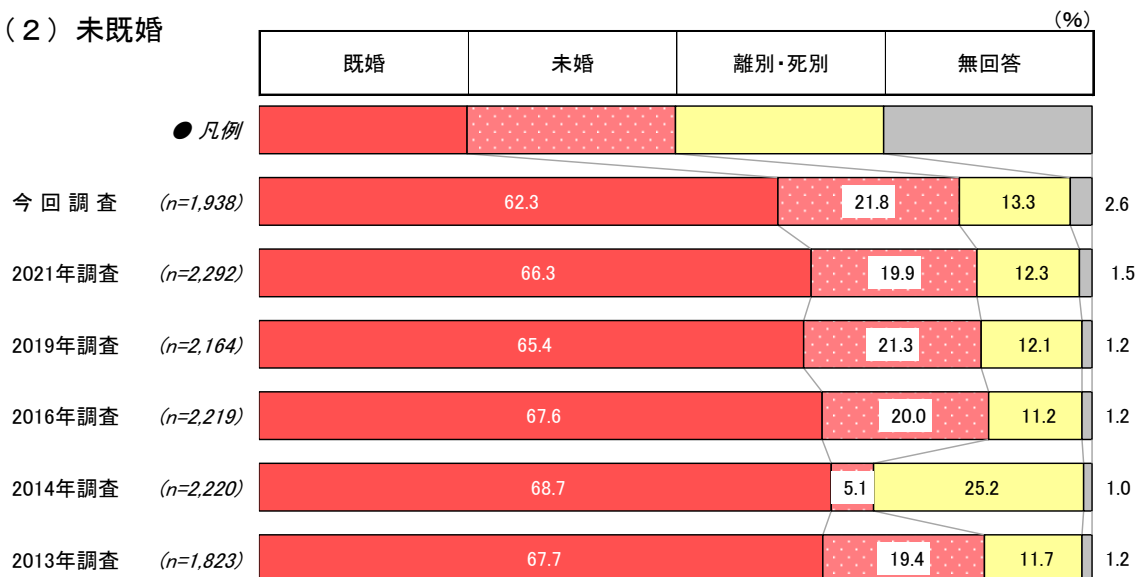
	抽出数	回収数	回収率
全 国	5,000	1,938	38.8%
北海道	220	76	34.5%
東 北	340	165	48.5%
関 東	1840	624	33.9%
北 陸	200	103	51.5%
中 部	580	263	45.3%
近 畿	820	290	35.4%
中 国	300	133	44.3%
四 国	140	54	38.6%
九 州	560	230	41.1%

## 8. 回答者の属性

### （1）性別

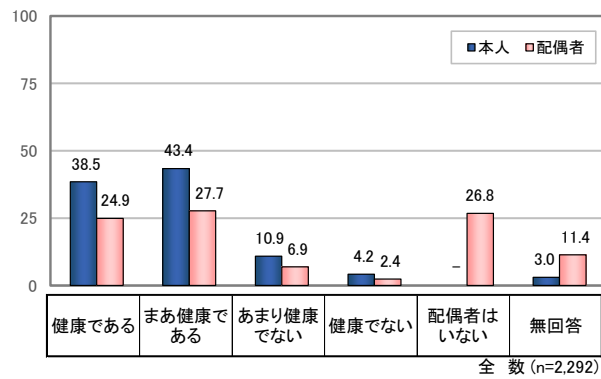


### （2）未既婚

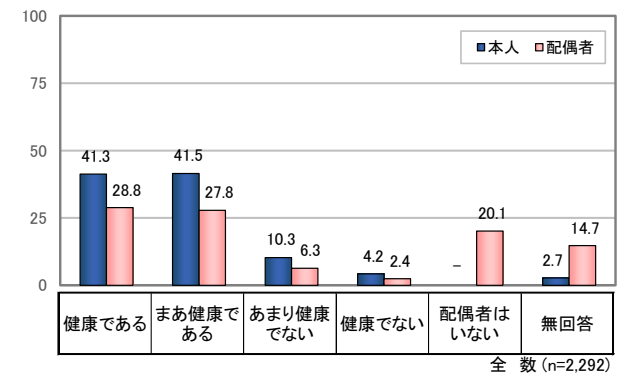


### (3) 本人および配偶者の健康状態

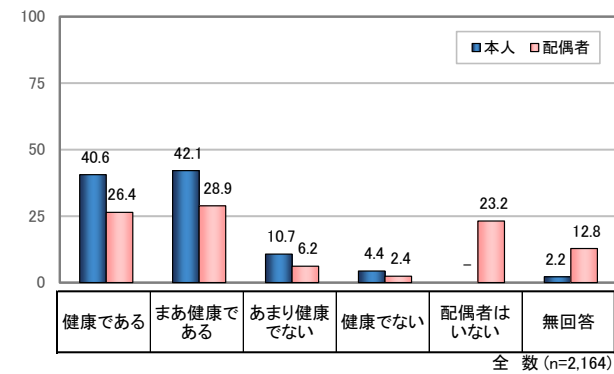
【今回調査】



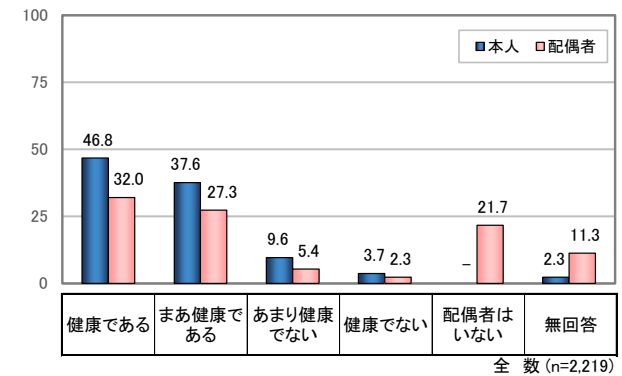
【2021年調査】



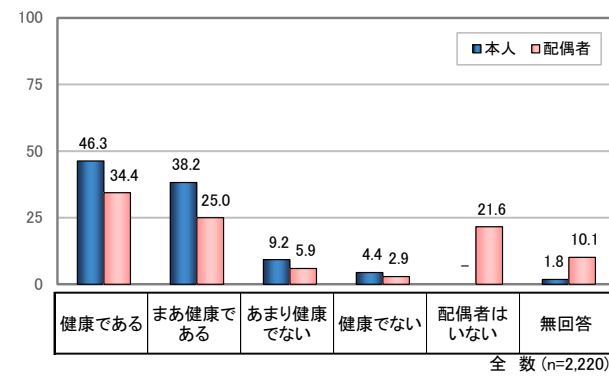
【2019年調査】



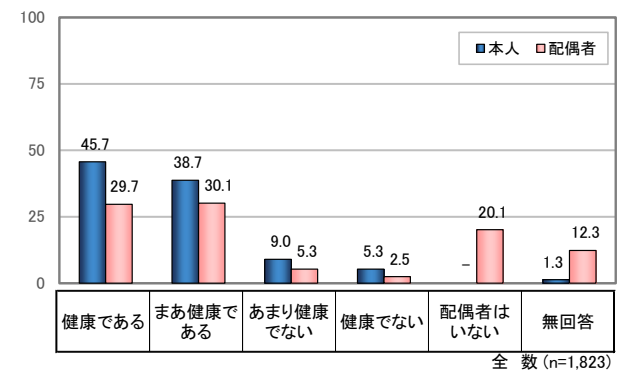
【2016年調査】



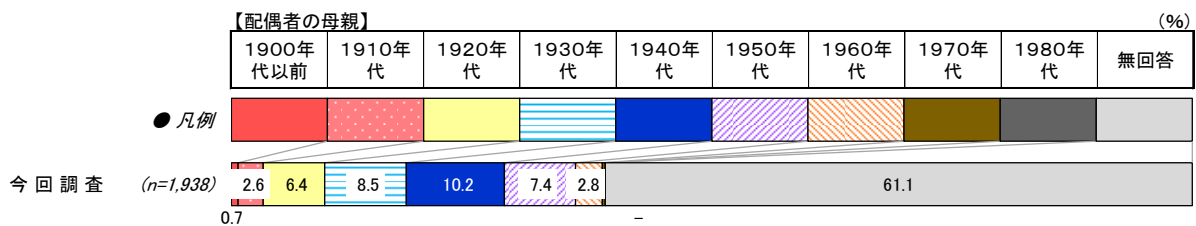
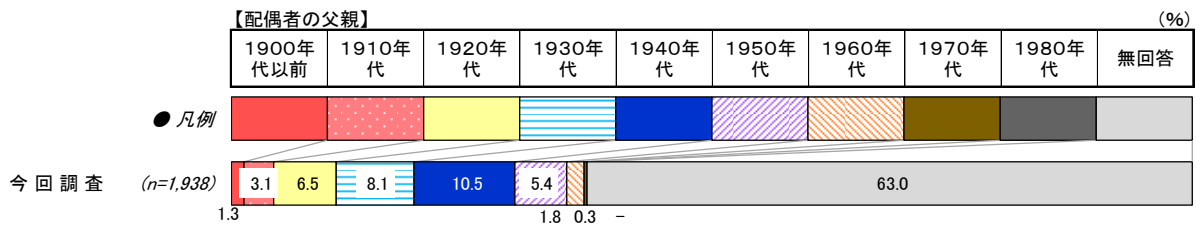
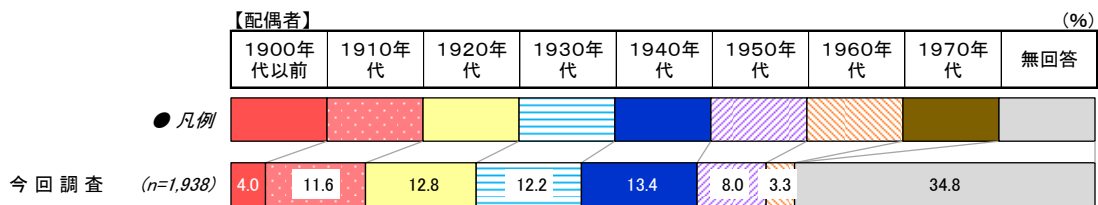
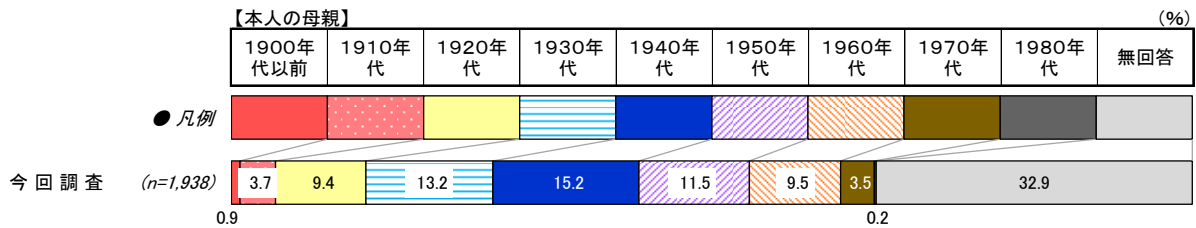
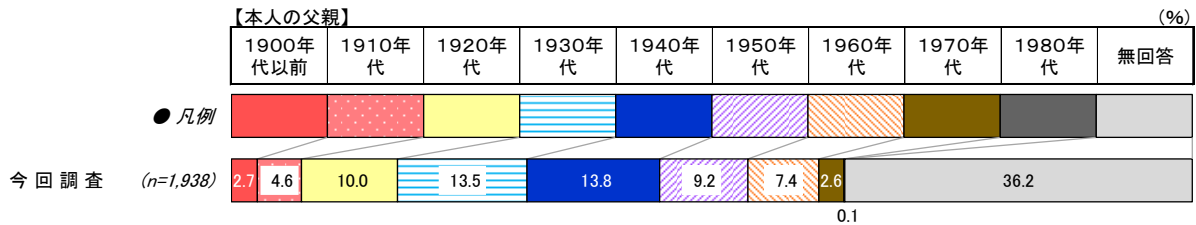
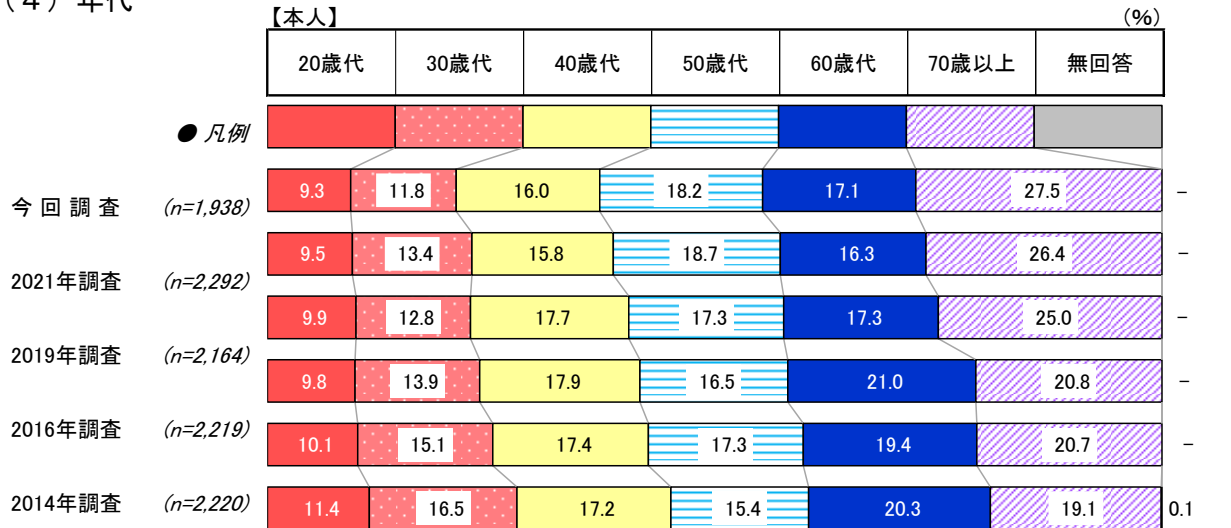
【2014年調査】



【2013年調査】



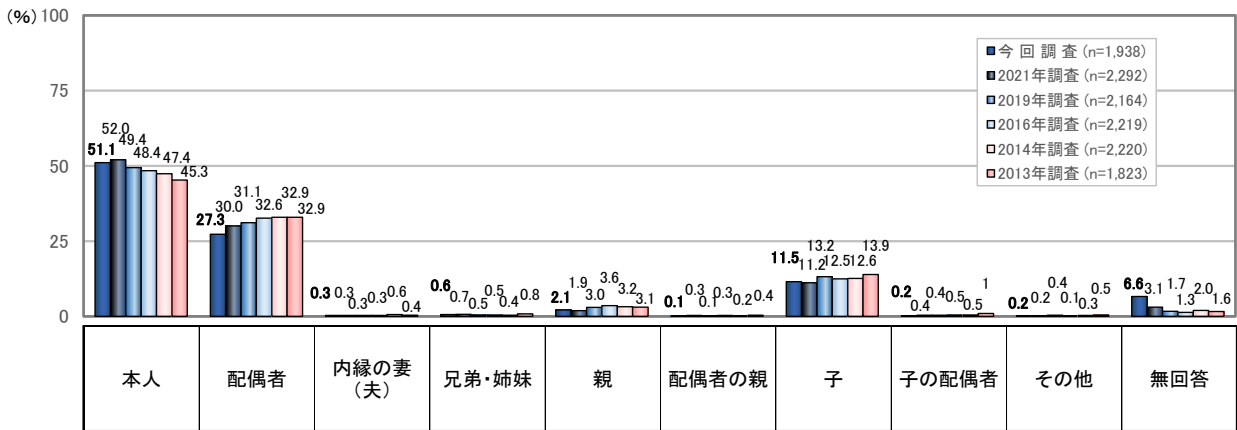
(4) 年代



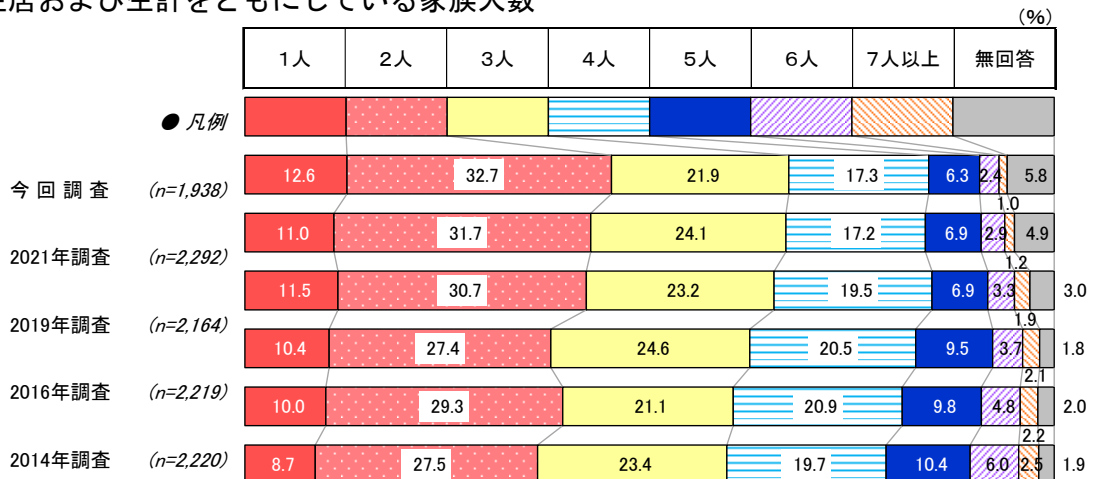
(5) 本人・配偶者・それぞれの父母の最終学歴

		中学校 (旧制小・ 高等小)	高等学校 (旧制中・ 旧制高女)	専修学校・ 各種学校	短大・ 高等専門 学校	大学・ 大学院 (文系)	大学・ 大学院 (理系)	その他	わからない	無回答
本人	今回調査 n=(1,938)	5.4	35.4	9.5	12.2	17.6	8.7	0.4	0.1	10.8
	2021年調査 n=(2,292)	9.0	37.9	9.8	12.4	18.2	8.9	0.5	0.4	2.9
	2019年調査 n=(2,164)	9.8	39.0	9.9	12.8	17.3	7.3	0.9	-	2.9
	2016年調査 n=(2,219)	10.6	40.4	9.0	12.5	15.9	7.5	0.1	0.5	3.5
	2014年調査 n=(2,220)	12.0	41.2	8.5	12.0	14.1	7.5	0.1	0.3	4.3
	2013年調査 n=(1,823)	13.1	42.6	8.2	12.3	13.2	6.9	0.7	0.6	2.4
本人の父親	今回調査 n=(1,938)	21.3	27.2	1.9	2.3	9.7	4.8	0.2	10.2	22.4
	2021年調査 n=(2,292)	28.1	30.1	2.8	2.6	11.0	6.2	0.6	12.2	6.5
	2019年調査 n=(2,164)	31.3	29.3	2.6	3.0	9.9	5.1	0.5	11.3	6.9
	2016年調査 n=(2,219)	31.2	28.9	2.7	2.7	9.9	3.9	-	12.9	7.9
	2014年調査 n=(2,220)	32.9	27.1	2.8	2.4	8.5	4.2	0.2	13.0	8.9
	2013年調査 n=(1,823)	34.4	28.6	2.0	2.5	9.1	4.2	0.4	11.1	7.7
本人の母親	今回調査 n=(1,938)	20.8	32.2	4.3	6.7	4.6	1.0	0.1	9.4	20.9
	2021年調査 n=(2,292)	27.4	36.8	4.2	8.2	4.6	1.0	0.3	11.1	6.3
	2019年調査 n=(2,164)	29.8	36.3	3.4	7.6	4.3	0.8	0.3	10.6	6.8
	2016年調査 n=(2,219)	29.0	36.3	3.3	7.6	3.2	0.4	0.2	12.0	8.1
	2014年調査 n=(2,220)	31.7	34.3	3.5	6.7	3.0	0.7	0.1	11.1	8.8
	2013年調査 n=(1,823)	34.0	32.4	3.3	7.5	3.6	0.5	0.4	10.3	8.0
配偶者(離別・死別 の場合は元配偶者を 含む)	今回調査 n=(1,938)	4.7	24.8	5.7	9.4	13.6	6.3	0.1	0.4	34.9
	2021年調査 n=(2,292)	6.3	29.4	6.0	9.1	13.7	6.8	0.1	0.9	27.5
	2019年調査 n=(2,164)	7.0	31.1	5.8	8.5	13.6	5.4	0.4	1.0	27.3
	2016年調査 n=(2,219)	8.1	29.8	6.3	8.8	12.5	5.9	0.1	1.0	27.4
	2014年調査 n=(2,220)	10.1	33.1	5.7	8.2	10.4	5.7	0.2	1.4	25.1
	2013年調査 n=(1,823)	10.7	37.1	5.8	9.0	13.0	7.7	0.3	1.2	15.3
配偶者の父親	今回調査 n=(1,938)	13.7	17.6	1.0	1.0	5.4	2.6	0.2	11.2	47.3
配偶者の母親	今回調査 n=(1,938)	13.3	20.7	1.3	3.0	2.6	0.6	0.3	11.1	47.0

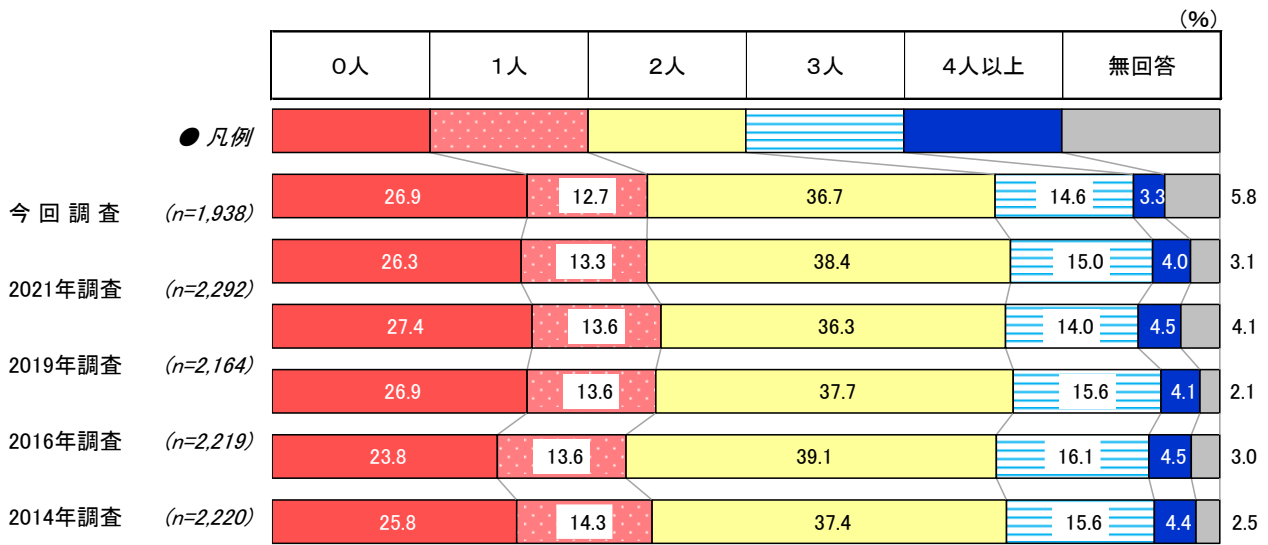
(6) 世帯主からみた続き柄



(7) 住居および生計をともにしている家族人数



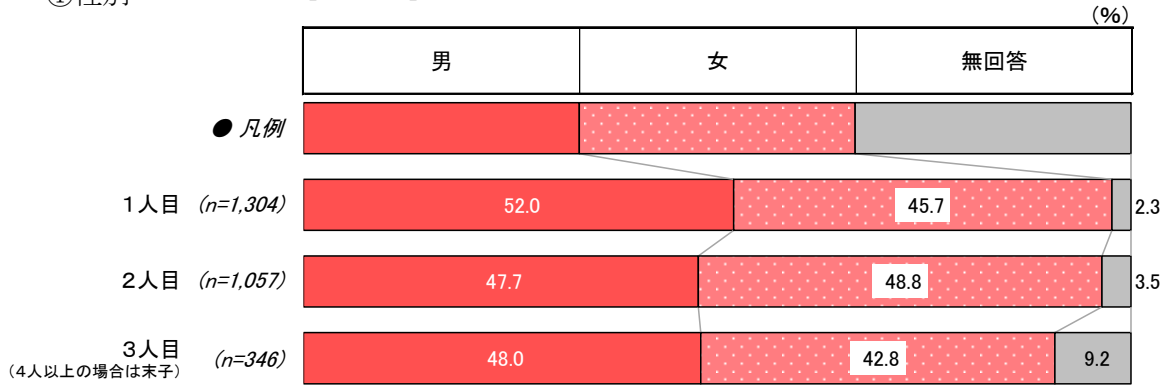
(8) 子ども人数 (養子・継子・非同居含む)



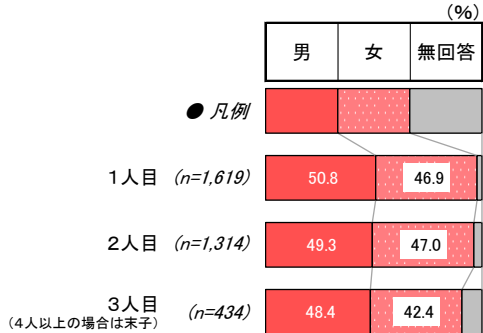
(9) 子どもの状況

①性別

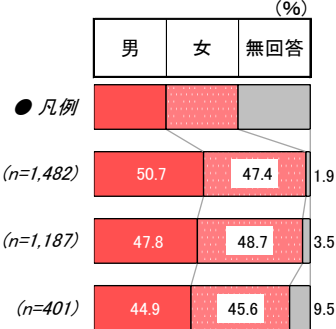
【今回調査】



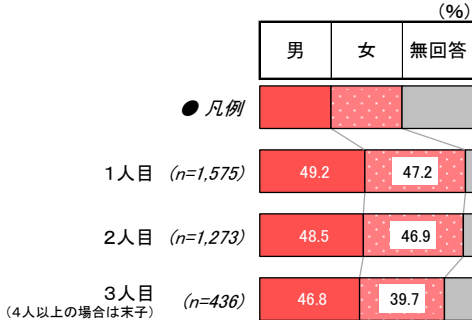
【2021年調査】



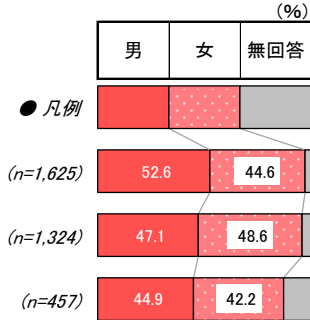
【2019年調査】



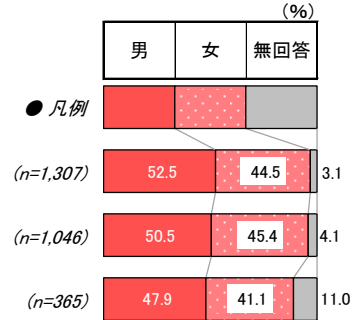
【2016年調査】



【2014年調査】



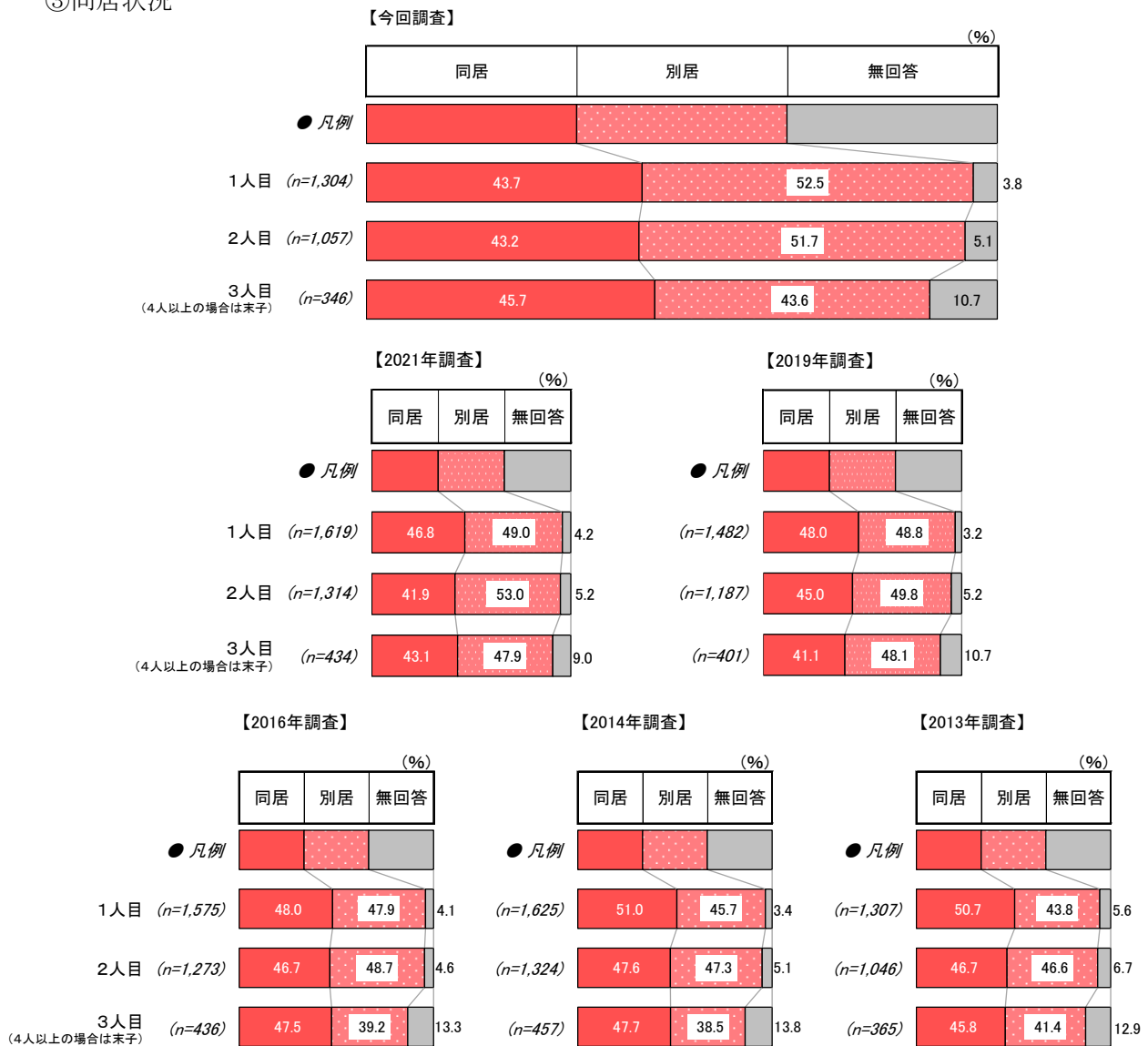
【2013年調査】



②出生年（西暦）

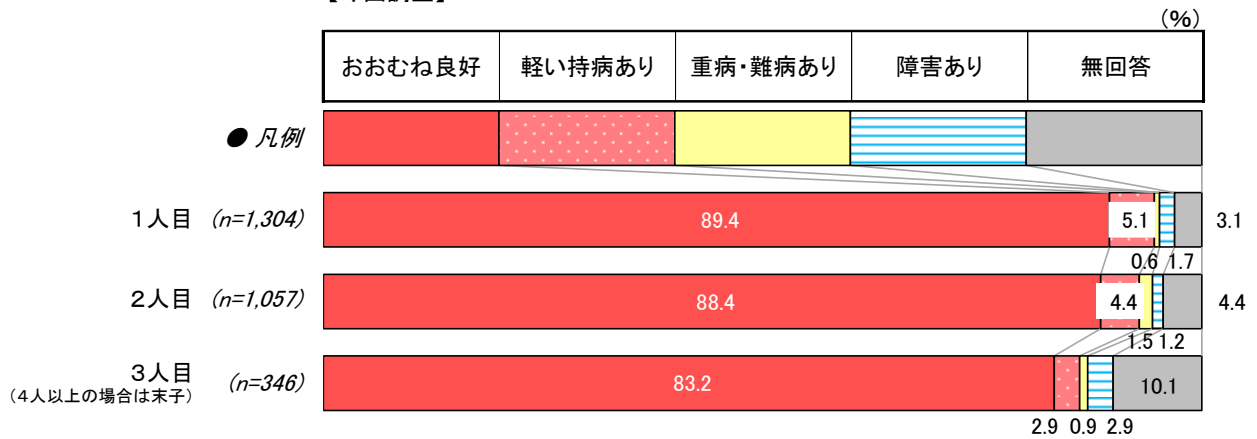
		1950年代 以前	1960年代	1970年代	1980年代	1990年代	2000年代	2010年代	2020年代	無回答
1人目	今回調査 n=(1,619)	0.5	7.8	16.6	17.3	14.4	17.1	13.0	3.8	9.5
	2021年調査 n=(1,482)	2.0	8.5	17.4	16.1	17.0	14.5	12.7	2.2	9.7
	2019年調査 n=(1,482)	1.8	8.8	20.1	17.2	15.9	15.9	12.2	-	10.1
	2016年調査 n=(1,575)	3.5	12.3	20.1	16.4	14.9	13.4	8.4	-	11.1
	2014年調査 n=(1,625)	5.5	13.2	17.2	13.9	16.1	14.0	5.8	-	14.2
	2013年調査 n=(1,307)	4.7	11.1	18.5	14.2	15.5	13.8	5.3	-	16.8
2人目	今回調査 n=(1,314)	0.3	5.5	14.9	18.4	14.9	17.7	13.9	3.5	10.8
	2021年調査 n=(1,187)	1.4	5.6	17.8	18.4	15.4	16.4	11.3	2.8	11.0
	2019年調査 n=(1,187)	0.9	7.2	17.7	18.4	15.6	14.2	14.2	-	11.9
	2016年調査 n=(1,273)	2.1	9.9	19.6	20.5	14.3	13.4	8.5	-	11.7
	2014年調査 n=(1,324)	2.6	11.8	18.6	15.9	14.7	15.1	6.0	-	15.3
	2013年調査 n=(1,046)	3.5	10.2	19.1	15.2	16.3	13.4	4.5	-	17.8
3人目 (4人以上の 場合は末子)	今回調査 n=(434)	0.3	2.9	9.8	15.6	20.2	14.5	14.7	5.5	16.5
	2021年調査 n=(401)	1.2	4.8	13.1	19.1	16.4	14.7	10.6	3.2	16.8
	2019年調査 n=(401)	0.2	4.7	13.2	20.2	14.7	12.7	13.7	-	20.4
	2016年調査 n=(436)	0.7	3.7	15.6	20.0	14.9	12.8	11.2	-	21.1
	2014年調査 n=(457)	3.1	5.9	13.8	18.6	15.8	13.8	6.3	-	22.8
	2013年調査 n=(365)	4.1	5.5	13.7	17.0	15.1	14.2	6.0	-	24.4

③同居状況

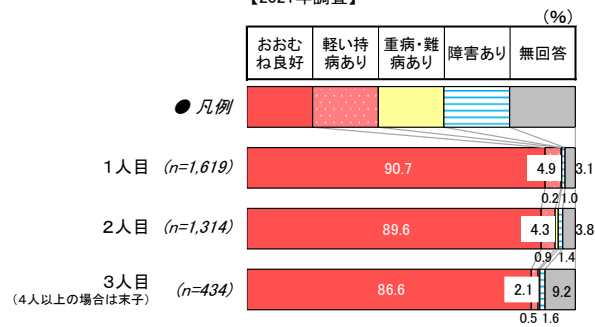


④健康状態

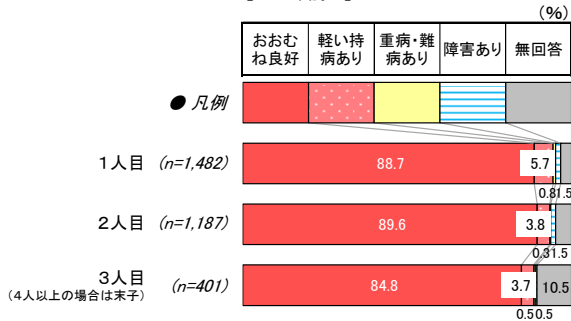
【今回調査】



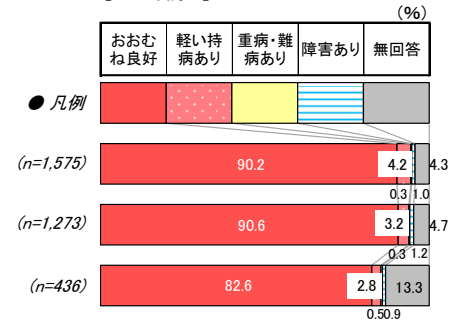
【2021年調査】



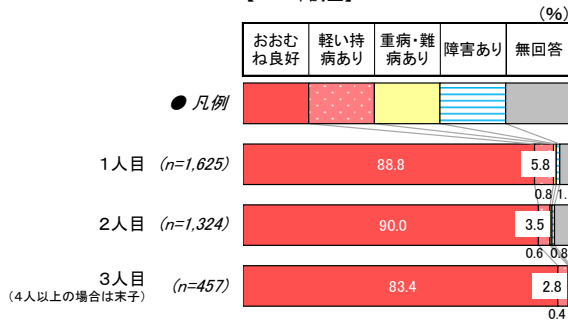
【2019年調査】



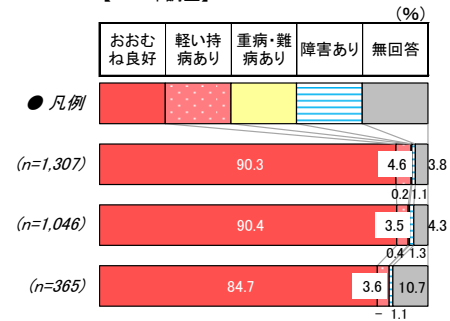
【2016年調査】



【2014年調査】



【2013年調査】

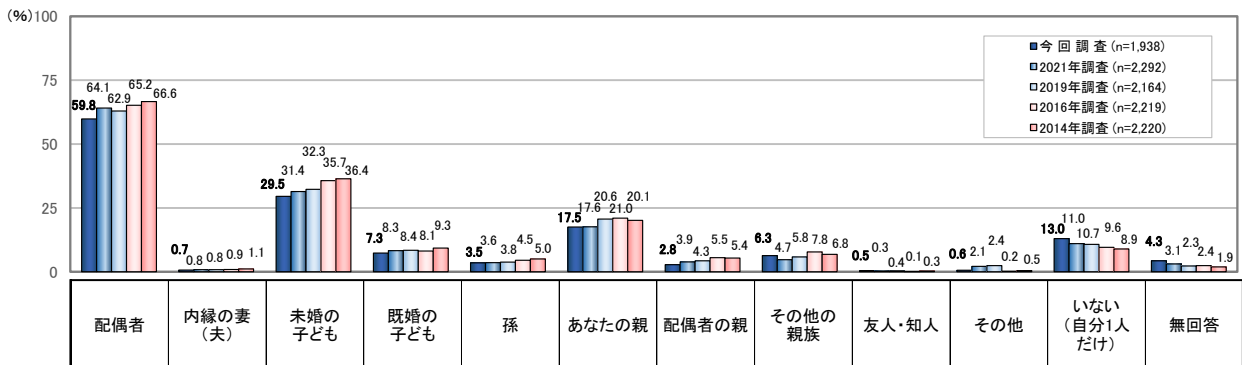




⑤学校等教育機関での在籍状況

		(%)									
		認可保育園	認可外保育施設(認証保育園、ベビーホテル等)	幼稚園	小中高校(国公立)	小中高校(私立)	短大・高専	大学・大学院	その他教育機関	該当なし	無回答
1人目	今回調査 n=(1,304)	3.2	0.2	0.8	15.2	3.5	1.7	9.4	0.6	33.3	32.1
	2021年調査 n=(1,619)	4.1	0.5	1.4	13.5	2.5	1.5	8.4	0.7	35.0	32.3
	2019年調査 n=(1,482)	3.3	0.2	2.2	24.2	5.4	6.3	15.0	1.1	33.6	8.7
	2016年調査 n=(1,575)	2.7	0.3	2.7	14.6	2.7	0.8	16.8	1.2	35.0	23.2
	2014年調査 n=(1,625)	3.1	0.4	2.2	16.6	3.7	1.3	13.2	1.2	37.5	20.9
2013年調査 n=(1,307)	2.8	0.2	2.4	15.1	2.5	1.0	10.9	1.4	37.1	26.5	
2人目	今回調査 n=(1,057)	3.0	0.1	1.6	17.0	2.9	2.5	8.8	0.5	30.5	33.1
	2021年調査 n=(1,314)	4.3	0.4	1.5	14.2	2.8	1.6	5.9	0.9	33.4	34.9
	2019年調査 n=(1,187)	4.2	0.3	2.3	22.7	4.7	7.2	14.7	1.4	31.5	10.9
	2016年調査 n=(1,273)	3.2	0.3	2.0	14.5	2.4	1.1	14.5	0.7	36.2	25.2
	2014年調査 n=(1,324)	2.7	0.0	3.1	17.6	3.1	0.8	11.3	1.2	36.8	23.3
2013年調査 n=(1,046)	3.1	0.3	2.1	16.9	2.4	1.3	10.5	0.8	34.0	28.6	
3人目 (4人以上の場合は末子)	今回調査 n=(346)	4.3	0.0	2.3	15.9	2.3	1.7	5.8	0.3	32.9	34.4
	2021年調査 n=(434)	3.9	0.9	1.4	15.7	2.8	1.4	3.0	0.2	32.5	38.2
	2019年調査 n=(401)	4.7	0.5	2.5	23.2	4.2	6.2	11.7	0.5	31.7	14.7
	2016年調査 n=(436)	5.7	0.5	1.6	14.9	1.8	0.7	8.7	1.1	35.3	29.6
	2014年調査 n=(457)	2.4	0.7	2.0	19.9	2.6	0.9	7.7	1.8	33.9	28.2
2013年調査 n=(365)	3.8	0.3	3.0	16.4	3.0	1.1	7.7	1.6	30.7	32.3	

(10) 現在同居者



## 9. この報告書を読む際の注意

- (1) 図表中の n とは、比率算出の基数を表すもので、原則として回答者総数 (1,938 人)、または分類別の回答者数のことである。
- (2) 百分比は、小数点第 2 位で四捨五入して、小数点第 1 位までを表示した。四捨五入したため、合計値が 100% と一致しないことがある。
- (3) 「複数回答」と表示のある設問は、2 つ以上の複数回答を認めているため、回答計は 100% を超える。
- (4) 図表中“—”は、回答者が皆無であることを、“0.0”は 0.05 未満の数値であったことを示す。
- (5) 回答者数が 50 人より少ない場合は傾向をみるにとどめ、コメントは百分比でなく人数を紹介している。
- (6) 過去調査 (2013 年 3 月実施、2014 年 8 月実施、2016 年 1 1 月実施、2019 年 1 1 月実施、2021 年 1 1 月調査) と同一設問については、図表中に「2013 年調査」「2014 年調査」「2016 年調査」「2019 年調査」「2021 年調査」として数値を紹介している。



## II 結果の概要

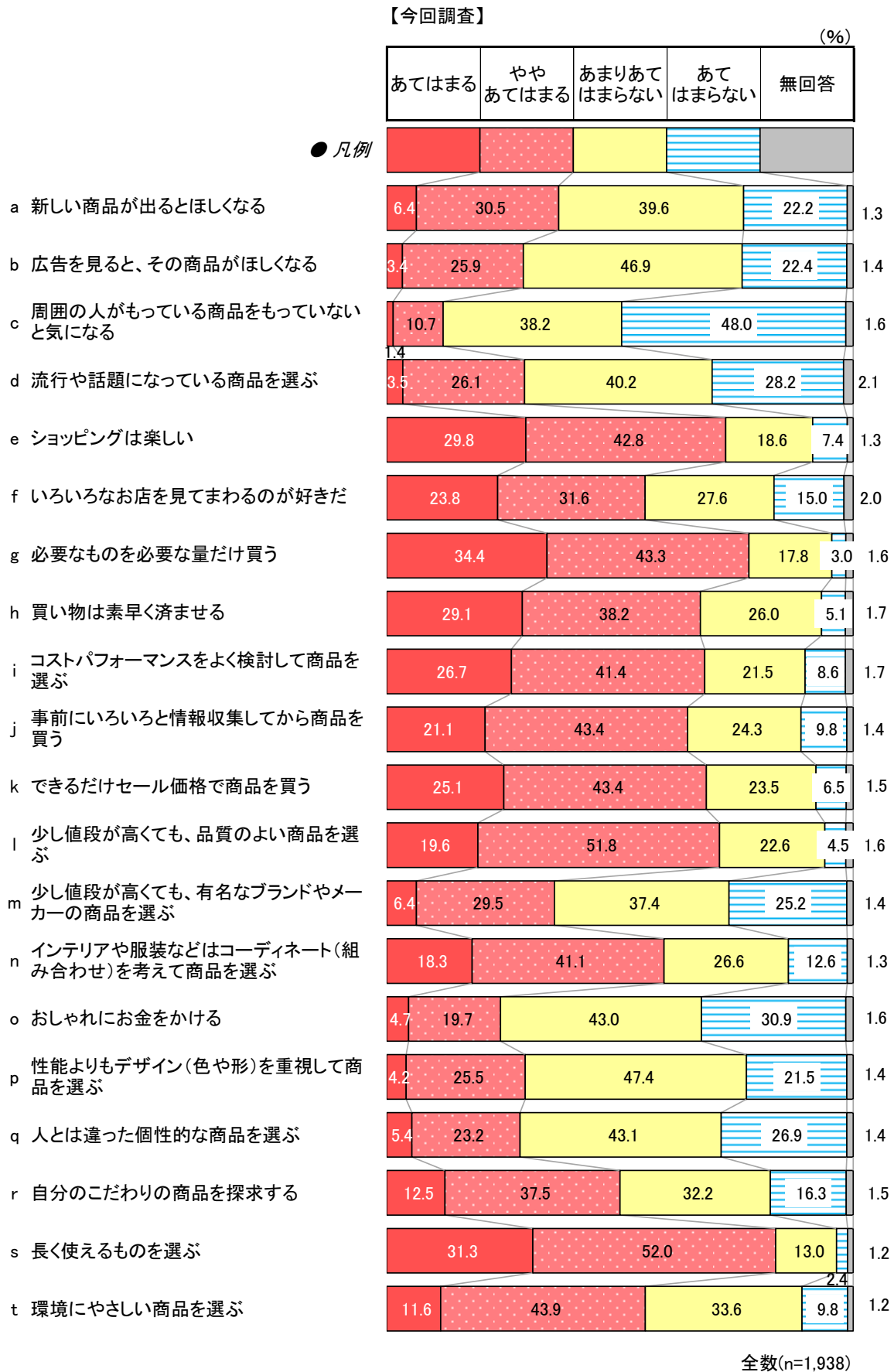


## 1. 消費生活等について

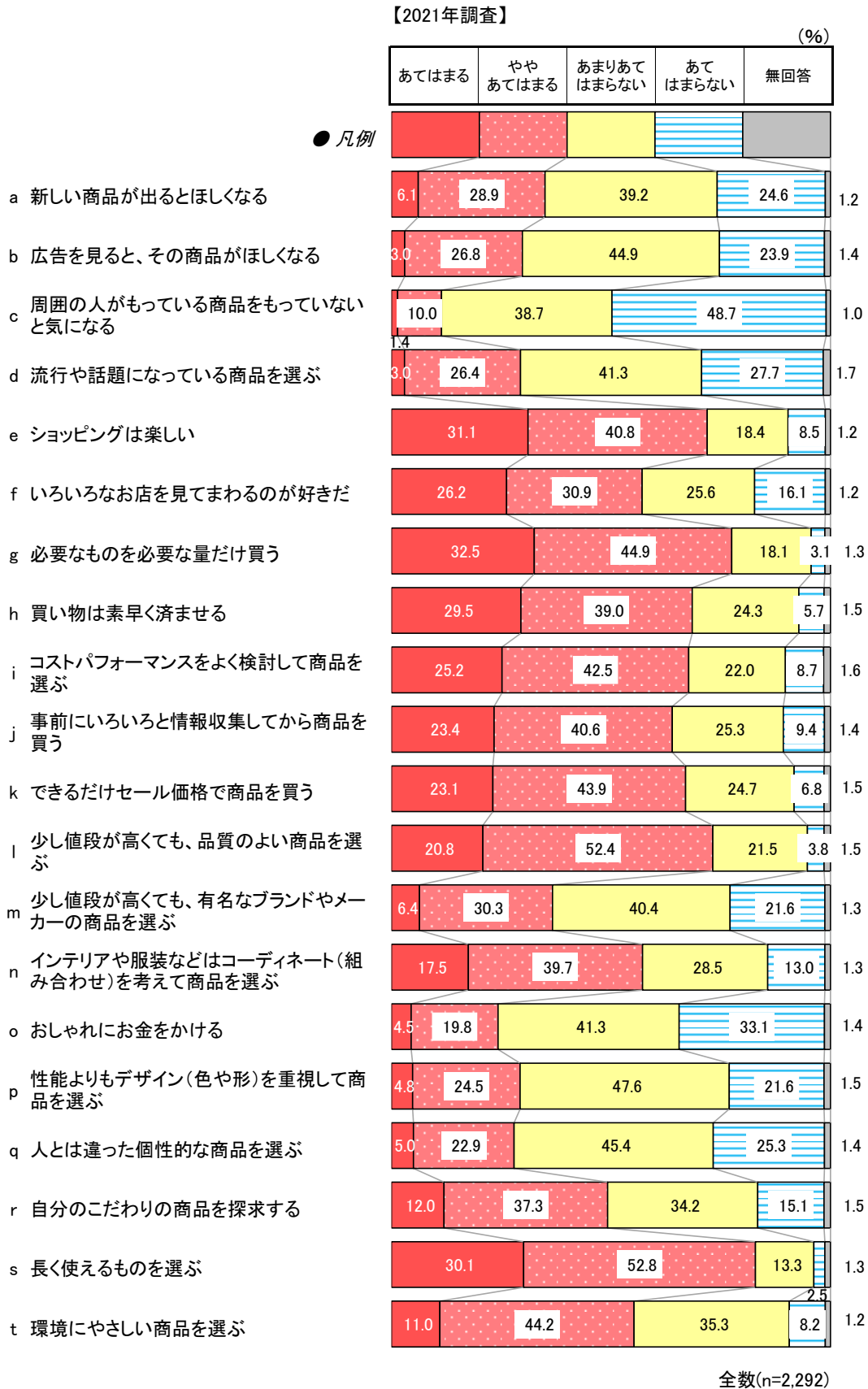
### (1) 買い物について

- 買い物についての考え方や行動 20 項目について、回答者にあてはまるかどうかを聞いた。
- 『あてはまる』（「あてはまる」と「ややあてはまる」の合計）という回答者が最も多かったのは、“長く使えるものを選ぶ”の 83.3%であった。
- “必要なものを必要な量だけ買う”（『あてはまる』77.7%）、“ショッピングは楽しい”（同 72.7%）、“少し値段が高くても、品質のよい商品を選ぶ”（同 71.3%）は、それぞれ 7 割以上であった。
- “できるだけセール価格で商品を買う”（同 68.5%）、“コストパフォーマンスをよく検討して商品を選ぶ”（同 68.2%）、“買い物は素早く済ませる”（『あてはまる』67.2%）、“事前にいろいろと情報収集してから商品を買う”（同 64.5%）は、それぞれ 6 割台を占めた。
- 一方、“周囲の人がもっている商品をもっていないと気になる”では、『あてはまらない』（「あてはまらない」と「あまりあてはまらない」の合計）が 86.2%と、最も多かった。
- また、“おしゃれにお金をかける”（『あてはまらない』73.9%）、“人とは違った個性的な商品を選ぶ”（同 70.0%）はそれぞれ 7 割以上を占めた。次いで、“広告を見ると、その商品がほしくなる”（同 69.2%）、“性能よりもデザイン（色や形）を重視して商品を選ぶ”（同 68.8%）、“流行や話題になっている商品を選ぶ”（同 68.4%）、なども、『あてはまらない』が 7 割弱に上った。（図表 1-1）

(図表1-1) 買い物について (問1)

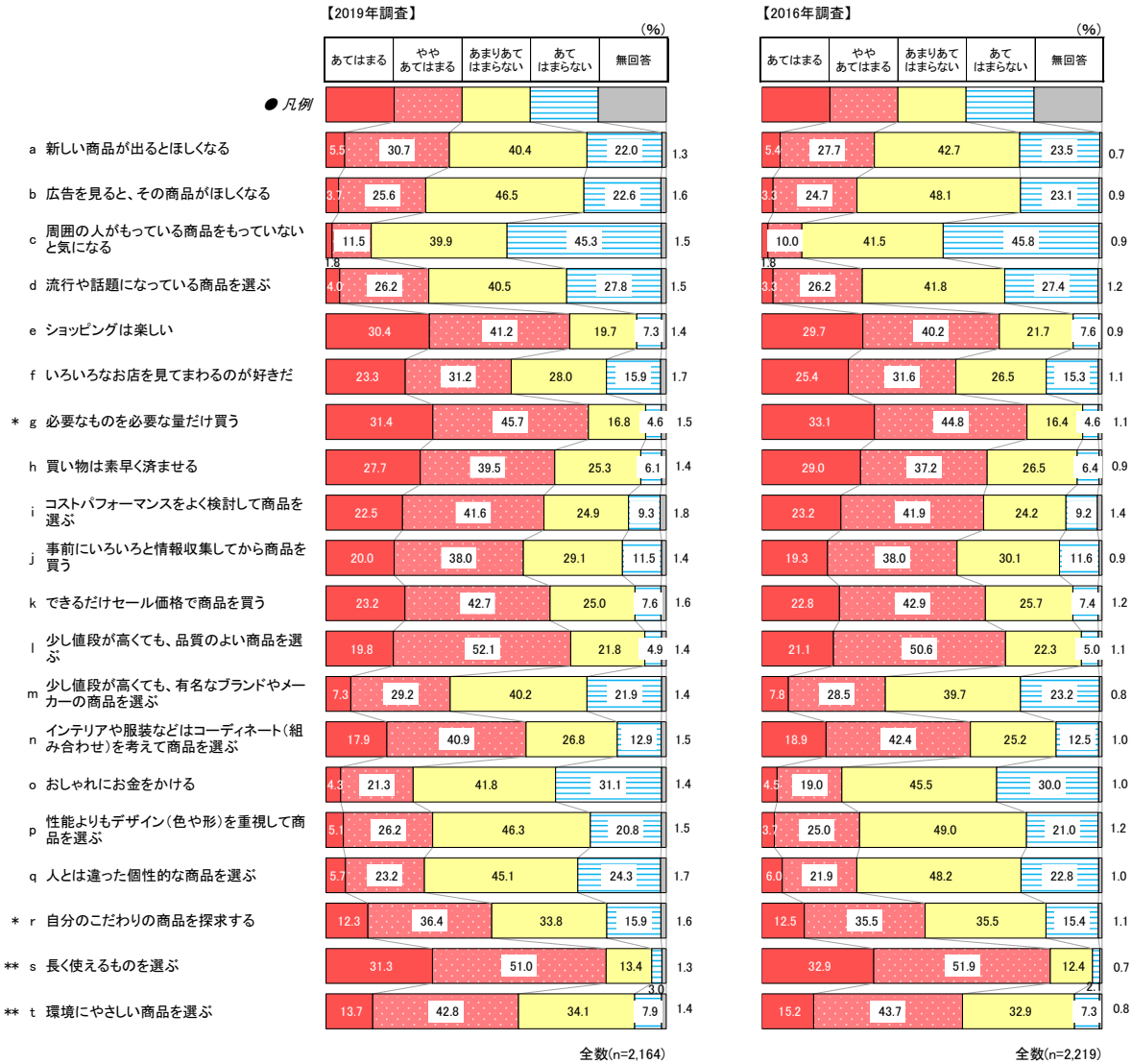


(図表 1 - 1 続き) 買い物について (2021 年調査)



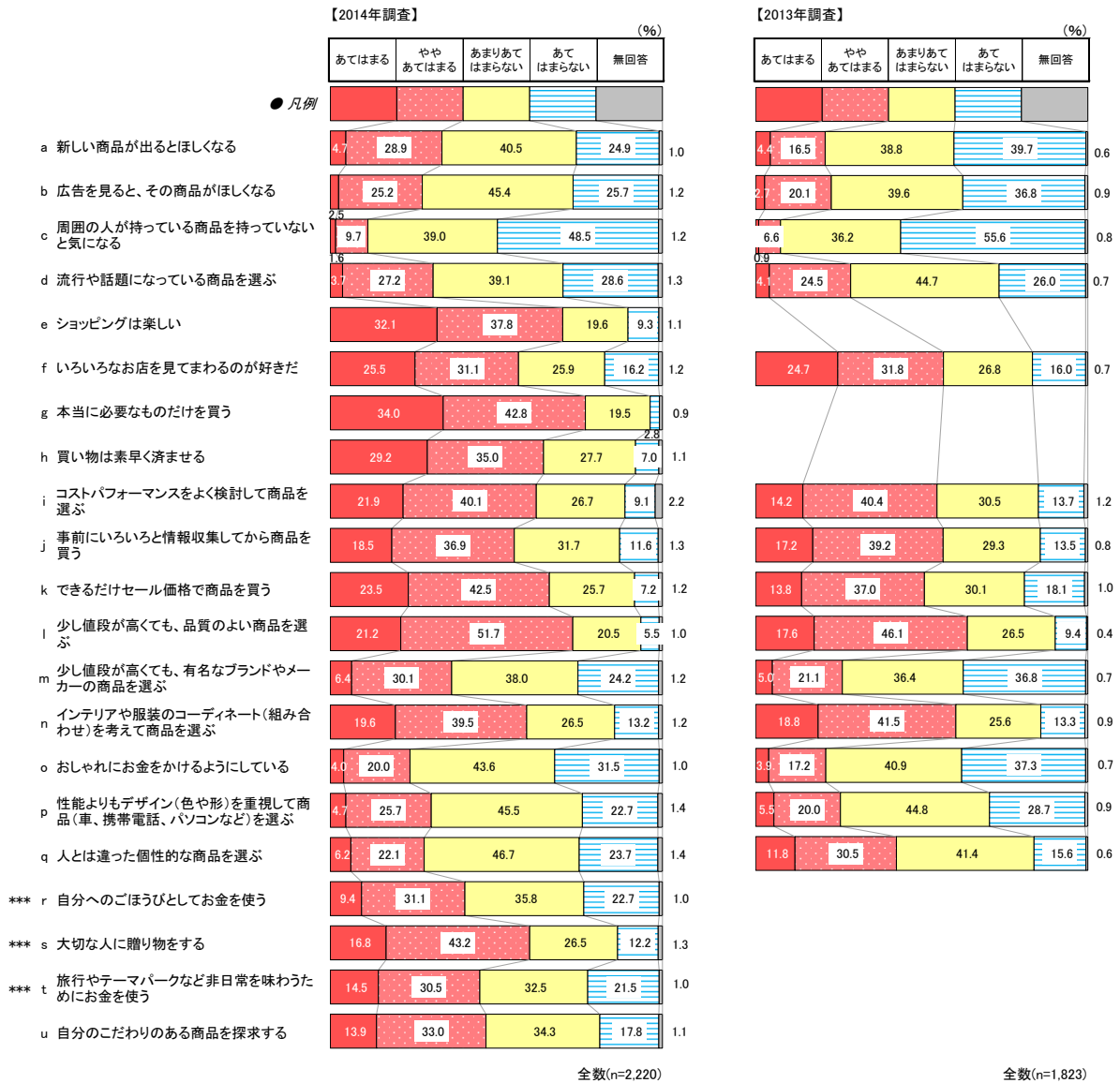


(図表1-1 続き) 買い物について (2019年調査・2016年調査)



\* 2014年調査までと2016年調査からとで表現が異なる項目  
 \*\* 2016年調査から質問している項目

(図表1-1 続き) 買い物について (2014年調査・2013年調査)



全数(n=2,220)

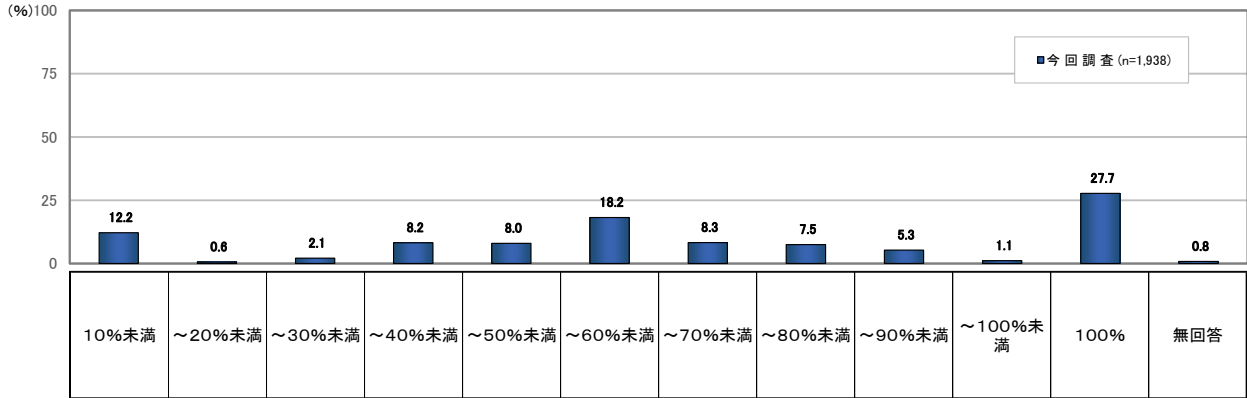
全数(n=1,823)

\*\*\* 2014年調査のみで質問した項目

## (2) 雨具を持って出かける降水確率

- 雨具を持って出かける降水確率は、「100%」が27.7%で最も多かった。以下、「50%以上～60%未満」(18.2%)、「0%以上～10%未満」(12.2%)が1割台で続いた。(図表1-2)

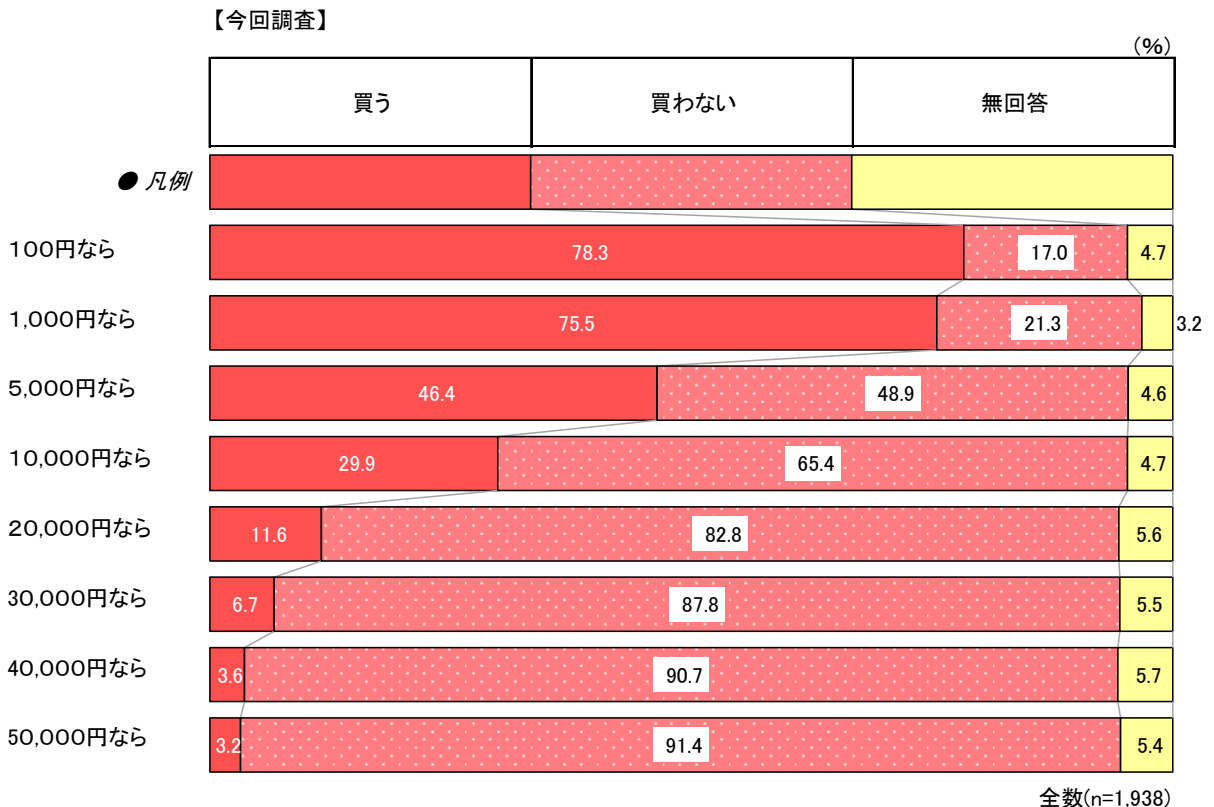
(図表1-2) 雨具を持って出かける降水確率 (問2)



## (3) 宝くじ購入意向

- 50%の確率で当たれば10万円、外れた場合は何ももらえない当たりくじの購入意向は、「100円なら」では「買う」が78.3%で、「買わない」の17.0%を大きく上回った。「5,000円なら」からは逆転し、「買う」が「買わない」を下回った。(図表1-3)

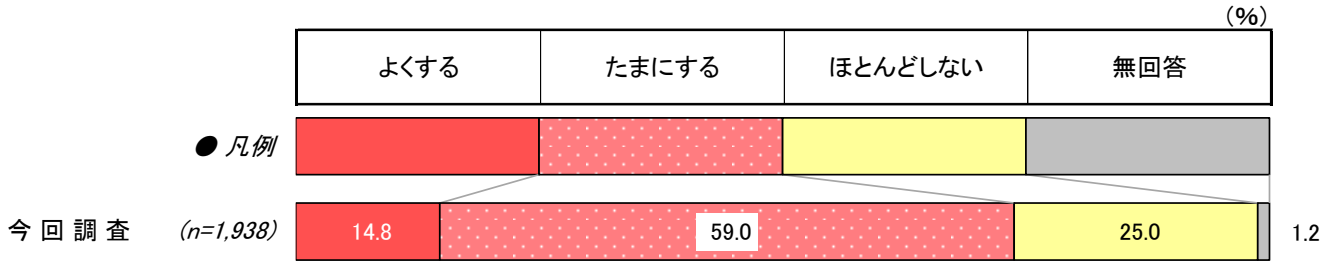
(図表1-3) 宝くじ購入意向 (問3)



(4) 電車やバスの中で他人に席を譲ること

- 電車やバスの中で他人に席を譲るかは、「たまにする」が 59.0%で最も多かった。以下、「ほとんどしない」(25.0%)、「よくする」(14.8%) となっている。(図表 1-4)

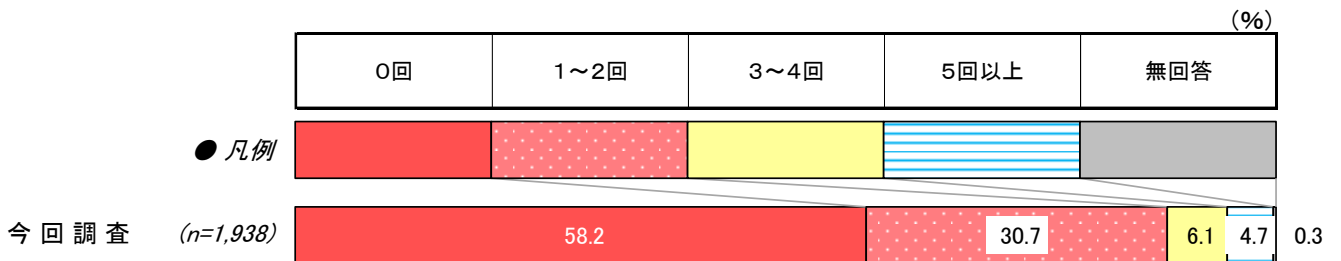
(図表 1-4) 電車やバスの中で他人に席を譲ること (問4)



(5) 直近1年間の寄付・募金回数

- 直近1年間の寄付・募金回数は、「0回」が 58.2%で最も多かった。以下、「1~2回」(30.7%)、「3~4回」(6.1%)、「5回以上」(4.7%) となっている。(図表 1-5)

(図表 1-5) 直近1年間の寄付・募金回数 (問5)

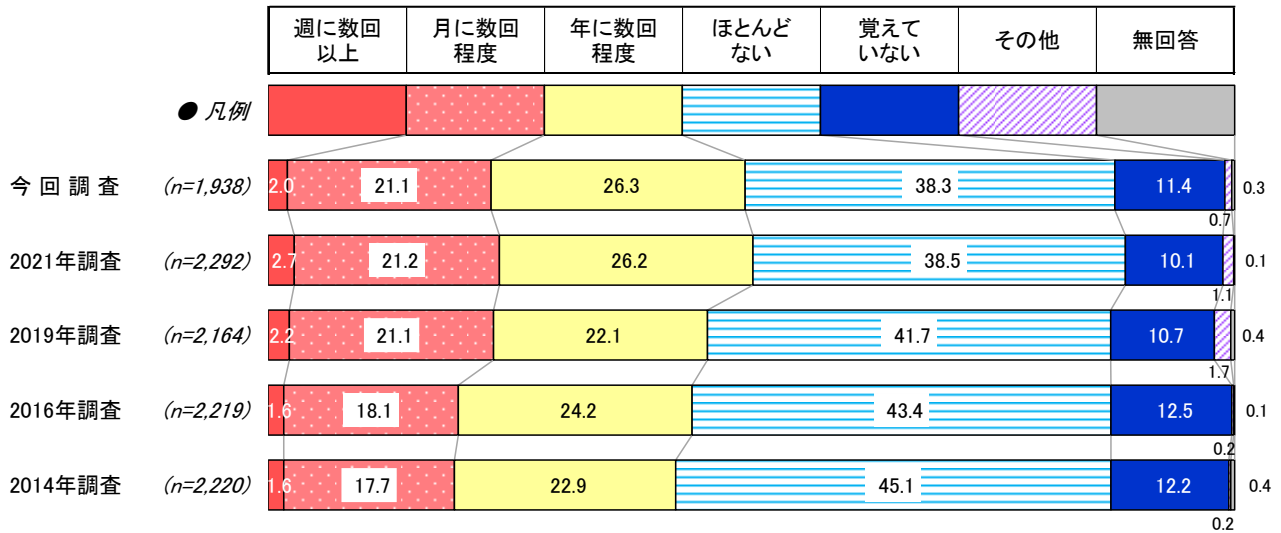


## 2. 小学生の頃のことについて

### (1) 高学年の頃の家族との外食頻度

- 小学校高学年の頃の家族との外食頻度は、「ほとんどない」が 38.3% で最も多かった。以下、「年に数回程度」(26.3%)、「月に数回程度」(21.1%) がいずれも 2 割台、「週に数回以上」は 2.0% となっている。(図表 2-1)

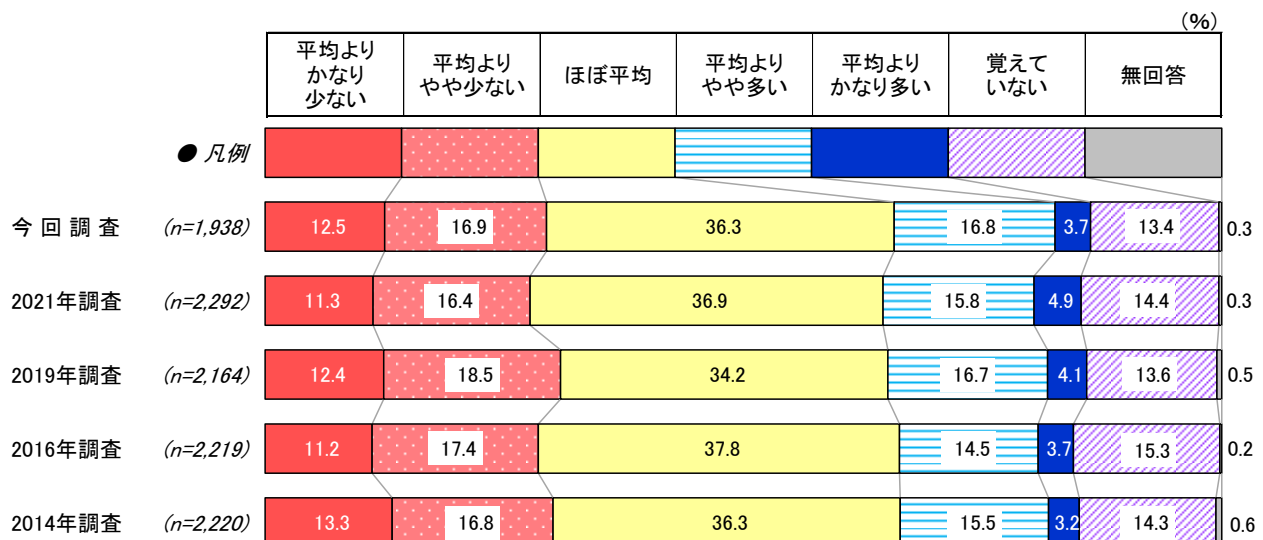
(図表 2-1) 高学年の頃の家族との外食頻度 (問 6)



### (2) 高学年の頃の家庭の収入状況

- 小学校高学年の頃の家庭の収入状況は、「ほぼ平均」が 36.3% で最も多かった。以下、『平均より少ない』(「平均よりかなり少ない」と「平均よりやや少ない」の合計) が 29.4% で、『平均より多い』(「平均よりかなり多い」と「平均よりやや多い」の合計) の 20.5% を上回った。(図表 2-2)

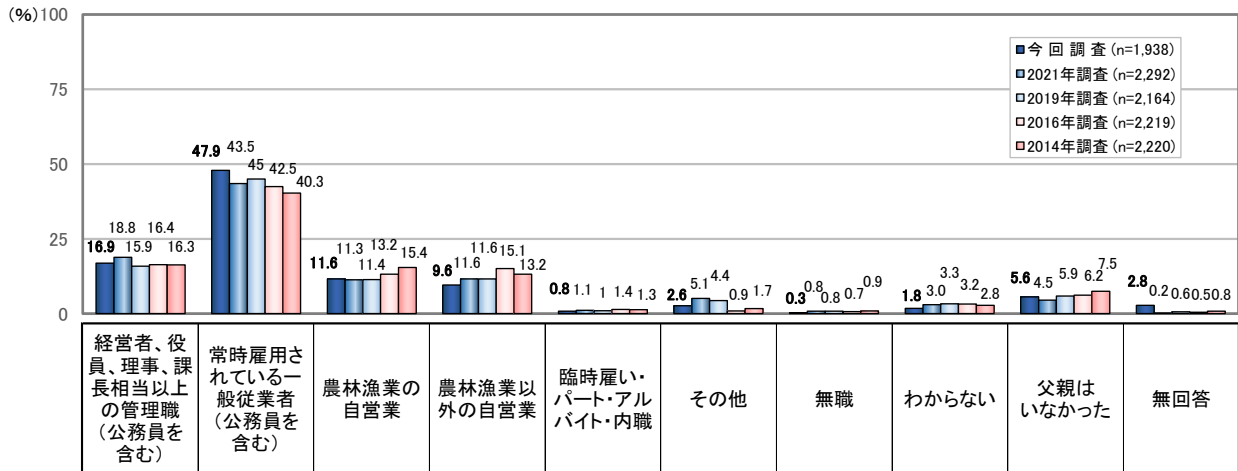
(図表 2-2) 高学年の頃の家庭の収入状況 (問 7)



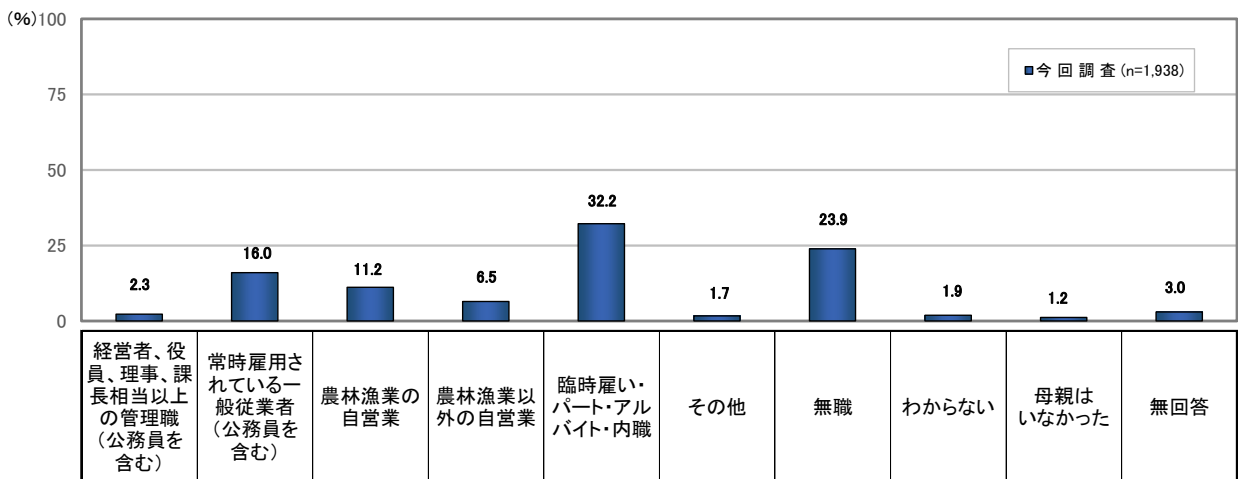
### (3) 高学年の頃の父親と母親の職業

- 小学校高学年の頃の父親の職業は、「常時雇用されている一般従業者（公務員を含む）」が47.9%で最も多かった。以下、「経営者、役員、理事、課長相当以上の管理職（公務員を含む）」（16.9%）、「農林漁業の自営業」（11.6%）、「農林漁業以外の自営業」（9.6%）の順となった。（図表 2-3-1）
- 一方、母親の職業については、「臨時雇い・パート・アルバイト・内職」が32.2%で最も多かった。次いで、「無職」（23.9%）が2割台、「常時雇用されている一般従業者（公務員を含む）」（16.0%）が1割台で続いた。（図表 2-3-2）

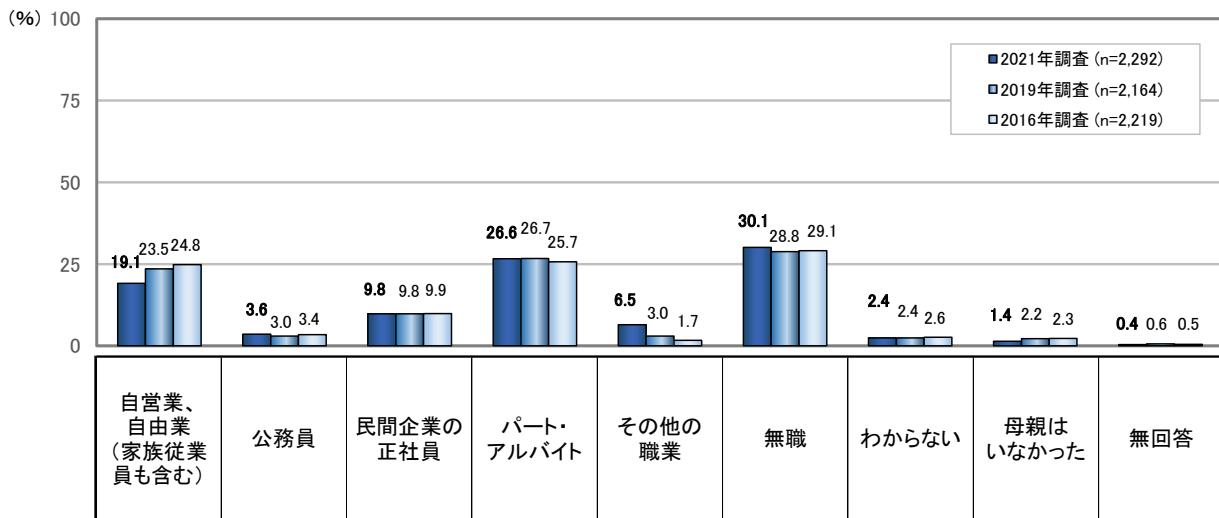
(図表 2-3-1) 高学年の頃の父親の職業 (問8)



(図表 2-3-2) 高学年の頃の母親の職業 (問8)



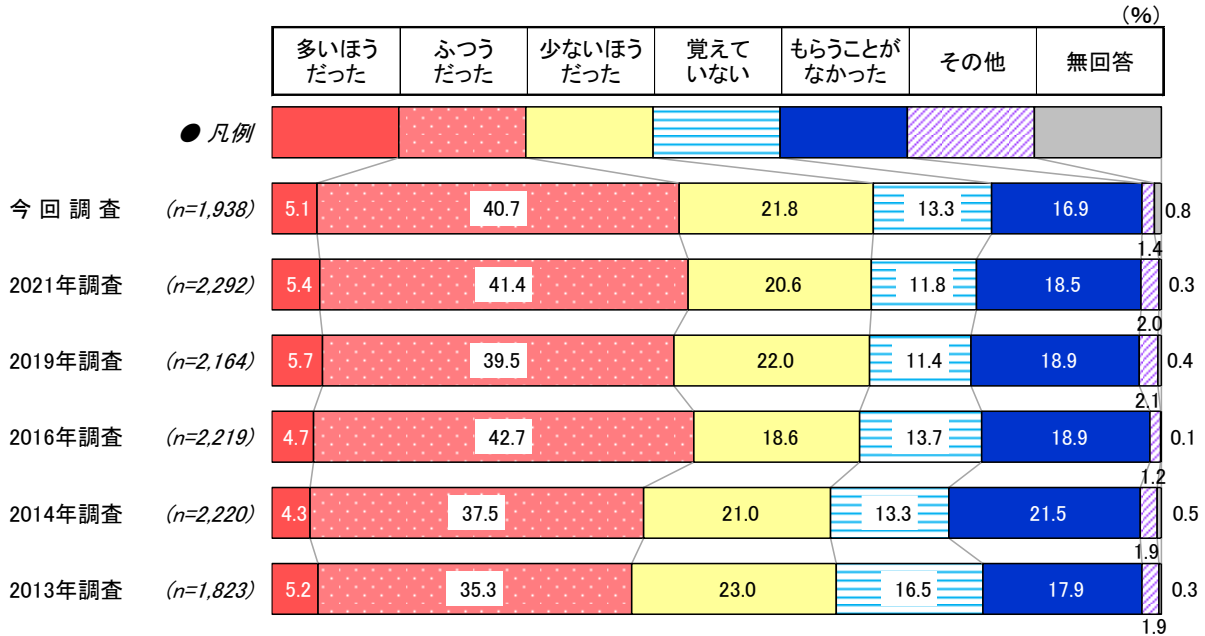
(図表 2-3-2 続き) 高学年の頃の母親の職業 (2016 年調査~2021 年調査)



#### (4) 高学年の頃のおこづかいやプレゼントの金額

- 小学校高学年の頃の両親からもらうおこづかいやプレゼントの金額は、「ふつうだった」が40.7%で最も多かった。「少ないほうだった」は21.8%で、「多いほうだった」の5.1%を上回った。また、「もらうことがなかった」という回答者は、16.9%であった。(図表2-4)

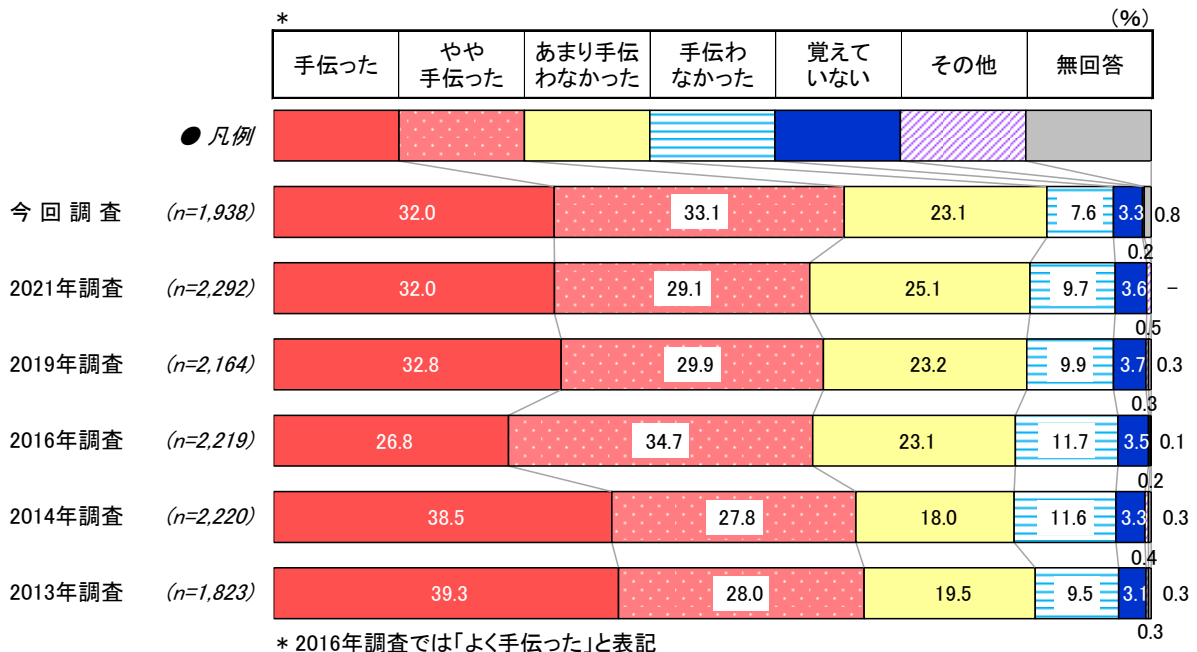
(図表2-4) 高学年の頃のおこづかいやプレゼントの金額 (問9)



#### (5) 高学年の頃の家の手伝い

- 小学校高学年の頃、家の仕事（料理、洗濯、掃除、おつかいなど）については、「手伝った」が32.0%で、「やや手伝った」(33.1%)を合わせると、6割以上が『手伝った』と回答した。
- 一方、「あまり手伝わなかった」は23.1%であり、「手伝わなかった」(7.6%)を合わせると、『手伝わなかった』という回答者は3割台であった。(図表2-5)

(図表2-5) 高学年の頃の家の手伝い (問10)

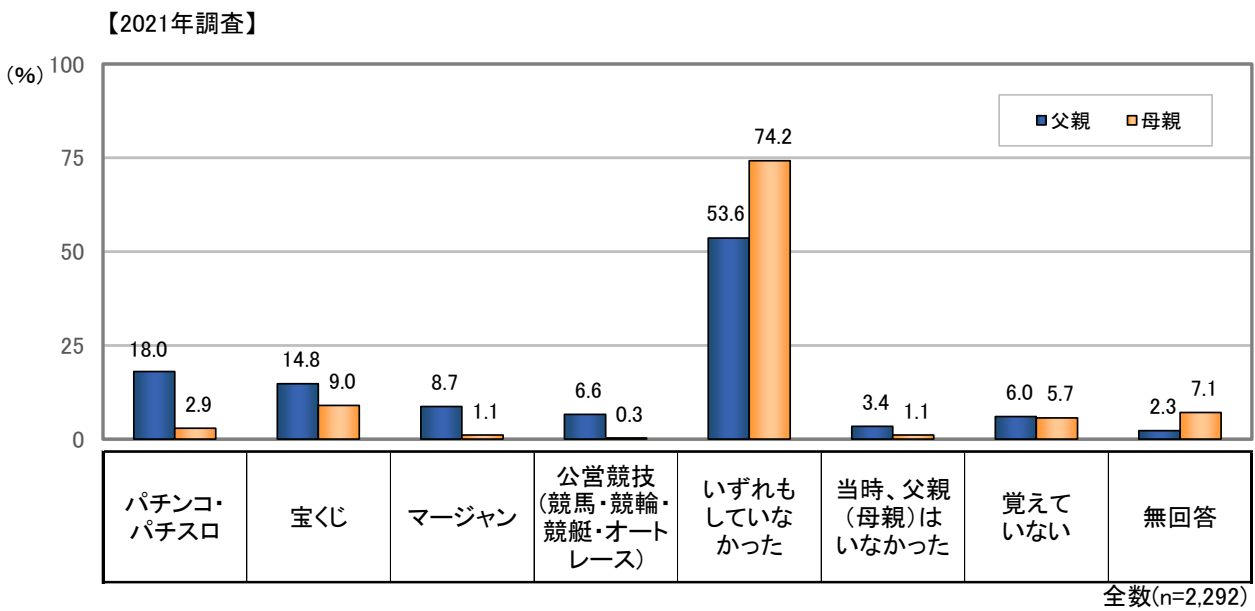
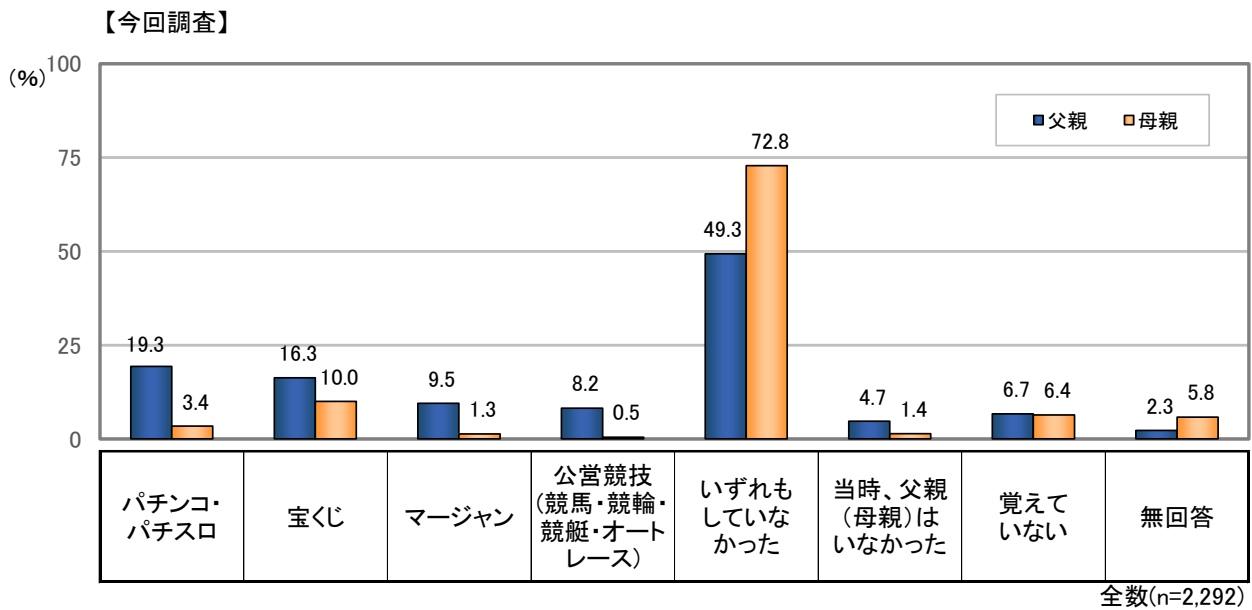




(6) 小学生の頃の両親の公営競技等

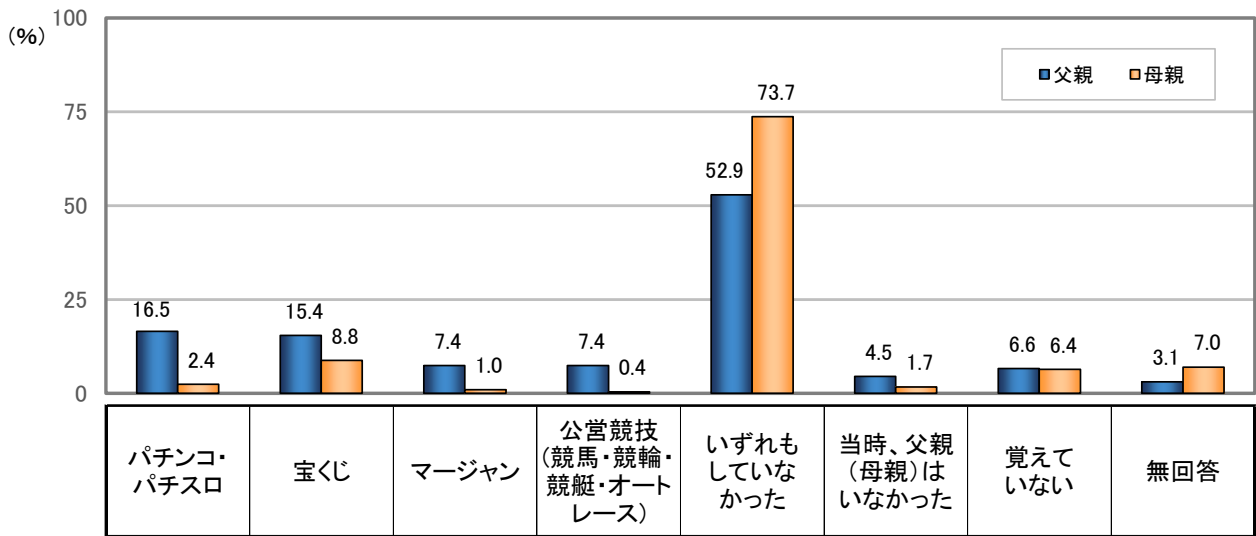
- 小学生の頃、両親がしていた公営競技等（複数回答）としては、父親は「パチンコ・パチスロ」が19.3%で最も多く、次いで「宝くじ」（16.3%）、「マーじゃん」（9.5%）、「公営競技（競馬・競輪・競艇・オートレース）」（8.2%）の順だった。約半数が、「いずれもしていなかった」（49.3%）と回答した。
- 一方、母親は「宝くじ」が10.0%、「パチンコ・パチスロ」が3.4%で、7割以上は「いずれもしていなかった」（72.8%）と回答した。（図表2-6）

(図表2-6) 小学生の頃の両親の公営競技等（問11、複数回答）



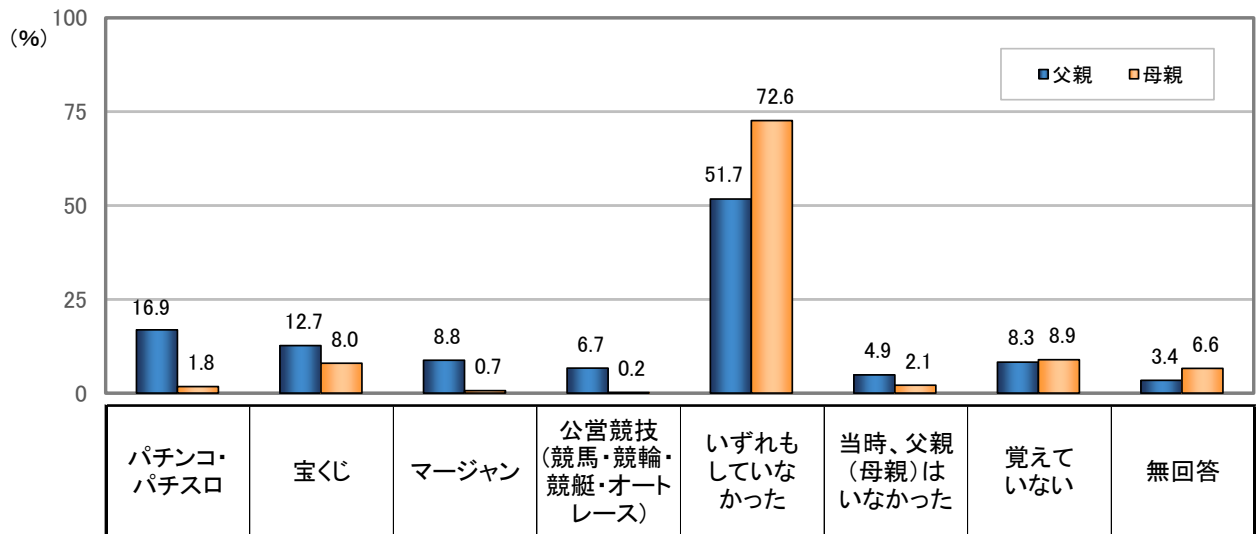
(図表 2 - 6 続き) 小学生の頃の両親の公営競技等 (問 11、複数回答)

【2019年調査】



全数(n=2,164)

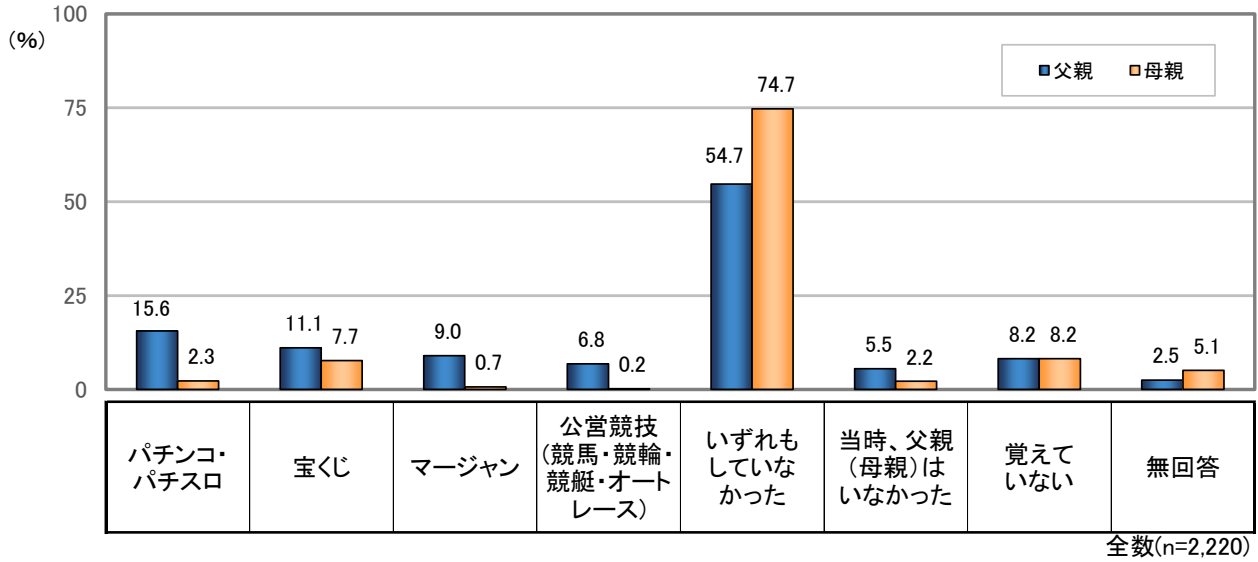
【2016年調査】



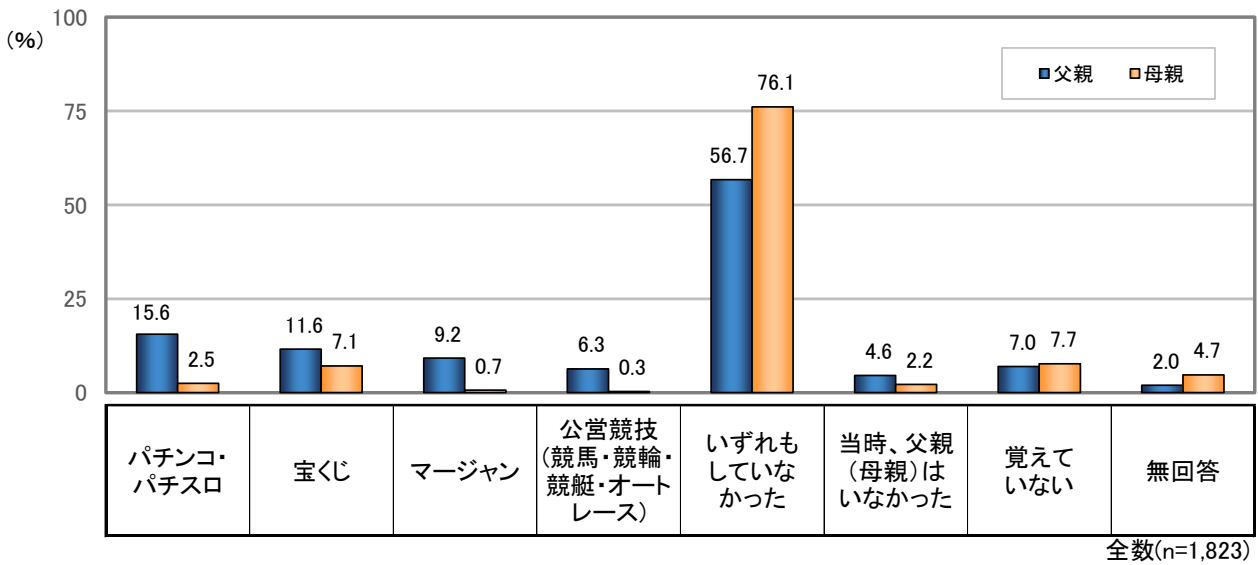
全数(n=2,219)

(図表 2 - 6 続き) 小学生の頃の両親の公営競技等 (問 11、複数回答)

【2014年調査】



【2013年調査】

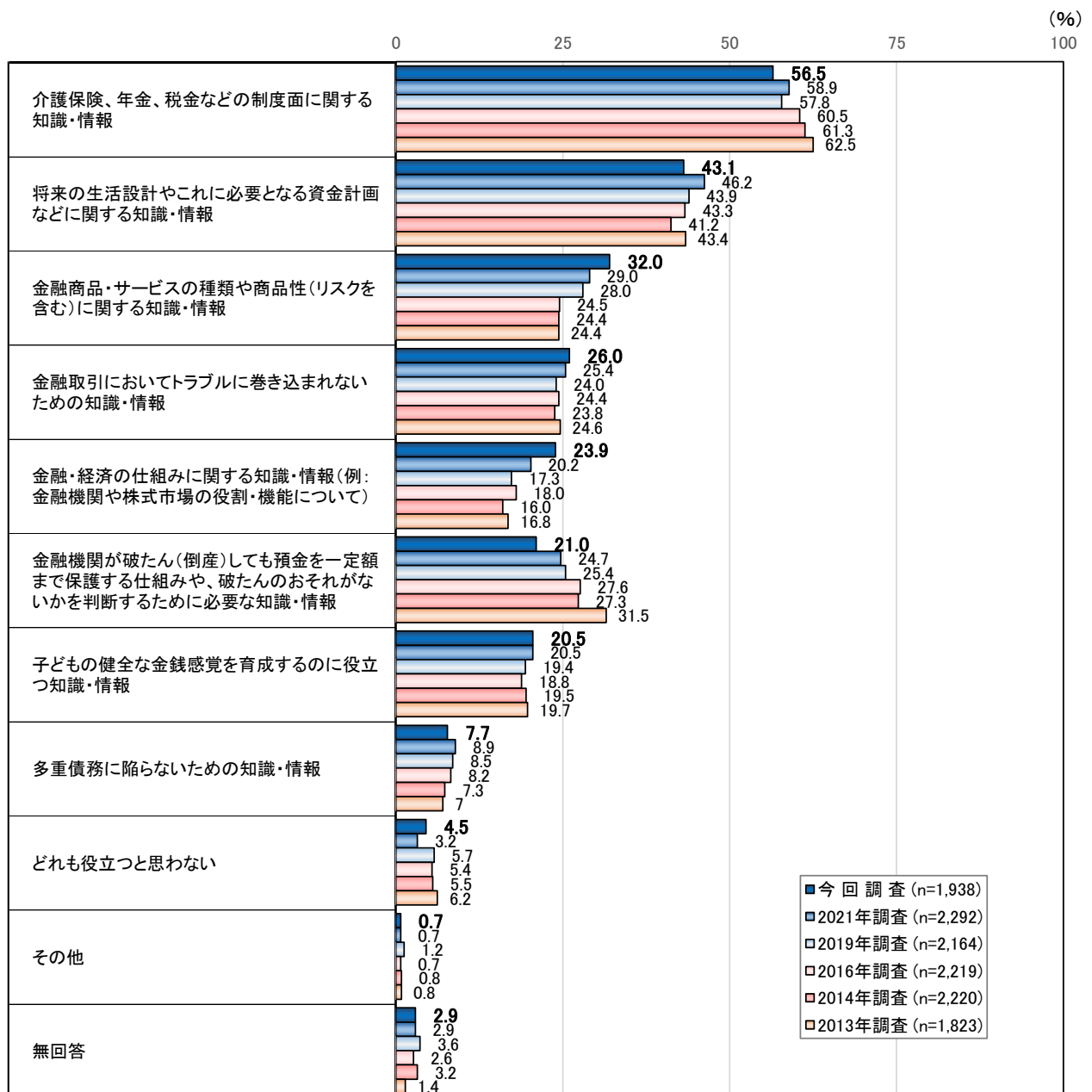


### 3. 金融の知識について

#### (1) 暮らしに役立つ金融知識・情報

- 暮らしに役立つと思う金融に関する知識・情報（3つまでの複数回答）としては、「介護保険、年金、税金などの制度面に関する知識・情報」が**56.5%**で最も多かった。以下、「将来の生活設計やこれに必要な資金計画などに関する知識・情報」（43.1%）、「金融商品・サービスの種類や商品性（リスクを含む）に関する知識・情報」（32.0%）、「金融取引においてトラブルに巻き込まれないための知識・情報」（26.0%）、「金融・経済の仕組みに関する知識・情報」（23.9%）、「金融機関が破たん（倒産）しても預金を一定額まで保護する仕組みや、破たんのおそれがないかを判断するために必要な知識・情報」（21.0%）、「子どもの健全な金銭感覚を育成するのに役立つ知識・情報」（20.5%）、「多重債務に陥らないための知識・情報」（7.7%）の順で続いた。
- 「どれも役立つと思わない」は、4.5%となった。（図表 3-1）

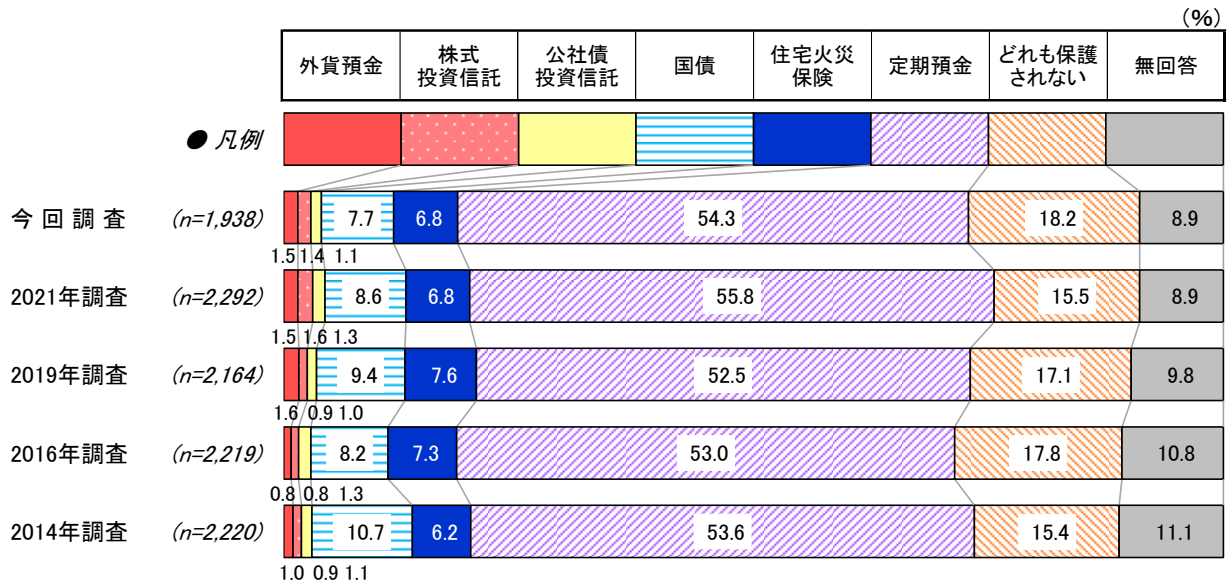
（図表 3-1）暮らしに役立つ知識・情報（問 12、3つまでの複数回答）



(2) 預金保険の保護対象だと思う金融商品

- 預金保険の保護対象だと思う金融商品の正答率(「定期預金」)は54.3%で、半数を超えて最も多かった。誤回答として、「どれも保護されない」が18.2%で最も多く、次いで「国債」(7.7%)、「住宅火災保険」(6.8%)となった(図表3-2)。

(図表3-2) 預金保険の保護対象だと思う金融商品 (問13)

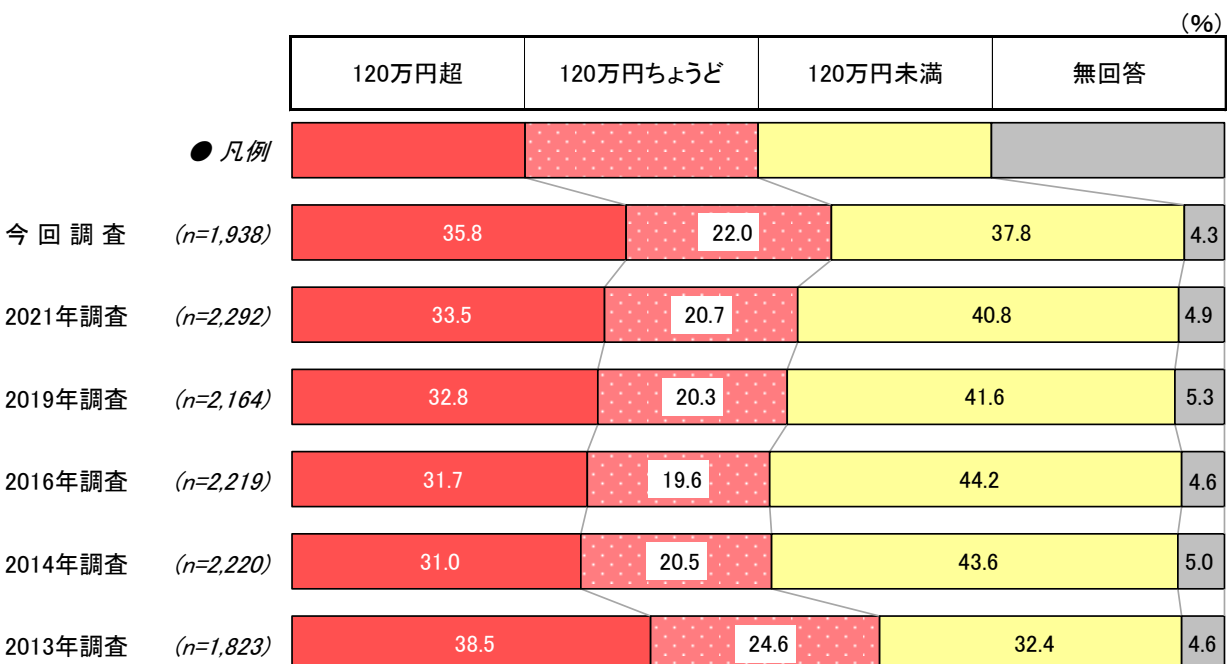


(3) 金利の計算

- 複利計算の正答率(\*)は35.8%で、誤回答の「120万円未満」は37.8%、「120万円ちょうど」は22.0%であった。(図表3-3)

\*預金金利が年率2%の場合に100万円を10年後まで預けたときの金額を「120万超」と答えた比率。

(図表3-3) 金利の計算 (問14)

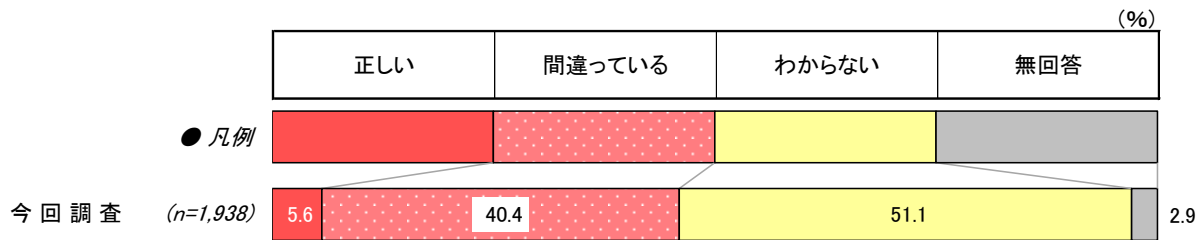


#### (4) 株式購入と投資信託について

- 株式購入と投資信託の損益の振れ幅の正答率<sup>(\*)</sup>は40.4%で、誤回答の「正しい」は5.6%、「わからない」は51.1%であった。(図表3-4)

\*一社の株式を購入する場合と、複数社の株式に投資する投資信託を購入する場合では、一般的に、一社の株を購入した方が、損益の振れ幅が小さくなることを「間違っている」と答えた比率。

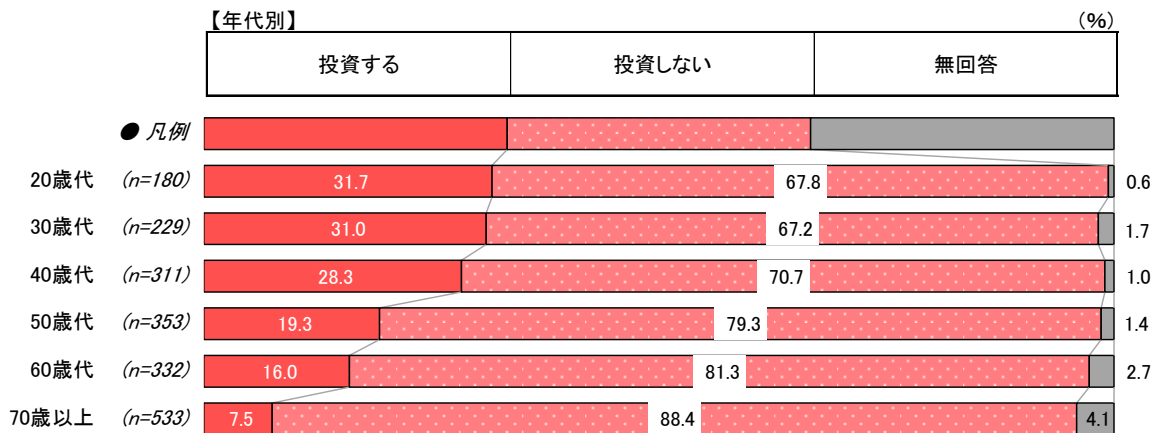
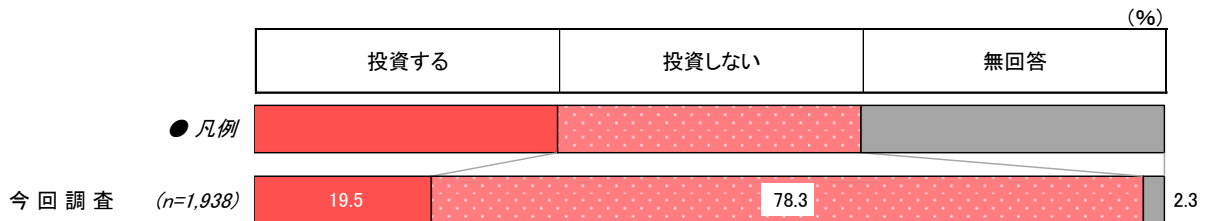
(図表3-4) 株式購入と投資信託について (問15)



#### (5) 投資意向について

- 10万円を投資すると半々の確率で2万円の値上がり益か1万円の値下がり損のいずれかが発生する時の投資意向は、「投資する」が19.5%で、「投資しない」が78.3%となった。(図表3-5)

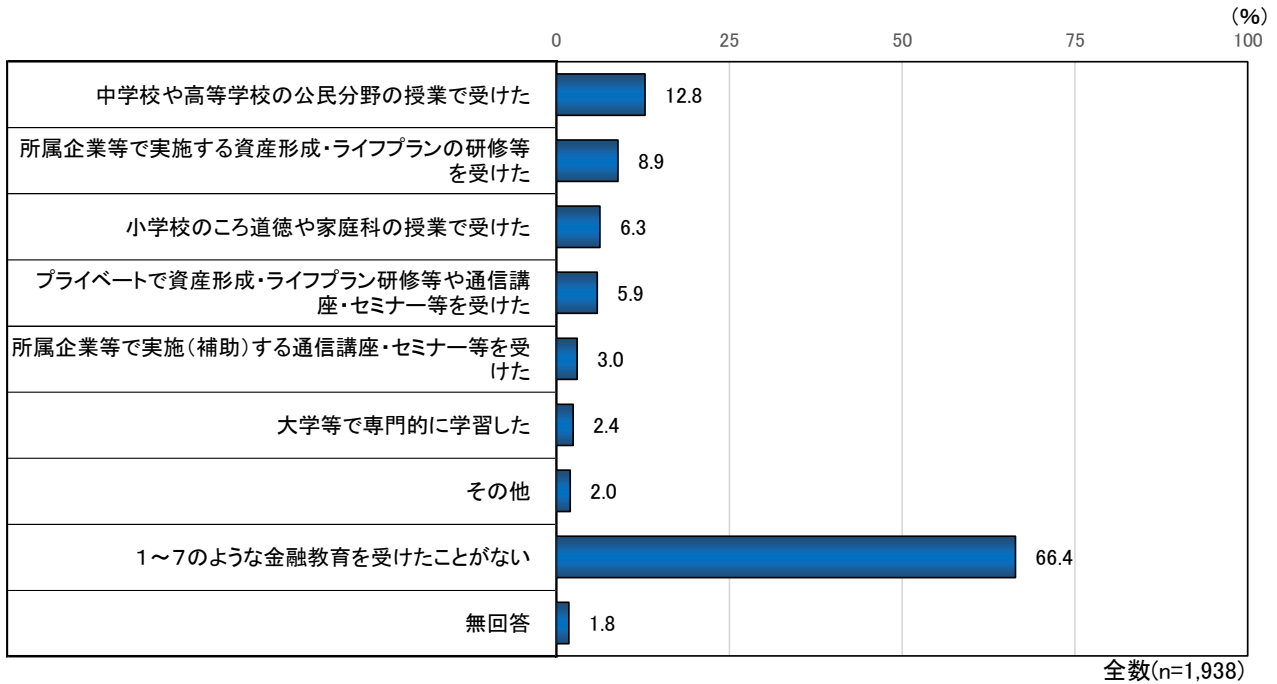
(図表3-5) 投資意向について (問16)



(6) 金融教育を受けた経験

- 金融教育を受けた経験（複数回答）を聞いたところ、「1～7のような金融教育を受けたことがない」が66.4%で最も多く、「中学校や高等学校の公民分野の授業で受けた」（12.8%）が1割台となった。（図表3-6）

(図表3-6) 金融教育を受けた経験（問17、複数回答）

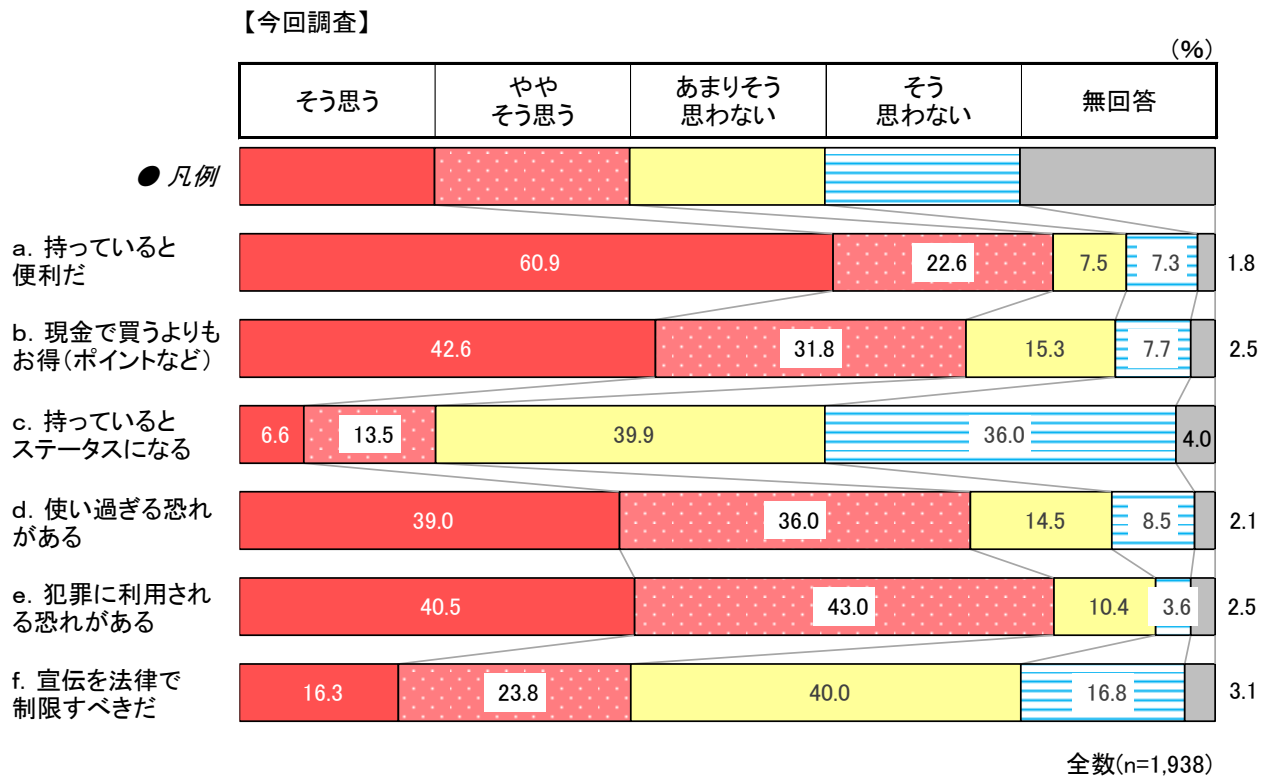


#### 4. クレジットカードについて

##### (1) クレジットカードに対する意見

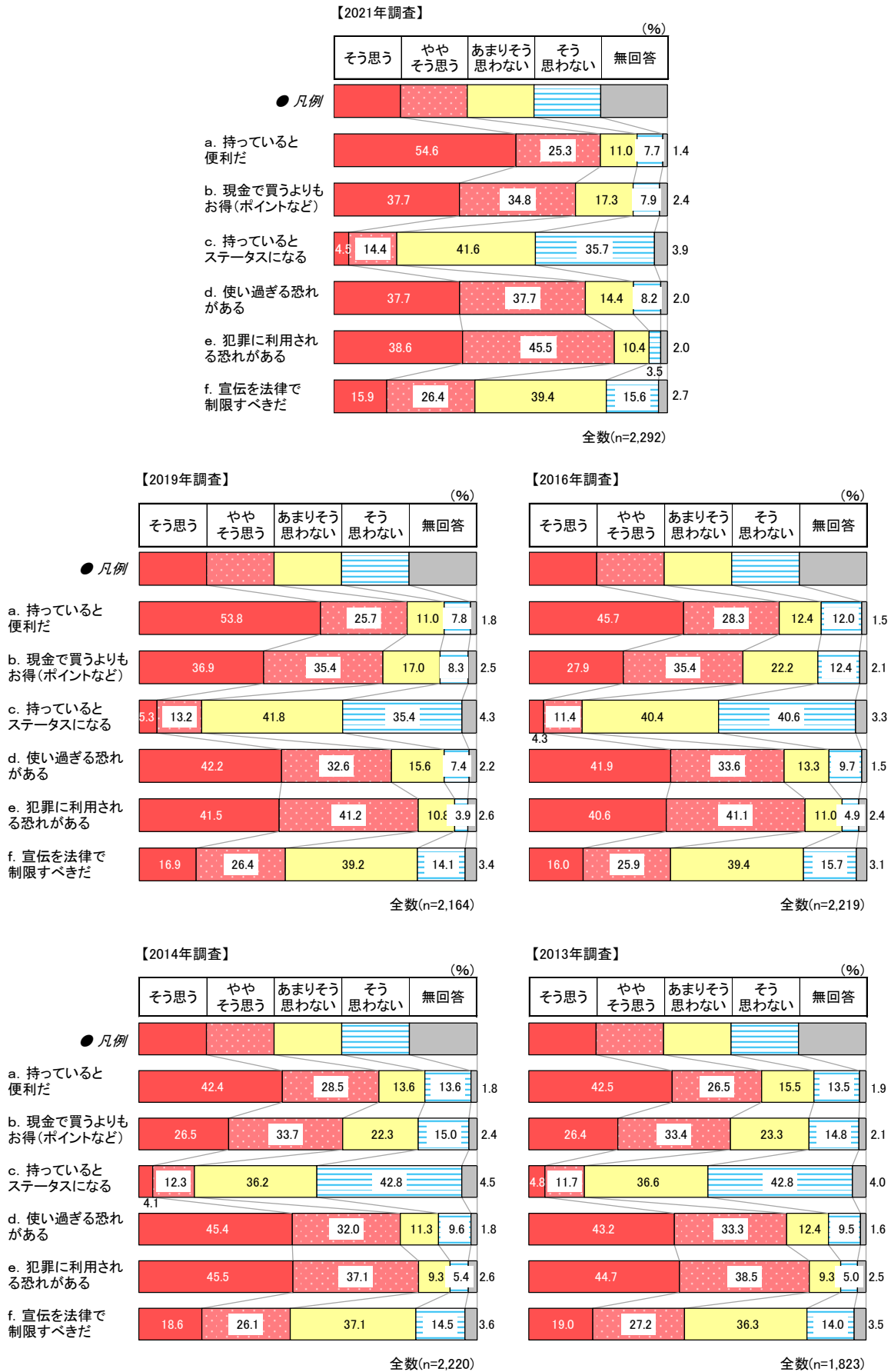
- クレジットカードに対する意見を6つあげて、それぞれに対する考え方を聞いた。
- 『そう思う』（「そう思う」と「ややそう思う」の合計）人が多かったのは、“犯罪に利用される恐れがある”、持っていると便利だ”（ともに83.5%）で8割を上回った。
- また、“使いすぎる恐れがある”と“現金で買うよりもお得（ポイントなど）”も、『そう思う』（使いすぎ74.9%、お得74.5%）人が『そう思わない』（「そう思わない」と「あまりそう思わない」の合計）人（ともに23.0%）を大きく上回った。
- 一方、“持っているステータスになる”は、『そう思わない』が75.9%を占めた。
- “宣伝を法律で制限すべきだ”は、『そう思わない』（56.8%）が過半数を占め、『そう思う』（40.0%）を上回った。（図表4-1）

(図表4-1) クレジットカードに対する意見 (問18)





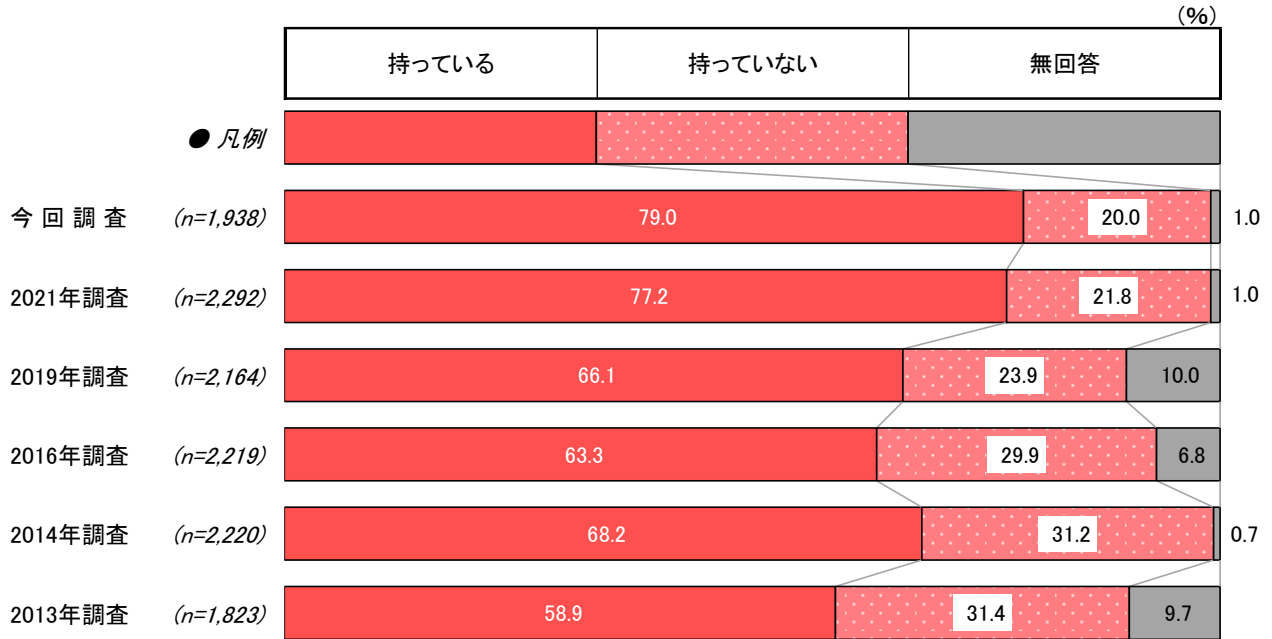
(図表4-1 続き) クレジットカードに対する意見 (問12)



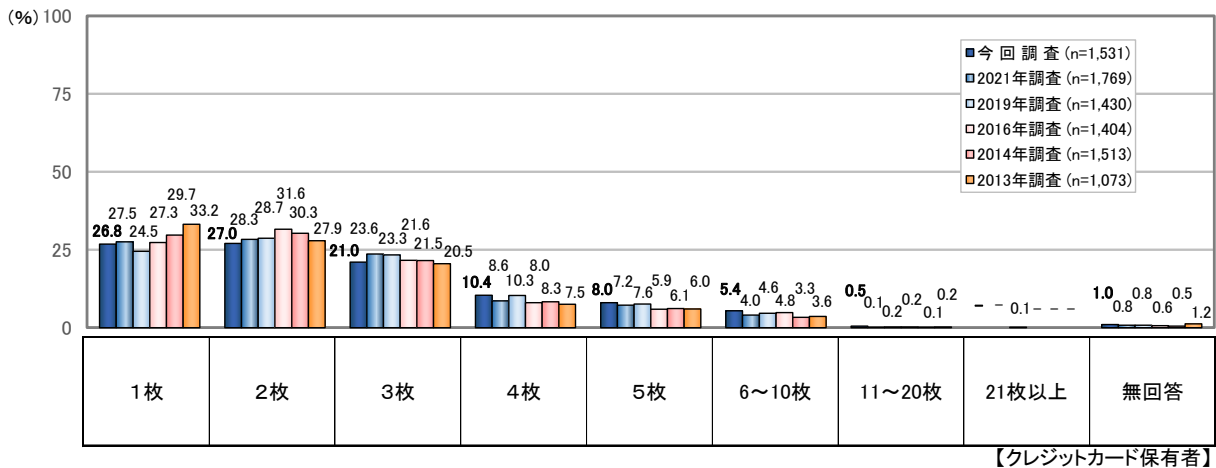
(2) 自分名義クレジットカードの保有状況

- 自分名義のクレジットカードは、「持っている」と答えた人が79.0%で、「持っていない」(20.0%)を59.0ポイント上回った。(図表4-2-1)
- 自分名義のクレジットカード保有者(n=1,531)が持っているクレジットカードの枚数は、「2枚」が27.0%で最も多く、「1枚」が26.8%、「3枚」が21.0%となった。なお、クレジットカード平均保有枚数は2.8枚であった。(図表4-2-2)

(図表4-2-1) 自分名義クレジットカードの保有状況 (問19)



(図表4-2-2) 自分名義クレジットカードの保有枚数 (問19-1)

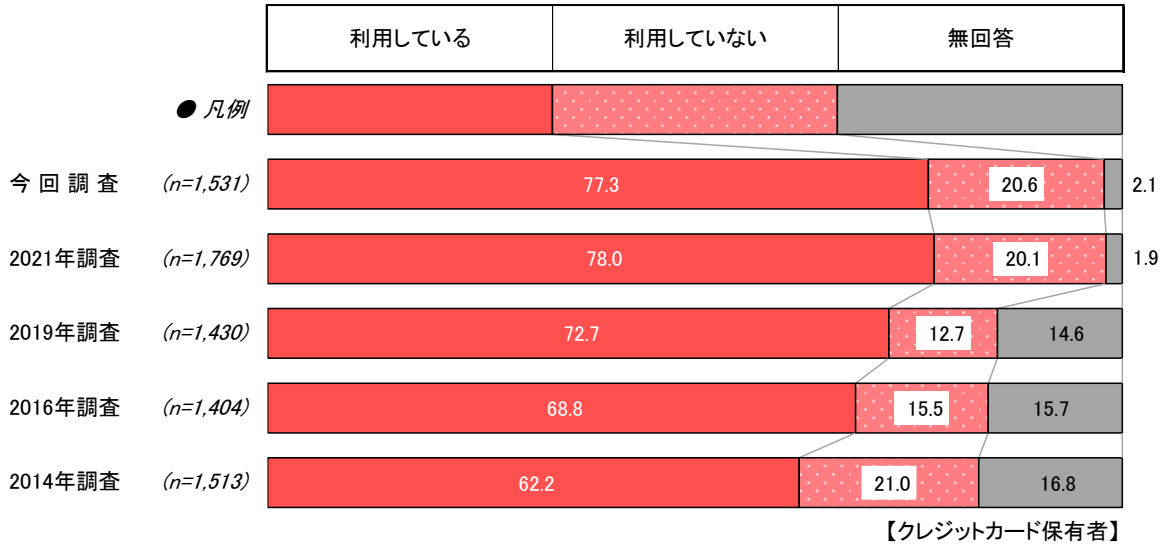


【クレジットカード保有者】

### (3) 自分名義クレジットカードの利用状況

- 自分名義のクレジットカード保有者（n =1,531）のうち、私的なショッピングでのクレジットカード利用状況は、「利用している」が77.3%、「利用していない」が20.6%であった。（図表 4-3）

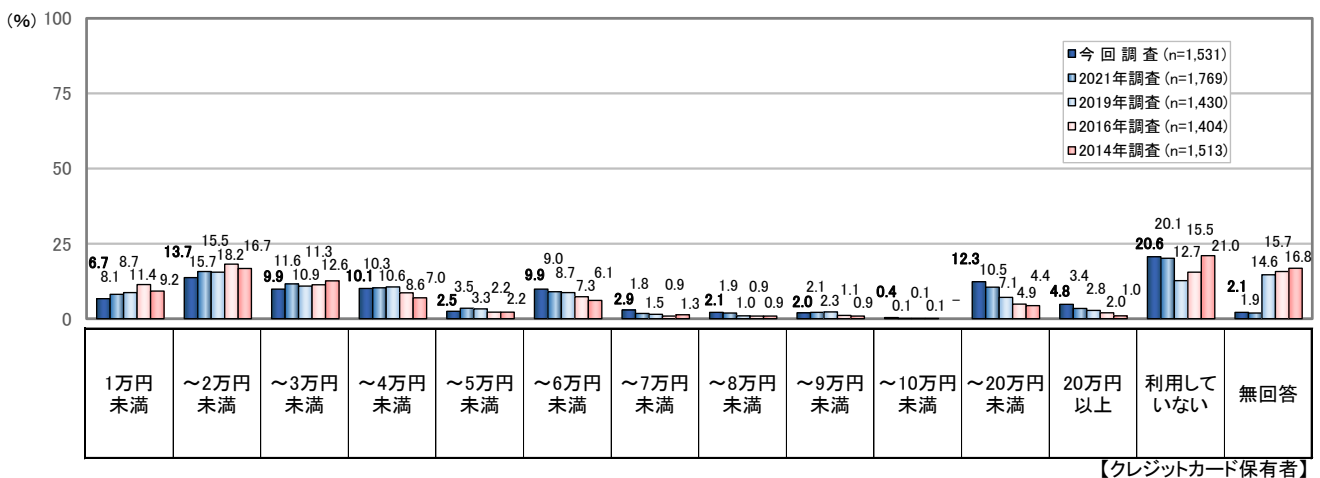
(図表 4-3) 自分名義クレジットカードの利用状況 (問 19-2)



### (4) 自分名義クレジットカードの利用金額

- 自分名義のクレジットカード保有者（n=1,531）のうち、ひと月あたりの私的なショッピングでのクレジットカード利用金額は、「1万円以上2万円未満」が13.7%で最も多かった。次いで、「10万円以上20万円未満」（12.3%）、「3万円以上4万円未満」（10.1%）、「5万円以上6万円未満」、「2万円以上3万円未満」（ともに9.9%）の順となった。なお、平均利用金額は、60,000円であった。（図表 4-4）

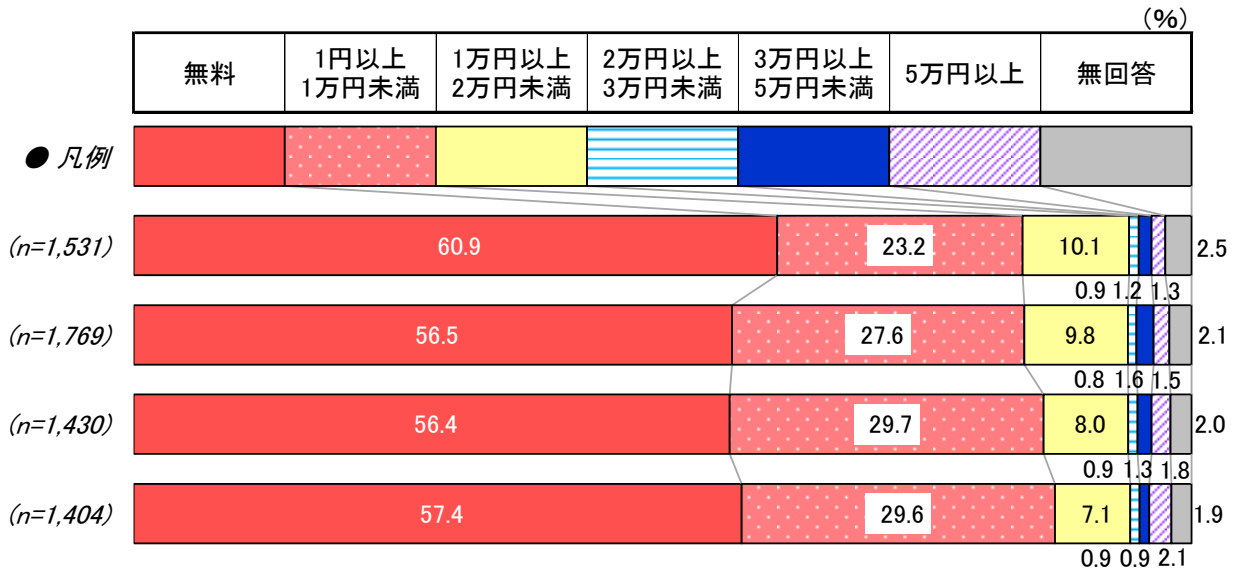
(図表 4-4) 自分名義クレジットカードの利用金額 (問 19-2)



(5) 年間利用額の多い自分名義クレジットカードの年会費（税抜き）

- 自分名義のクレジットカード保有者（n=1,531）が保有するクレジットカードのうち、年間利用額が最も多いカードの年会費（税抜き）は、「無料」が60.9%で、最も多かった。
- 有料の場合の年会費は、「1円以上1万円未満」が23.2%、「1万円以上2万円未満」が10.1%であった。（図表4-5）

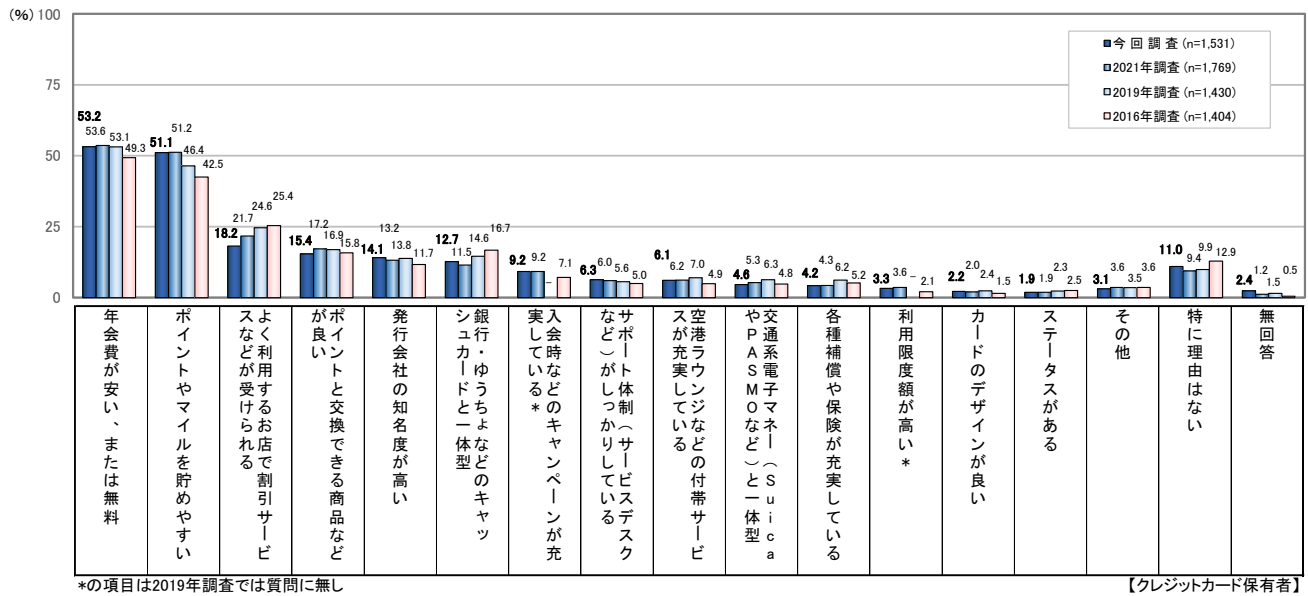
(図表4-5) 年間利用額の多い自分名義クレジットカードの年会費（税抜き）（問19-3）



## (6) 自分名義クレジットカードの選択理由

- 自分名義のクレジットカード保有者 (n=1,531) のクレジットカード選択理由 (複数回答) としては、「年会費が安い、または無料」(53.2%) が約半数で、最も多かった。以下、「ポイントやマイルを貯めやすい」(51.1%)、「よく利用するお店で割引サービスなどが受けられる」(18.2%)、「ポイントと交換できる商品などが良い」(15.4%)、「発行会社の知名度が高い」(14.1%)、「銀行・ゆうちょなどのキャッシュカードと一体型」(12.7%) などの順で続いた。(図表 4-6)

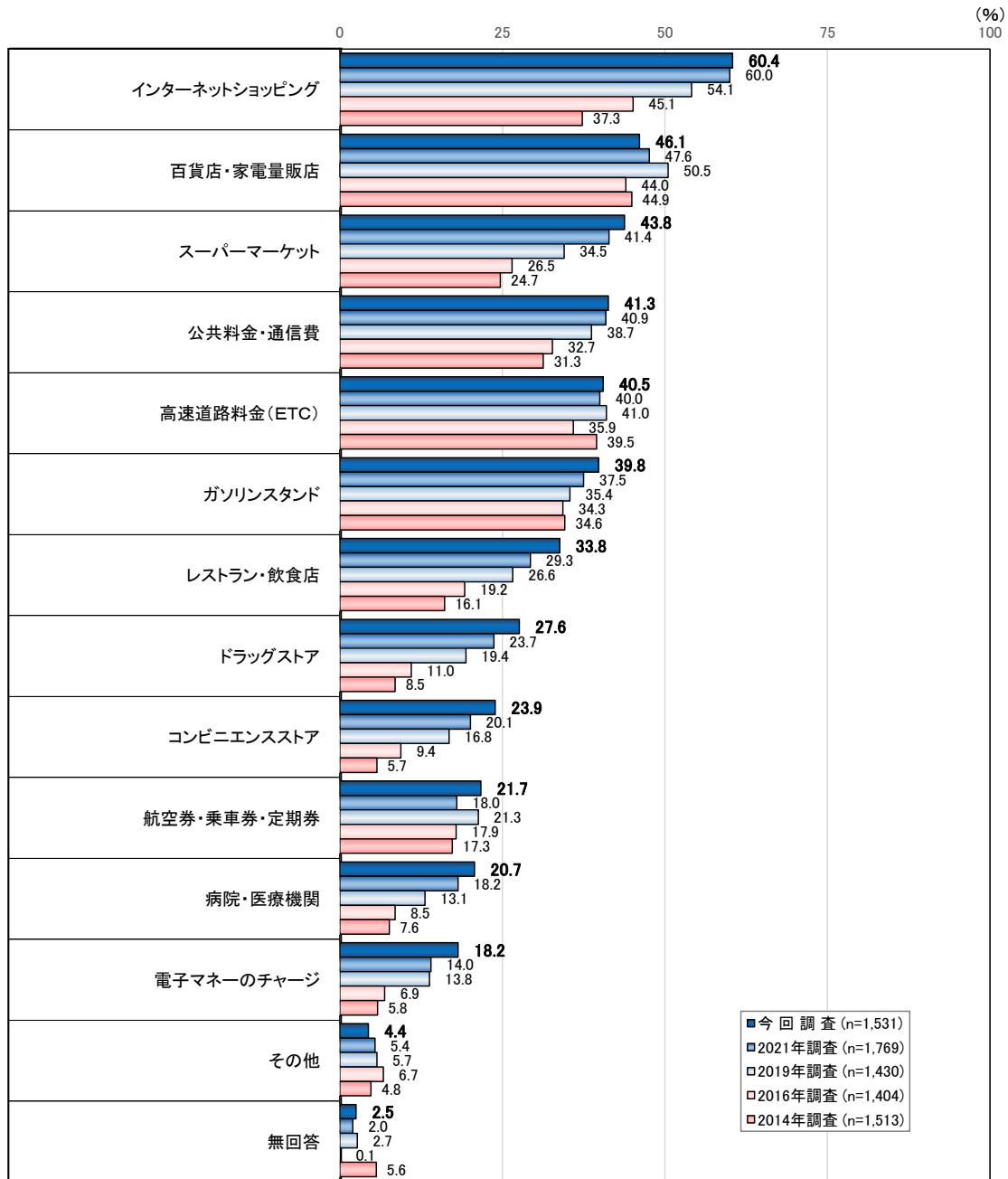
(図表 4-6) 自分名義クレジットカードの選択理由 (問 19-4、複数回答)



(7) 自分名義クレジットカードの利用先

- 自分名義のクレジットカード保有者 (n=1,531) のクレジットカードの利用先 (複数回答) としては、「インターネットショッピング」(60.4%) が約6割と最も多く挙げられ、次いで、「百貨店・家電量販店」(46.1%)、「スーパーマーケット」(43.8%)、「公共料金・通信費」(41.3%)、「高速道路料金(ETC)」(40.5%) が4割台、「ガソリンスタンド」(39.8%)、「レストラン・飲食店」(33.8%) が3割台であった。(図表 4-7)

(図表 4-7) 自分名義クレジットカードの利用先 (問 19-5、複数回答)



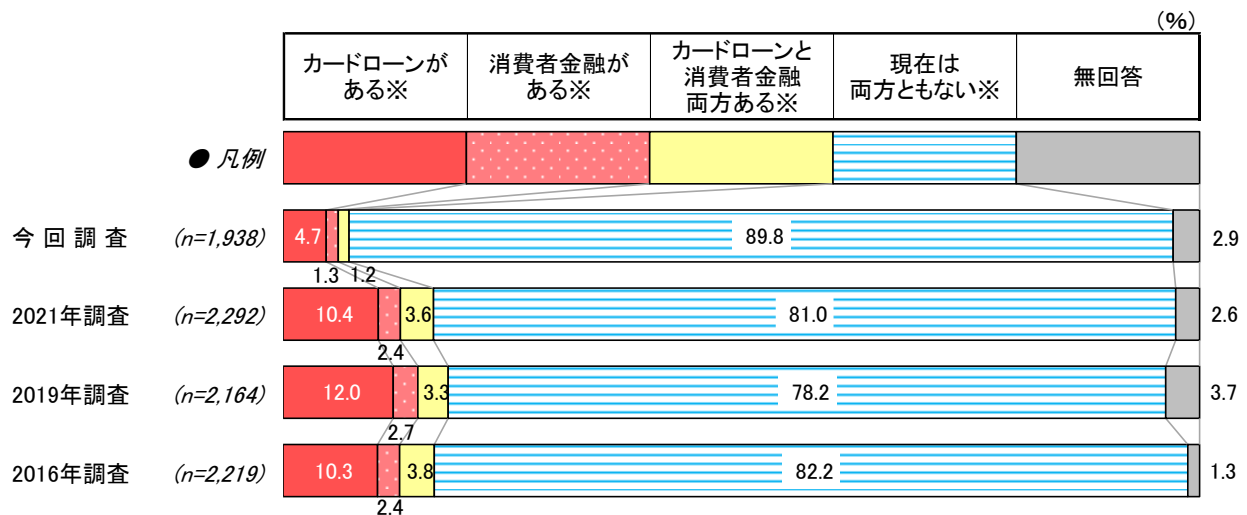
【クレジットカード保有者】

## 5. カードローンや消費者金融について

### (1) カードローンや消費者金融からの借入経験

- これまでのカードローンや消費者金融からの借入経験として、「カードローンがある」人は4.7%で、「消費者金融はある」人が1.3%、「カードローンも消費者金融もある」人が1.2%となった。89.8%は、「どちらもない」と回答している。(図表5-2-1)

(図表5-1-1) カードローンや消費者金融からの借入経験 (問20)



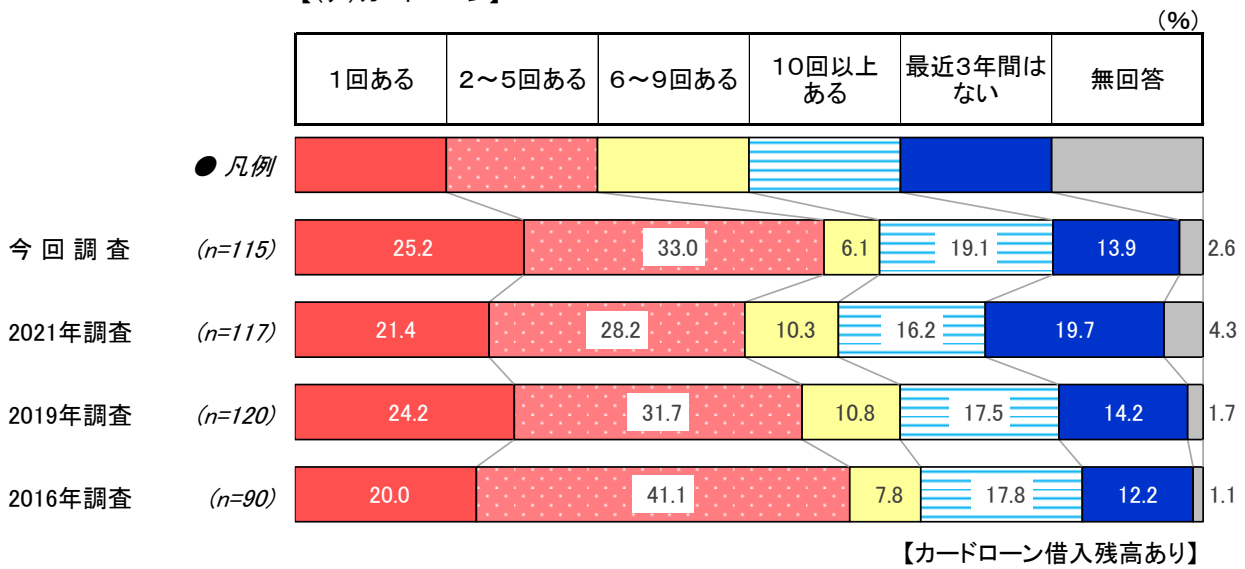
※2016年調査から2021年調査までは、「カードローンはある」、「消費者金融はある」、「カードローンも消費者金融もある」、「どちらもない」と聞いていた。

(2) 現在のカードローンや消費者金融からの借入状況

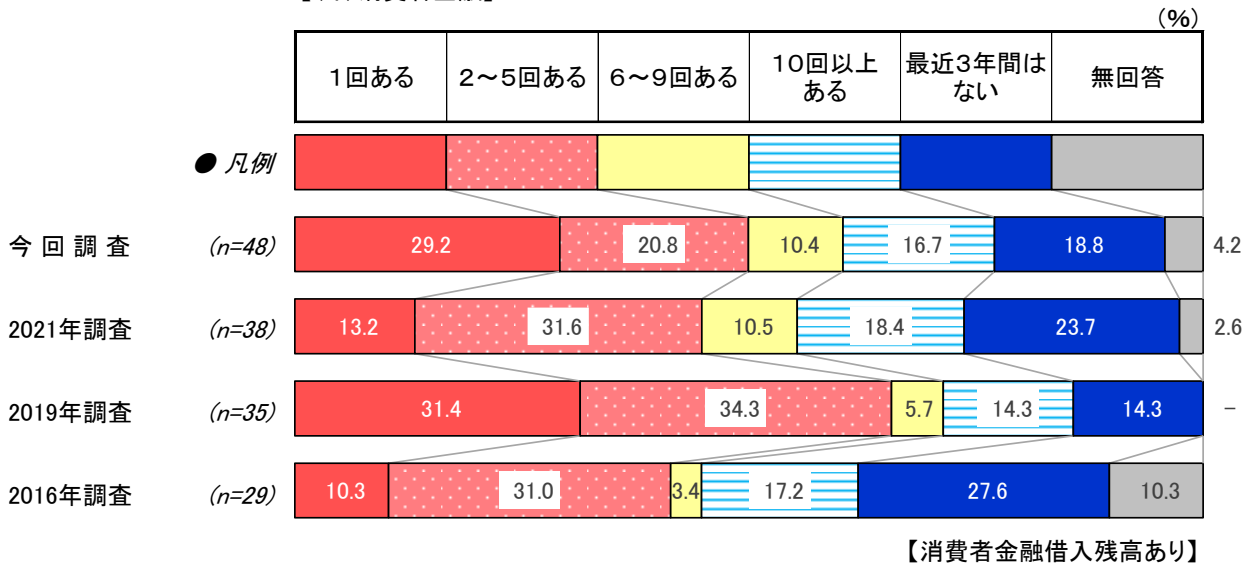
- カードローン借入者 (n=115) の、最近3年間の借入回数は、「2～5回ある」が33.0%で最も多く、次いで「1回ある」が25.2%、「10回以上ある」が19.1%であった。「最近3年間はない」は13.9%だった(図表5-2-1-ア)。
- 消費者金融借入者48人では、過去3年間の借入が「1回ある」人が14人、「2～5回ある」人は10人、「最近3年間はない」が9人で、8人は「10回以上ある」と回答している(図表5-2-1-イ)。

(図表5-2-1) 最近3年間のカードローンや消費者金融から借入回数(問20-1)

【(ア)カードローン】



【(イ)消費者金融】



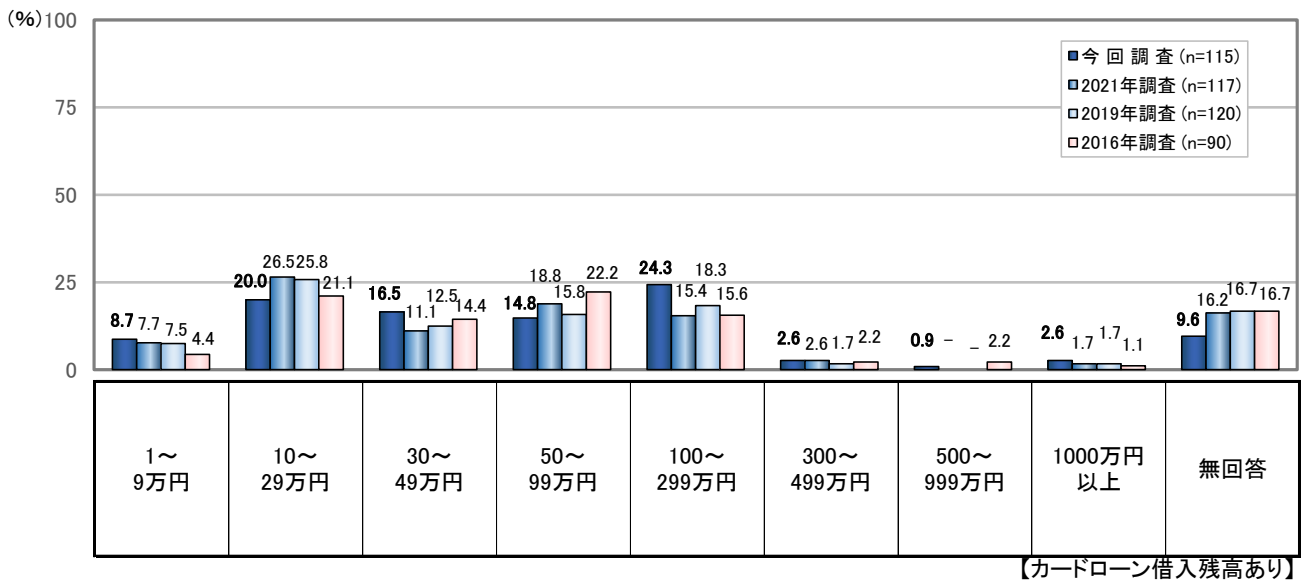


### (3) 現在のカードローンや消費者金融からの借入総額

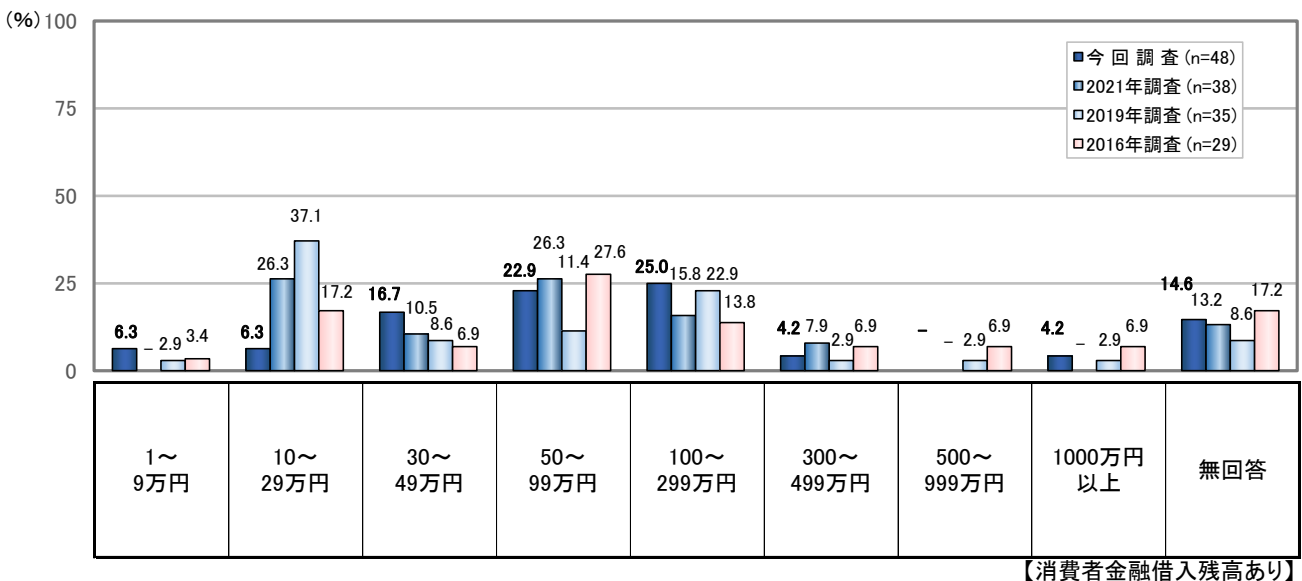
- カードローン借入者 (n=115) の現在の借入総額は、「100～299万円」が24.3%、「10～29万円」が20.0%、「30～49万円」が16.5%、現在の平均カードローン借入総額は120万円であった。  
(図表 5-3-ア)
- 一方、消費者金融借入者 48 人では、「100～299万円」が12人、「50～99万円」が11人で、現在の平均消費者金融借入総額は244万1千円であった。(図表 5-3-イ)

(図表 5-3) カードローンや消費者金融からの現在の借入総額 (問 20-2)

#### 【(ア)カードローン】



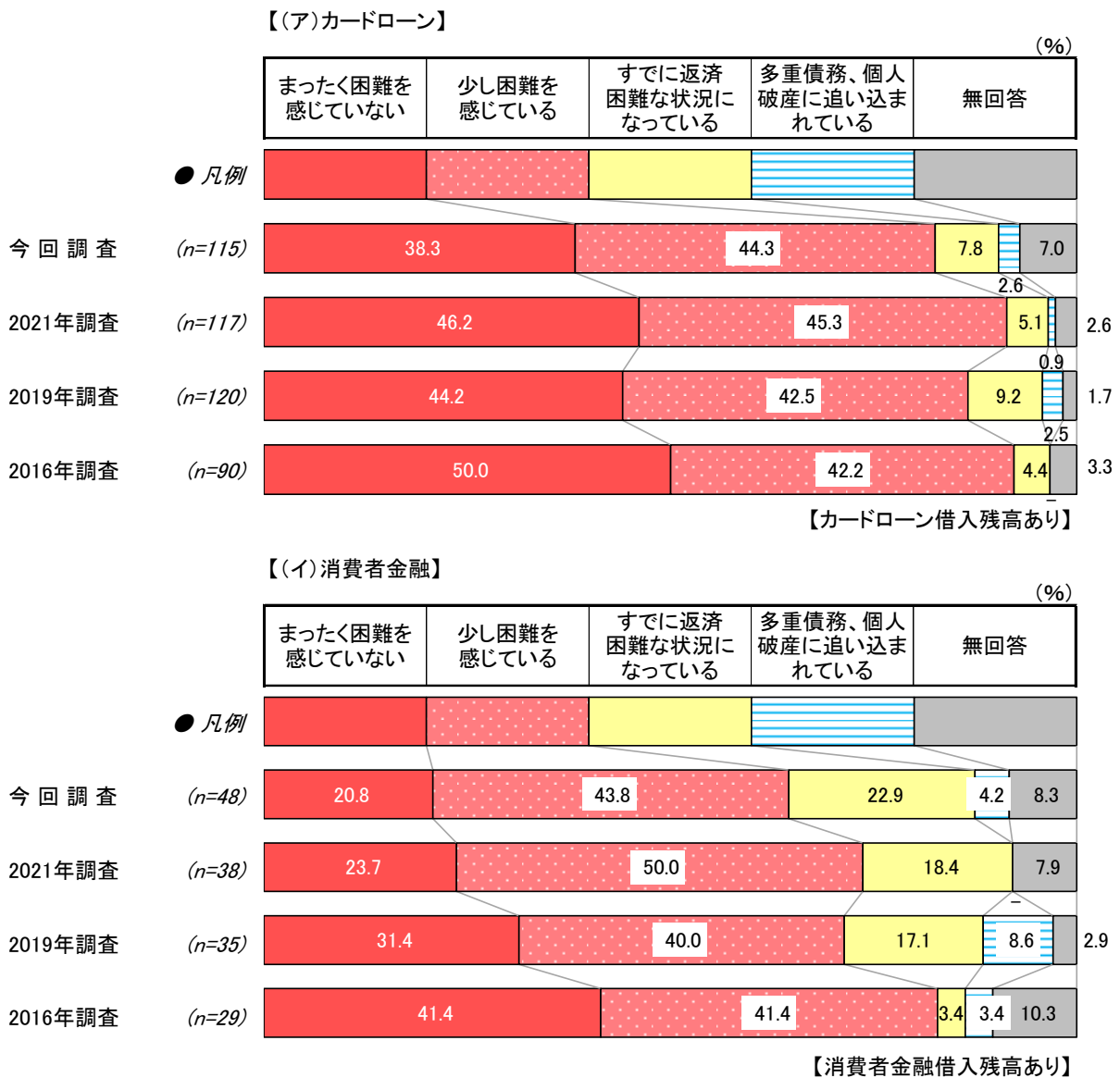
#### 【(イ)消費者金融】



(4) カードローンや消費者金融からの現在の借入への返済

- カードローン借入者 (n=115) で、返済に「まったく困難を感じていない」と回答した人は 38.3% だった。「少し困難を感じている」(44.3%) と「すでに返済困難な状況になっている」(7.8%) と合わせた『困難を感じている』は 52.2% と約半数だった(図表 5-4-ア)。
- 一方、消費者金融借入者 48 人では、「まったく困難を感じていない」人が 10 人、「少し困難を感じている」人が 21 人、「すでに返済困難な状況になっている」人が 11 人だった。(図表 5-4-イ)。

(図表 5-4) カードローンや消費者金融からの借入返済の困難 (問 20-3)

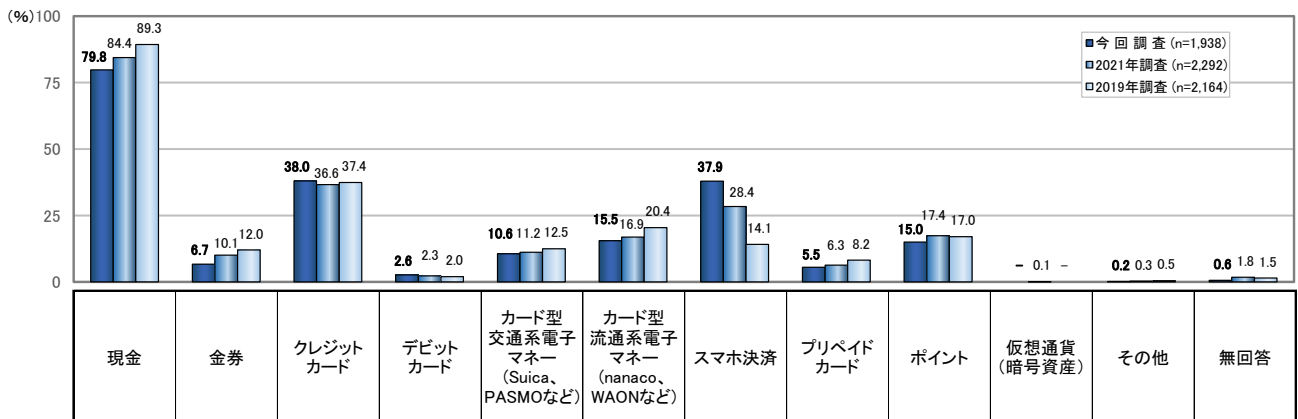


## 6. 決済方法について

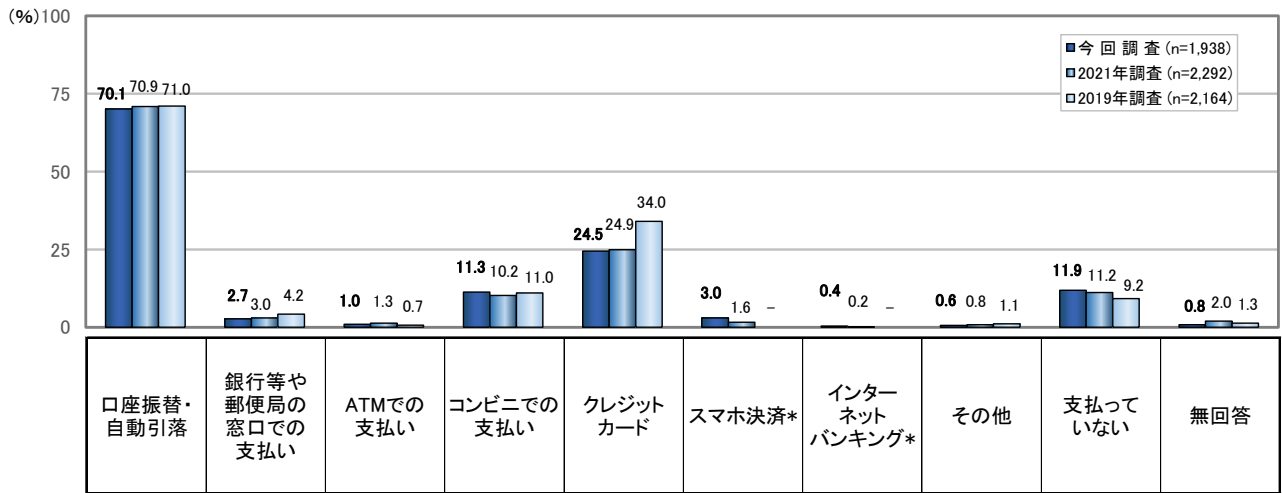
### (1) 各種支払いに利用する決済方法

- 「スーパーやコンビニでの買い物の支払い」に利用する決済方法（複数回答）は、「現金」が79.8%と最も多く、次いで「クレジットカード」（38.0%）、「スマホ決済」（37.9%）、「カード型流通系電子マネー（nanaco、WAONなど）」（15.5%）、「ポイント」（15.0%）、「カード型交通系電子マネー（Suica、PASMOなど）」（10.6%）、「金券」（6.7%）の順だった。（図表 6-1-1）
- 「電気・ガス・水道代などの公共料金の支払い」に利用する決済方法（複数回答）は、「口座振替・自動引落」が70.1%と最も多く、次いで「クレジットカード」（24.5%）、「コンビニでの支払い」（11.3%）の順だった。「支払っていない」は11.9%だった。（図表 6-1-2）
- 「家賃・給食費・新聞購読代などの定期的な支払い」に利用する決済方法（複数回答）は、「口座振替・自動引落」が58.3%と最も多く、次いで「クレジットカード」（20.1%）、「コンビニでの支払い」（8.5%）の順だった。「支払っていない」は18.3%だった。（図表 6-1-3）
- 「固定資産税などの税金や社会保険料の支払い」に利用する決済方法（複数回答）は、「口座振替・自動引落」が53.7%と最も多く、次いで「コンビニでの支払い」（20.2%）、「銀行等や郵便局の窓口での支払い」（17.3%）の順だった。「支払っていない」は10.6%だった。（図表 6-1-4）
- 「ネット通販で購入した代金の支払い」に利用する決済方法（複数回答）は、「クレジットカード」が52.0%と最も多く、次いで「コンビニでの支払い」（25.3%）、「スマホ決済」、「代金引換」がともに（11.6%）の順だった。「ネット通販は利用していない」は20.1%だった。（図表 6-1-5）

(図表 6-1-1) スーパーやコンビニでの支払い方法 (問 21)

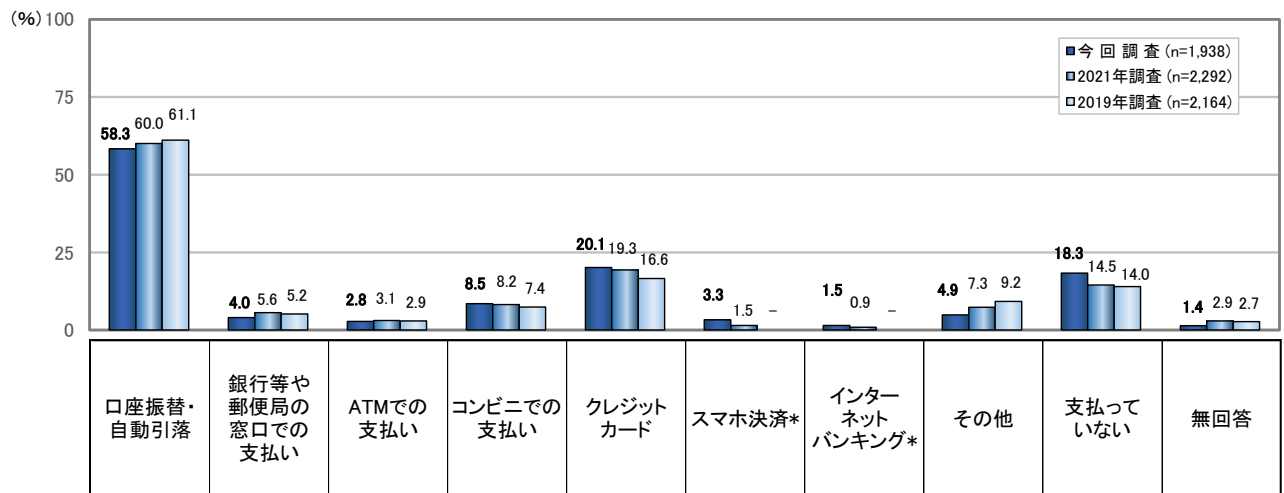


(図表6-1-2) 電気・ガス・水道代などの公共料金の支払い方法 (問22)



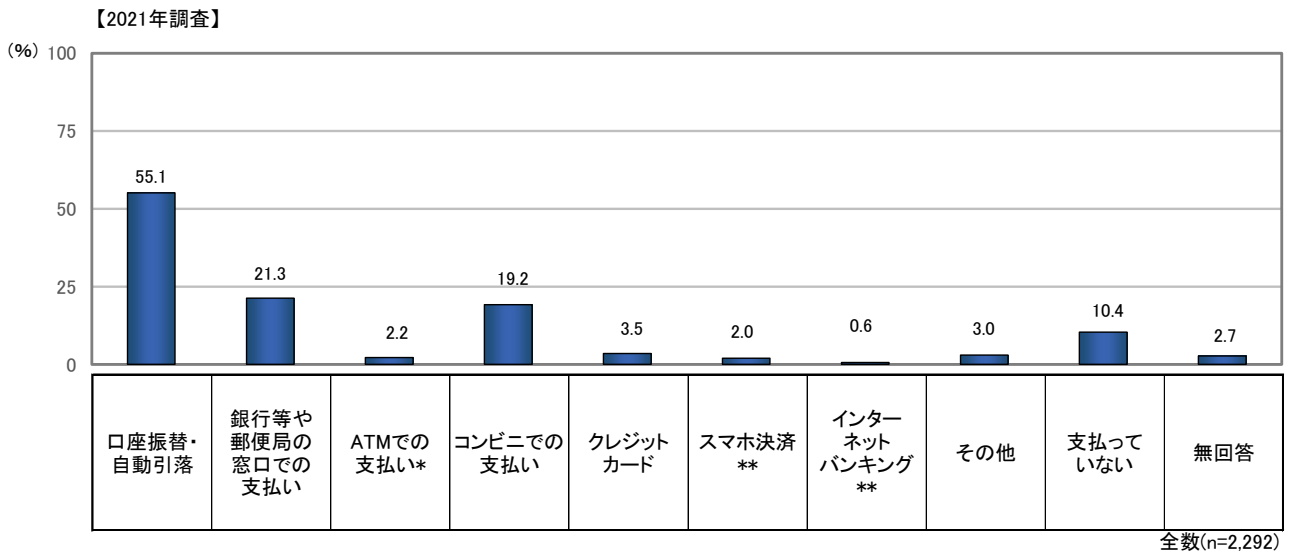
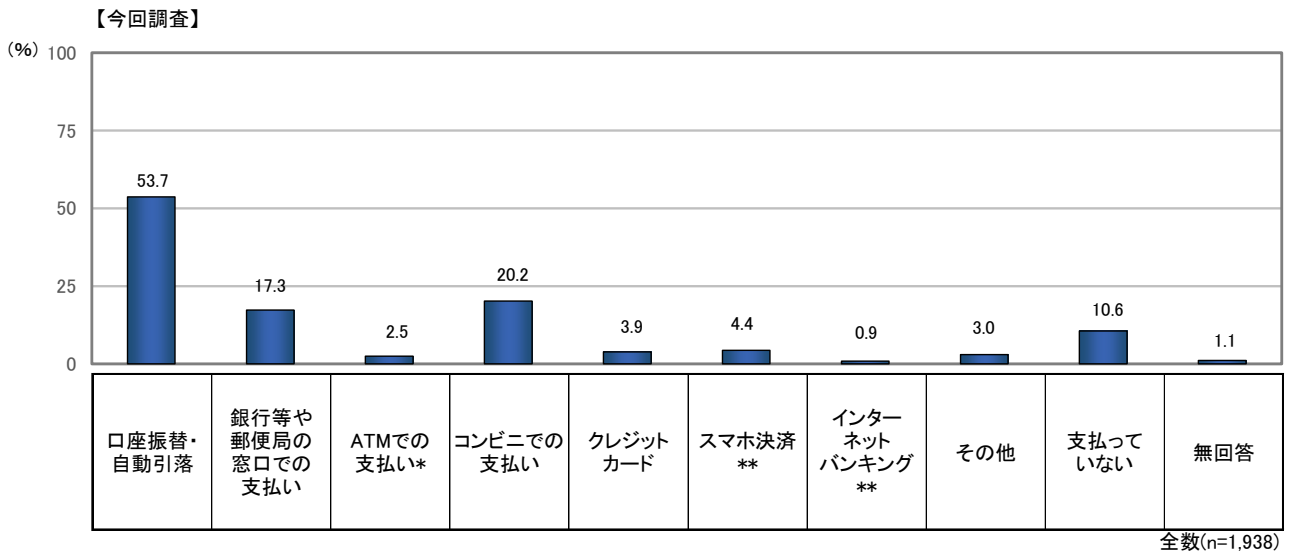
\*の項目は2019年調査では質問していない項目。

(図表6-1-3) 家賃・給食費・新聞購読代などの定期的な支払い方法 (問23)

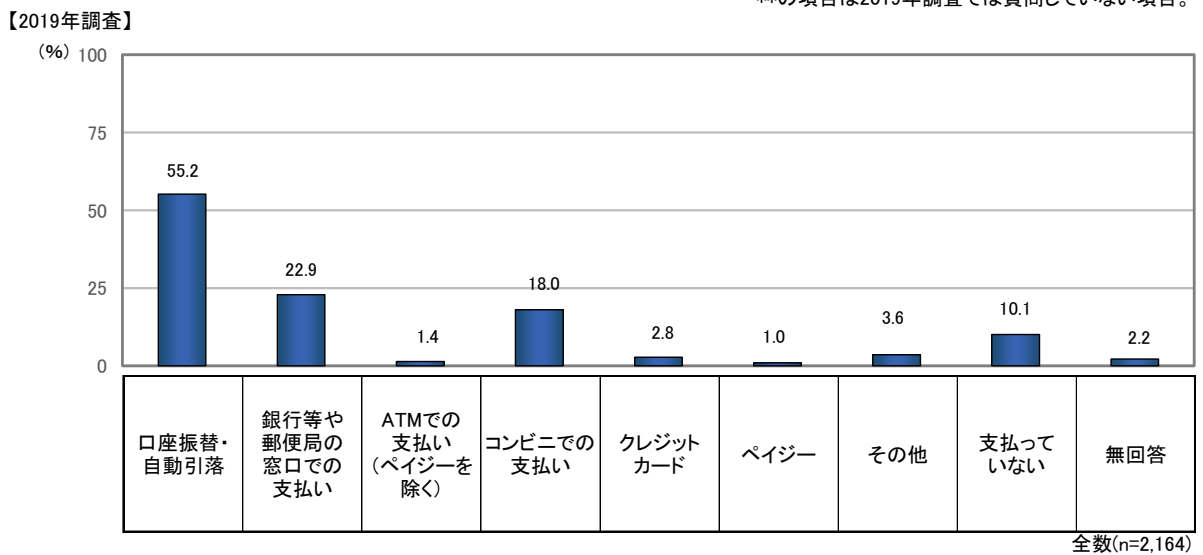


\*の項目は2019年調査では質問していない項目。

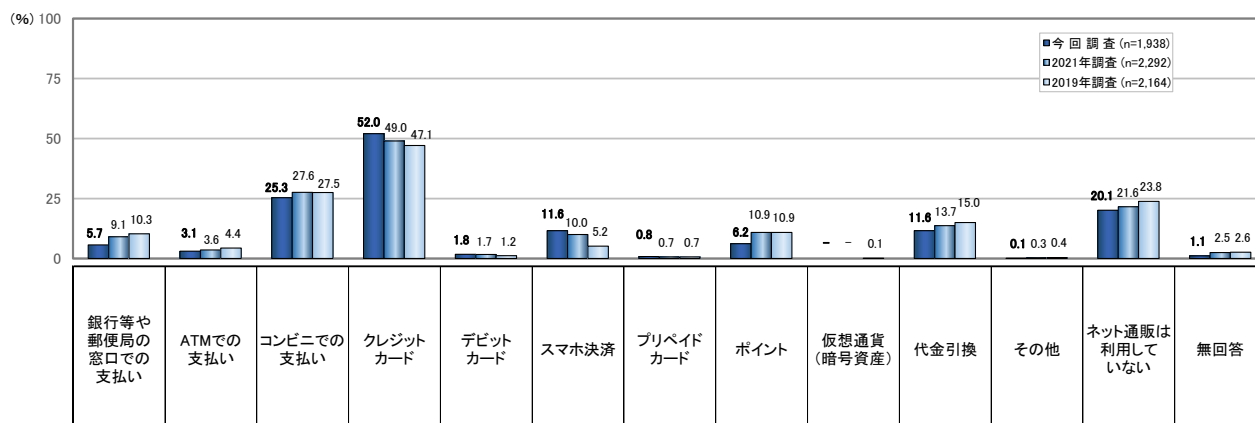
(図表6-1-4) 固定資産税などの税金や社会保険料の支払い方法 (問24)



\*の項目は2019年調査では「ATMでの支払い(ペイジーは除く)」としていた。  
\*\*の項目は2019年調査では質問していない項目。



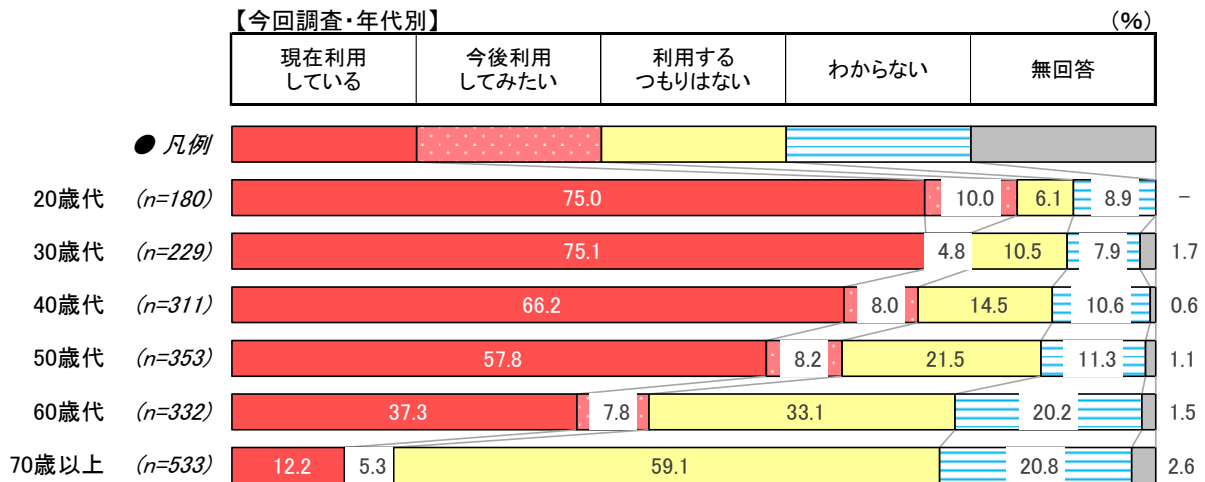
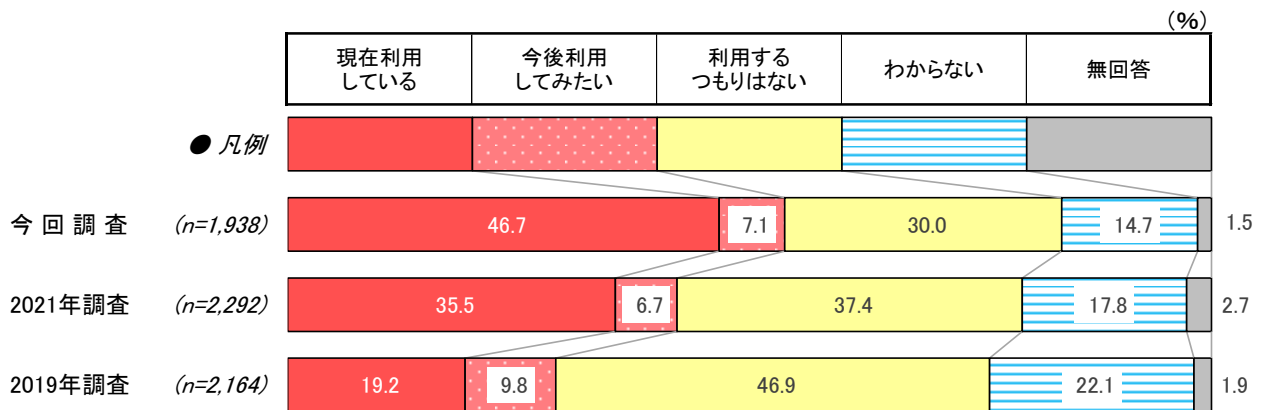
(図表6-1-5) ネット通販で購入した代金の支払い方法 (問25)



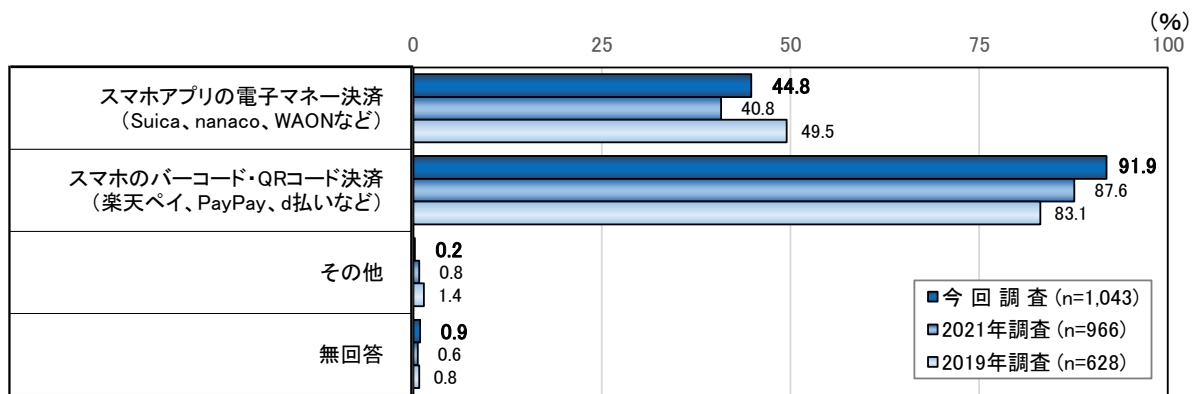
(2) スマホ決済の利用状況・利用意向

- スマホ決済の利用有無または今後利用意向を聞いたところ、「現在利用している」は46.7%で、「今後利用してみたい」の7.1%と合わせて53.8%が利用している、または利用意向がある。他方「利用するつもりはない」が30.0%、「わからない」が14.7%を占めた。(図表6-2-1)
- 利用している／利用意向がある人(n=1,043)に、現在利用または今後利用したいスマホ決済の種類(複数回答)を聞いたところ、「スマホのバーコード・QRコード決済」が91.9%と9割台、「スマホアプリの電子マネー決済」が44.8%だった。(図表6-2-2)

(図表6-2-1) スマホ決済の利用状況・利用意向(問26)



(図表 6-2-2) 現在利用または今後利用したいスマホ決済 (問 27-1、複数回答)



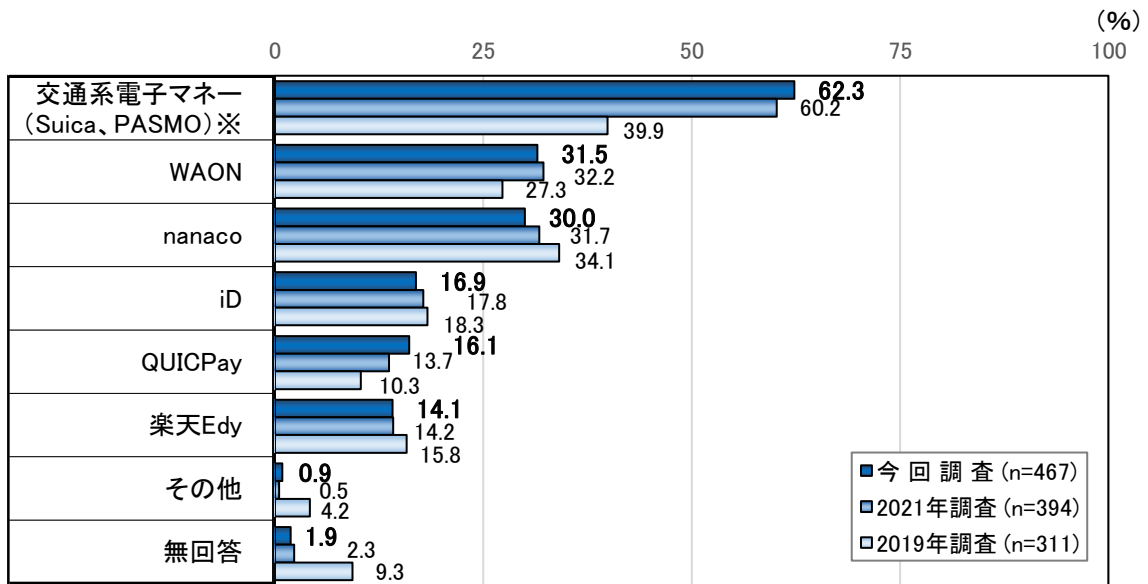
【スマホ決済利用者または利用意向者】



(3) 利用しているスマホ決済（利用意向含む）

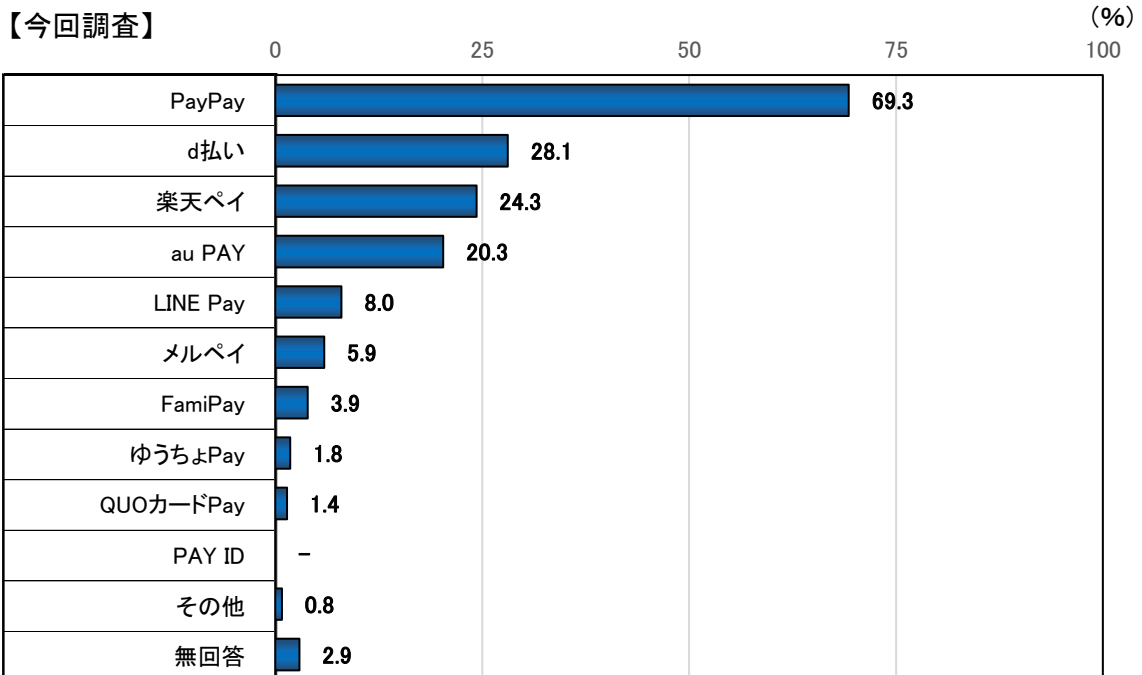
- スマホアプリの電子マネー決済を利用している／利用意向がある人（n=467）に、具体的なサービス（複数回答）を聞いたところ、「交通系電子マネー（Suica、PASMO）」（62.3%）、「WAON」（31.5%）、「nanaco」（30.0%）、「iD」（16.9%）、の順に多かった。（図表 6-3-1）
- バーコード・QRコード決済を利用している／利用意向がある人（n=959）に、具体的なサービス（複数回答）を聞いたところ、「PayPay」（69.3%）、「d払い」（28.1%）、「楽天ペイ」（24.3%）、の順に多かった。（図表 6-3-2）

(図表 6-3-1) 現在利用しているスマホアプリの電子マネー決済（問 27-2-1、複数回答）



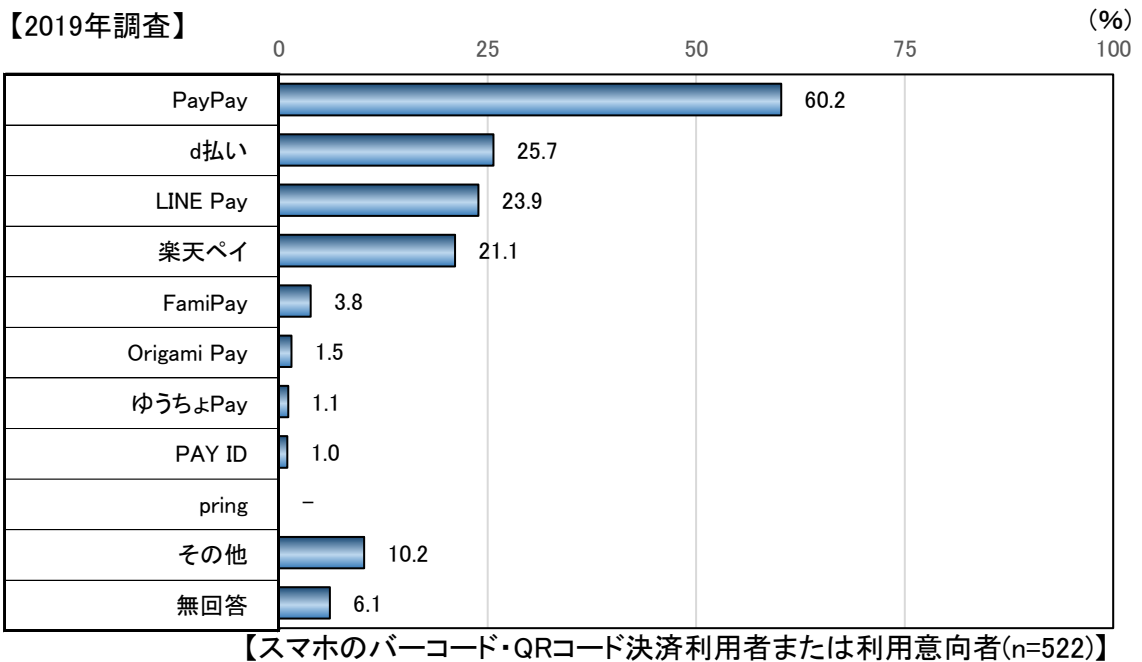
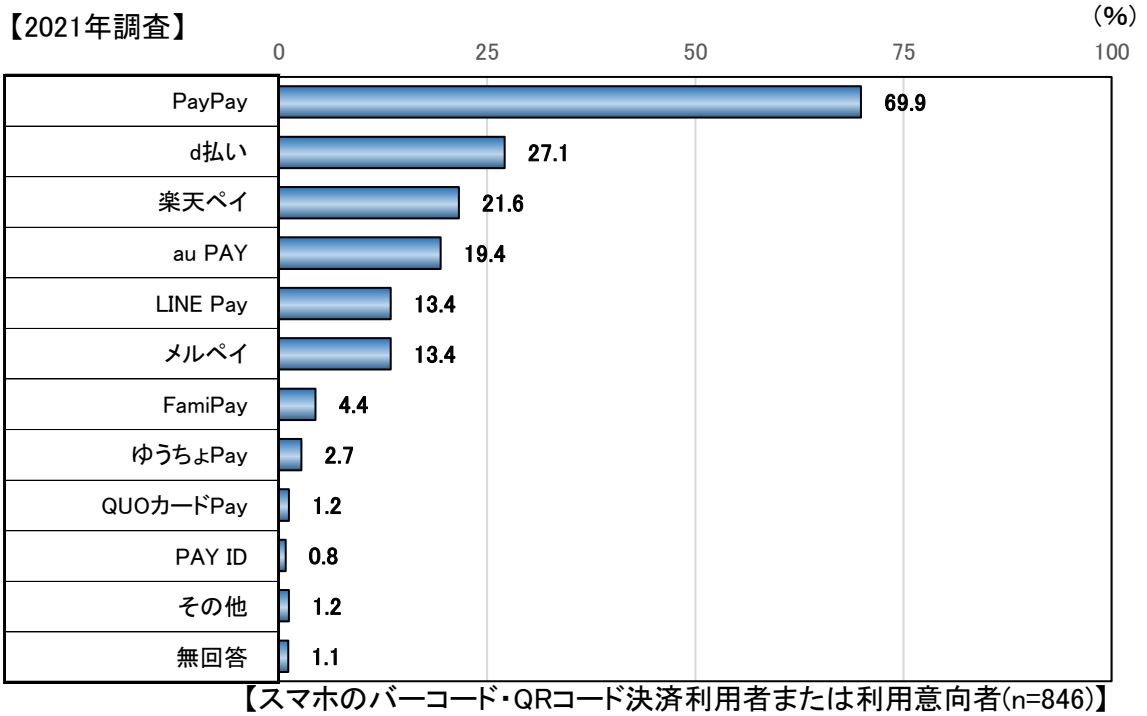
【スマホアプリの電子マネー決済利用者または利用意向者】  
※2019年調査では「Suica」として聞いている。

(図表 6-3-2) 現在利用しているバーコード・QRコード決済（問 27-2-2、複数回答）



【スマホのバーコード・QRコード決済利用者または利用意向者(n=959)】

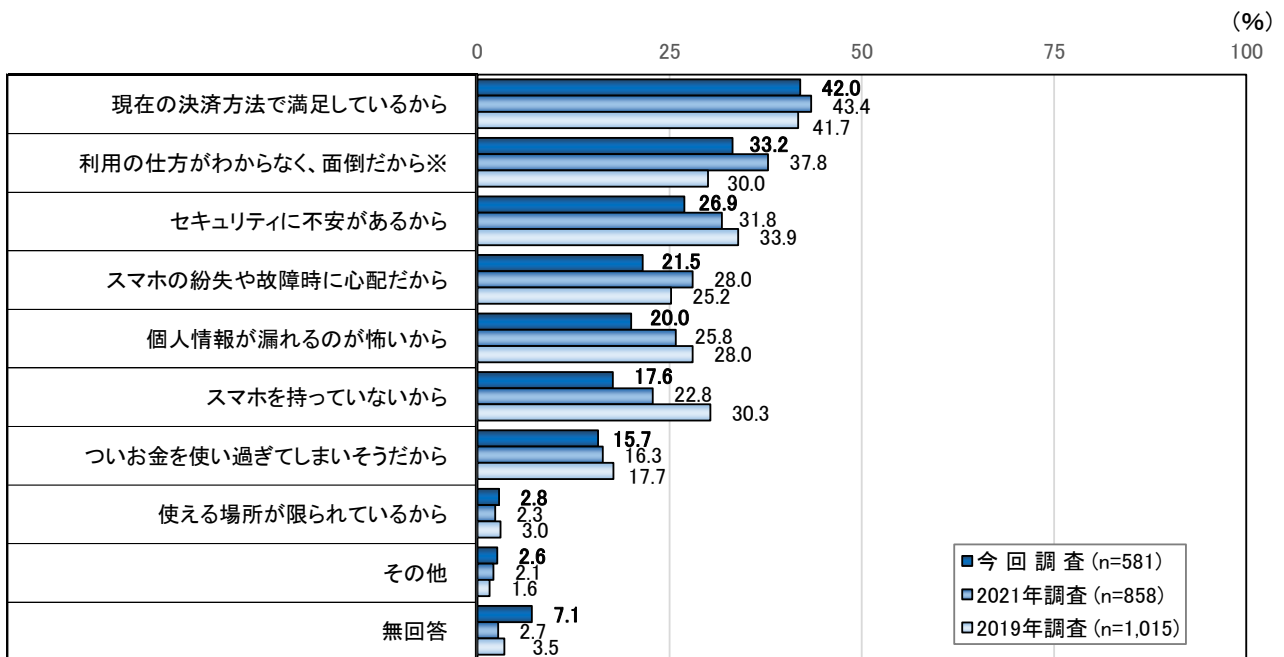
(図表6-3-2 続き) 現在利用しているバーコード・QRコード決済 (問27-2-2、複数回答)



#### (4) スマホ決済を利用しない理由

- スマホ決済を「利用するつもりはない」と回答した人 (n=581) に、利用しない理由 (複数回答) を聞いたところ、「現在の決済方法で満足しているから」が 42.0% で最も多く、次いで「利用の仕方がわからなく、面倒だから」(33.2%) が 3 割台、「セキュリティに不安があるから」(26.9%)、「スマホの紛失や故障時に心配だから」(21.5%)、「個人情報洩れるのが怖いから」(20.0%) が 2 割台で続き、以下、「スマホを持っていないから」(17.6%)、「ついお金を使い過ぎてしまいそうだから」(15.7%) の順だった。(図表 6-4)

(図表 6-4) スマホ決済を利用しない理由 (問 27-3)



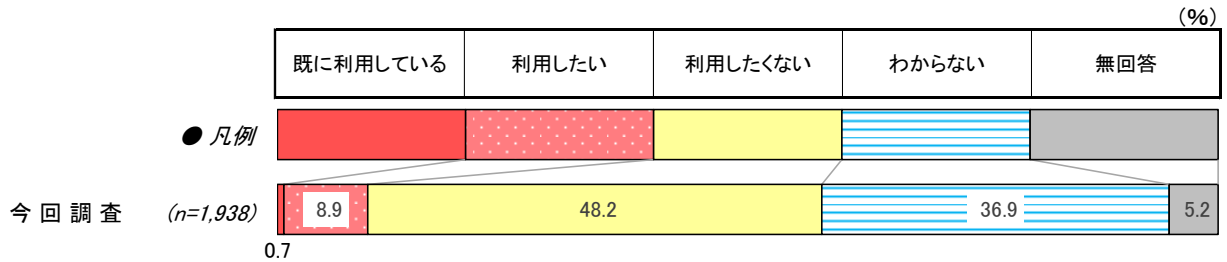
【スマホ決済非利用意向者】

※2021年調査までは、「利用の仕方がわからなく、面倒くさそうだから」と聞いていた。

(5) 「賃金のデジタル払い」について

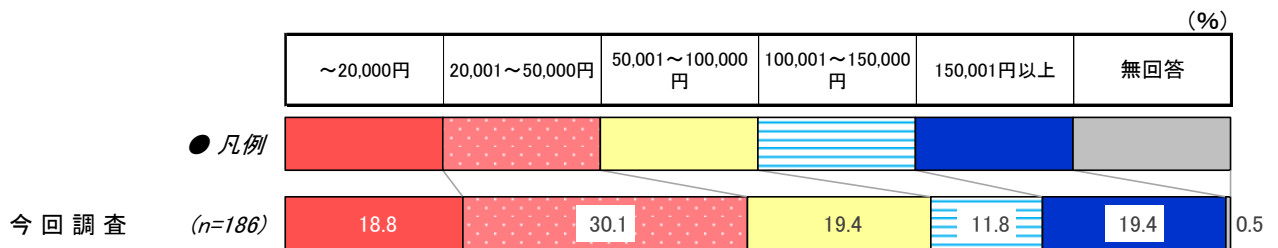
- 職場で「賃金のデジタル払い」が可能になれば利用するか聞いたところ、「利用したくない」が 48.2%、「わからない」が 36.9%だった。他方「利用したい」(8.9%)、「既に利用している」(0.7%)であった。(図表 6-5-1)

(図表 6-5-1) 「賃金のデジタル払い」について (問 28)



- 「賃金のデジタル払い」を「既に利用している」「利用したい」と回答した者 (n=186) に、毎月口座に振り込む、または振り込みたい金額を聞いたところ、「20,001～50,000 円」が 30.1%と最も多く、次いで「50,001～100,000 円」、「150,001 円以上」がともに 19.4%、「～20,000 円」(18.8%)、「100,001～150,000 円」(11.8%)であった。(図表 6-5-2)

(図表 6-5-2) 「賃金のデジタル払い」について (問 28-1)

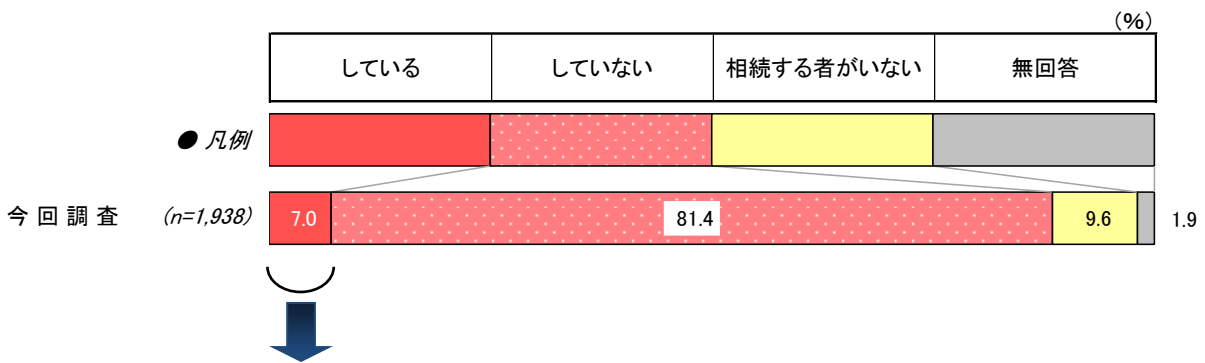


## 7. 相続対策について

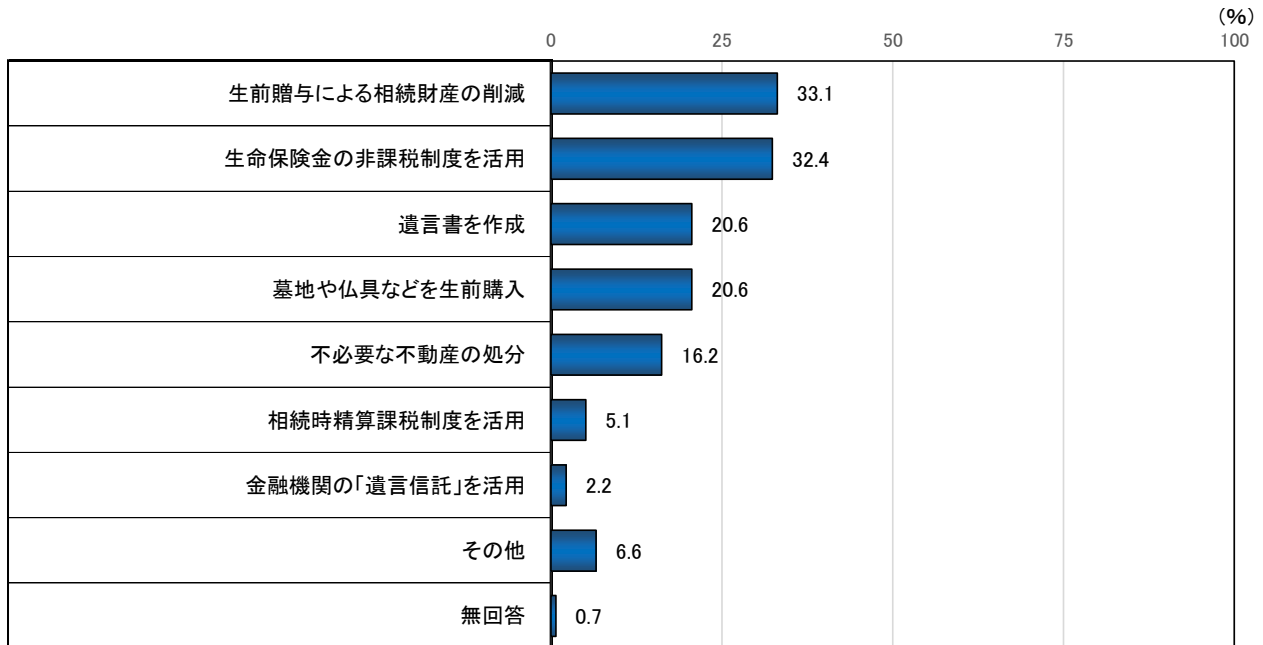
### (1) 自身の財産の相続に対する準備

- 相続対策について、自身の財産の相続に対する準備を聞いたところ、「している」は7.0%、「していない」は81.4%、「相続する者がいない」は9.6%であった。(図表 7-1-1)
- 相続対策をしている人 (n=136) に、具体的に取り組んでいる対策(複数回答)を聞いたところ、「生前贈与による相続財産の削減」が33.1%と最も多く、次いで「生命保険金の非課税制度を活用」(32.4%)、「遺言書を作成」、「墓地や仏具などを生前購入」(ともに20.6%)が2割台だった。(図表 7-1-2)

(図表 7-1-1) 自身の財産の相続に対する準備 (問 29)



(図表 7-1-2) 相続に関する対策 (問 29-1、複数回答)

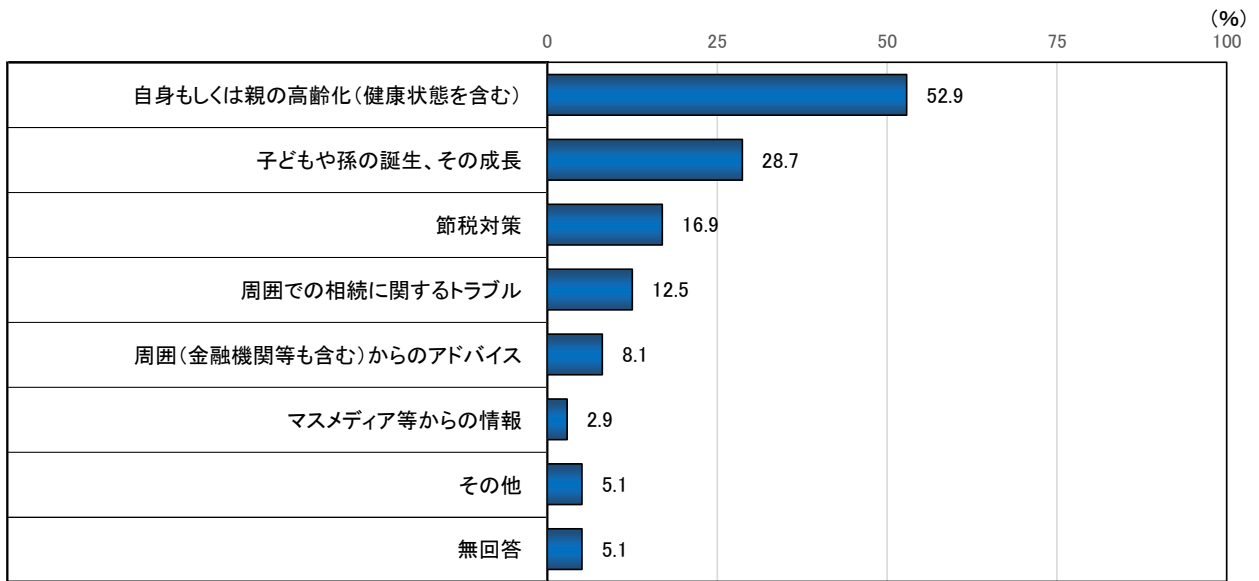


【相続対策経験者(n=136)】

## (2) 相続対策のきっかけ

- 相続対策をしている人 (n=136) に、相続対策を行うようになった主なきっかけ (2つまでの複数回答) を聞いたところ、「自身もしくは親の高齢化 (健康状態を含む)」が 52.9% と最も多く、次いで「子どもや孫の誕生、その成長」(28.7%) と 2 割台、「節税対策」(16.9%)、「周囲での相続に関するトラブル」(12.5%) が 1 割台だった。(図表 7-2)

(図表 7-2) 相続対策のきっかけ (問 29-2、2つまでの複数回答)

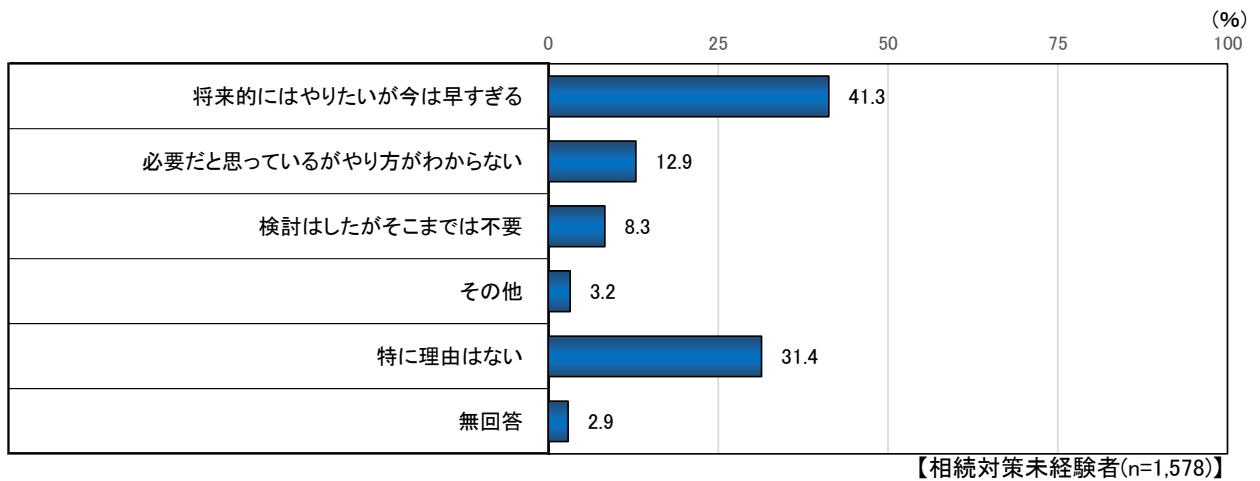


【相続対策経験者(n=136)】

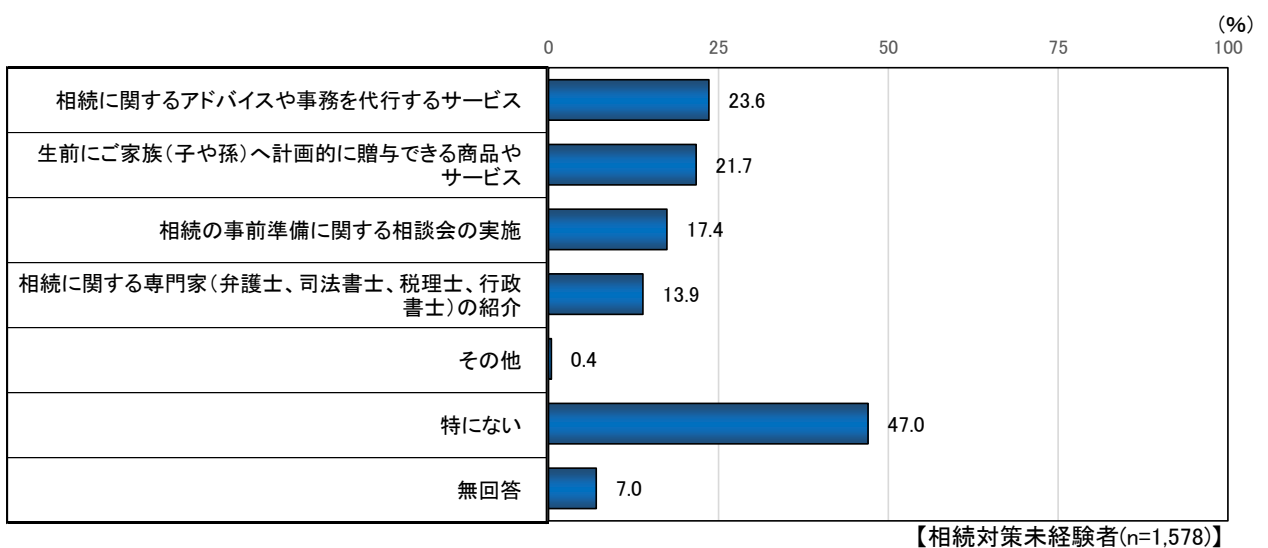
### (3) 相続対策を行っていない理由

- 相続対策を行っていない人 (n= 1,578) に、相続対策を行っていない理由 (複数回答) を聞いたところ、「将来的にはやりたいが今は早すぎる」が 41.3%と最も多く、次いで「必要だと思っているがやり方がわからない」(12.9%) が1割台だった。「特に理由はない」は 31.4%。(図表 7-3-1)
- 相続対策を行っていない人 (n=1,578) に、金融機関で利用したい相続に関する商品やサービス (複数回答) を聞いたところ、「相続に関するアドバイスや事務を代行するサービス」が 23.6%と最も多く、次いで「生前にご家族 (子や孫) へ計画的に贈与できる商品やサービス」(21.7%) が2割台、「相続の事前準備に関する相談会の実施」(17.4%)、「相続に関する専門家 (弁護士、司法書士、税理士、行政書士) の紹介」(13.9%) が1割台で続いた。「特にない」は 47.0%。(図表 7-3-2)

(図表 7-3-1) 相続対策を行っていない理由 (問 29-3、複数回答)



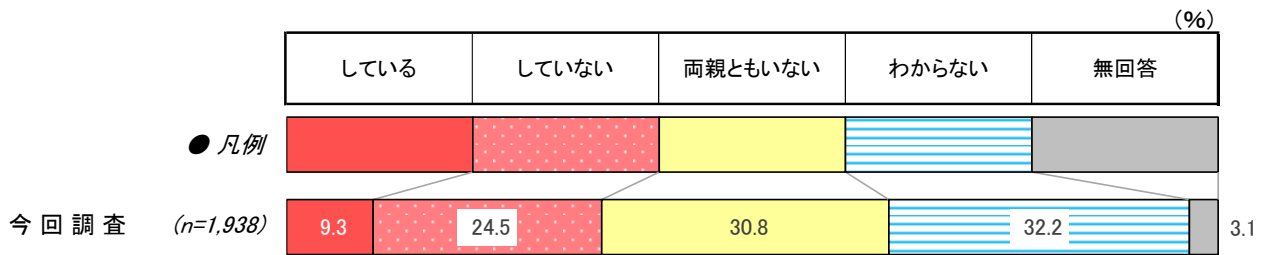
(図表 7-3-2) 利用したい相続に関する商品やサービス (問 29-4、複数回答)



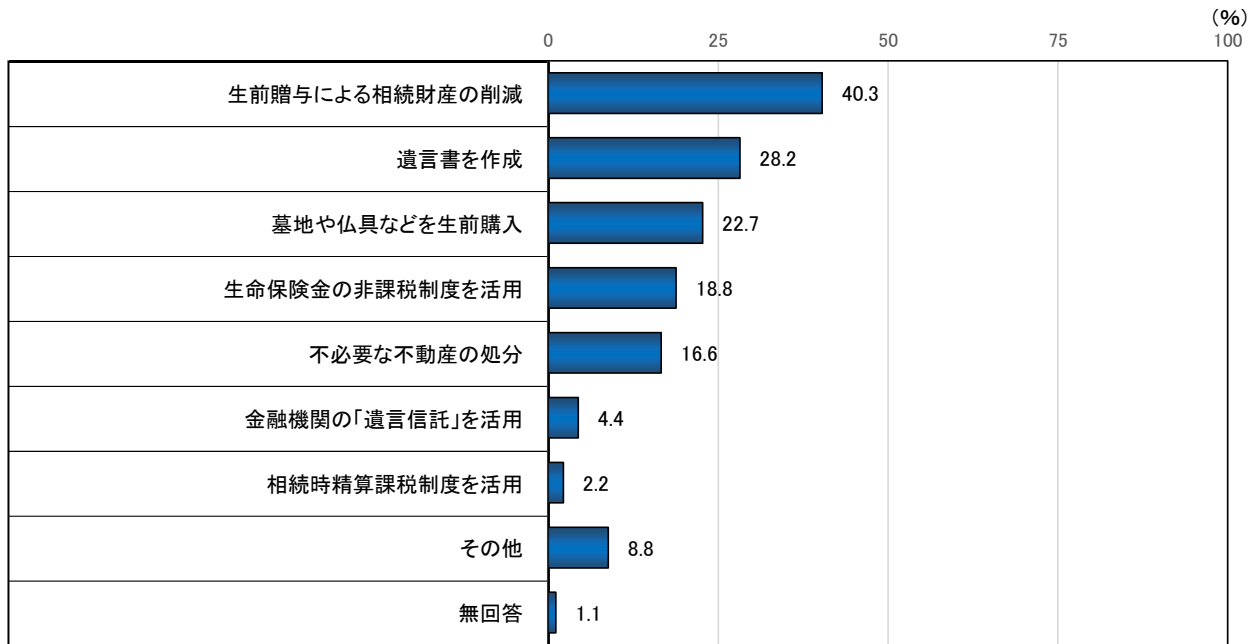
(4) 親の相続の準備

- 親の相続の準備経験を聞くと、「している」は 9.3%、「していない」は 24.5%、「両親ともいない」は 30.8%、「わからない」は 32.2%であった。(図表 7-4-1)
- 親の相続の準備経験者 (n= 181) に、具体的に行っている対策 (複数回答) を聞いたところ、「生前贈与による相続財産の削減」が 40.3%と最も多く、次いで「遺言書を作成」(28.2%)、「墓地や仏具などを生前購入」(22.7%) が 2 割台だった。(図表 7-4-2)

(図表 7-4-1) 親の相続の準備 (問 30)



(図表 7-4-2) 具体的に行っている親の相続の対策 (問 30-1、複数回答)



【親の相続準備経験者(n=181)】

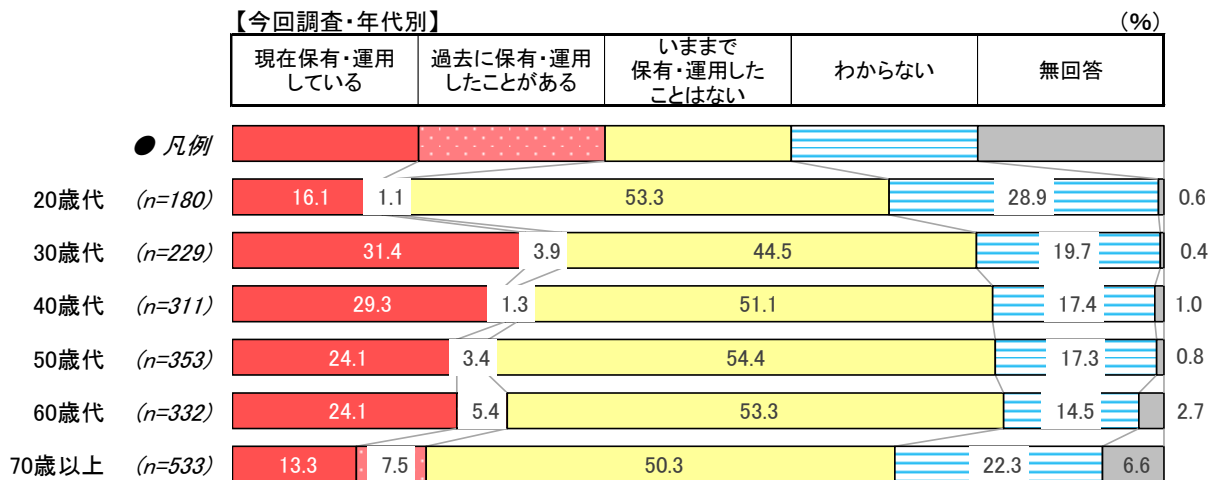
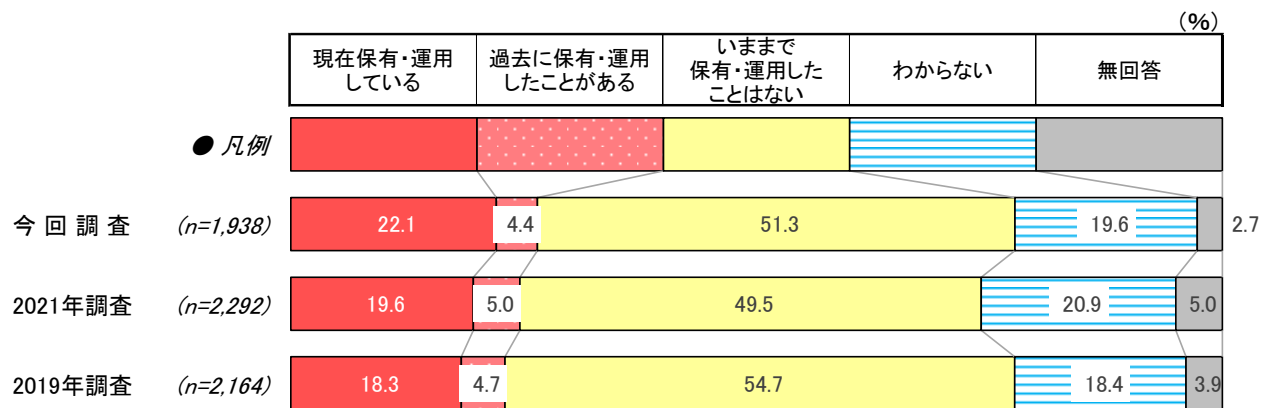


## 8. リスク性金融商品について

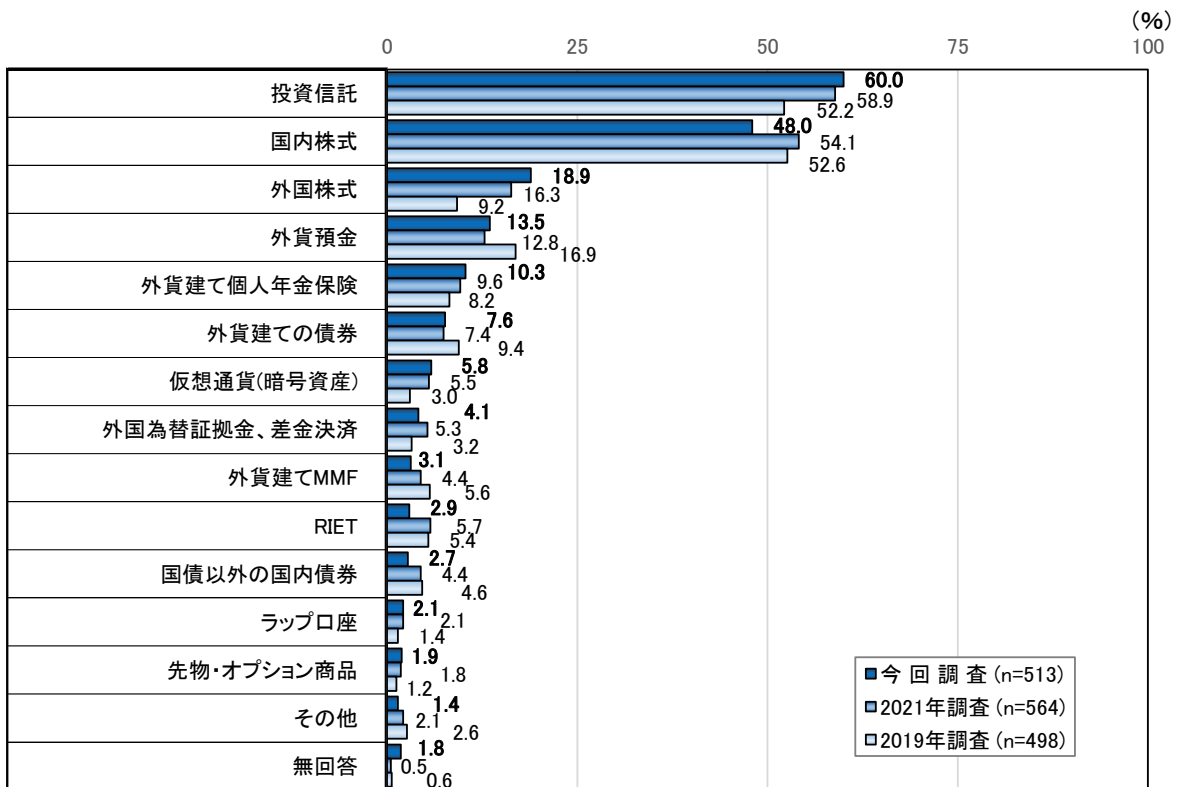
### (1) リスク性金融商品の保有・運用経験

- リスク性金融商品を「現在保有・運用している」人は 22.1%、「過去に保有・運用したことがある」が 4.4%で、合計 26.5%が保有・運用経験がある。(図表 8-1-1)
- 保有・運用経験がある人 (n=513) に、保有・運用したことのあるリスク性金融商品の種類 (複数回答) を聞くと、「投資信託」(60.0%) が最も多く、次いで「国内株式」(48.0%) が 4 割台、「外国株式」(18.9%)、「外貨預金」(13.5%)、「外貨建て個人年金保険」(10.3%) が 1 割台で、その他の商品は 1 割未満だった。(図表 8-1-2)

(図表 8-1-1) リスク性金融商品の保有・運用経験 (問 31)



(図表 8-1-2) 保有・運用したことがあるリスク性金融商品 (問 31-1、複数回答)

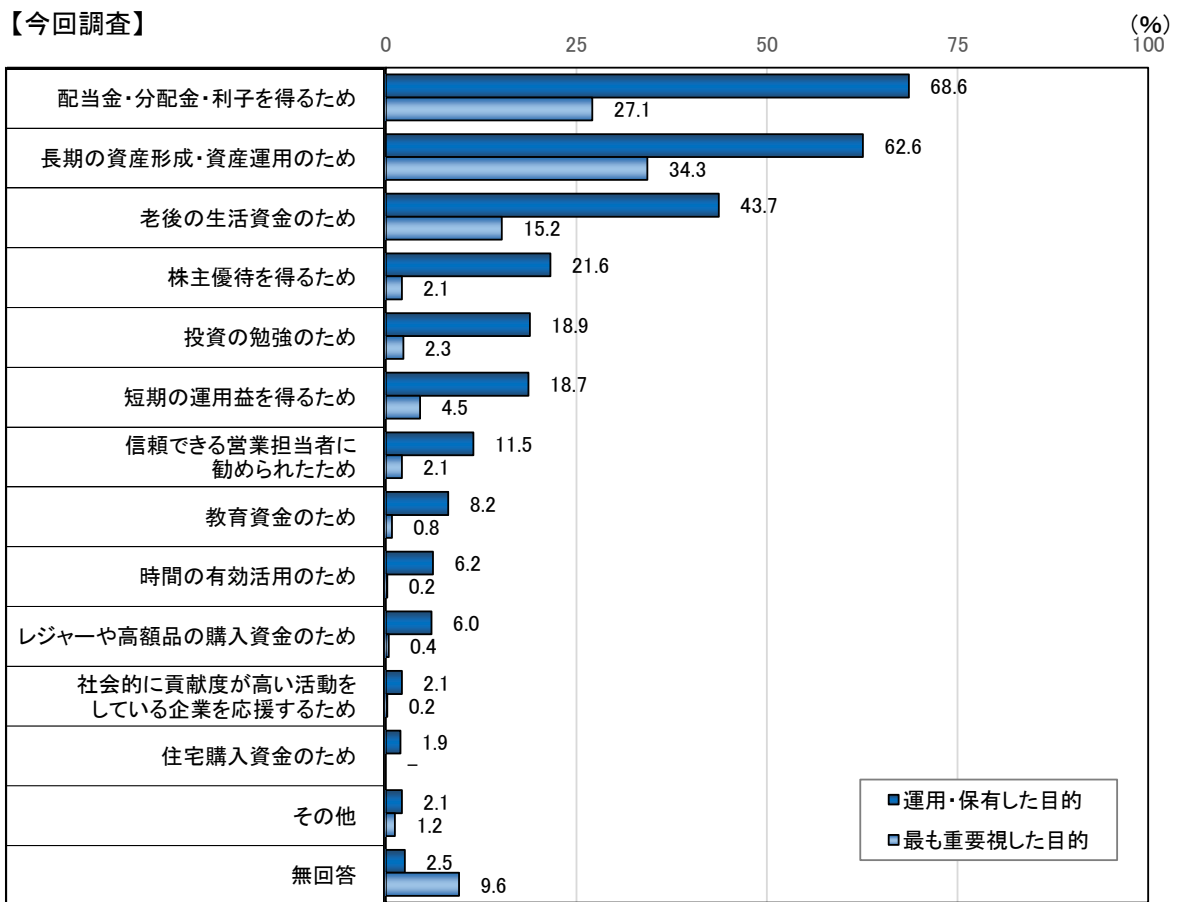


【リスク性金融商品の保有・運用経験者(n=513)】

## (2) リスク性金融商品の保有・運用の目的

- 保有・運用経験がある人 (n=513) に、保有・運用の目的 (複数回答) を聞くと、「配当金・分配金・利子を得るため」(68.6%)、「長期の資産形成・資産運用のため」(62.6%)、「老後の生活資金のため」(43.7%)、「株主優待を得るため」(21.6%)、「投資の勉強のため」(18.9%)、「短期の運用益を得るため」(18.7%)、「信頼できる営業担当者に勧められたため」(11.5%) の順で、これら以外は1割未満だった。
- そのうち最も重視したものを1つ聞くと、「長期の資産形成・資産運用のため」が34.3%、「配当金・分配金・利子を得るため」が27.1%で、この二つで約6割を占める。(図表8-2)

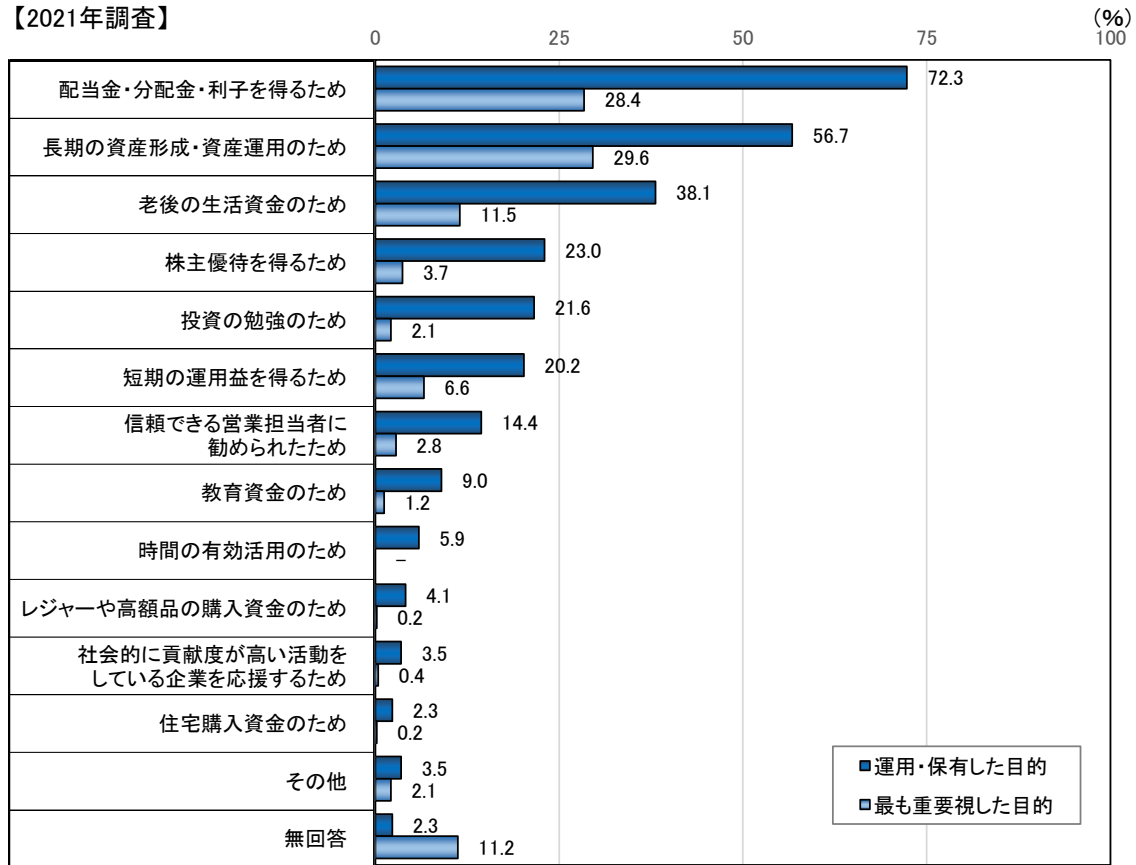
(図表8-2) リスク性金融商品を保有・運用した目的と、最も重要視した目的 (問31-2)



【リスク性金融商品の保有・運用経験者(n=513)】

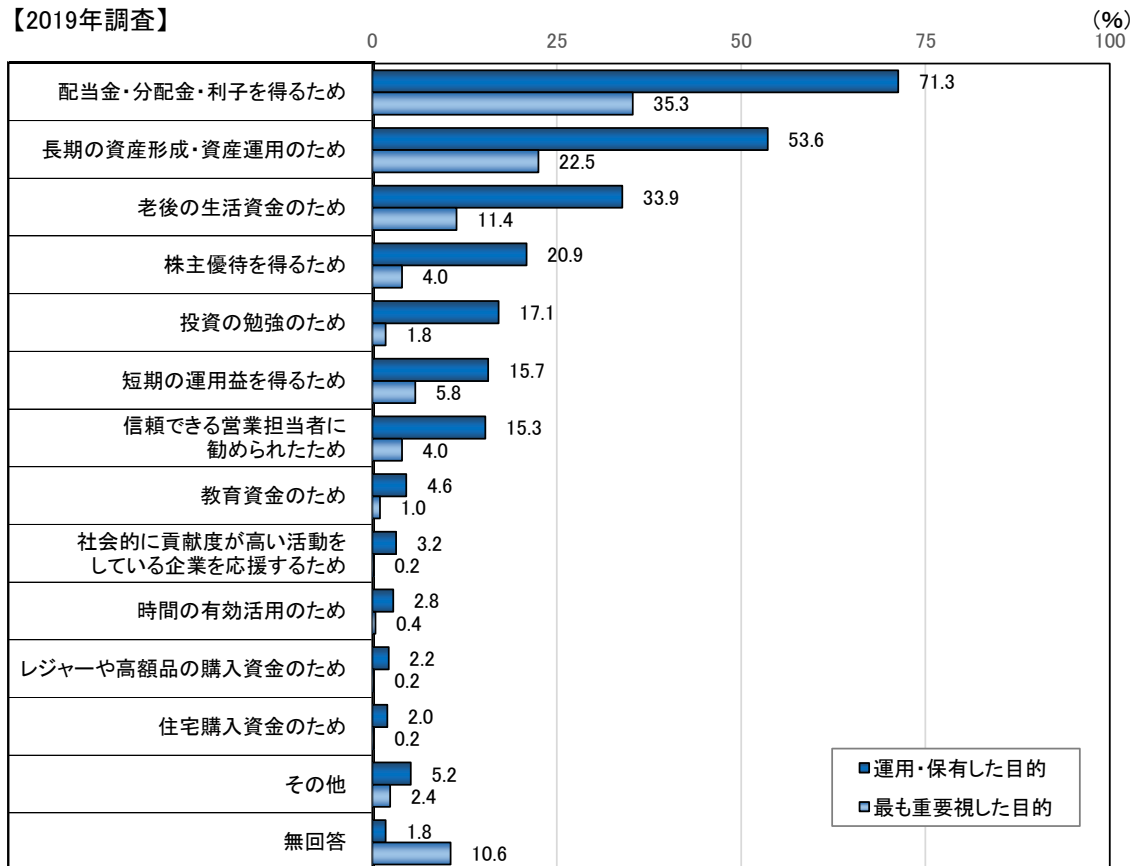
(図表8-2 続き) リスク性金融商品を保有・運用した目的と、最も重要視した目的 (問 31-2)

【2021年調査】



【リスク性金融商品の保有・運用経験者(n=564)】

【2019年調査】

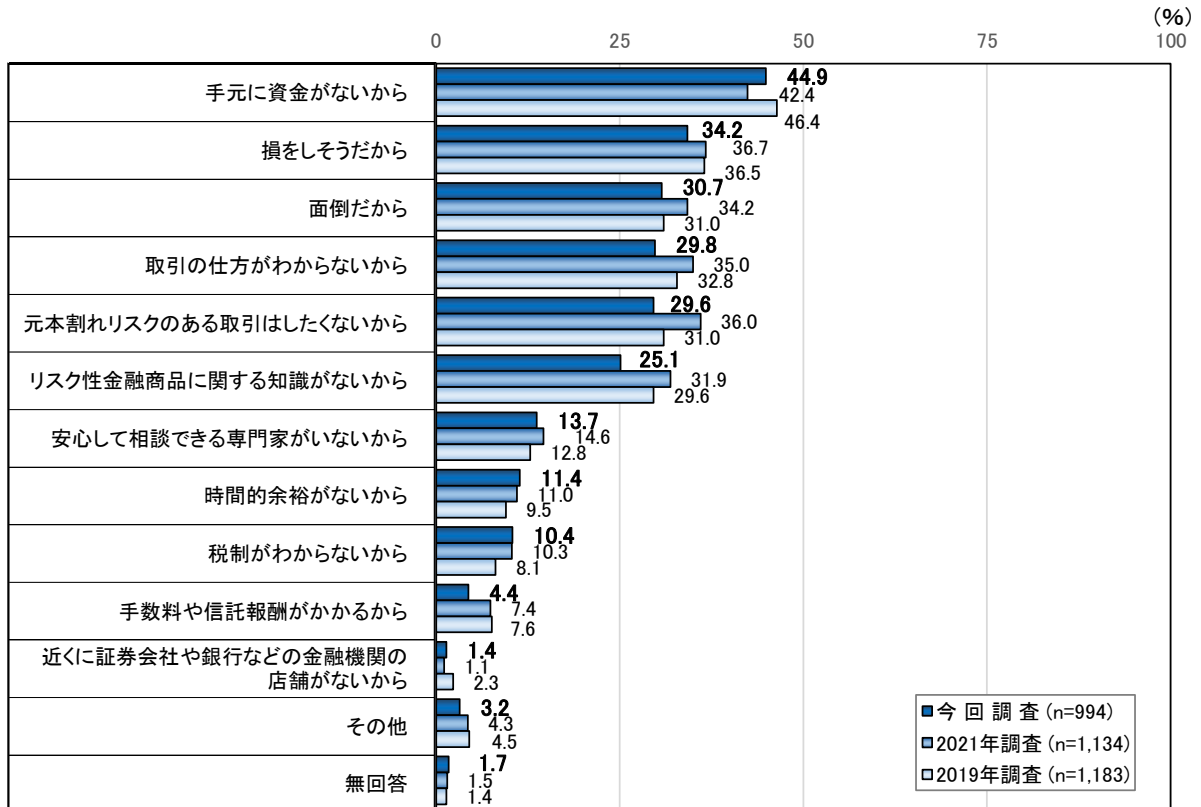


【リスク性金融商品の保有・運用経験者(n=498)】

### (3) リスク性金融商品を保有・運用しない理由

- 保有・運用経験がない人 (n=994) に、保有・運用していない理由 (複数回答) を聞くと、「手元に資金がないから」が 44.9% で最も多く、次いで「損をしそうだから」(34.2%)、「面倒だから」(30.7%) が 3 割台、「取引の仕方がわからないから」(29.8%)、「元本割れリスクのある取引はしたくないから」(29.6%)、「リスク性金融商品に関する知識がないから」(25.1%) が 2 割台で続く。(図表 8-3)

(図表 8-3) リスク性金融商品を保有・運用していない理由 (問 31-3、複数回答)

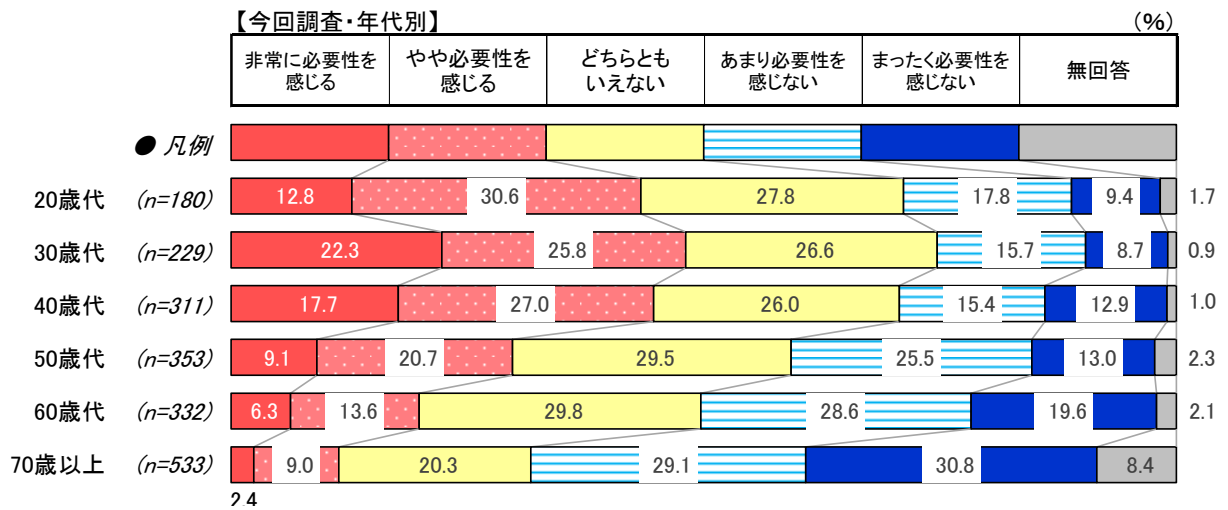
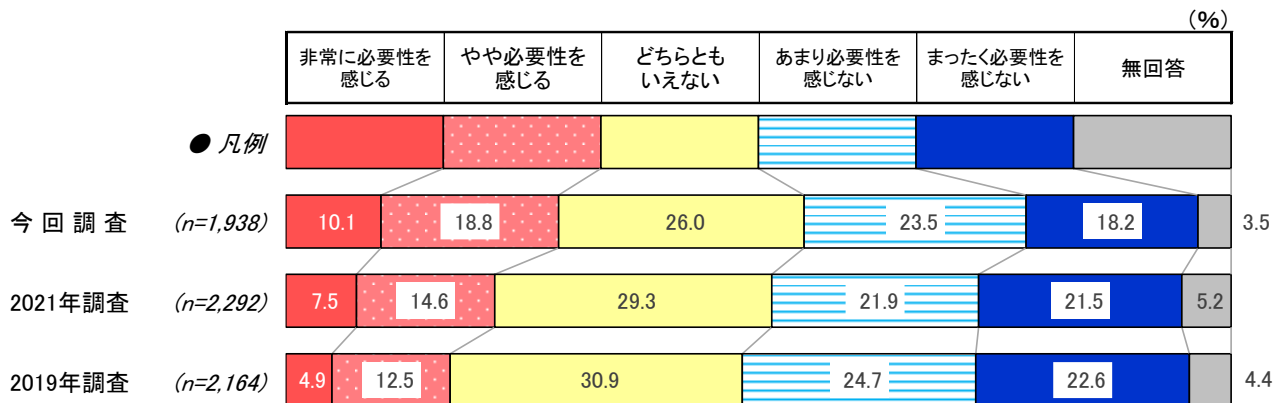


【リスク性金融商品の保有・運用未経験者】

#### (4) リスク性金融商品を保有する必要性

- リスク性金融商品を保有することの必要性の意識の程度を聞くと、「どちらともいえない」が約3割(26.0%)で最も多い。『必要性を感じない』(「あまり必要性を感じない」「まったく必要性を感じない」の合計)は41.7%で、『必要性を感じる』(「非常に必要性を感じる」「やや必要性を感じる」の合計)の28.8%を大きく上回る。(図表8-4)

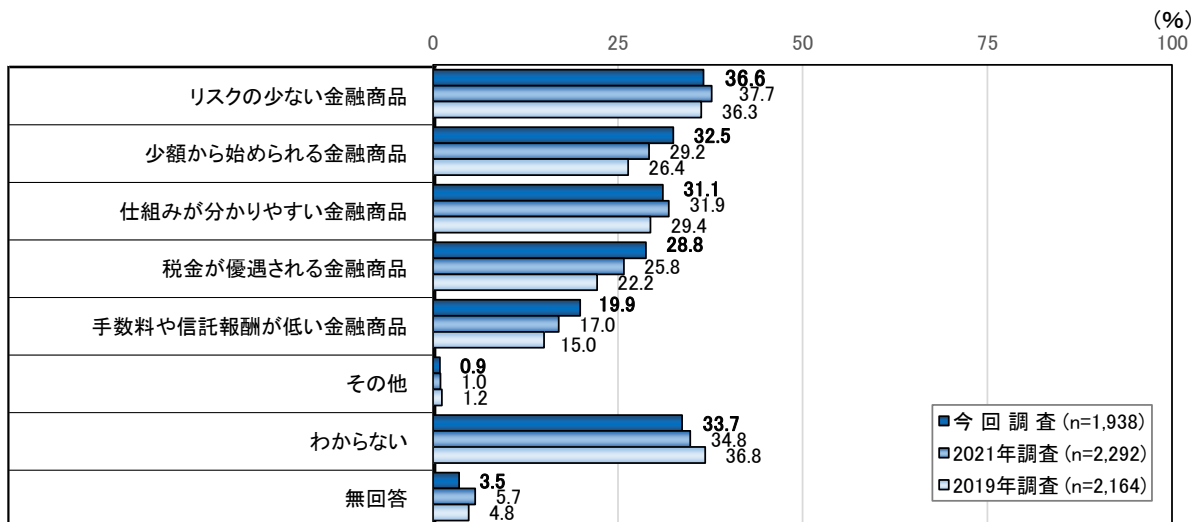
(図表8-4) リスク性金融商品(投資信託など)を保有する必要性(問32)



### (5) 魅力を感じるリスク性金融商品

- 魅力を感じるリスク性金融商品（複数回答）は、「リスクの少ない金融商品」が36.6%で最も多い。次いで「少額から始められる金融商品」（32.5%）、「仕組みがわかりやすい金融商品」（31.1%）、「税金が優遇される金融商品」（28.8%）、「手数料や信託報酬が低い金融商品」（19.9%）の順で続く。  
（図表 8-5）

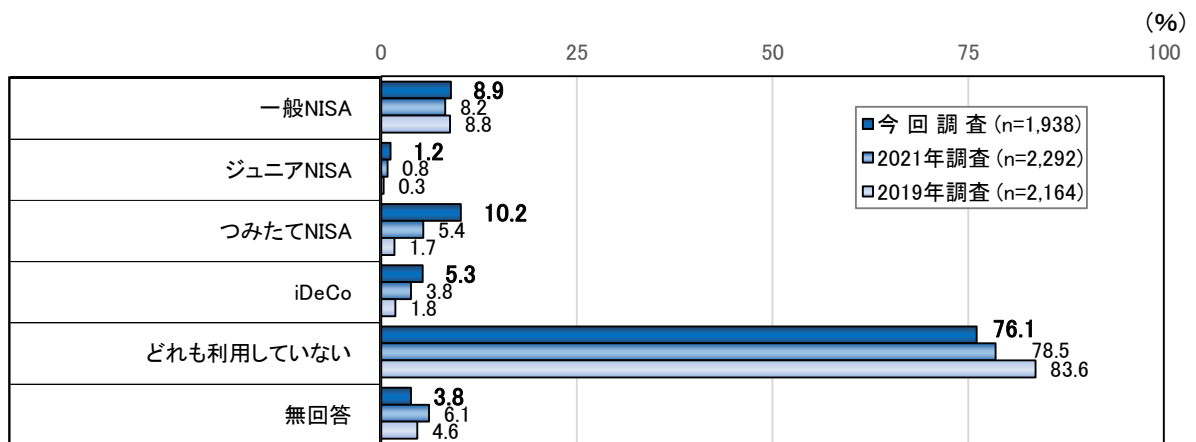
(図表 8-5) 魅力を感じるリスク性金融商品（問 33、複数回答）



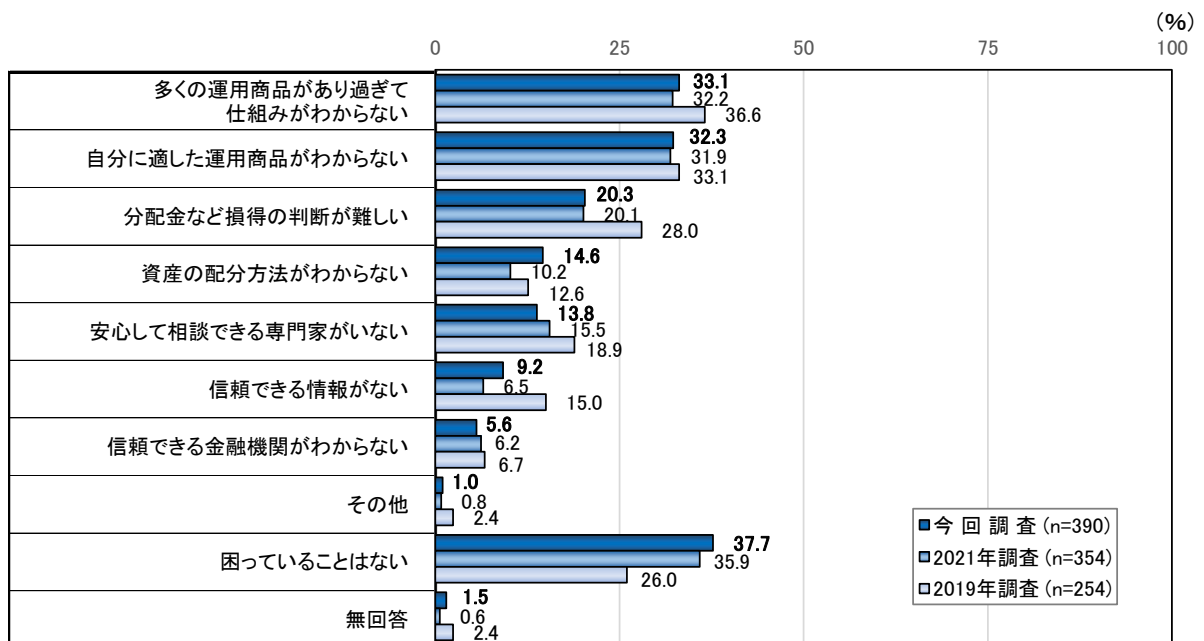
(6) 税制が優遇される長期資産形成制度の利用

- 税制が優遇される長期資産形成制度のうち利用しているもの(複数回答)を聞くと、「つみたてNISA」(10.2%)、次いで「一般NISA」(8.9%)が多かった。「どれも利用していない」は8割弱(76.1%)を占めた。(図表 8-6-1)
- NISA や iDeCo を利用している人 (n=390) に、運用商品を選択する際に困っていること(複数回答)を聞くと、「多くの運用商品があり過ぎて仕組みがわからない」(33.1%)、「自分に適した運用商品がわからない」(32.3%)、「分配金など損得の判断が難しい」(20.3%)の順に多い。「困っていることはない」は37.7%。(図表 8-6-2)

(図表 8-6-1) 長期資産形成制度の利用 (問 34、複数回答)



(図表 8-6-2) NISA や iDeCo の運用消費を選ぶ際に困っていること (問 34-1、複数回答)



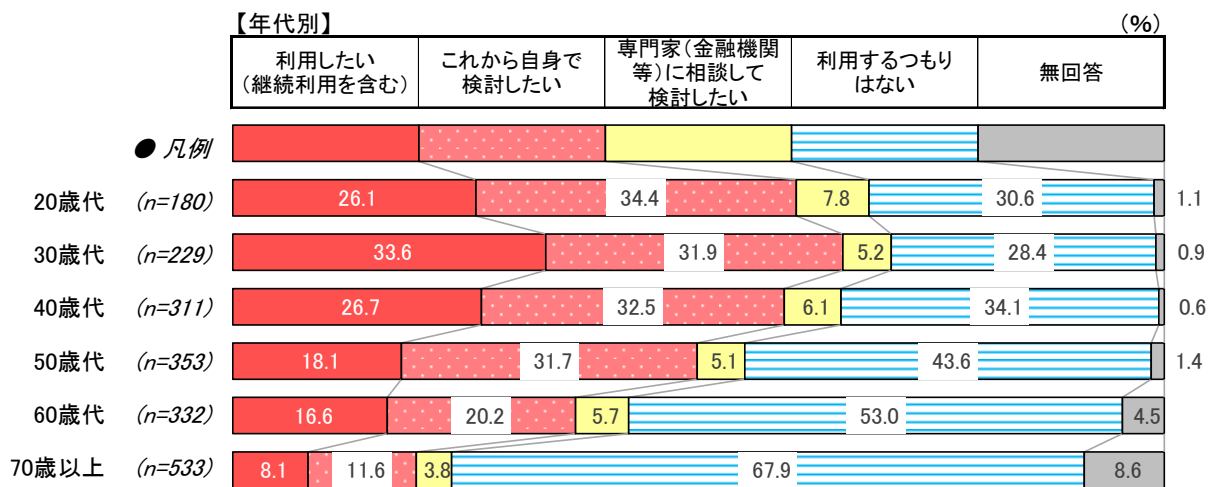
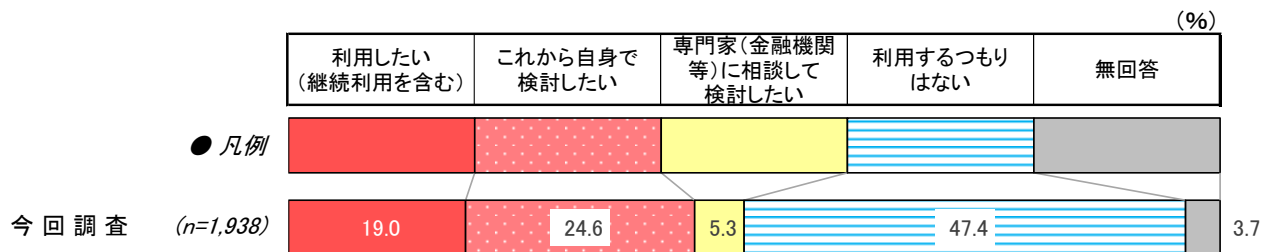
【長期資産形成制度利用者】



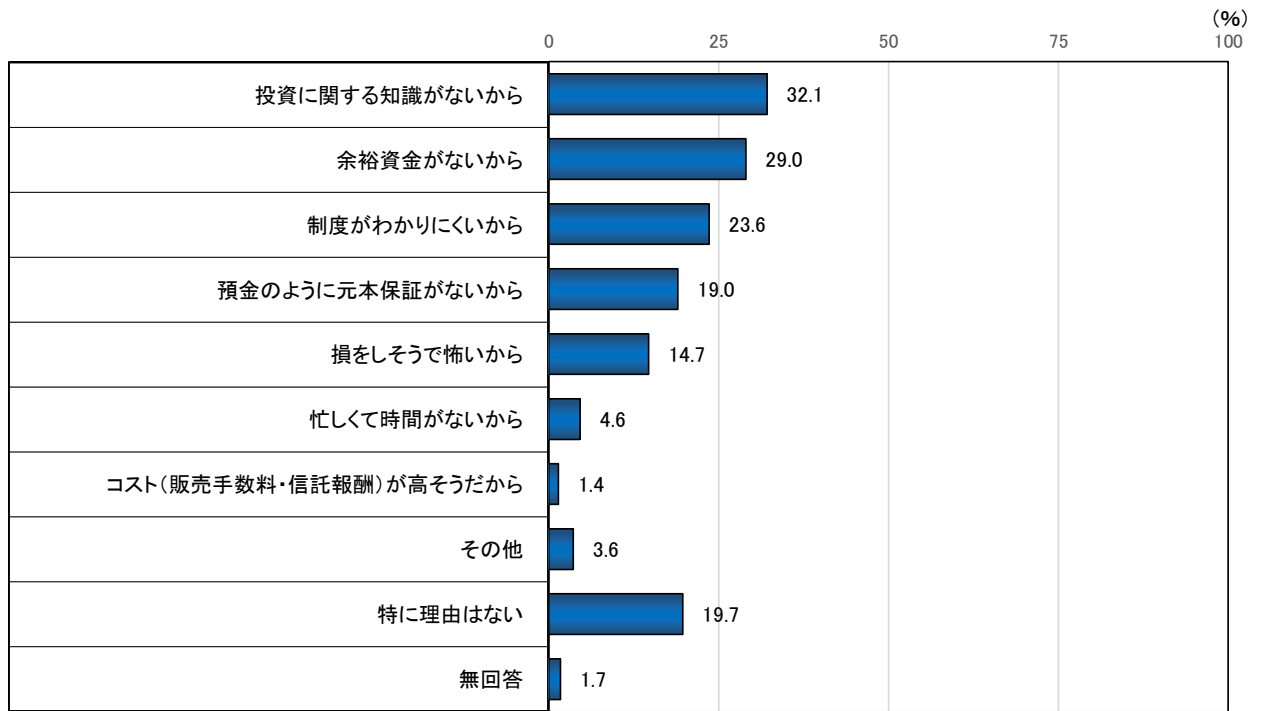
(7) 新しいNISAの利用意向

- 2024年から導入される新しいNISA制度の利用意向を聞くと、「利用したい（継続利用を含む）」は19.0%、「これから自身で検討したい」は24.6%、「専門家（金融機関等）に相談して検討したい」は5.3%、「利用するつもりはない」は47.4%だった。（図表8-7-1）
- 新しいNISAを利用するつもりはない人（n=918）に、新しいNISAを利用しない理由（2つまでの複数回答）を聞くと、「投資に関する知識がないから」（32.1%）が最も多く、次いで「余裕資金がないから」（29.0%）、「制度がわかりにくいから」（23.6%）、「預金のように元本保証がないから」（19.0%）、「損をしそうで怖いから」（14.7%）が続いた。「特に理由はない」は19.7%。（図表8-7-2）

(図表8-7-1) 新しいNISAの利用意向 (問35)



(図表 8-7-2) 新しいNISA を利用しない理由 (問 35-1、2つまでの複数回答)



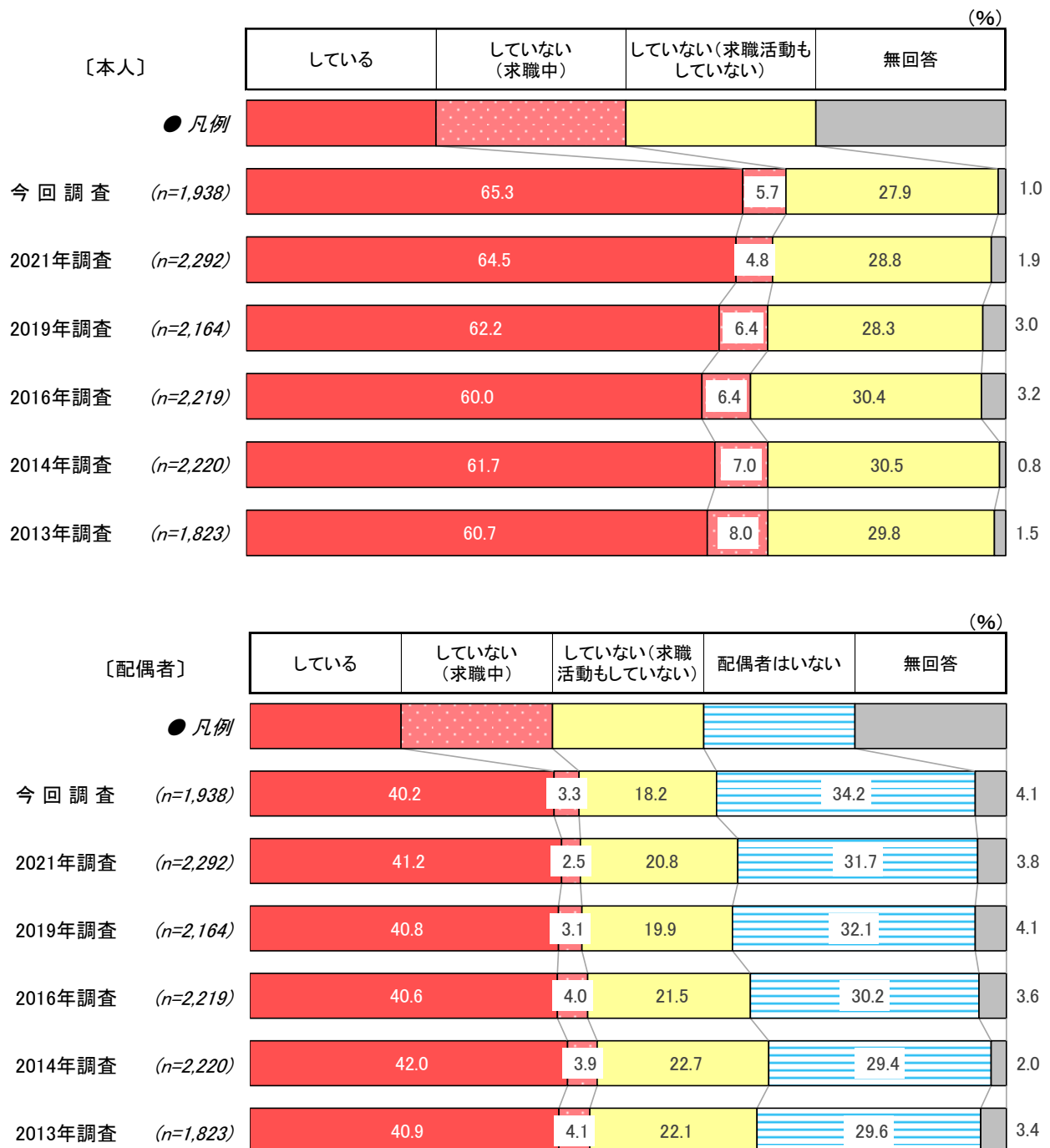
【新NISA非利用意向者(n=918)】

## 9. 就業状況について

### (1) 現在就業状況 (本人・配偶者)

- 回答者本人で現在収入をとまなう仕事を「している」人は65.3%で、現在収入をとまなう仕事を「していない (求職中)」人は5.7%、「していない (求職活動もしていない)」人は27.9%となった。
- 一方、配偶者が、現在収入をとまなう仕事を「している」と回答した人は40.2%、「していない (求職中)」は3.3%、「していない (求職活動もしていない)」は18.2%となった。3割は、「配偶者はいない」(34.2%)という回答であった。(図表 9-1)

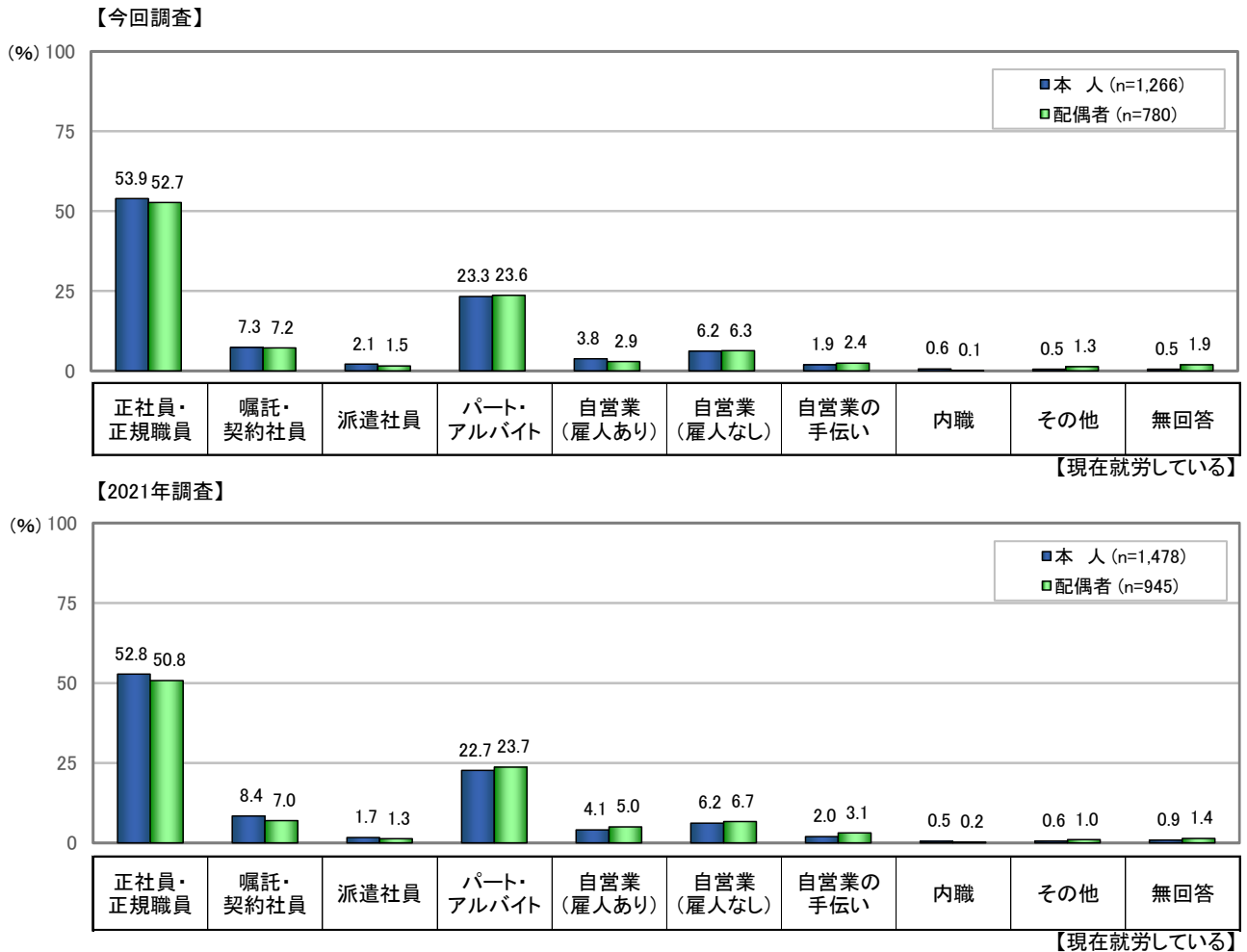
(図表 9-1) 現在就業状況 (本人・配偶者) (問 36・問 37)



(2) 就業者の雇用形態（本人・配偶者）

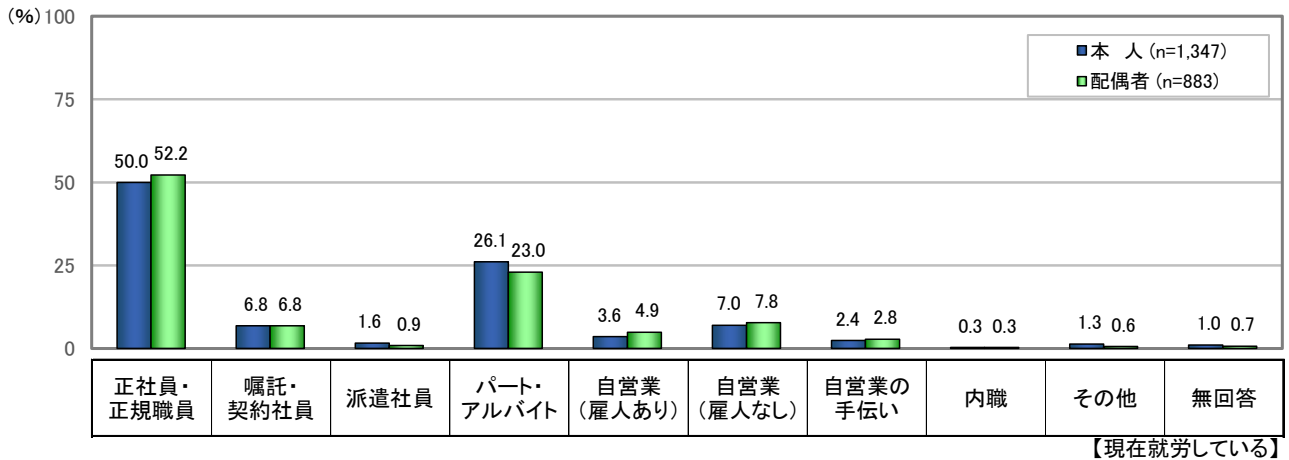
- 有職回答者（n=1,266）の雇用形態は、「正社員・正規職員」が 53.9%、「パート・アルバイト」が 23.3%、「嘱託・契約社員」が 7.3%、「自営業（雇人なし）」が 6.2%となった。
- 一方、有職配偶者（n=780）の雇用形態は、「正社員・正規職員」が 52.7%、「パート・アルバイト」が 23.6%、「嘱託・契約社員」が 7.2%、「自営業（雇人なし）」が 6.3%となった。（図表 9-2）

（図表 9 - 2）就業者の雇用形態（本人・配偶者）（問 36-1①・問 37-1①）

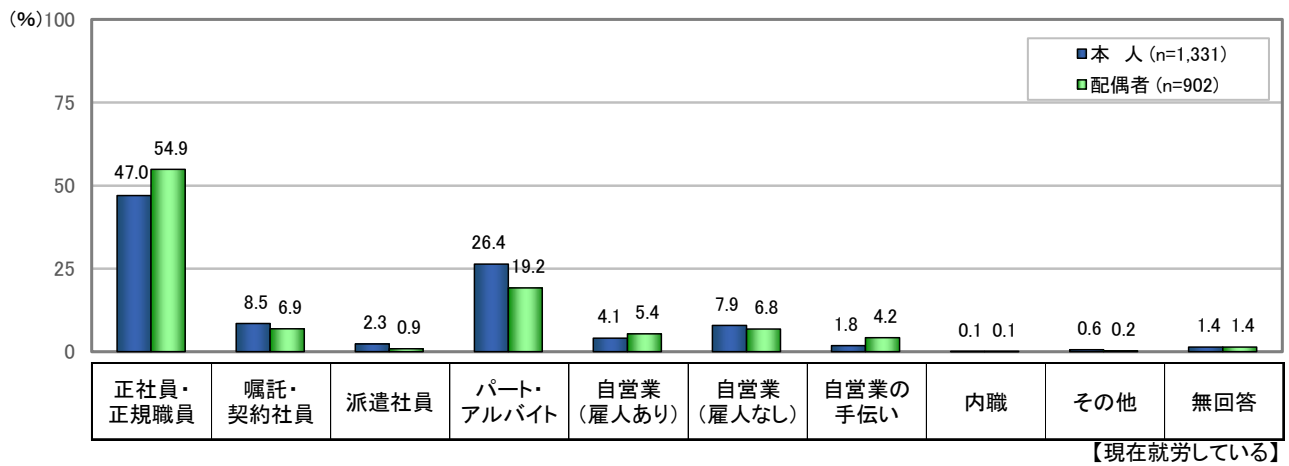


(図表9-2 続き) 就業者の雇用形態 (本人・配偶者) (問36-1①・問37-1①)

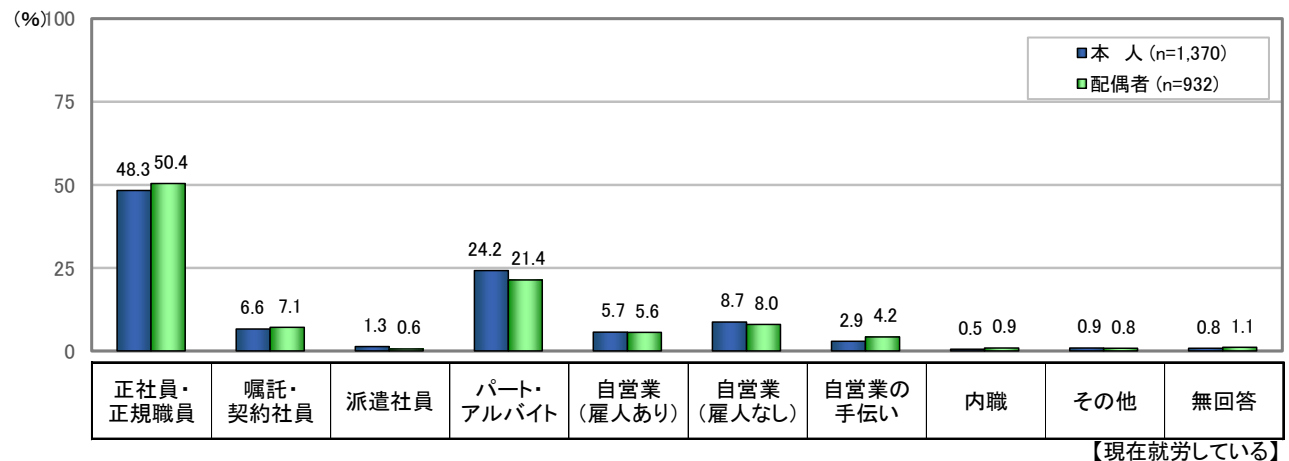
【2019年調査】



【2016年調査】



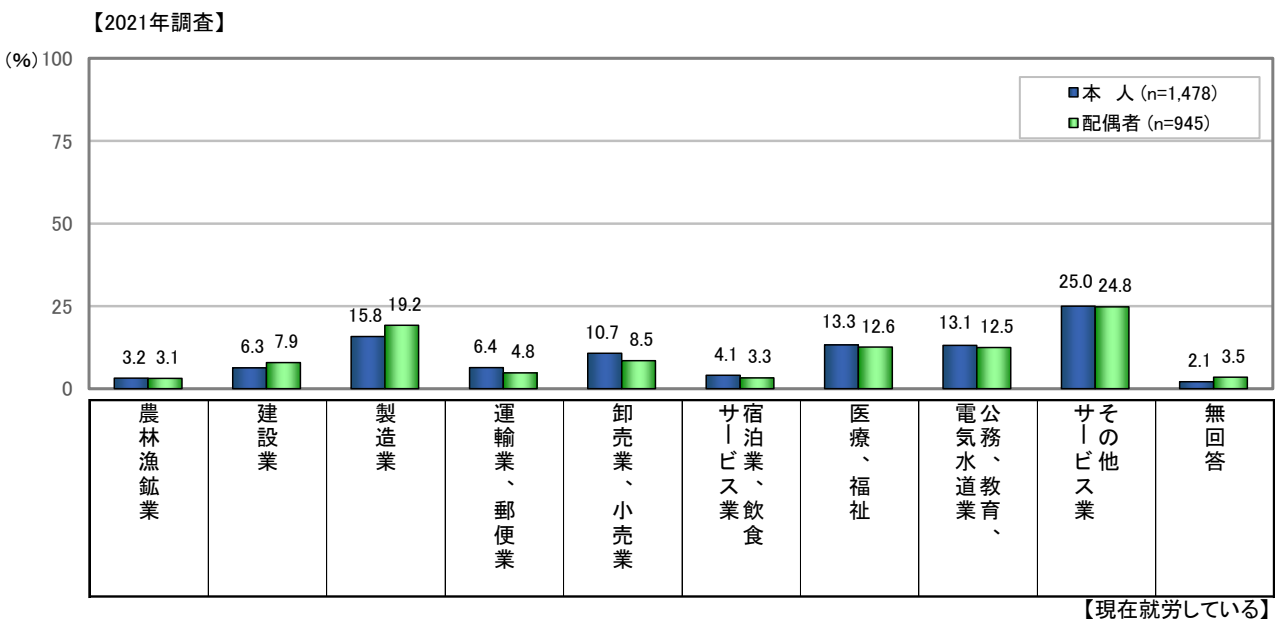
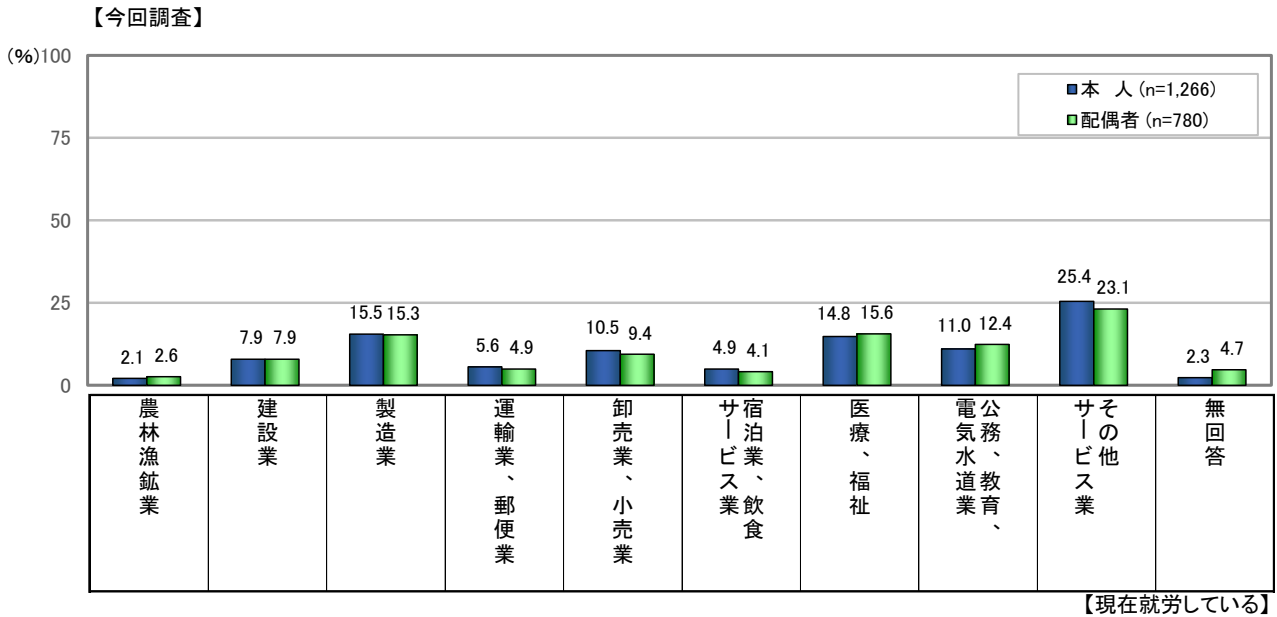
【2014年調査】



### (3) 就業者の業種（本人・配偶者）

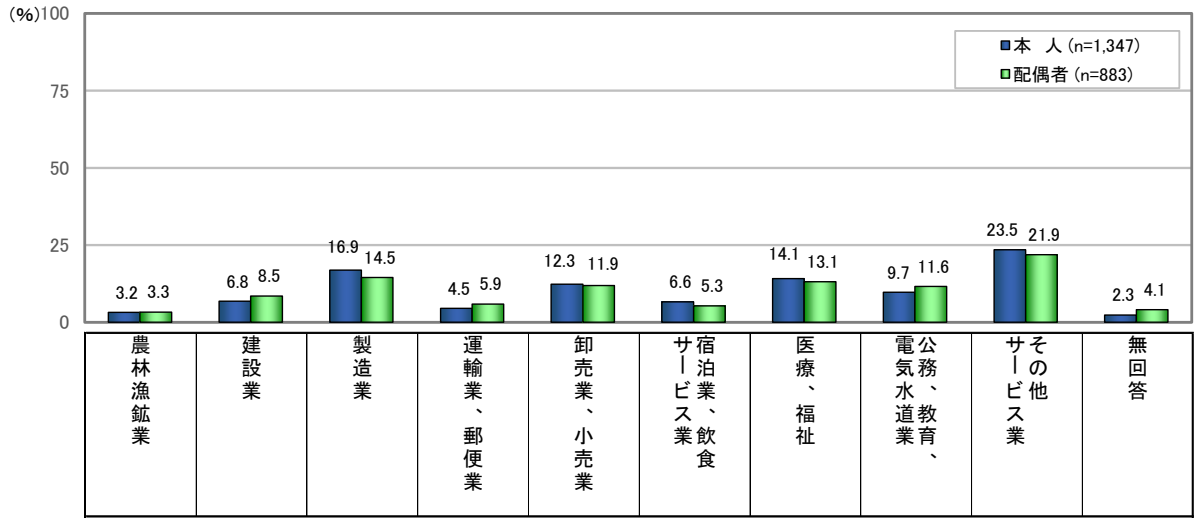
- 有職回答者 (n=1,266) の業種は、「その他サービス業」が 25.4% で最も多く、次いで「製造業」(15.5%)、「医療・福祉」(14.8%)、「公務、教育、電気水道業」(11.0%) と続いた。
- 配偶者 (n=780) も、「その他サービス業」が 23.1% で最も多く、次いで「医療・福祉」(15.6%)、「製造業」(15.3%)、「公務、教育、電気水道業」(12.4%) と続いた。(図表 9-3)

(図表 9-3) 就業者の業種（本人・配偶者）（問 36-1②・問 37-1②）



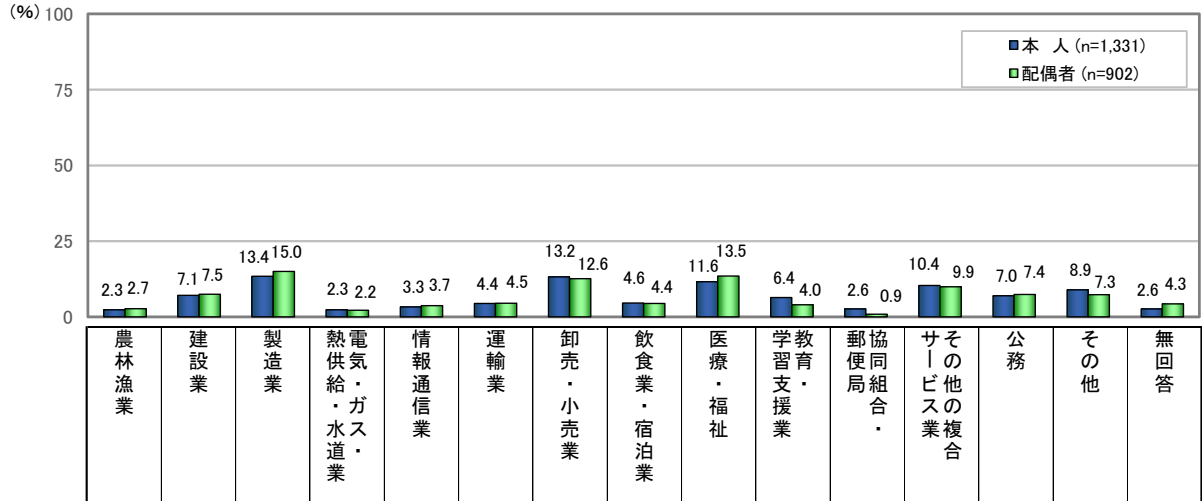
(図表9-3 続き) 就業者の業種 (本人・配偶者) (問 36-1②・問 37-1②)

【2019年調査】



【現在就労している】

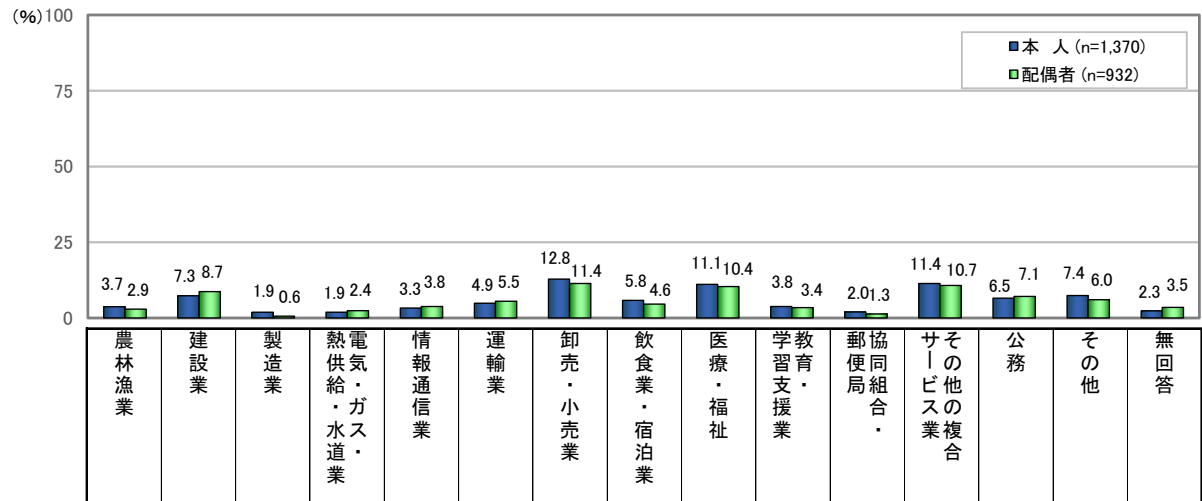
【2016年調査】



【現在就労している】

2019年調査以降の選択肢は、2016年調査以前の選択肢から変更されている

【2014年調査】



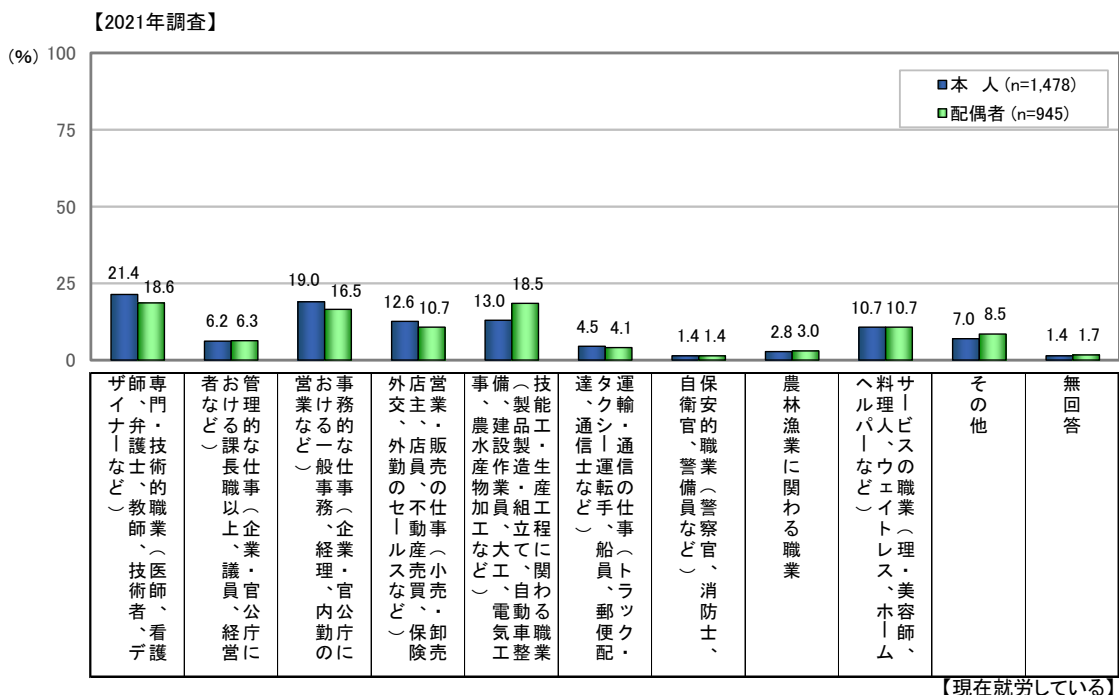
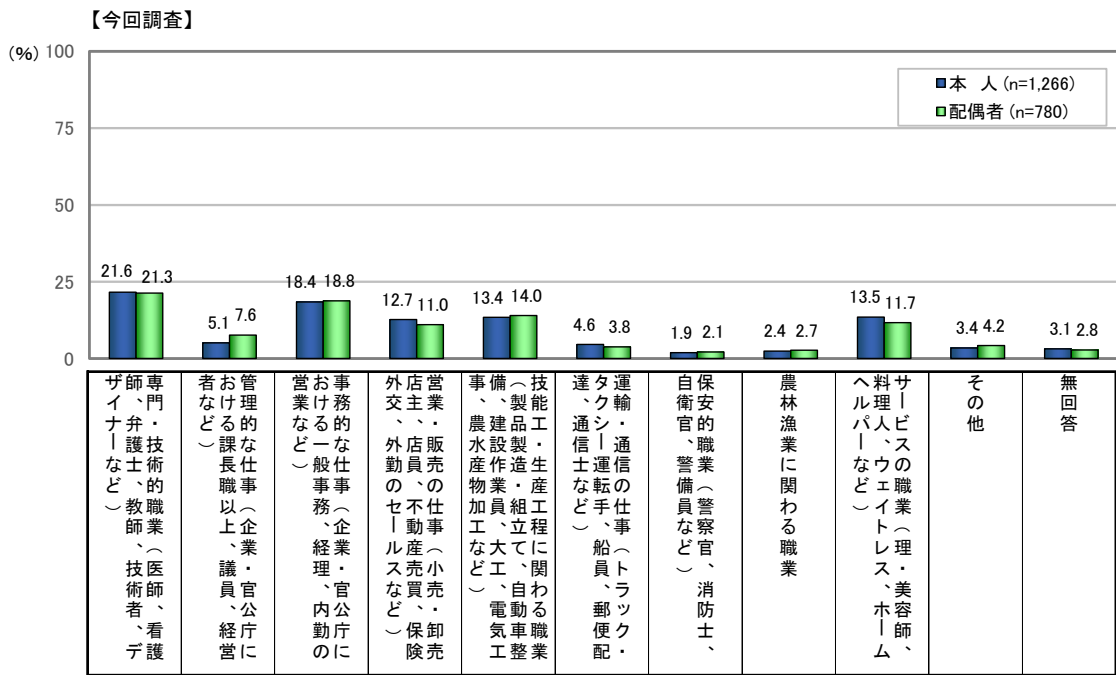
【現在就労している】

2019年調査以降の選択肢は、2014年/2016年調査の選択肢から変更されている

(4) 就業者の職種 (本人・配偶者)

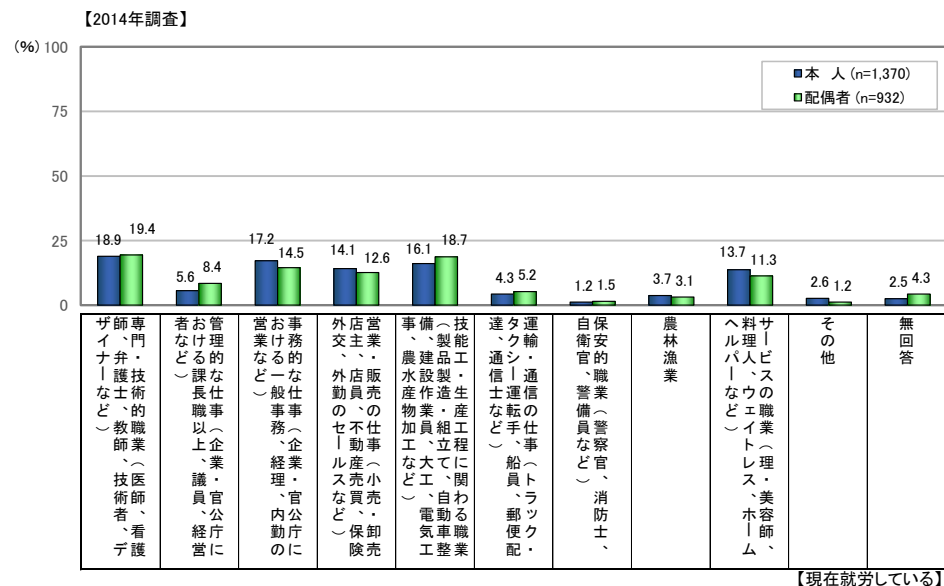
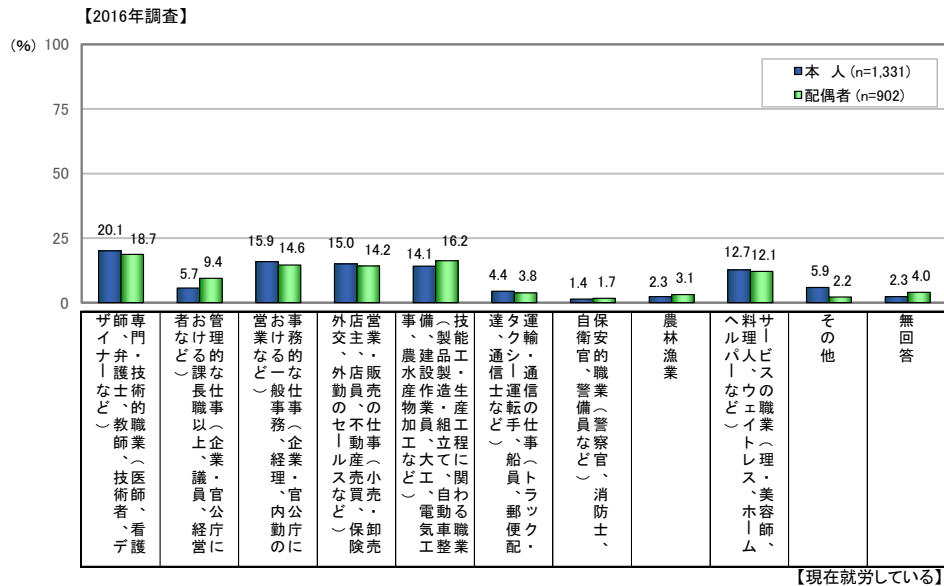
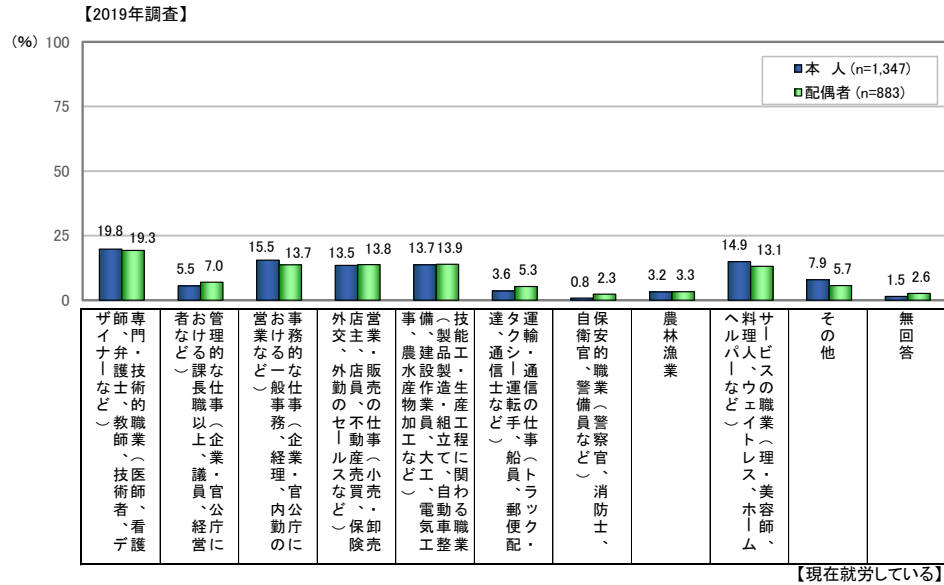
- 有職回答者 (n=1,266) の職種は、「専門・技術的職業」(21.6%)、「事務的な仕事」(18.4%)、「サービスの職業」(13.5%)、「技能工・生産工程に関わる職業」(13.4%)、「営業・販売の仕事」(12.7%)、の順となった。
- 有職配偶者 (n=780) の職種は、「専門・技術的職業」(21.3%) に次いで、「事務的な仕事」(18.8%)、「技能工・生産工程に関わる職業」(14.0%)、「サービスの職業」(11.7%)、「営業・販売の仕事」(11.0%) の順となった。(図表 9-4)

(図表 9-4) 就業者の職種 (本人・配偶者) (問 36-1③・問 37-1③)





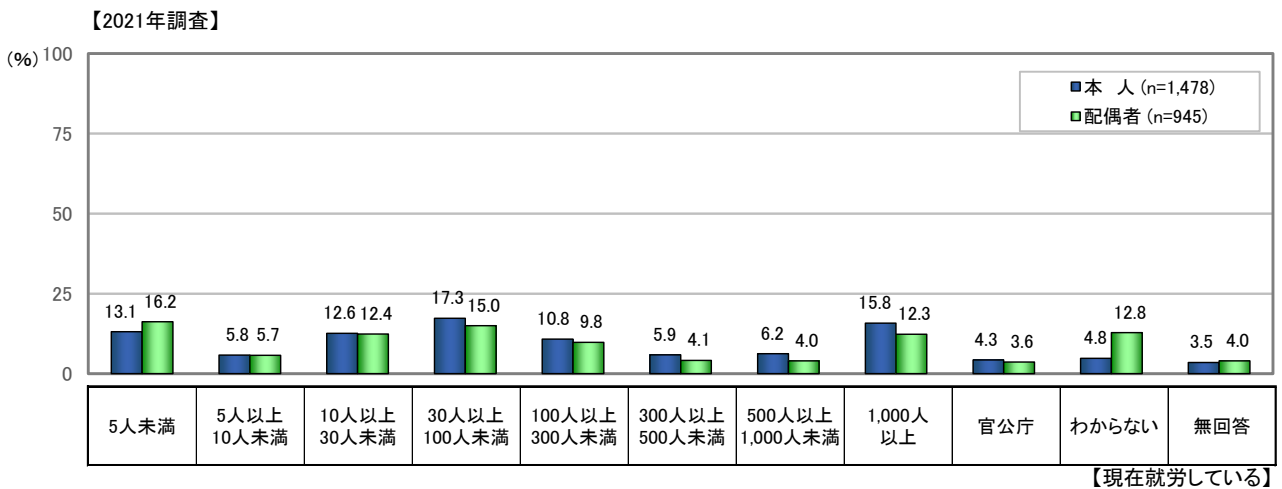
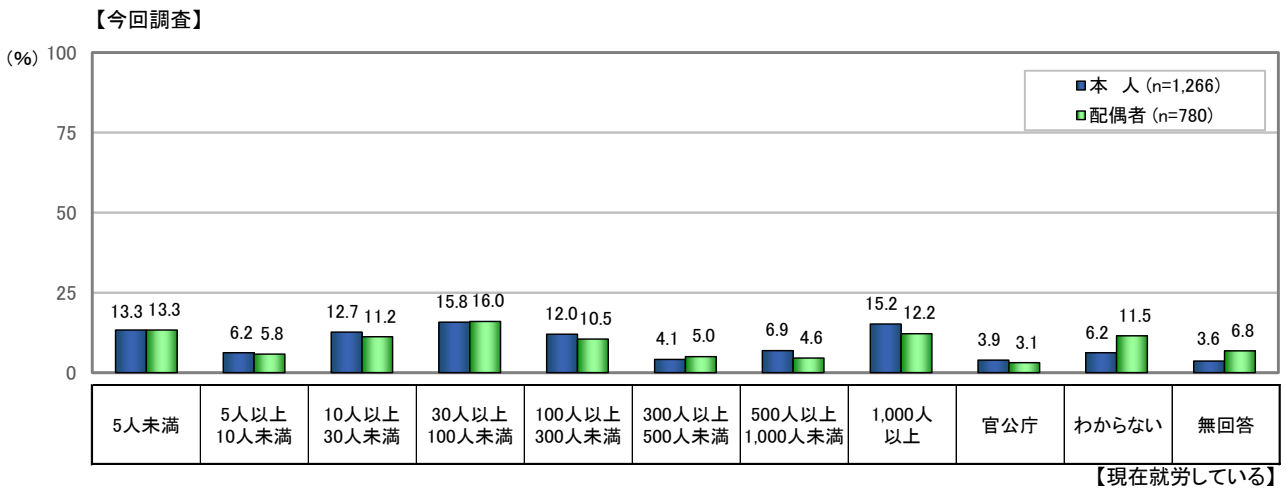
(図表9-4 続き) 就業者の職種 (本人・配偶者) (問36-1③・問37-1③)



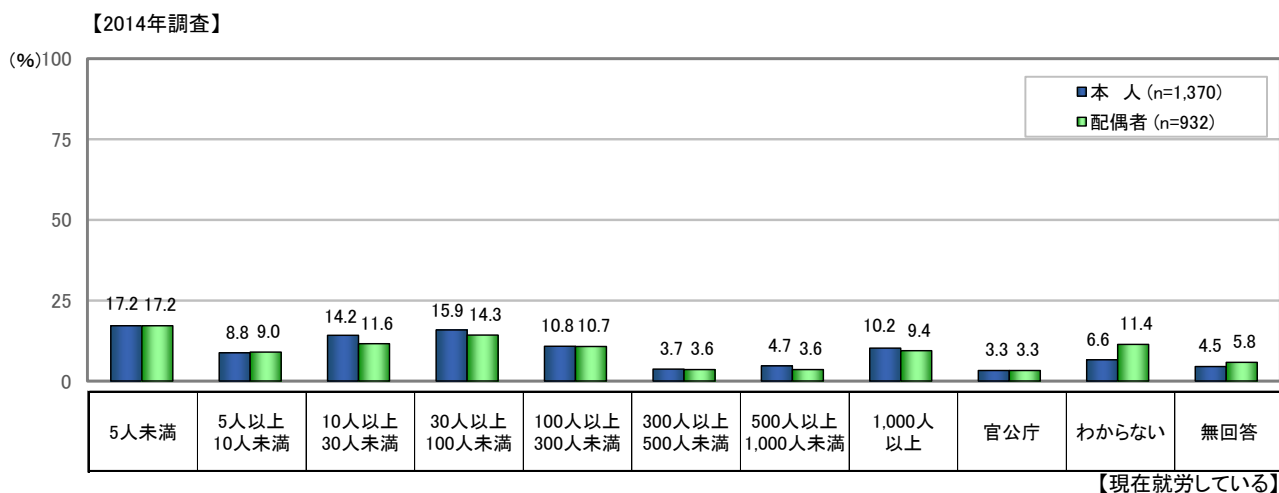
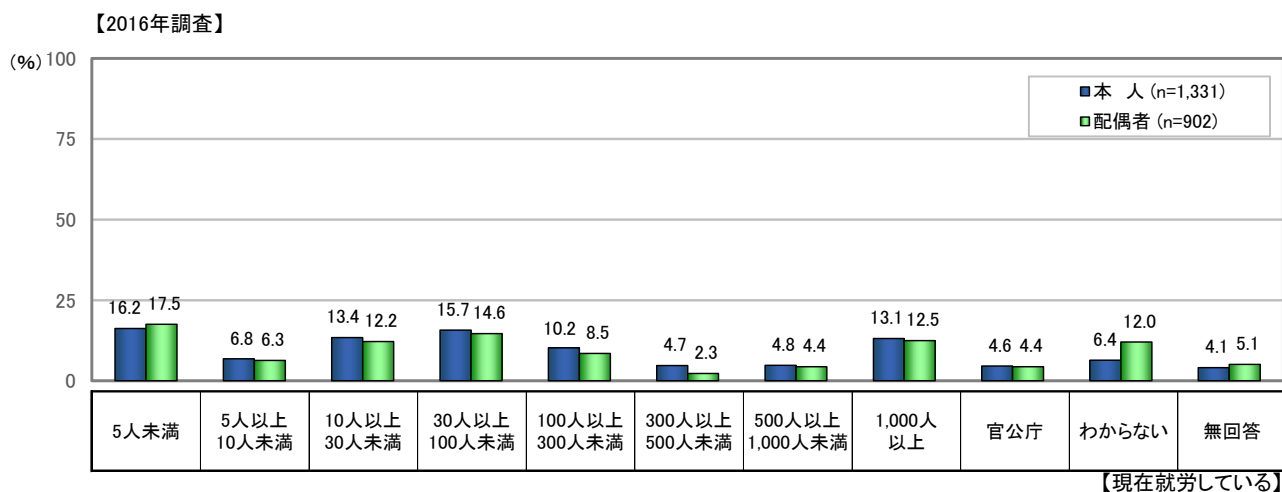
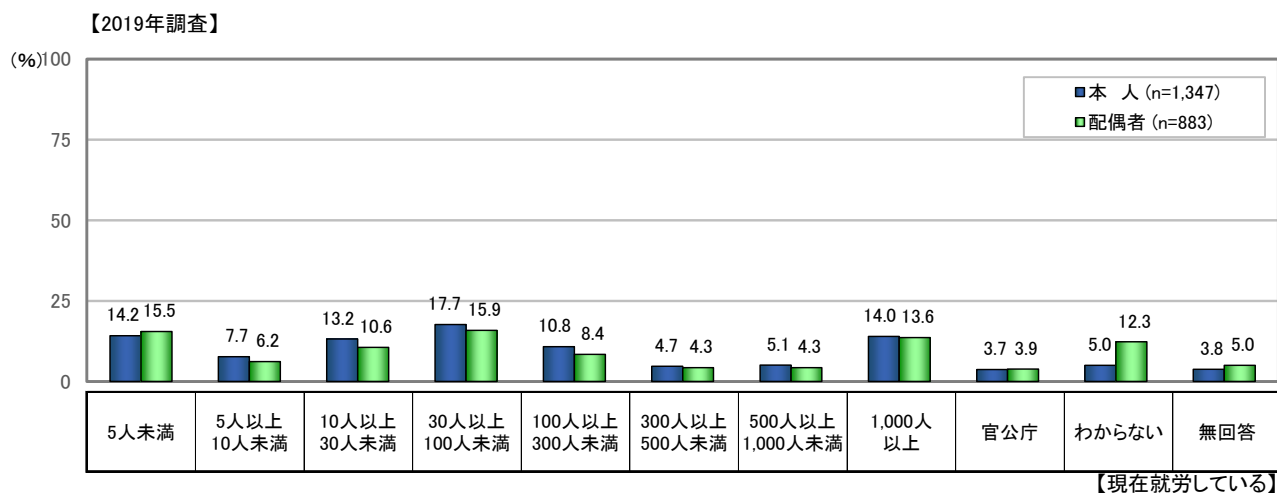
(5) 就業者の就業先従業員数（本人・配偶者）

- 有職回答者（n=1,266）の就業先の従業員数は、「30人以上100人未満」が15.8%、「1,000人以上」が15.2%、「5人未満」が13.3%、「10人以上30人未満」が12.7%、「100人以上300人未満」が12.0%となった。
- 有職配偶者（n=780）では、「30人以上100人未満」が16.0%、「5人未満」が13.3%、「1,000人以上」が12.2%、「10人以上30人未満」が11.2%、「100人以上300人未満」が10.5%の順となった。（図表9-5）

(図表9-5) 就業先の従業員数（本人・配偶者）（問36-1④・問37-1④）



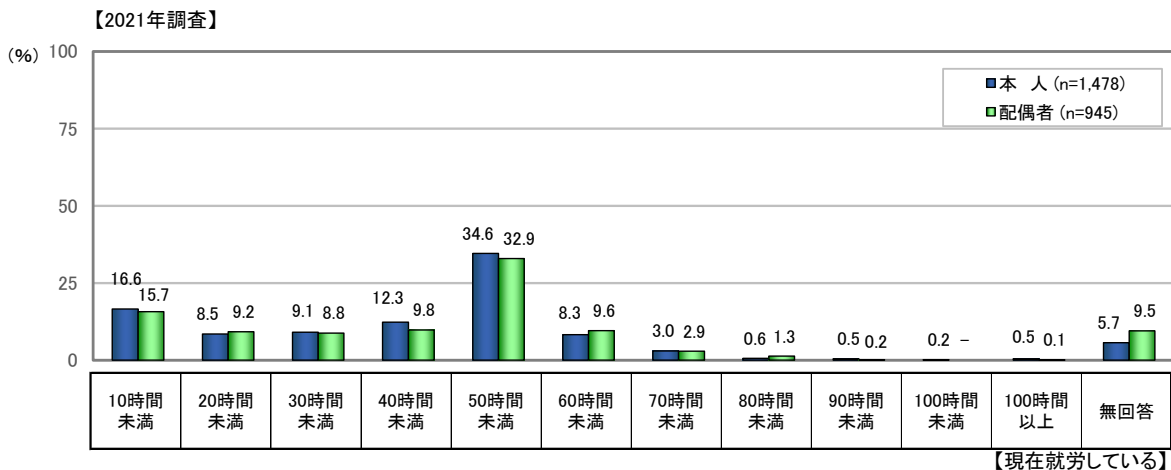
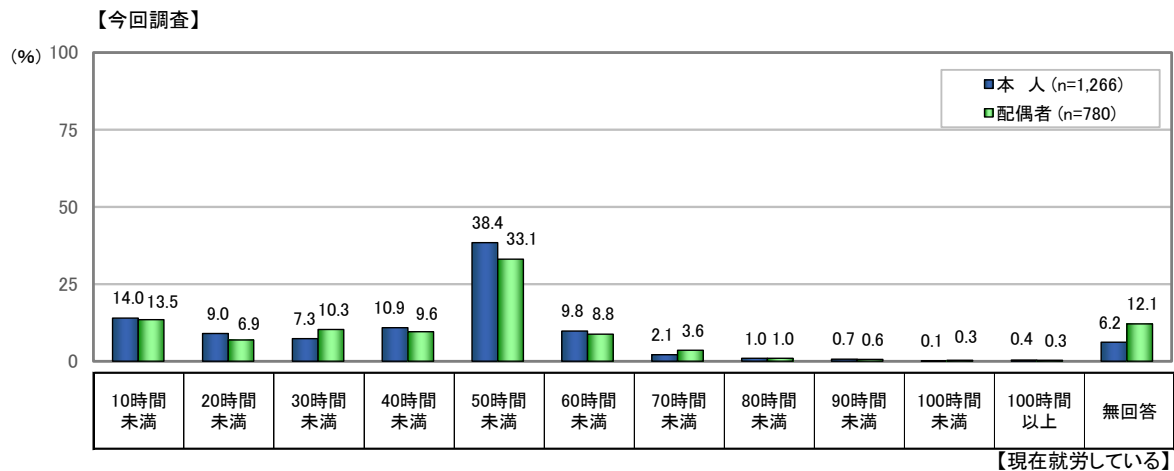
(図表9-5 続き) 就業先の従業員数 (本人・配偶者) (問36-1④・問37-1④)



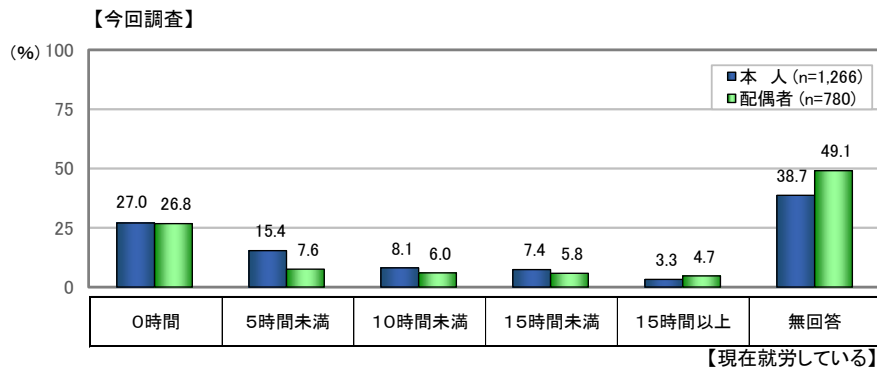
(6) 就業者の就労時間 (本人・配偶者)

- 残業時間を含んだ1週間の就労時間は、回答者本人 (n=1,266)、配偶者 (n=780) とともに「40 時間以上 50 時間未満」(本人 38.4%、配偶者 33.1%) が最も多かった。平均就労時間は、回答者本人では 34.0 時間、配偶者では 33.9 時間となった。(図表 9-6-1)
- 残業時間は、回答者本人、配偶者ともに「0 時間」(本人 27.0%、配偶者 26.8%) が最も多く、「5 時間未満」(同 15.4%、7.6%)、「10 時間未満」(同 8.1%、6.0%) の順。平均残業時間は、回答者本人では 3.8 時間、配偶者では 4.2 時間となった。(※「0」を除いた回答者ベースで算出すると、本人 6.8 時間、配偶者 8.9 時間)(図表 9-6-2)

(図表 9-6-1) 就業者の就労時間 (本人・配偶者) (問 36-1⑤-1・問 37-1⑤-1)



(図表 9-6-2) 就業者の残業時間 (本人・配偶者) (問 36-1⑤-2・問 37-1⑤-2)

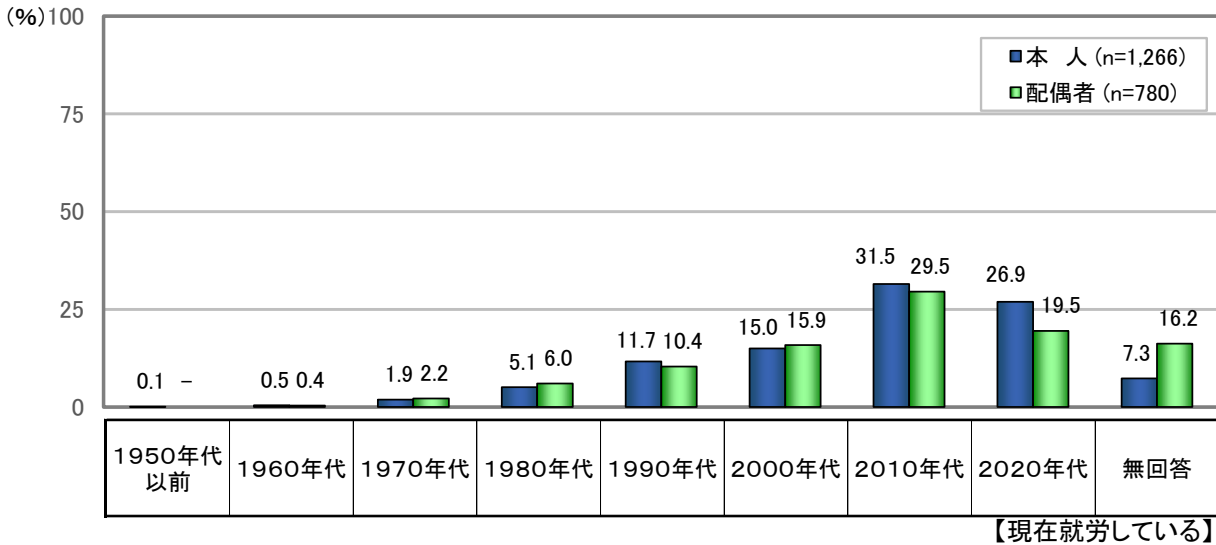


(7) 就業者の就労時期 (本人・配偶者)

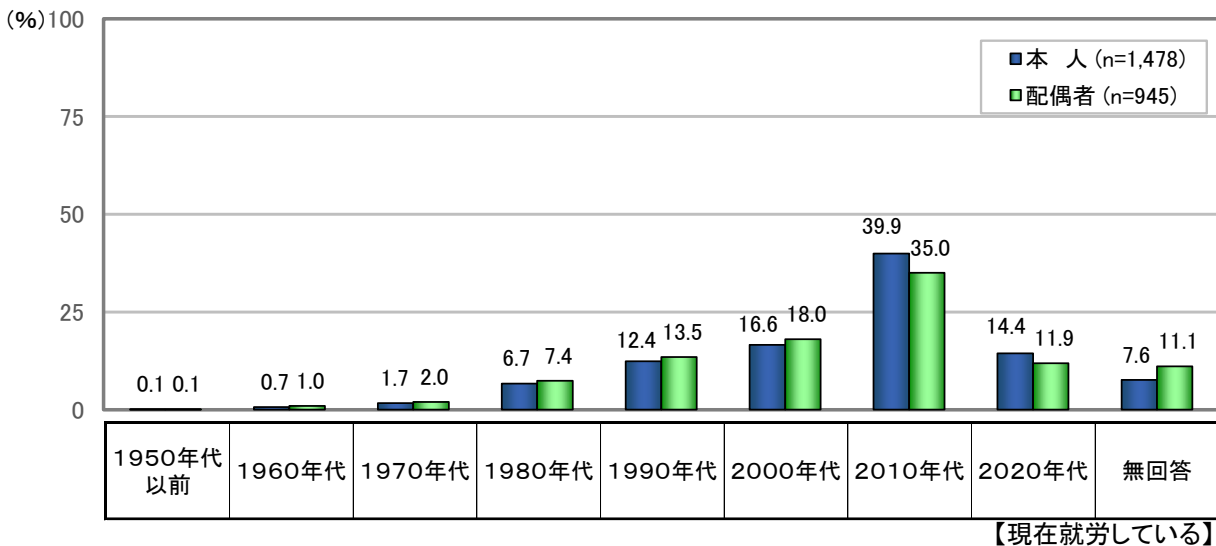
- 現在の就業先の就業時期は、回答者本人 (n=1,266)、配偶者 (n=780) とともに、「2010年代」が最も多く (本人 31.5%、配偶者 29.5%)、次いで「2020年代」 (本人 26.9%、配偶者 19.5%) で、おおむね年代が古いほど少なかった。(図表 9-7)

(図表 9-7) 就業者の就労時期 (本人・配偶者) (問 36-1⑥・問 37-1⑥)

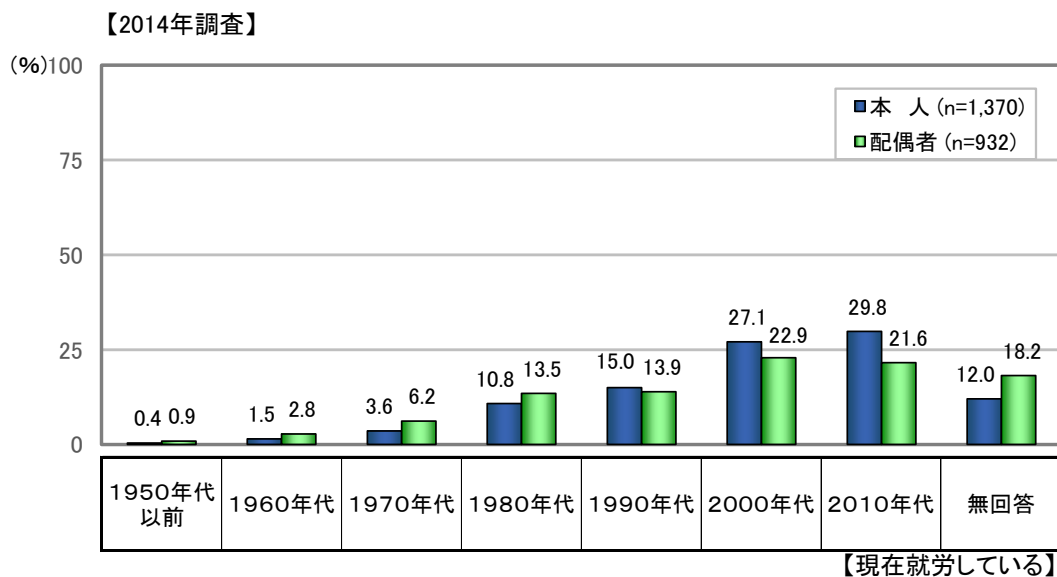
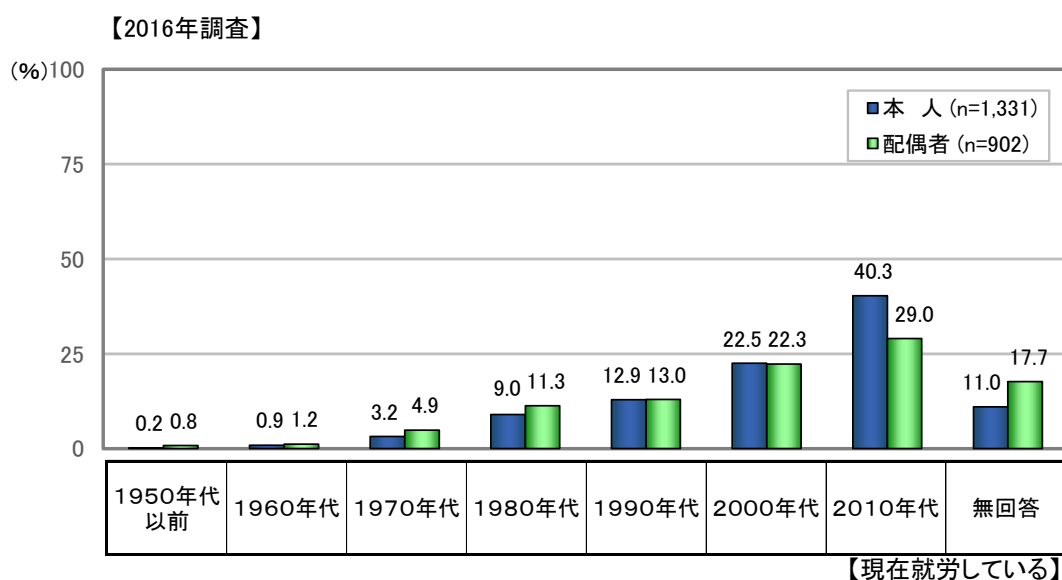
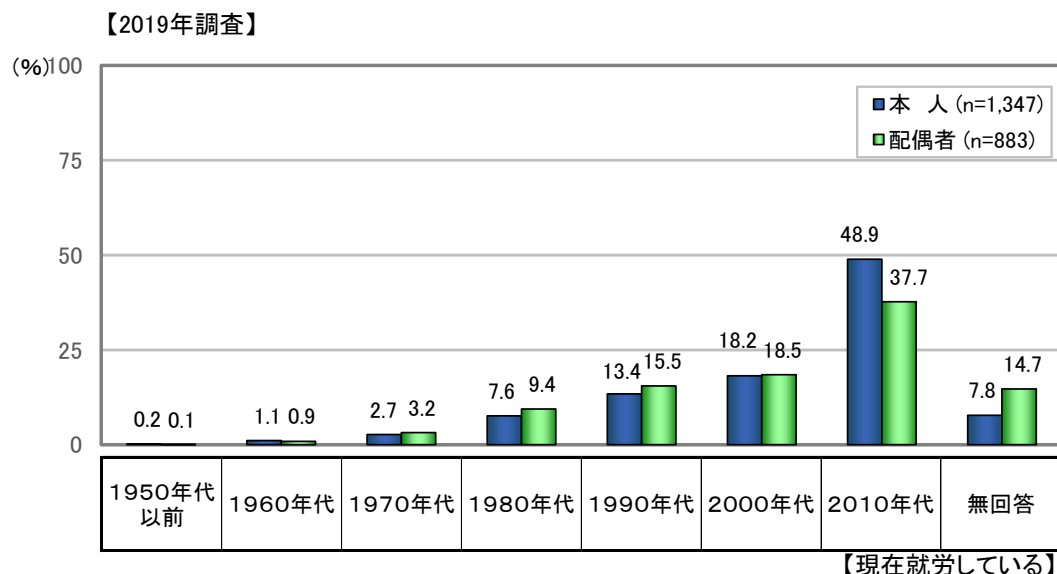
【今回調査】



【2021年調査】



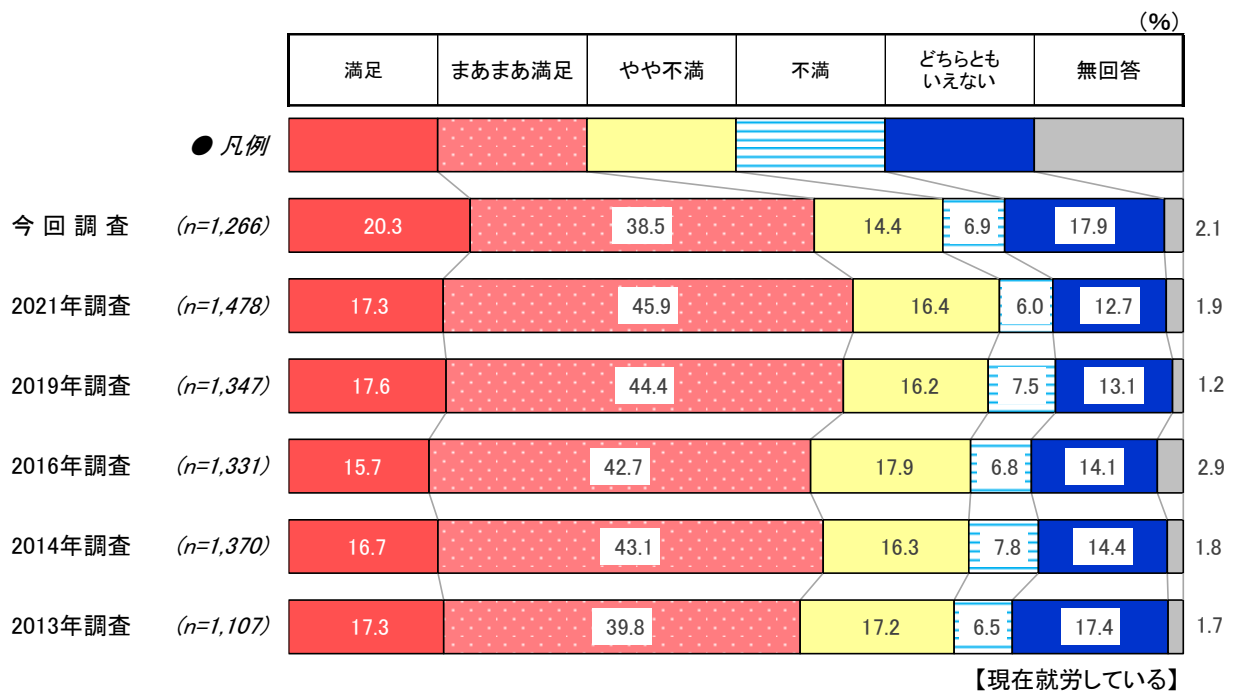
(図表9-7 続き) 就業者の就労時期(本人・配偶者)(問36-1⑥・問37-1⑥)



(8) 就業者の仕事に対する満足度 (本人)

- 有職回答者 (n=1,266) の仕事に対する満足度は、「満足」が 20.3%で、「まあまあ満足」(38.5%)を合わせると『満足』(58.8%)が6割弱となった。一方、『不満』と回答した人(「不満」と「やや不満」の合計)は、21.2%となった。(図表 9-8)

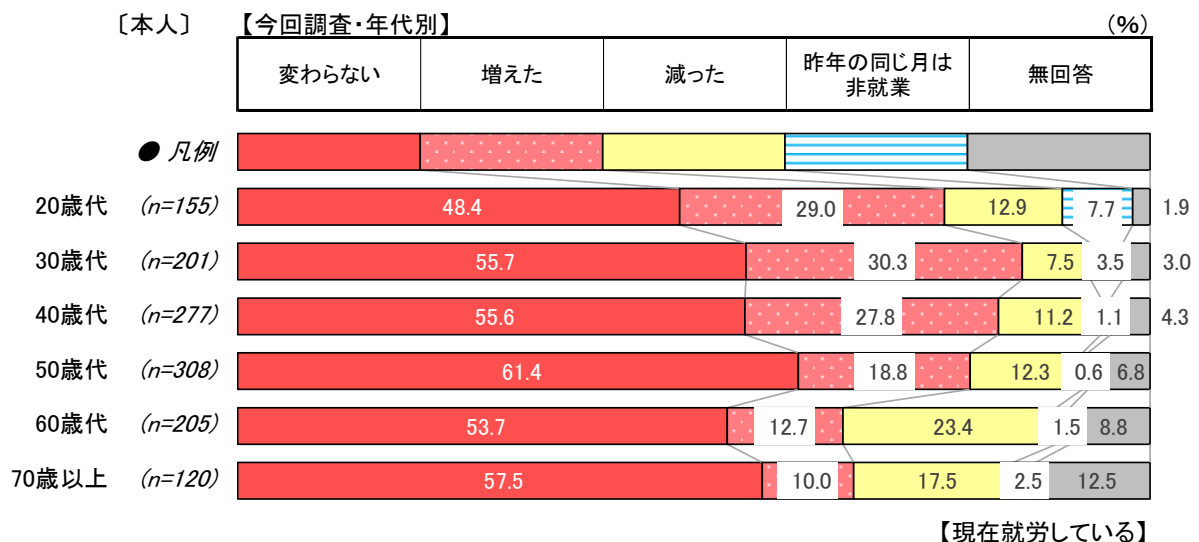
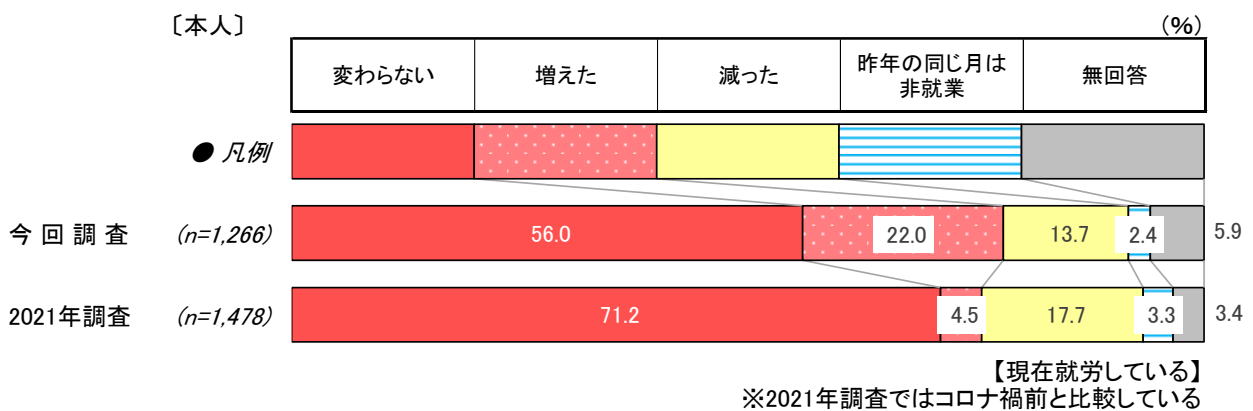
(図表 9-8) 就業者の仕事に対する満足度 (本人) (問 36-1⑦)



(9) 昨年の同じ月と比較した就労収入の変化

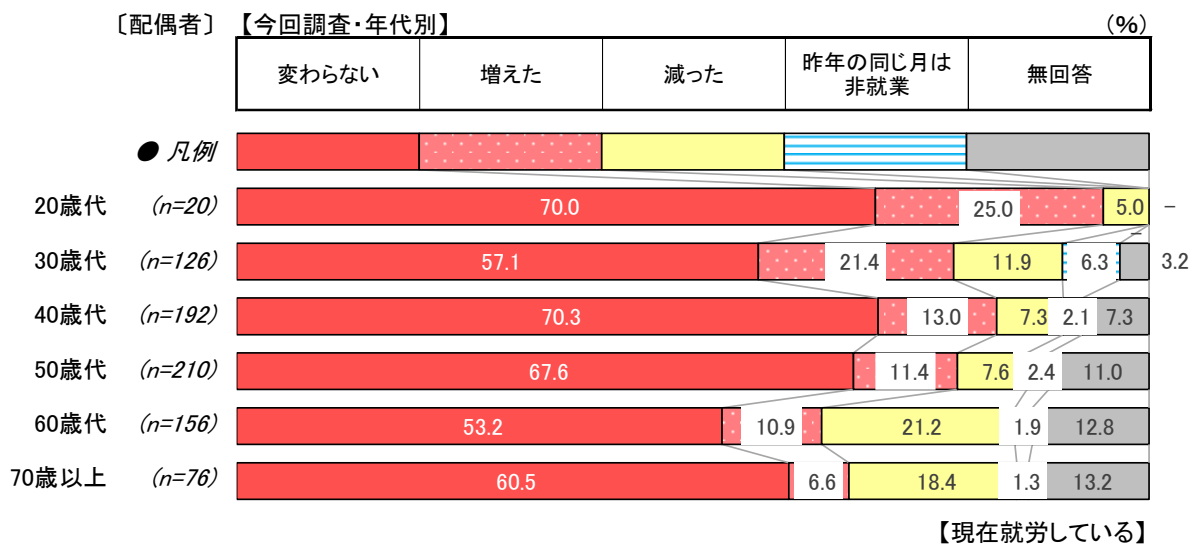
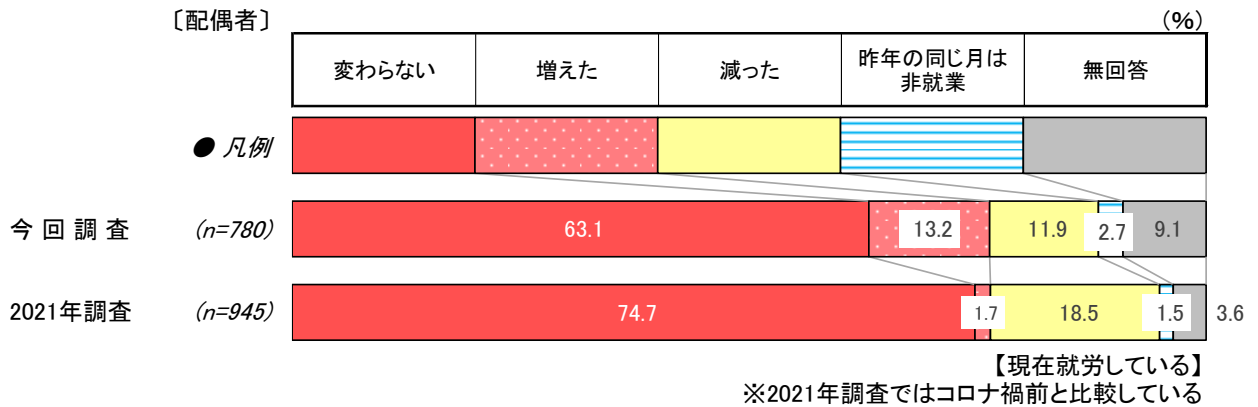
- 有職回答者 (n=1,266) に、昨年の同じ月と比較して就労収入に変化があったか聞いたところ、「変わらない」(56.0%) が最も多く、次いで「増えた」(22.0%)、「減った」(13.7%) の順となった。
- 有職配偶者 (n=780) でも、「変わらない」(63.1%) が最も多く、次いで「増えた」(13.2%)、「減った」(11.9%) の順となった。(図表 9-9-1)
- 就労収入に変化があった本人 (n=452)、配偶者 (n=196) に、直近の1か月の就労収入が昨年同月と比較して何%に変化したか聞くと、「120%未満」(本人 42.3%、配偶者 30.1%) が最も多く、次いで本人では「100%未満」が 16.8 %、配偶者では「120%以上」が 16.8%となった。(図表 9-9-2)

(図表 9-9-1) 昨年の同じ月と比較した就労収入の変化有無 (本人) (問 36-2)

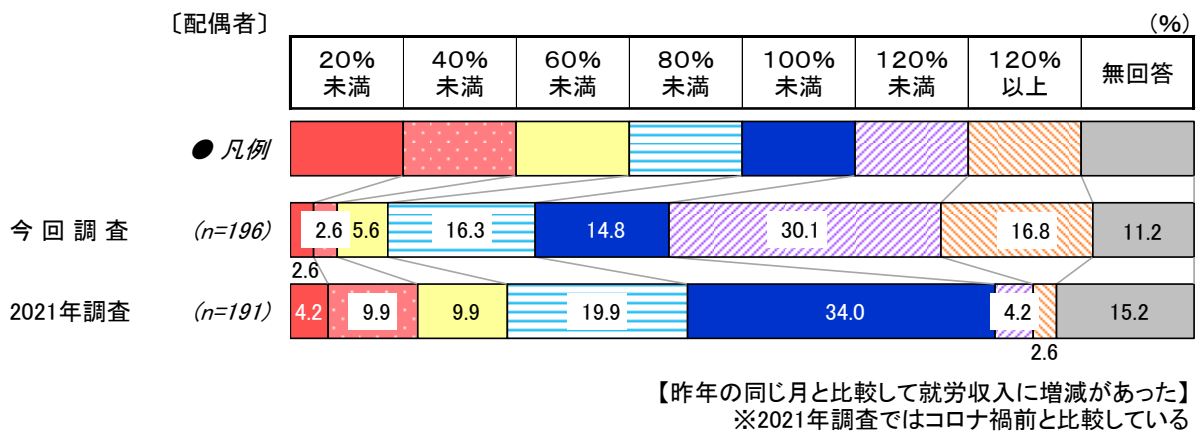
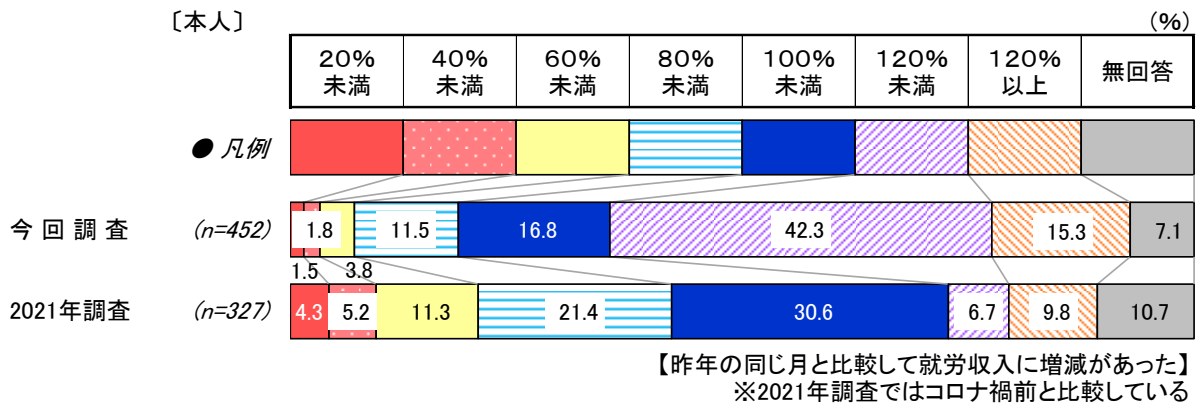




(図表 9-9-1 続き) 昨年と同じ月と比較した就労収入の変化有無 (配偶者) (問 37-2)



(図表9-9-2) 昨年の同じ月と比較した就労収入(本人・配偶者)(問36-3・問37-3)

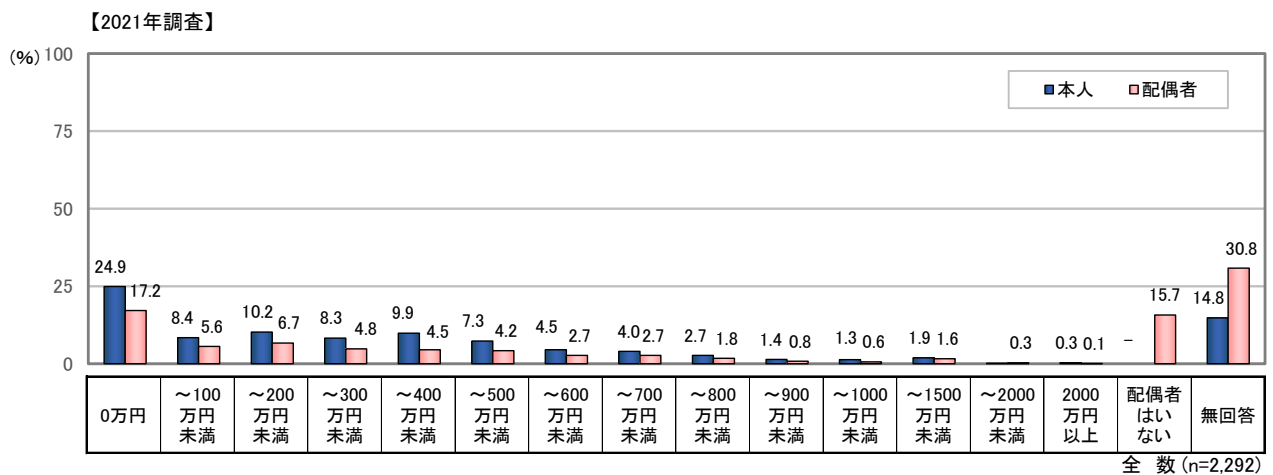
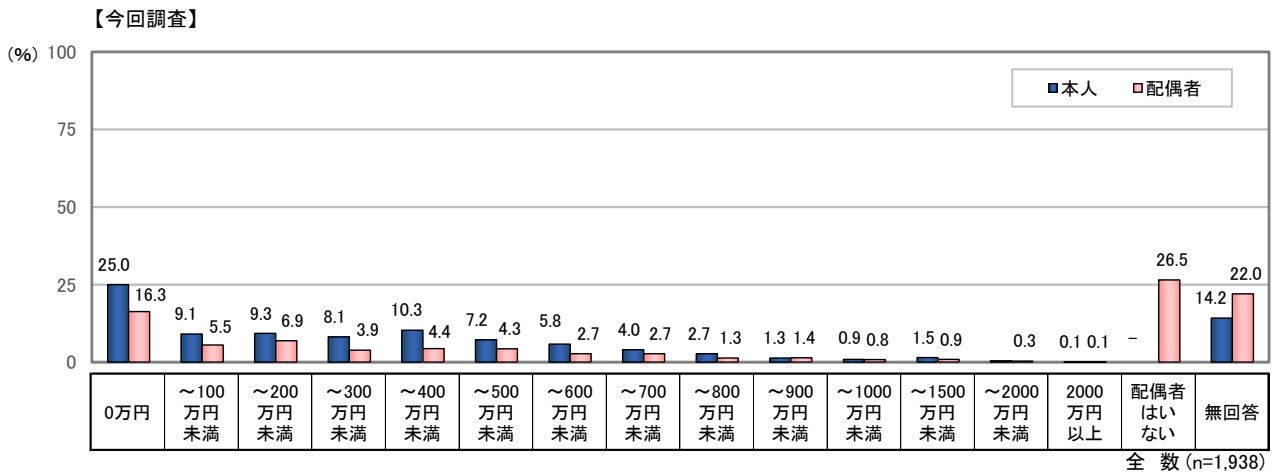


## 10. 収入と支出、社会保険について

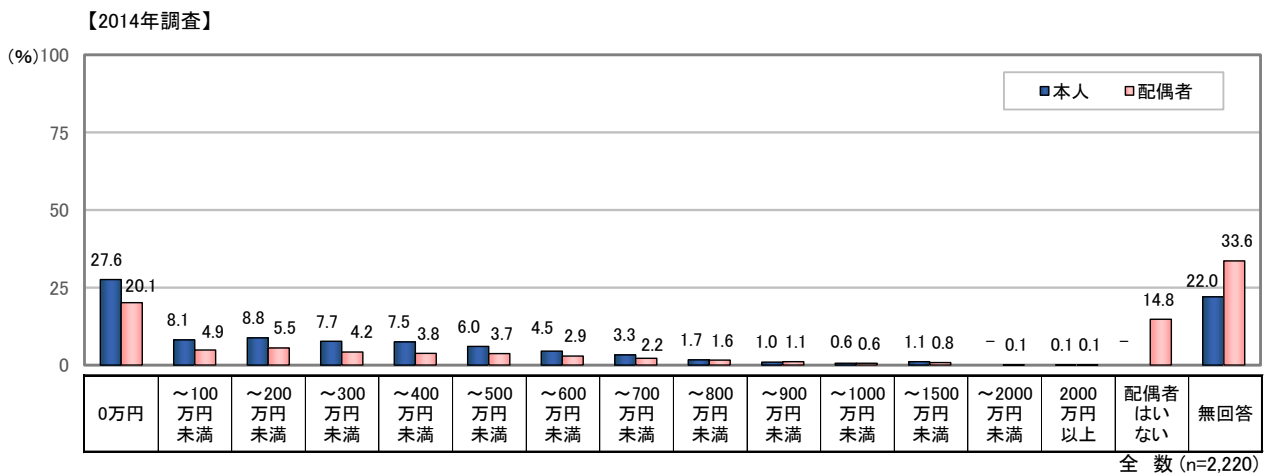
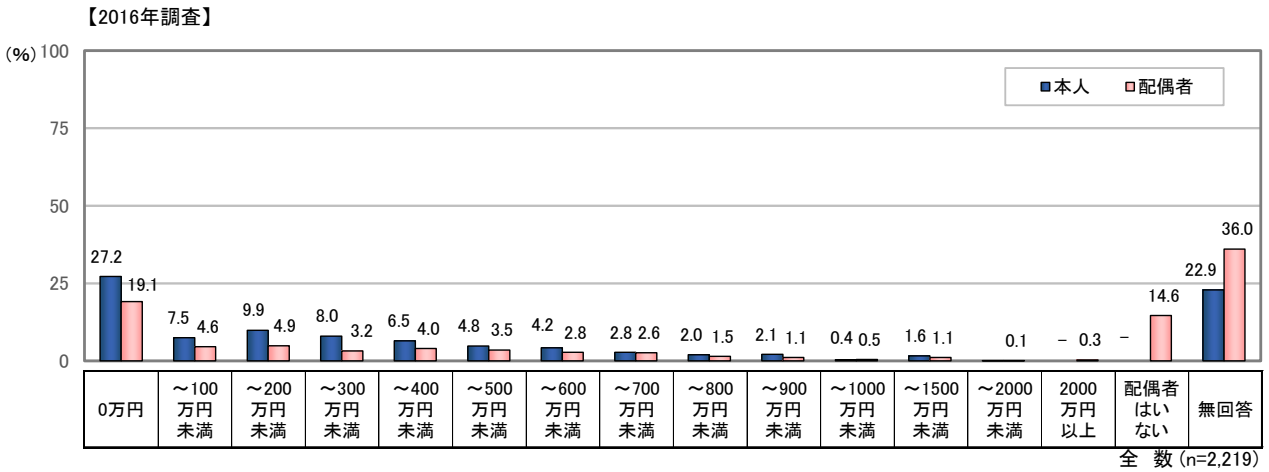
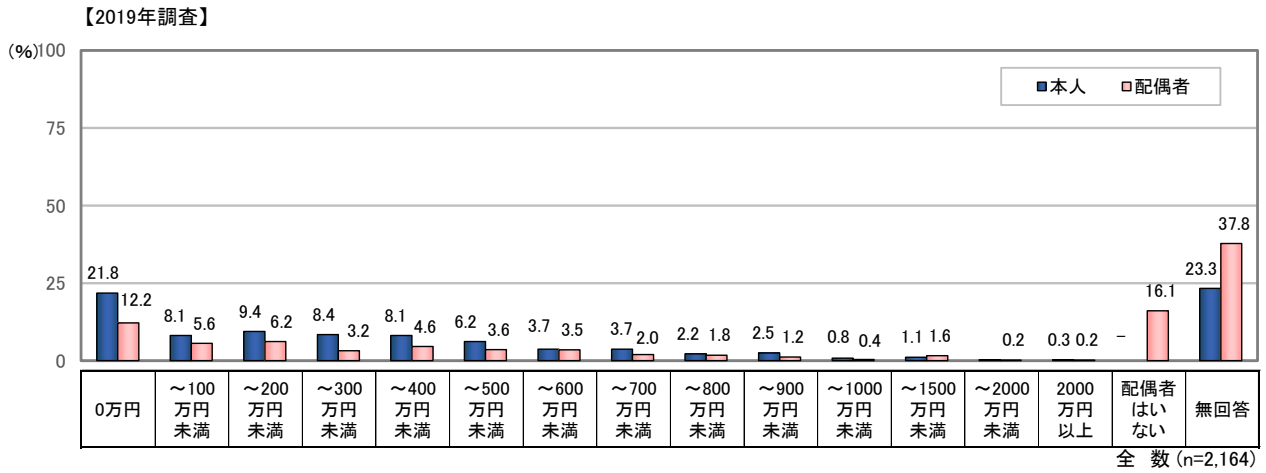
### (1) 昨年1年間の就労収入（本人・配偶者）

- 昨年1年間の就労収入（税込）は、回答者本人は、「300万円以上400万円未満」（10.3%）が最も多く、次いで「100万円～200万円未満」（9.3%）、「100万円未満」（9.1%）、「200万円～300万円未満」（8.1%）で、『0万円超～400万円未満』を合計すると36.8%。「400万～500万円未満」が7.2%。
- 一方、配偶者は、「100万円以上200万円未満」（6.9%）、「0万円超100万円未満」（5.5%）で、『0万円超400万円未満』の合計は20.6%。
- 「0万円（収入はなかった）」は、回答者本人で25.0%、配偶者で16.3%と2割前後であった。
- 平均収入は、回答者本人では258万8千円、配偶者では249万8千円となった。（図表10-1）

（図表10-1）昨年1年間の就労収入（本人・配偶者）（問38）



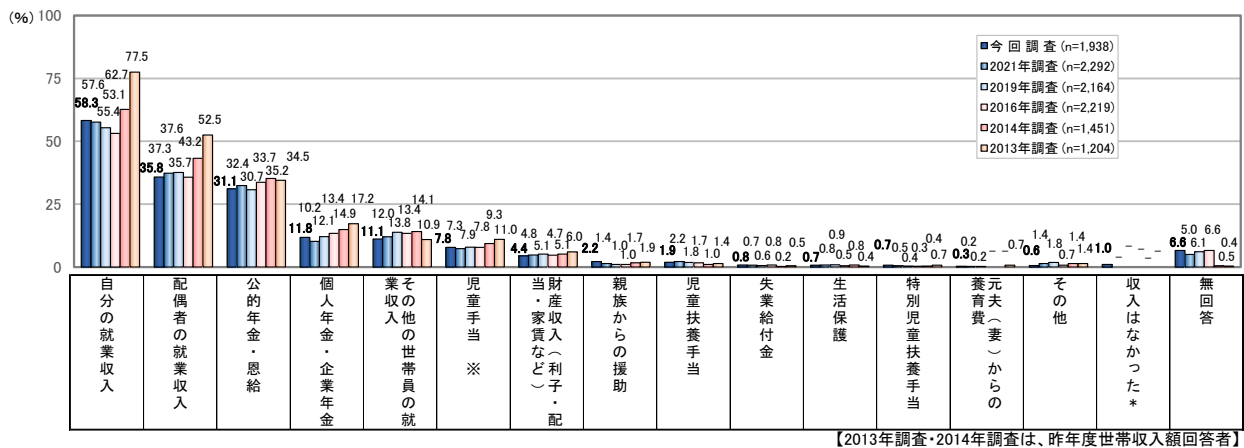
(図表10-1 続き) 昨年1年間の就労収入(本人・配偶者)(問38)



(2) 昨年の世帯年収（総収入・手取り）

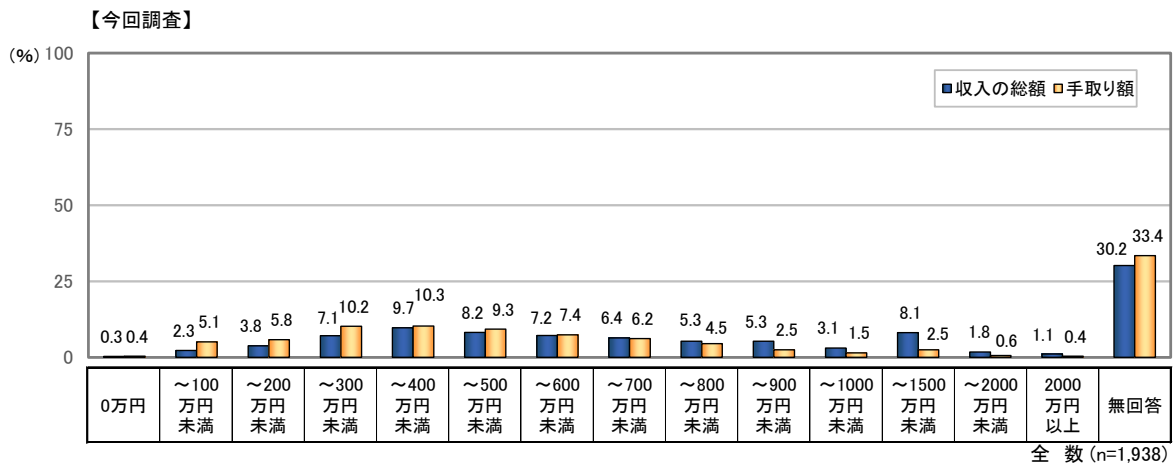
- 昨年の世帯収入源（複数回答）としては、「自分の就業収入」が58.3%で最も多く挙げられ、次いで、「配偶者の就業収入」（35.8%）と「公的年金・恩給」（31.1%）が3割台で並んだ。（図表10-2-1）
- 回答者自身および生計をともにしている家族の昨年1年間の収入は、税金・社会保険料などを差し引かれる前の社会保障給付、贈与、財産収入等を含む総収入（遺産を除く）では、「300万円以上400万円未満」9.7%、「400万円以上500万円未満」8.2%、「1000万円以上1500万円未満」が8.1%。平均世帯総収入は625万1千円となった。
- 一方、税金・社会保険料などを差し引かれた手取り額は、「300万円以上400万円未満」（10.3%）、「200万円以上300万円未満」（10.2%）などが各約1割で、平均手取り額は456万3千円となった。（図表10-2-2）

(図表10-2-1) 昨年の世帯収入源（問39、複数回答）

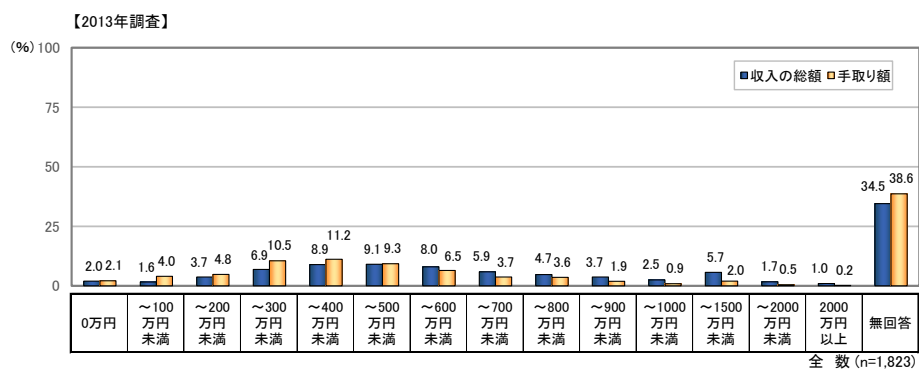
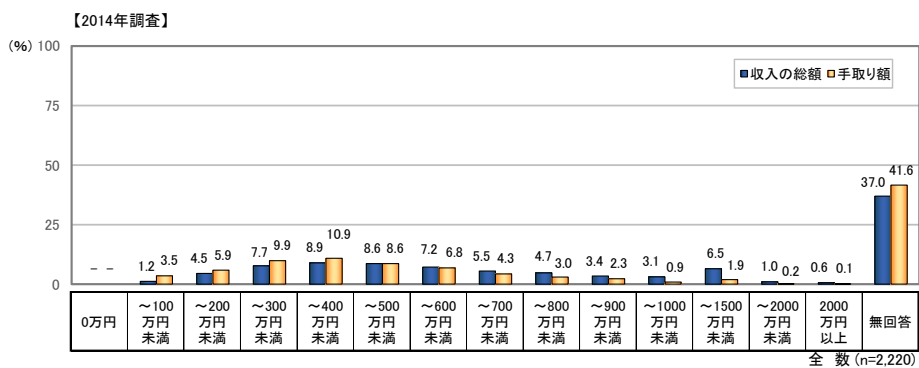
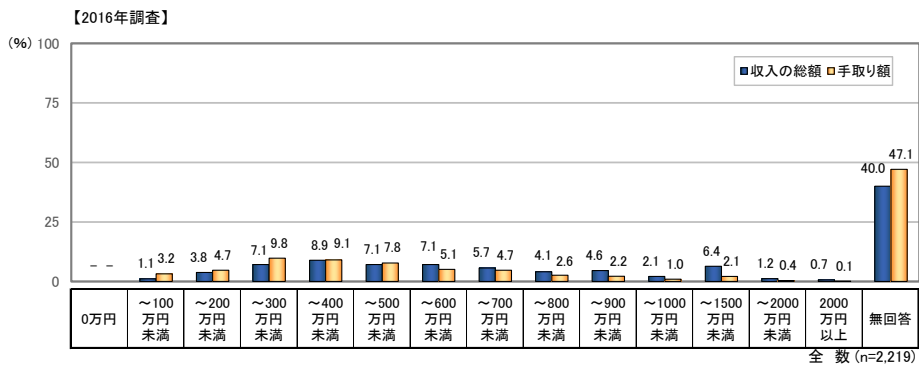
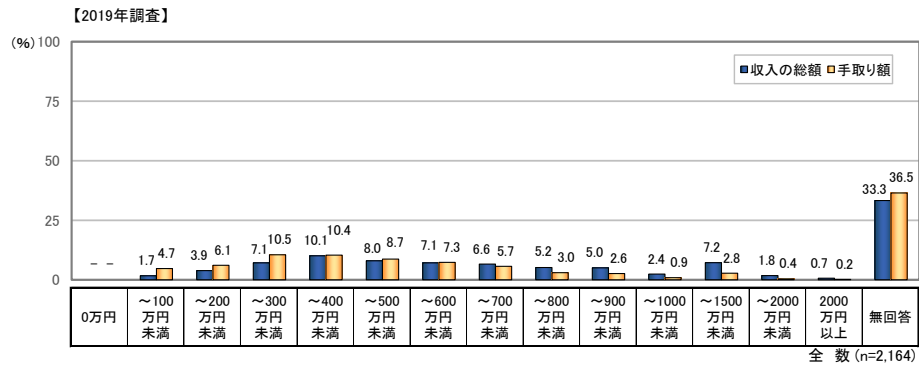
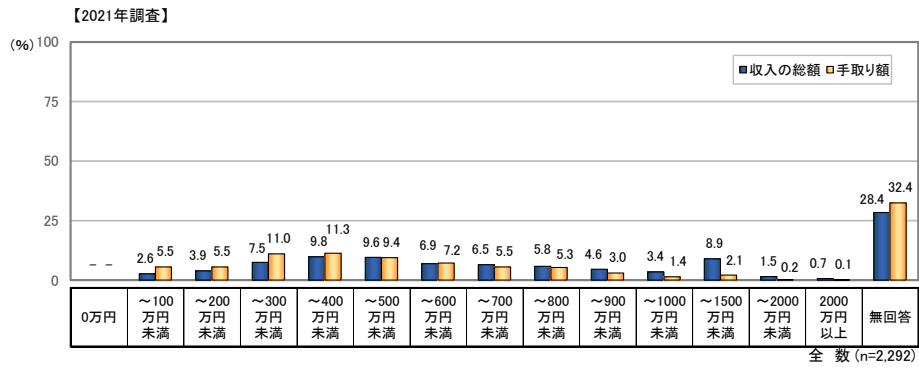


※2013年調査・2014年調査・2016年調査「児童手当・子ども手当」、2019年調査・2021年調査・今回調査「児童手当」と表記  
\*の項目は今回調査以前までは質問していない項目。

(図表10-2-2) 昨年の世帯年収（総収入・手取り）（問39-1）



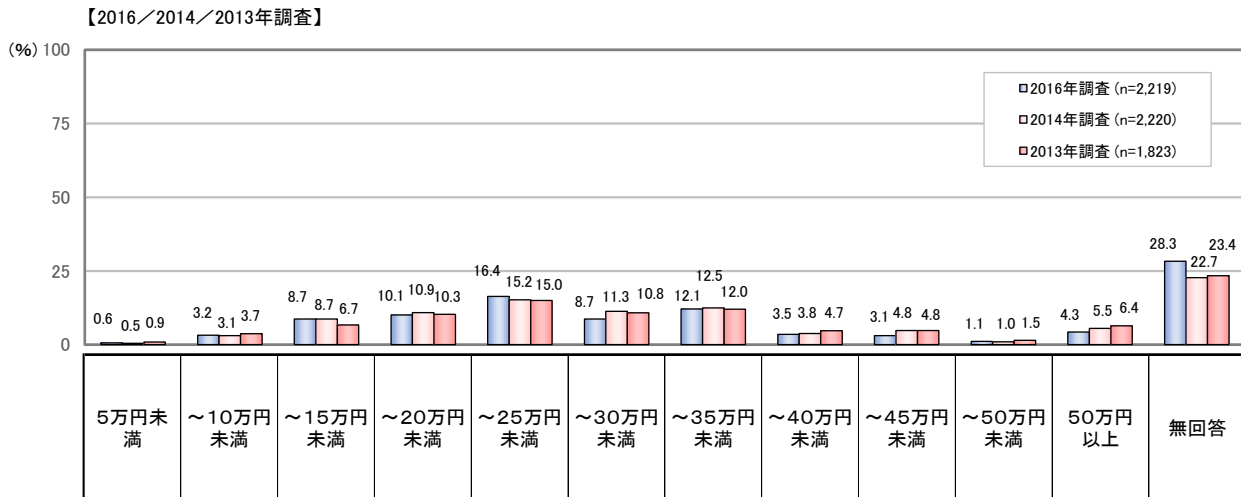
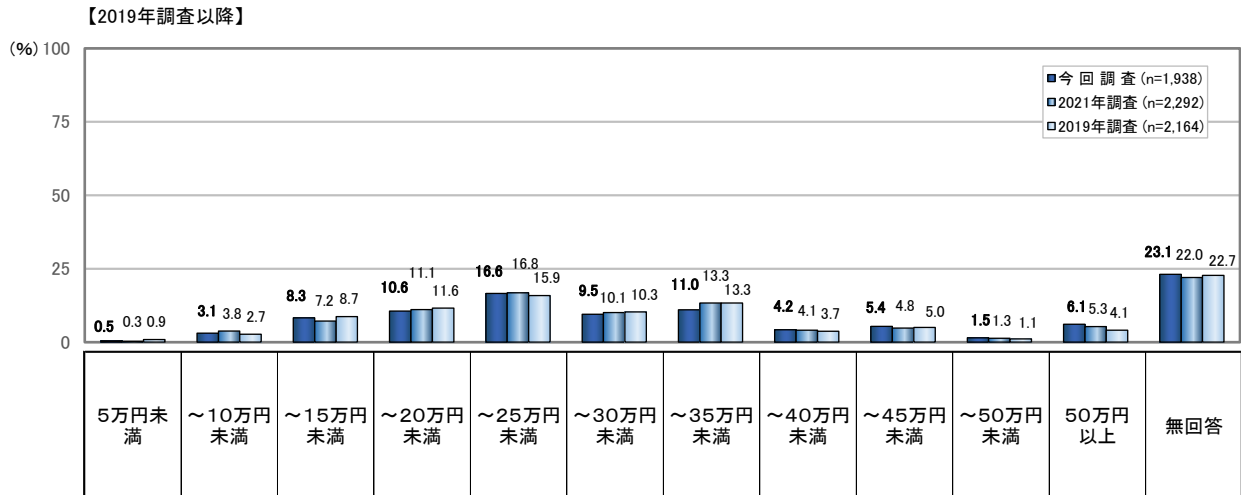
(図表 10-2-2 続き) 昨年の世帯年収 (総収入・手取り) (問 39-1)



### (3) 昨年ひと月あたりの世帯支出

- 回答者自身および生計をともにしている家族の昨年のひと月あたりの支出は、「20万円以上 25万円未満」が16.6%で最も多く、次いで「30万円以上 35万円未満」(11.0%)、「15万円以上 20万円未満」(10.6%) がいずれも約1割であった。(図表10-3)
- 昨年ひと月あたりの平均世帯支出額は26万1千円となった。

(図表10-3) 昨年ひと月あたりの世帯支出 (問40)

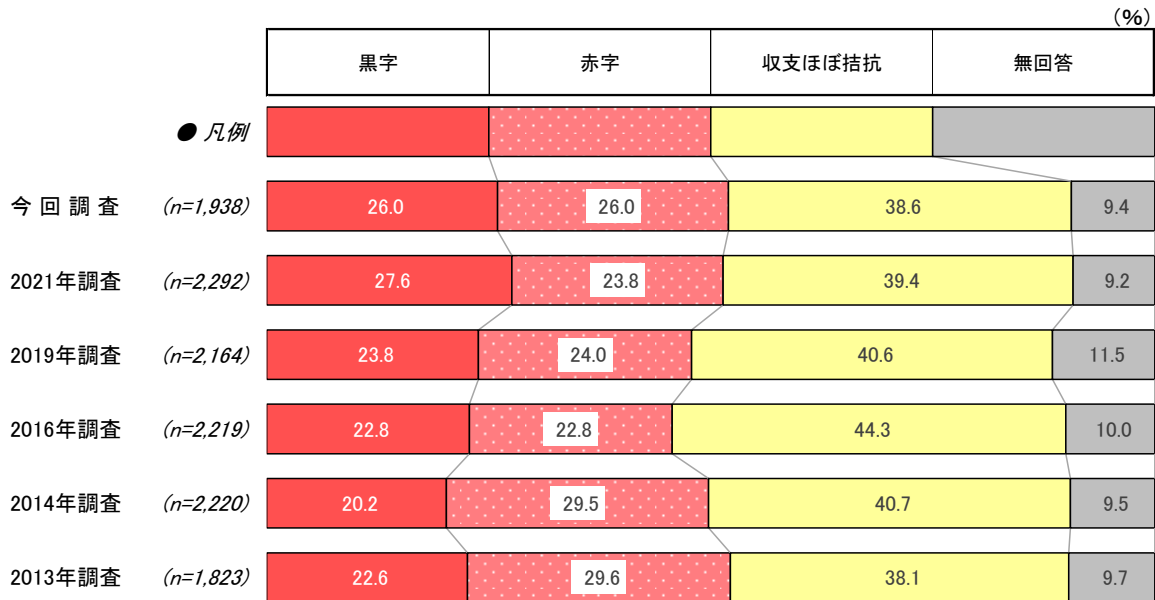


※2016年調査までは住宅ローン返済額とひと月当たりの支出を分けて聴取、2019年調査以降は住宅ローン返済額もひと月の支出額に含まれる。

#### (4) 家計の収支状況

- 回答者の世帯の家計の収支状況は、「収支ほぼ拮抗」が38.6%で最も多く、次いで「黒字」、「赤字」がともに26.0%であった。(図表10-4)

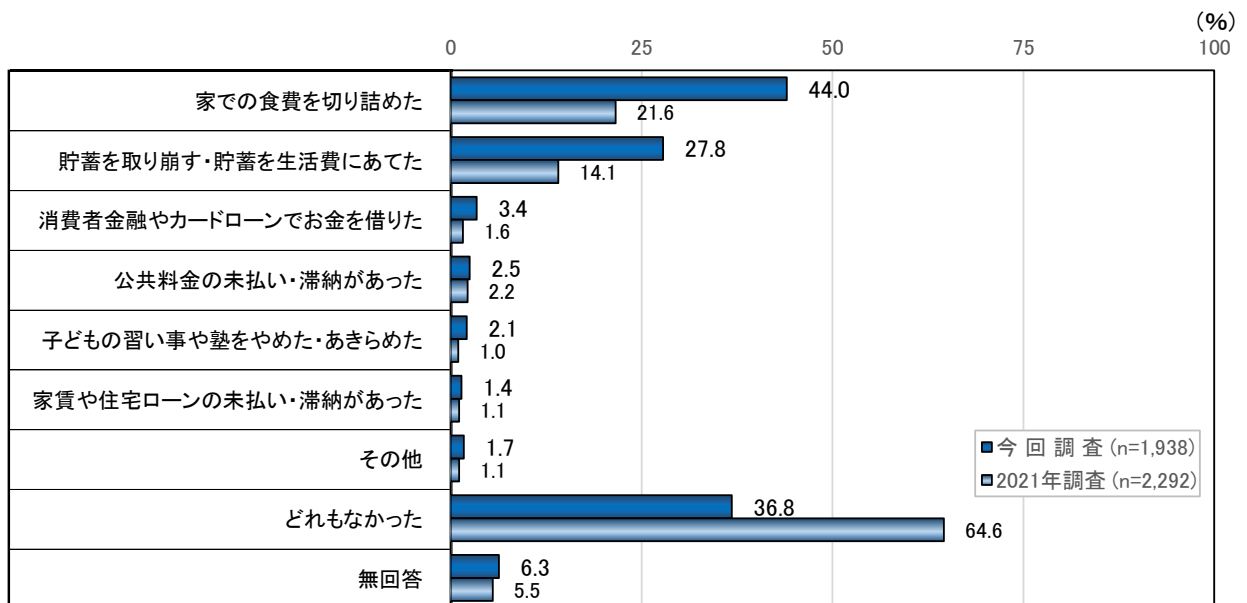
(図表10-4) 家計の収支状況 (問41)



#### (5) 消費者物価上昇に伴い家計で起こったこと

- 消費者物価上昇に伴い、この1年間で、家計で起こったことを尋ねたところ(複数回答)、「家での食費を切り詰めた」が44.0%で最も多く挙げられ、次いで、「貯蓄を取り崩す・貯蓄を生活費にあてた」(27.8%)が2割台だった。「どれもなかった」と回答したのは36.8%だった。(図表10-2-1)

(図表10-5) 消費者物価上昇に伴い家計で起こったこと (問41-1、複数回答)



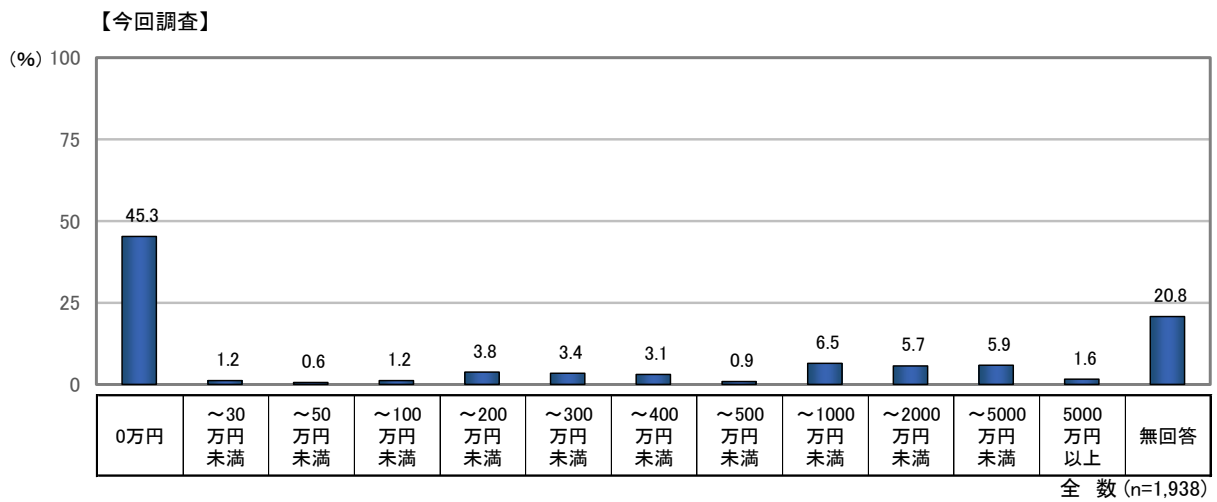
※2021年調査では「新型コロナウイルス感染症の感染拡大が始まった2020年1月頃から」について聞いている。



(6) 家計の保有金融資産残高

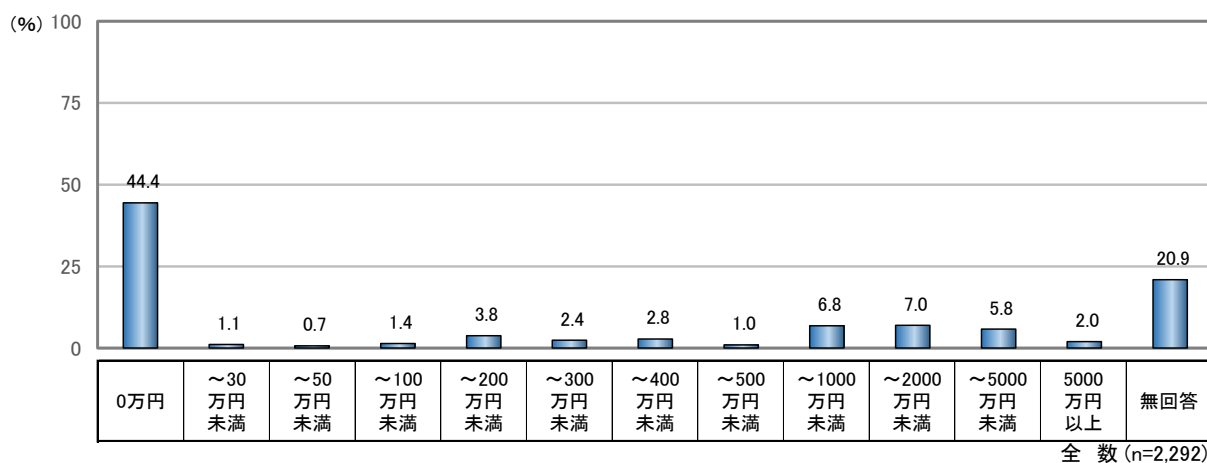
- 家計で保有している金融資産残高は、「500万円以上 1,000万円未満」(6.5%)、「2,000万円以上 5,000万円未満」(5.9%)、「1,000万円以上 2,000万円未満」(5.7%)が上位で、平均金融資産残高は1,211万1千円だった(0万円を超えた金融資産残高を回答した方をベースに算出)。(図表 10-6)

(図表 10-6) 保有金融資産残高 (問 42)

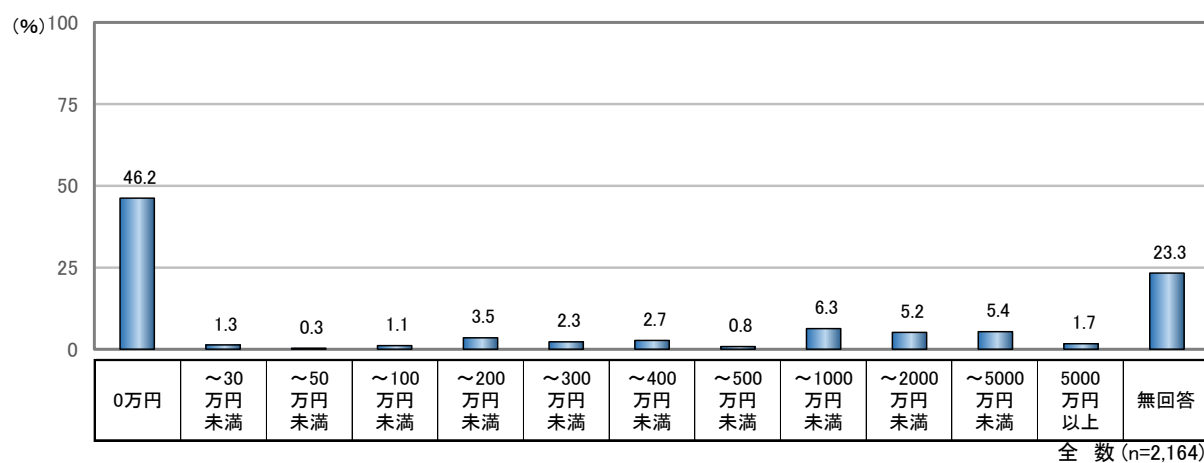


(図表10-6 続き) 保有金融資産残高 (問42)

【2021年調査】

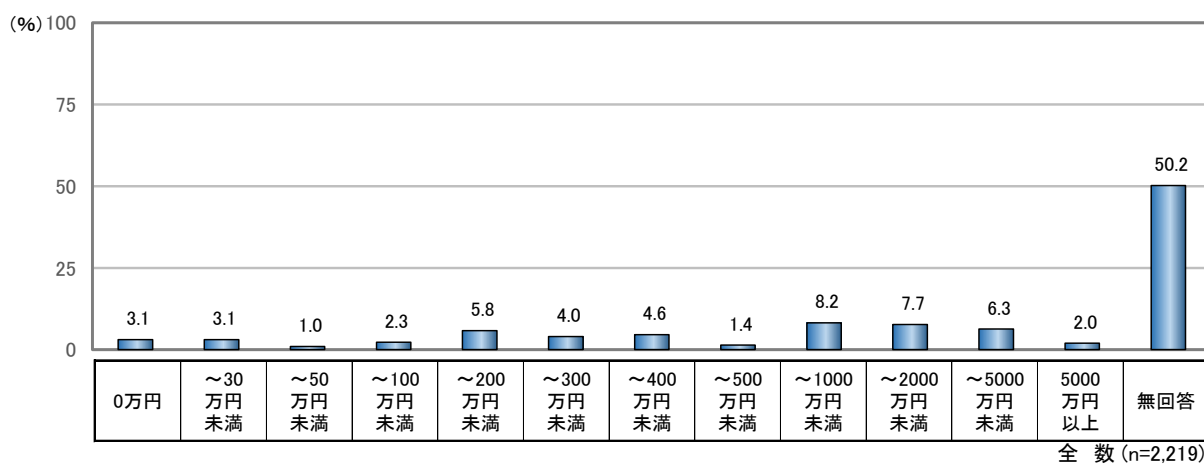


【2019年調査】



※2019年調査以降は、「保有されていない場合は「0」とご記入ください」の文言あり。

【2016年調査】

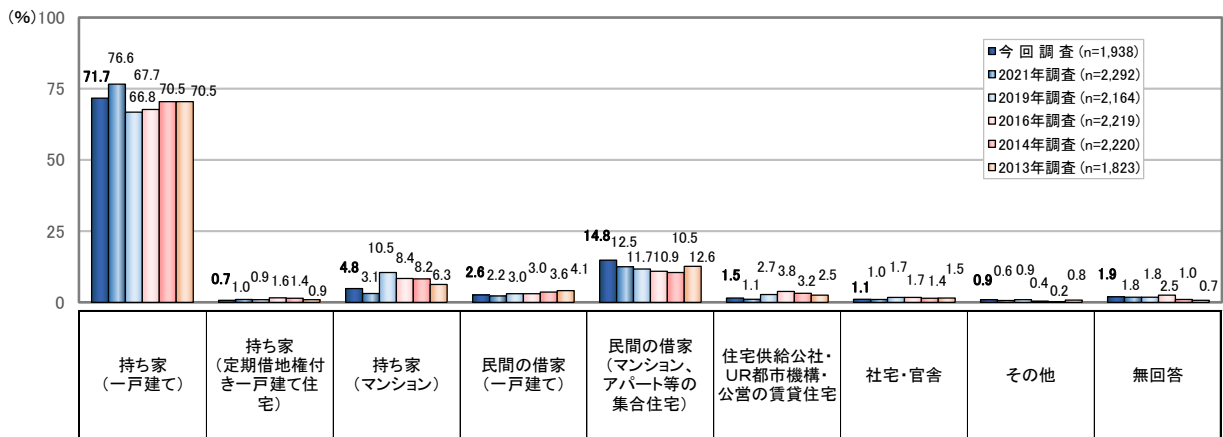


# 11. 住居について

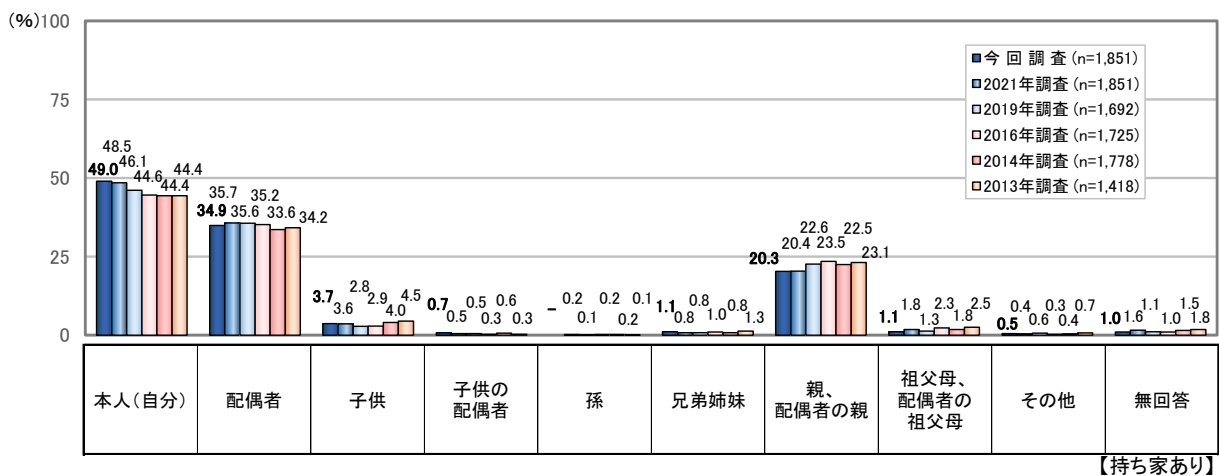
## (1) 住居形態

- 現在の住居形態は、「持ち家（一戸建て）」が 71.7%で、「持ち家（定期借地権付き一戸建て住宅）」（0.7%）、「持ち家（マンション）」（4.8%）を合わせると、『持ち家』居住（77.2%）が約8割となった。一方、「民間の借家（マンション、アパート等の集合住宅）」（14.8%）、「民間の借家（一戸建て）」（2.6%）、「住宅供給公社・UR都市機構・公営の賃貸住宅」（1.5%）を合わせると、『賃貸住宅』居住は 18.9%となった。（図表 11-1-1）
- 居住する『持ち家』（n=1,496）の所有者（複数回答）は、「本人」が 49.0%で最も多く、以下、「配偶者」（34.9%）、「親、配偶者の親」（20.3%）の順となった。（図表 11-1-2）

(図表 11-1-1) 住居形態 (問 43)



(図表 11-1-2) 『持ち家』の所有者 (問 43-1、複数回答)

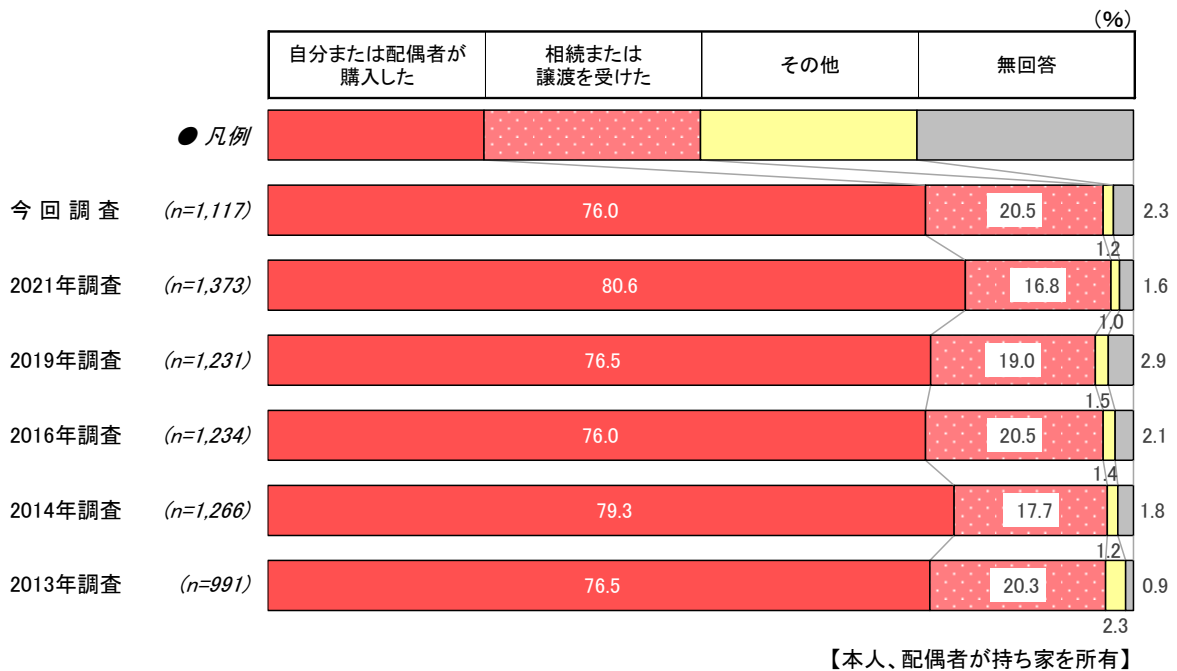


【持ち家あり】

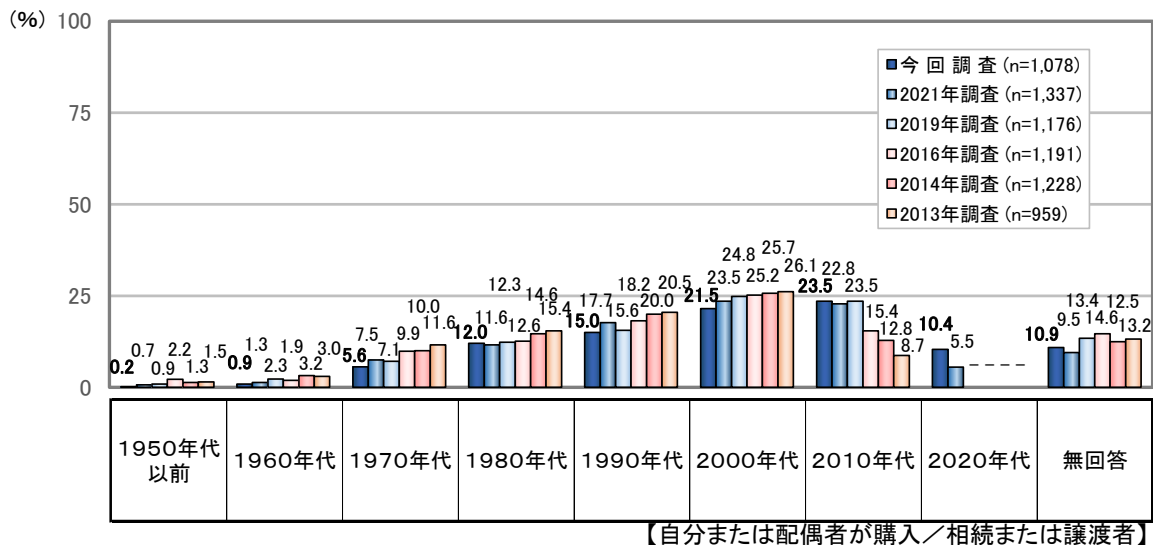
(2) 取得経路・取得時期

- 回答者本人もしくは配偶者が所有する『持ち家』所有者 (n=1,117) における、持ち家の取得経路は、「自分または配偶者が購入した」が 76.0%で、「相続または譲渡を受けた」は 20.5%となった。(図表 11-2-1)
- 回答者本人もしくは配偶者が所有する『持ち家』を購入もしくは相続した 1,078 人が『持ち家』を取得した時期は、「2010 年代」(23.5%)と「2000 年代」(21.5%)が上位で、おおむね年代が古いほど少なかった。(図表 11-2-2)

(図表 1 1 - 2 - 1) 『持ち家』の取得経路 (問 43-2)



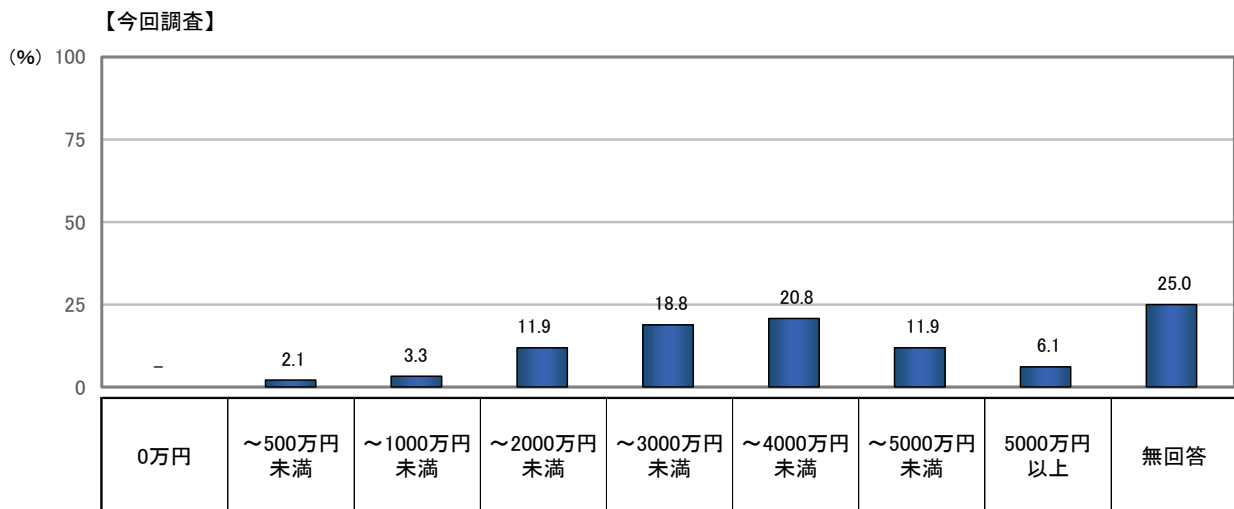
(図表 1 1 - 2 - 2) 『持ち家』の取得時期 (問 43-3)



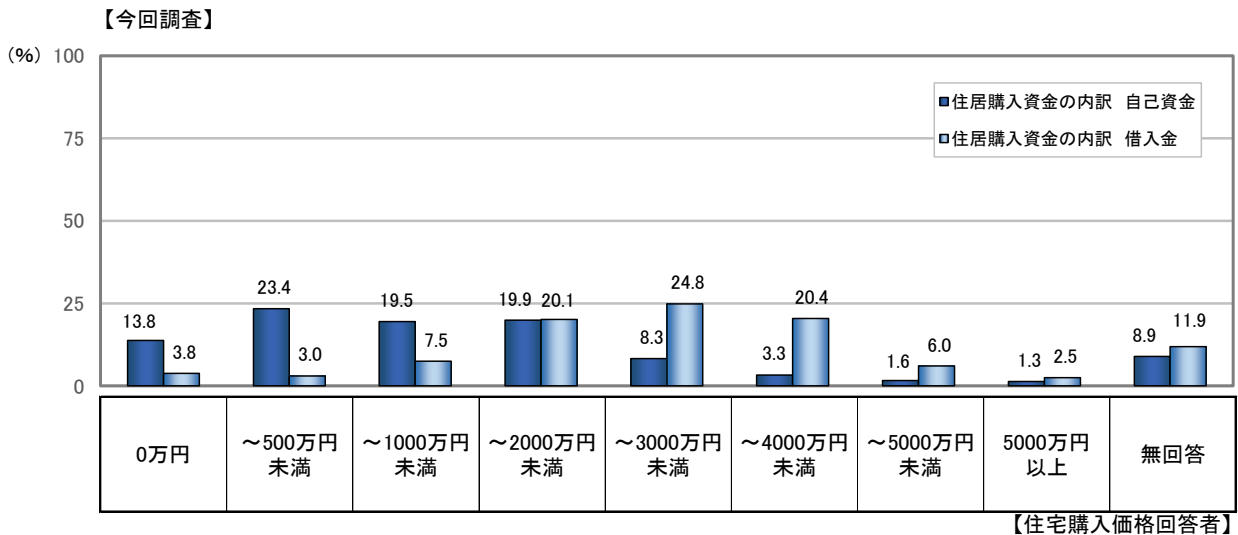
(3) 住宅購入価格・資金の内訳

- 回答者本人もしくは配偶者が購入した 849 人の『持ち家』購入価格としては、「3,000 万円以上 4,000 万円未満」が 20.8%で最も多く、次いで「2,000 万円以上 3,000 万円未満」が 18.8%となった。平均購入価格は 3,062 万 2 千円 (n=637) であった。(図表 11-3-1)
- 回答者本人もしくは配偶者が所有する『持ち家』の購入価格回答者 (n=637) における、住宅購入資金の内訳としては、“自己資金”は「0 万円超 500 万円未満」が 23.4%と 2 割台で、平均金額は 1,092 万 5 千円 (n=492)、“借入金”は「2,000 万円以上 3,000 万円未満」(24.8%)、「3,000 万円以上 4,000 万円未満」(20.4%)、「1,000 万円以上 2,000 万円未満」(20.1%)、平均借入額は 2,433 万 1 千円 (n=537) であった。(図表 11-3-2)

(図表 11-3-1) 住宅購入価格 (問 43-4)



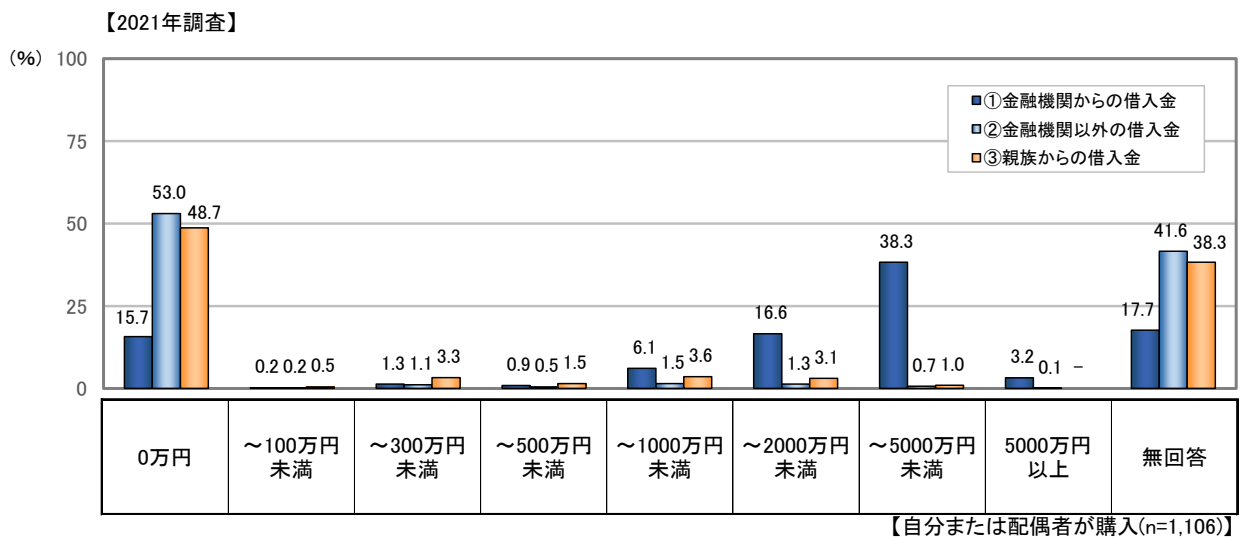
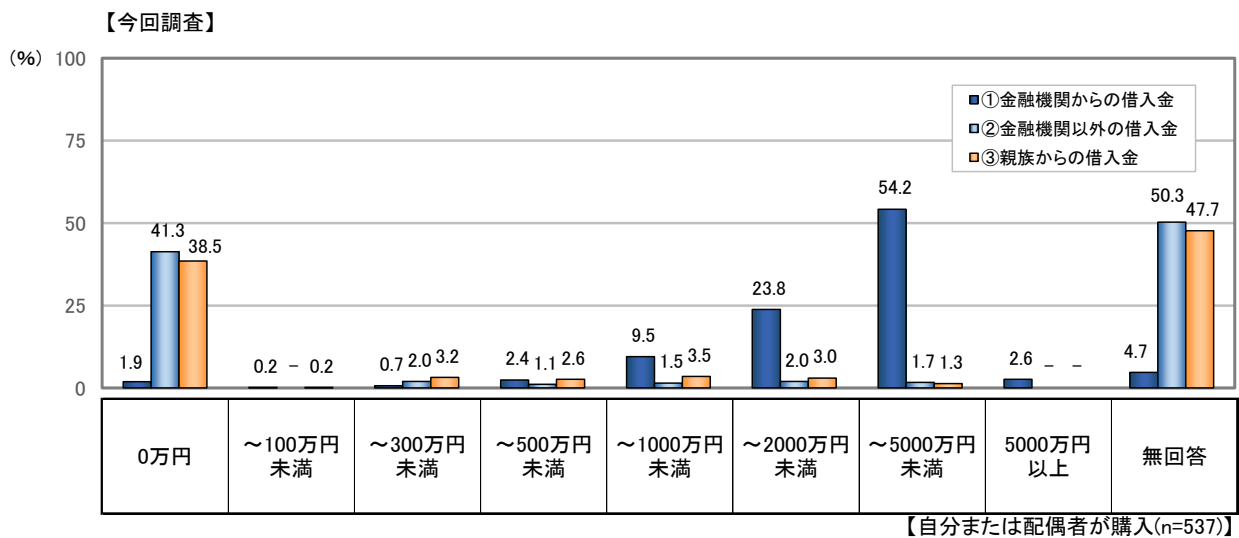
(図表 11-3-2) 住宅購入資金の内訳 (問 43-4)



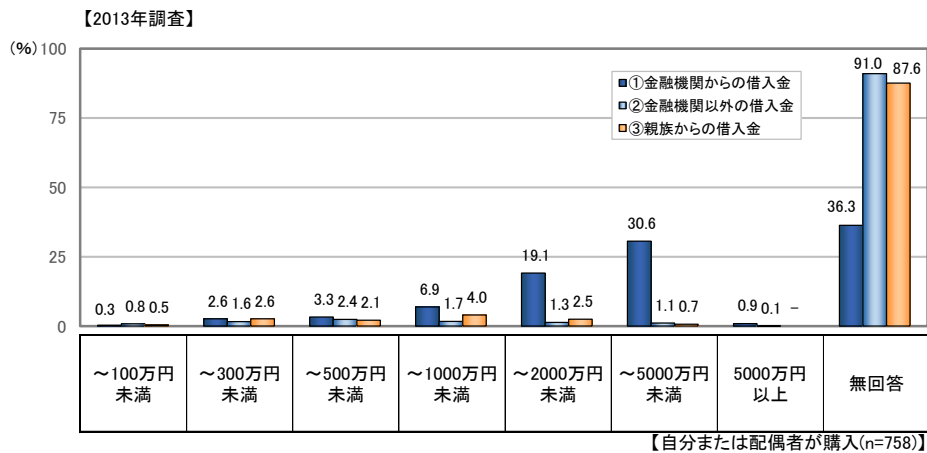
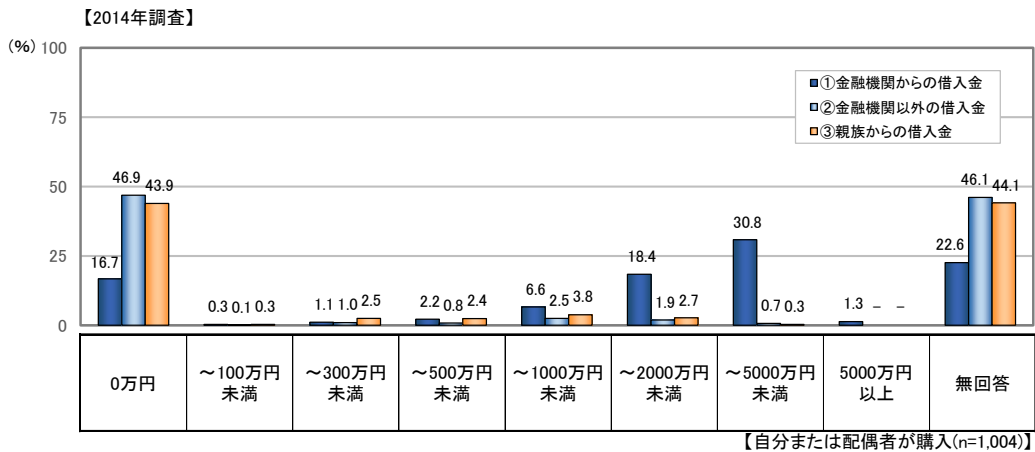
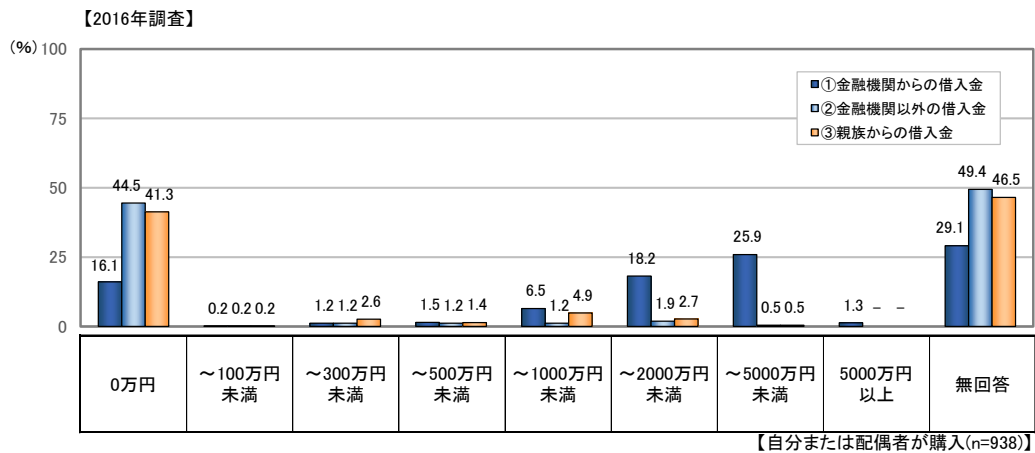
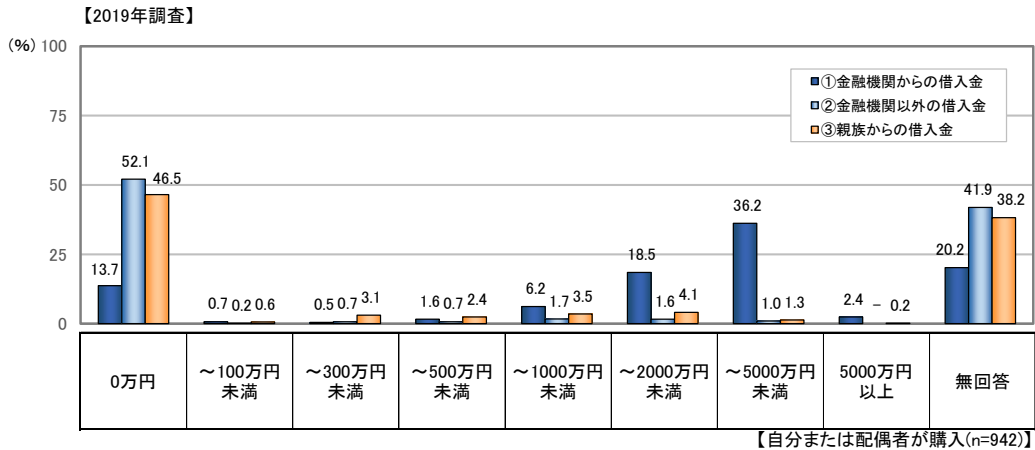
(4) 自己資金以外の購入資金

- 回答者本人もしくは配偶者が購入した『持ち家』購入資金のうち借入金がある人 (n=537) における借入金の利用状況としては、“金融機関からの借入金”は「2,000万円以上 5,000万円未満」が54.2%で最も多く、次いで、「1,000万円以上 2,000万円未満」が23.8%となった。平均借入金額は2,332万6千円であった。
- “金融機関以外の借入金”は、「0万円」(41.3%)と無回答(50.3%)の合計が9割、平均借入額は1,037万3千円 (n=45)、“親族からの援助”は「0万円」(38.5%)と無回答(47.7%)の合計が86.2%で、平均借入額は701万1千円 (n=74)であった。(図表 11-3)

(図表 11-4) 自己資金以外の購入資金 (問 43-5)



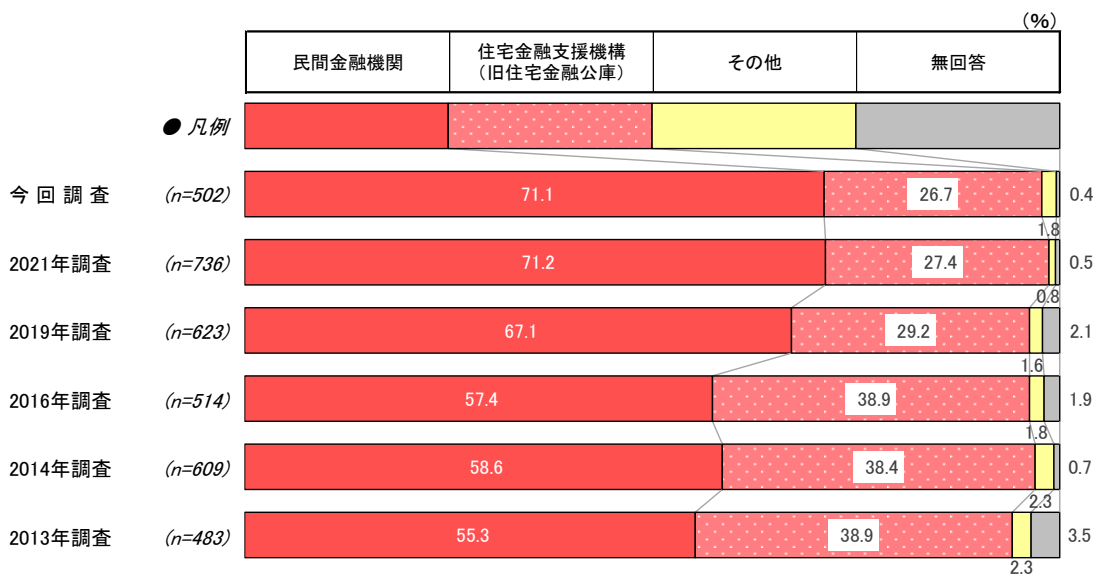
(図表 1 1 - 4 続き) 自己資金以外の購入資金 (問 43-5)



(5) 借入金融機関・金利タイプ・借入金利

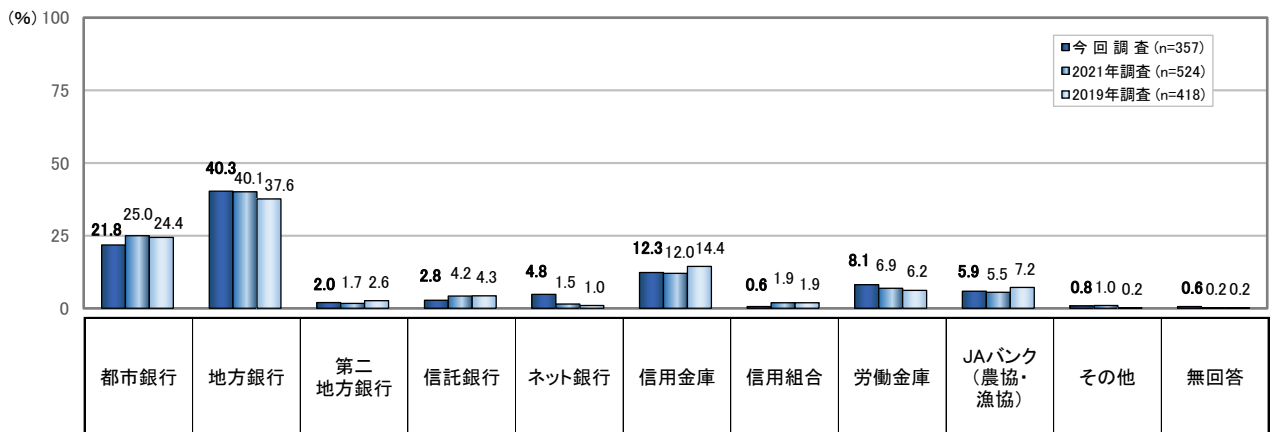
- “金融機関からの借入金”がある回答者 (n=502) が『持ち家』購入にあたっての資金を調達した金融機関としては、「民間金融機関」(71.1%) が7割を占め、「住宅金融支援機構(旧住宅金融公庫)」(26.7%) は約3割となった。(図表 11-5-1)
- 民間金融機関から持家購入資金を調達した人(n=357)の借入先民間金融機関は、「地方銀行」が40.3%で最も多く、次いで「都市銀行」(21.8%)、「信用金庫」(12.3%)の順だった。(図表 11-5-2)
- 民間金融機関から持家購入資金を調達した人(n=357)の借入金利タイプは、「変動金利型」が44.0%で最も多く、次いで、「固定金利期間選択型(10年以下)」が17.1%、「全期間固定金利型(10年超)」が14.3%、「固定金利期間選択型(10年超)」が11.2%となった。(図表 11-5-3)
- 民間金融機関から持家購入資金を調達した人(n=357)の借入当時の金利は、「0.5%以上1.0%未満」(17.6%)、「1.0%以上1.5%未満」(11.5%)、「5.0%以上」(9.0%)、「1.5%以上2.0%未満」(6.2%)となった。(図表 11-5-4)

(図表 11-5-1) 借入金融機関 (問 43-6)



【金融機関からの借入金を利用】

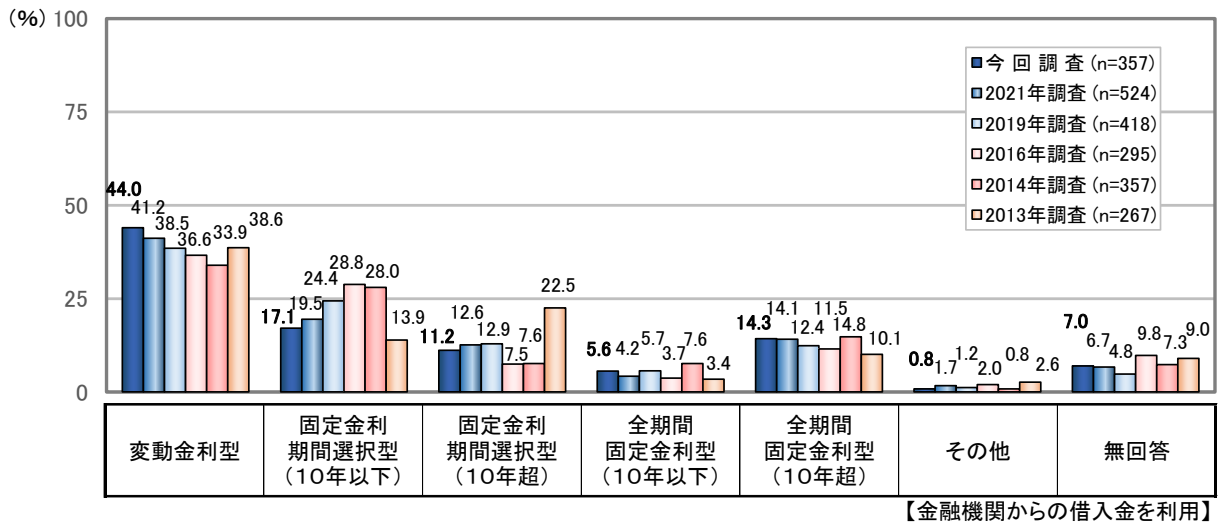
(図表 11-4-2) 主な借入民間金融機関 (問 43-6-1)



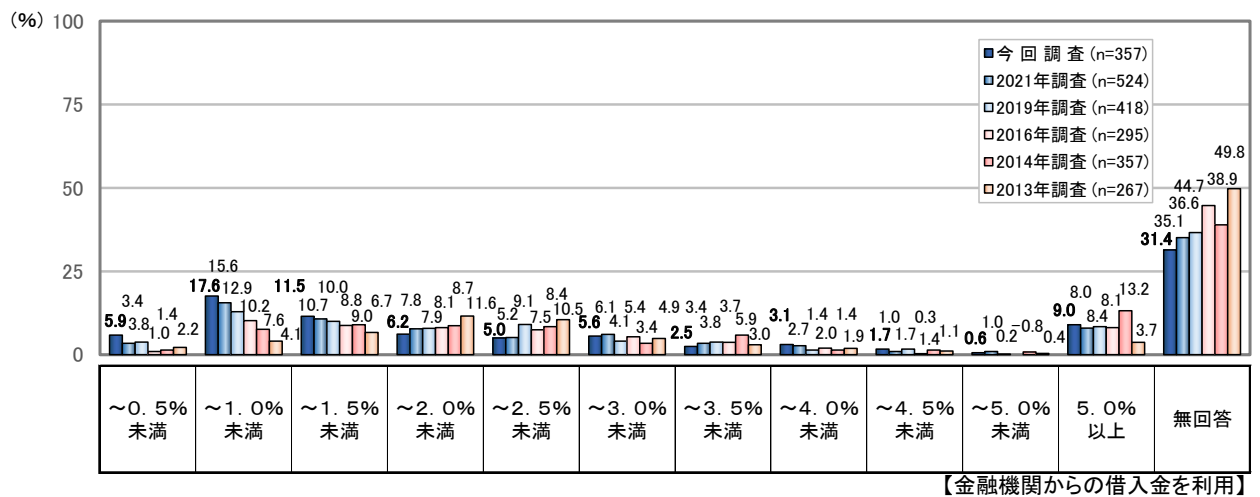
【金融機関からの借入金を利用】



(図表 11-5-3) 金利タイプ (問 43-6-2)



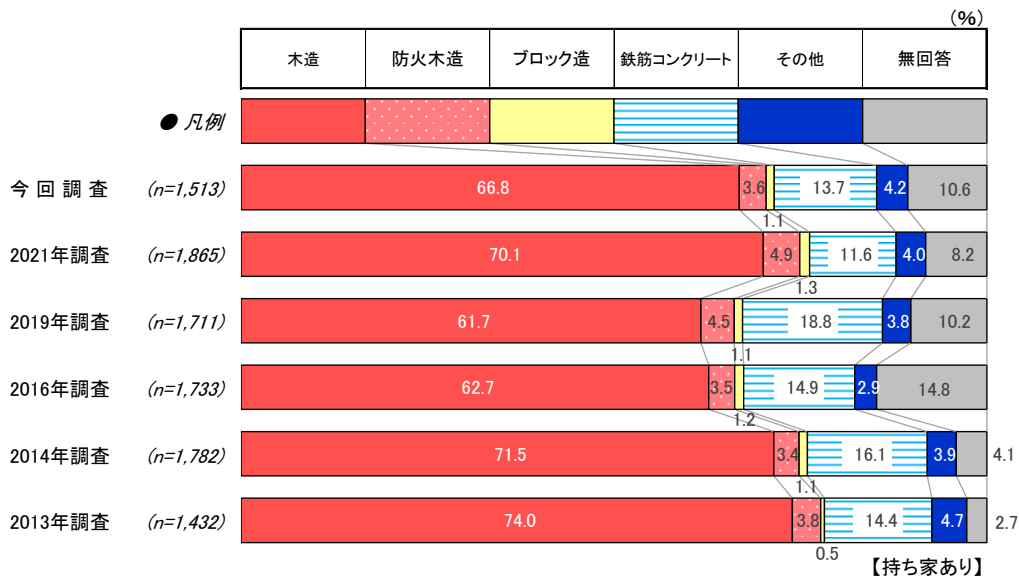
(図表 11-5-4) 借入金利 (問 43-6-3)



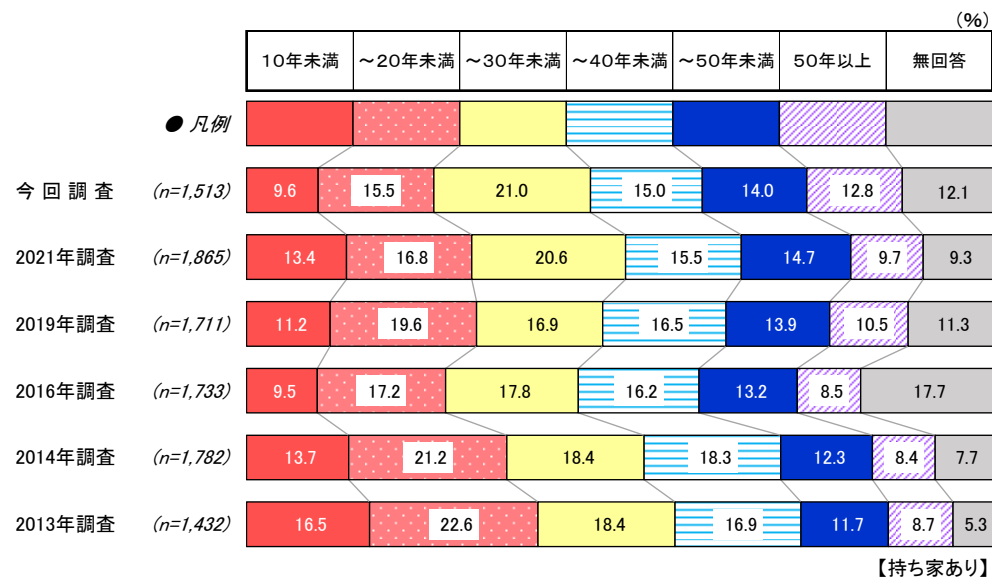
(6) 住居構造・築年数・敷地面積・床面積

- 持ち家またはその他住居の居住者 (n=1,513) の現在の住居構造は、「木造」が 66.8%、「鉄筋コンクリート」が 13.7%であった。(図表 11-6-1)
- 築年数は、「20 年以上 30 年未満」(21.0%) が約 2 割、「10 年以上 20 年未満」(15.5%)、「30 年以上 40 年未満」(15.0%)、「40 年以上 50 年未満」(14.0%)、「50 年以上」(12.8%) が 1 割台となった。平均築年数は 29.9 年であった。(図表 11-6-2)
- 一戸建て持ち家またはその他住居に居住する回答者 (n=1,420) の一戸建て住宅の敷地面積は、「200 m<sup>2</sup>以上 300 m<sup>2</sup>未満」(13.0%)、「150 m<sup>2</sup>以上 200 m<sup>2</sup>未満」(12.0%)、「100 m<sup>2</sup>以上 150 m<sup>2</sup>未満」(11.3%) が、いずれも 1 割台となった。平均敷地面積は、273.4 m<sup>2</sup>であった。(図表 11-6-3)
- 持ち家またはその他住居に居住する回答者 (n=1,513) の住宅の床面積は、「100 m<sup>2</sup>以上 150 m<sup>2</sup>未満」(19.4%)、「50 m<sup>2</sup>以上 100 m<sup>2</sup>未満」(17.7%) がともに 1 割台となった。平均床面積は、121.9 m<sup>2</sup>であった。(図表 11-6-3)

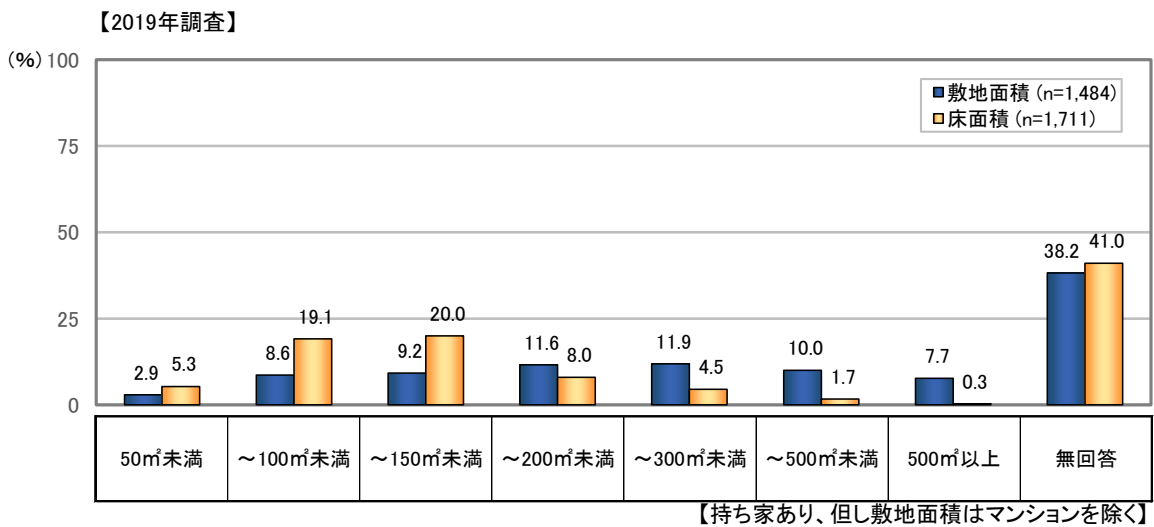
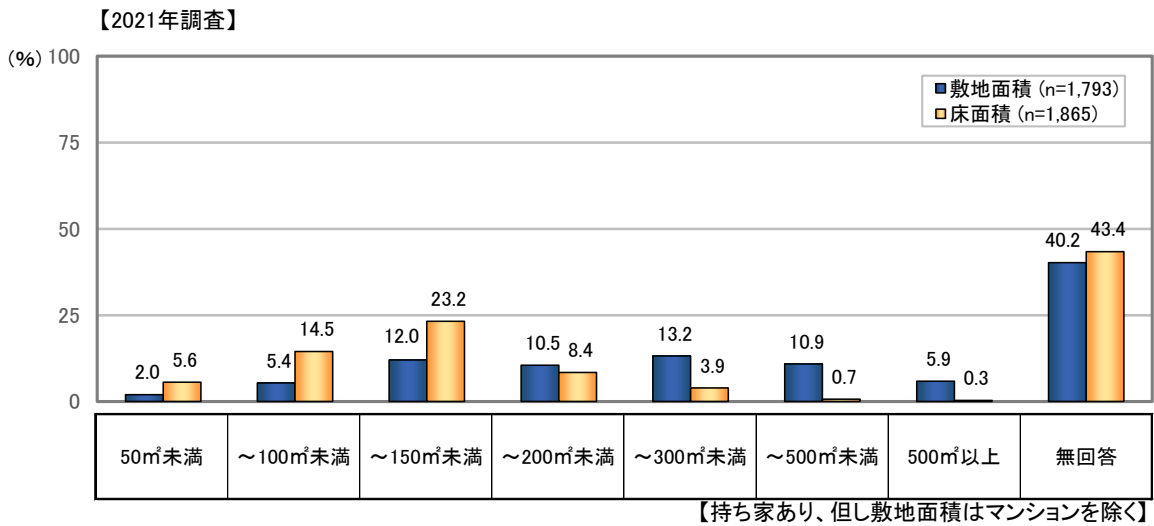
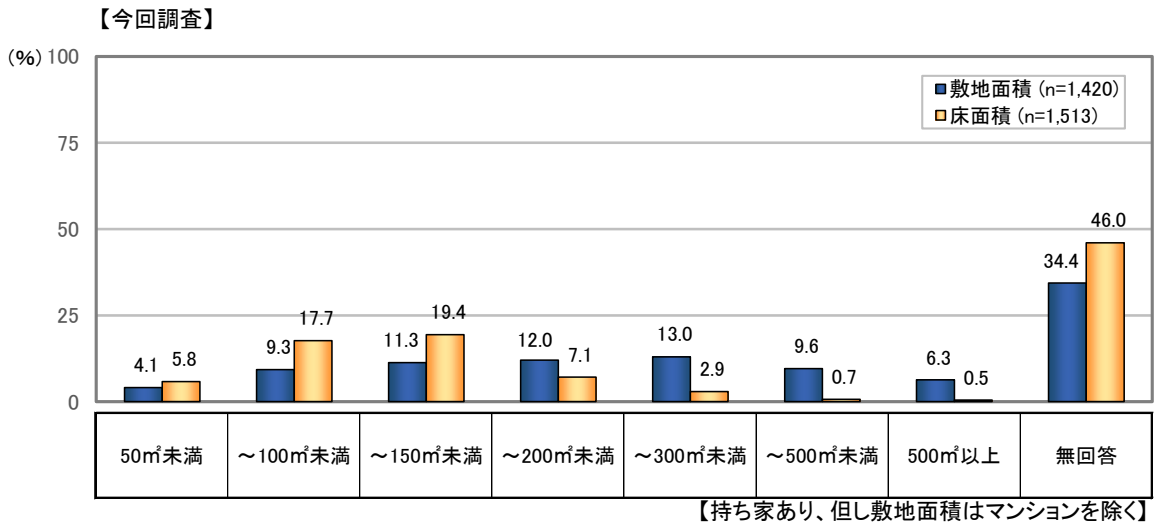
(図表 1 1 - 6 - 1) 住居構造 (問 44)



(図表 1 1 - 6 - 2) 築年数 (問 44-1)

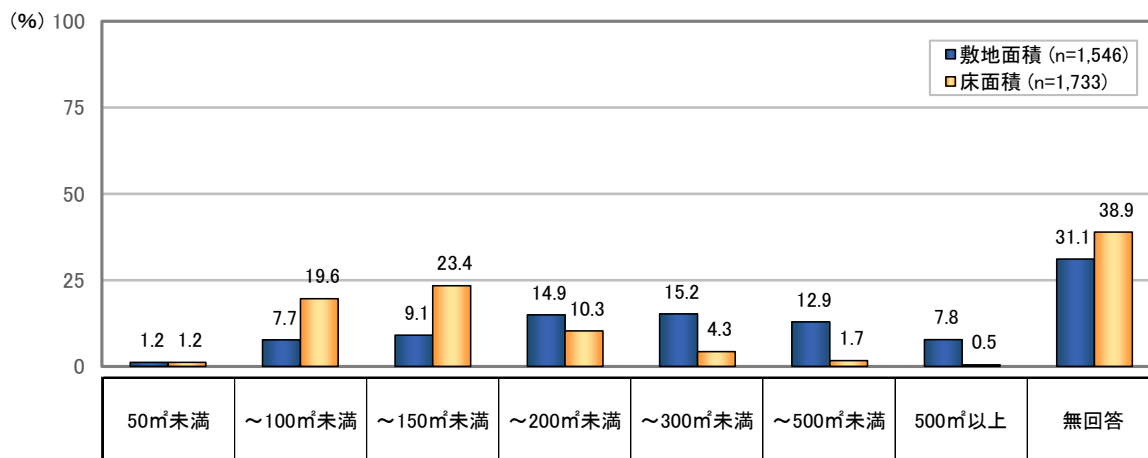


(図表 11-6-3) 敷地面積・床面積 (問 44-2)



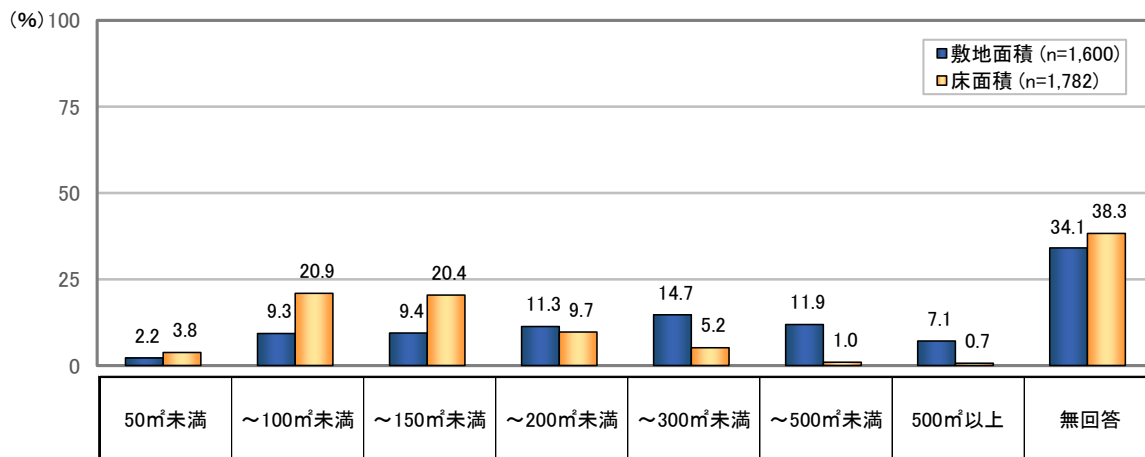
(図表 1 1 - 6 - 3 続き) 敷地面積・床面積 (問 44-2)

【2016年調査】



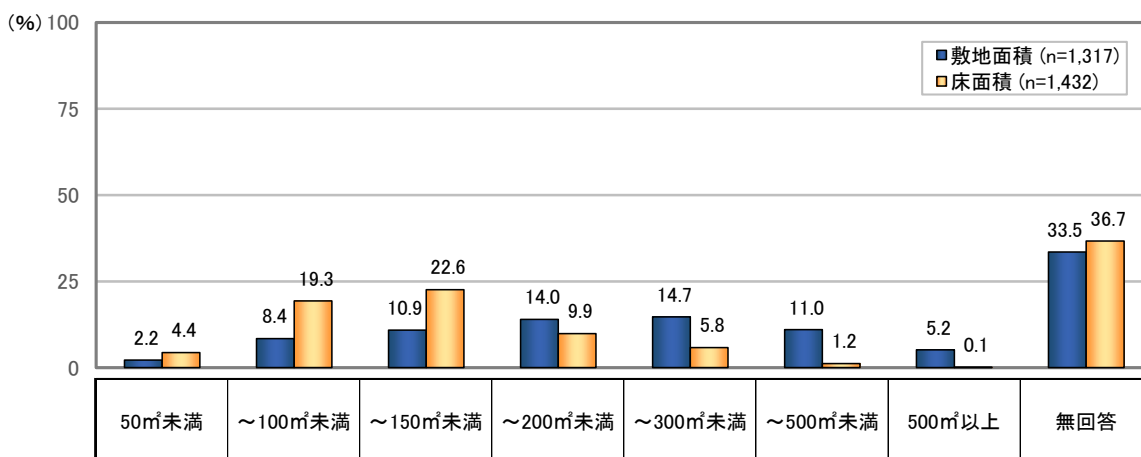
【持ち家あり、但し敷地面積はマンションを除く】

【2014年調査】



【持ち家あり、但し敷地面積はマンションを除く】

【2013年調査】

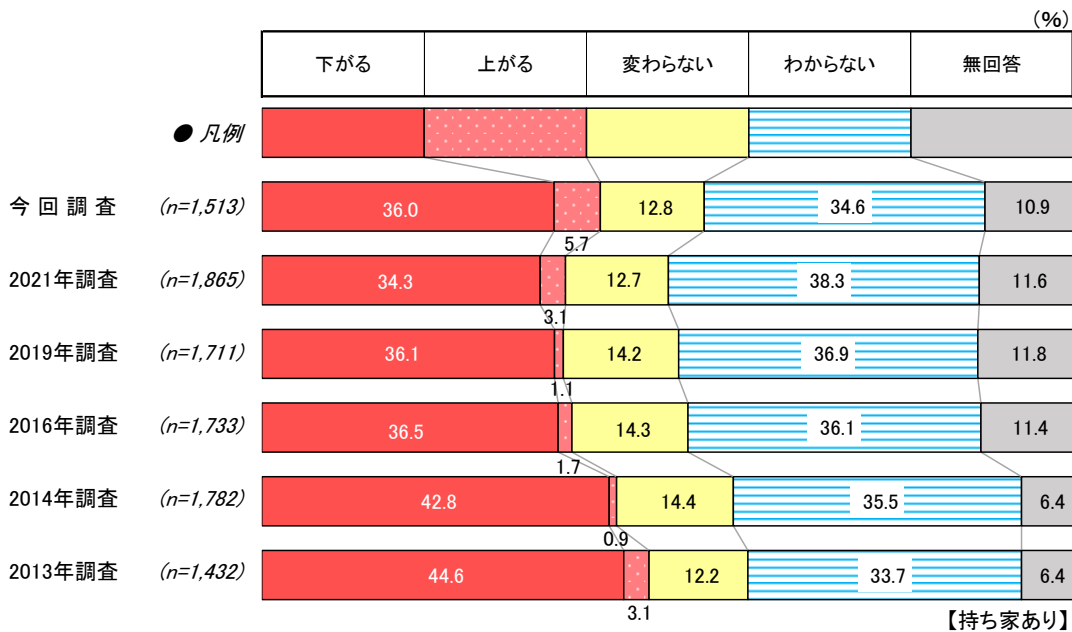


【持ち家あり、但し敷地面積はマンションを除く】

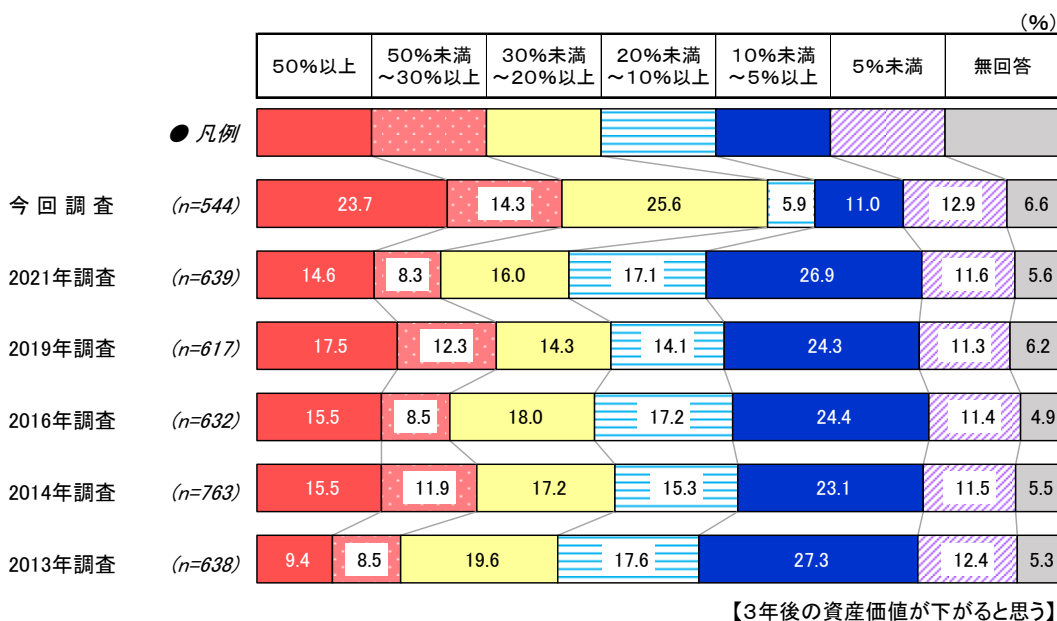
(7) 持ち家の3年後の資産価値予測 (持ち家居住者)

- 持ち家またはその他住居の居住者 (n=1,513) の現在の『持ち家』の3年後の資産価値は、「下がる」と回答した人が 36.0%で、「変わらない」が 12.8%、「上がる」は 5.7%にとどまった。また、「わからない」は 34.6%だった。(図表 11-7-1)
- 『持ち家』の3年後の資産価値は「下がる」と回答した人 (n=544) の考える3年後の下落幅としては、「30%未満～20%以上」が 25.6%で最も多かった。(図表 11-7-2)
- 一方、『持ち家』の3年後の資産価値は「上がる」と回答した人 (n=86) の考える上昇幅は、「5%未満」が 51.2%で最も多かった。(図表 11-7-3)

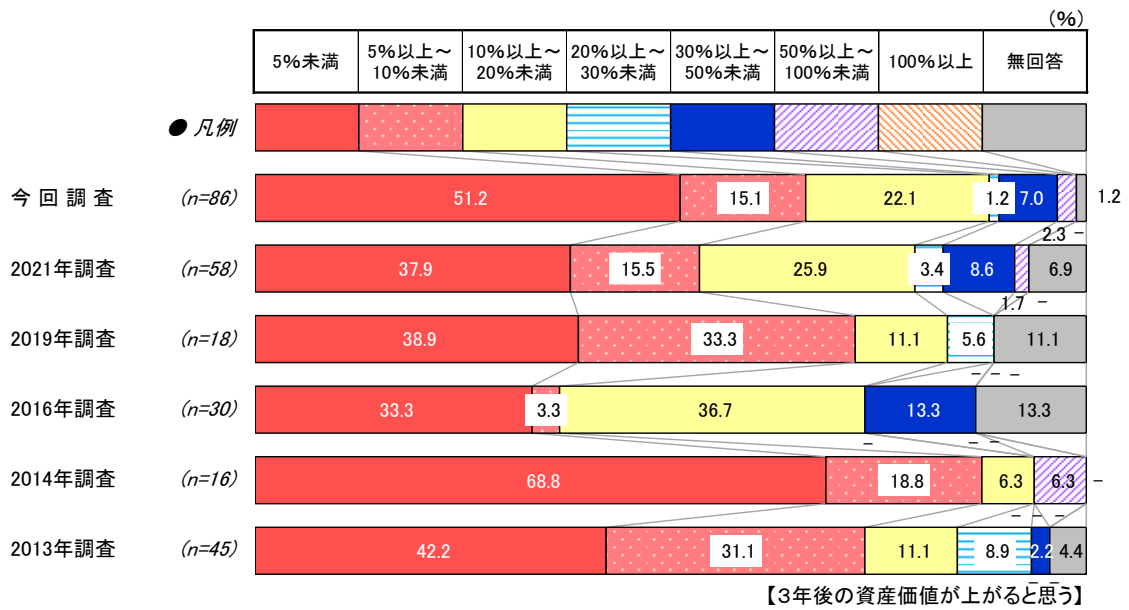
(図表 1 1 - 7 - 1) 持ち家の3年後の資産価値予測 (持ち家居住者) (問 45)



(図表 1 1 - 7 - 2) 持ち家の3年後の資産価値下落幅 (問 45-1)



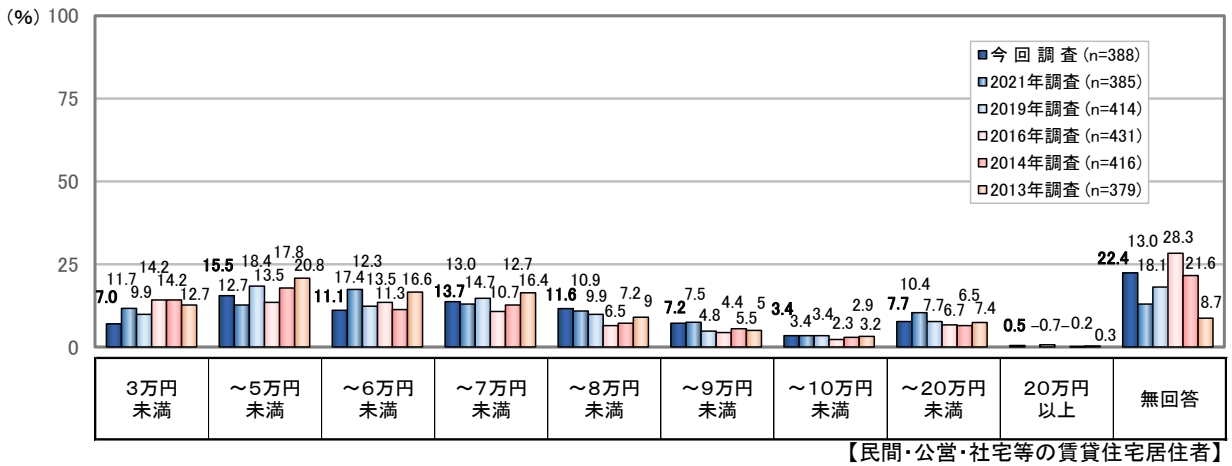
(図表 1 1 - 7 - 3) 持ち家の3年後の資産価値上昇幅 (問 45-2)



(8) ひと月の家賃（賃貸居住者）

- 民間・公営・社宅等の賃貸住宅居住者（n=388）の、ひと月の家賃は、「3万円以上5万円未満」が15.5%で最も多く、次いで「6万円以上7万円未満」（13.7%）、「7万円以上8万円未満」（11.6%）の順に多かった。平均すると6万5千円となった。（図表 11-8）

(図表 11-8) 賃貸住宅のひと月の家賃（問 46）

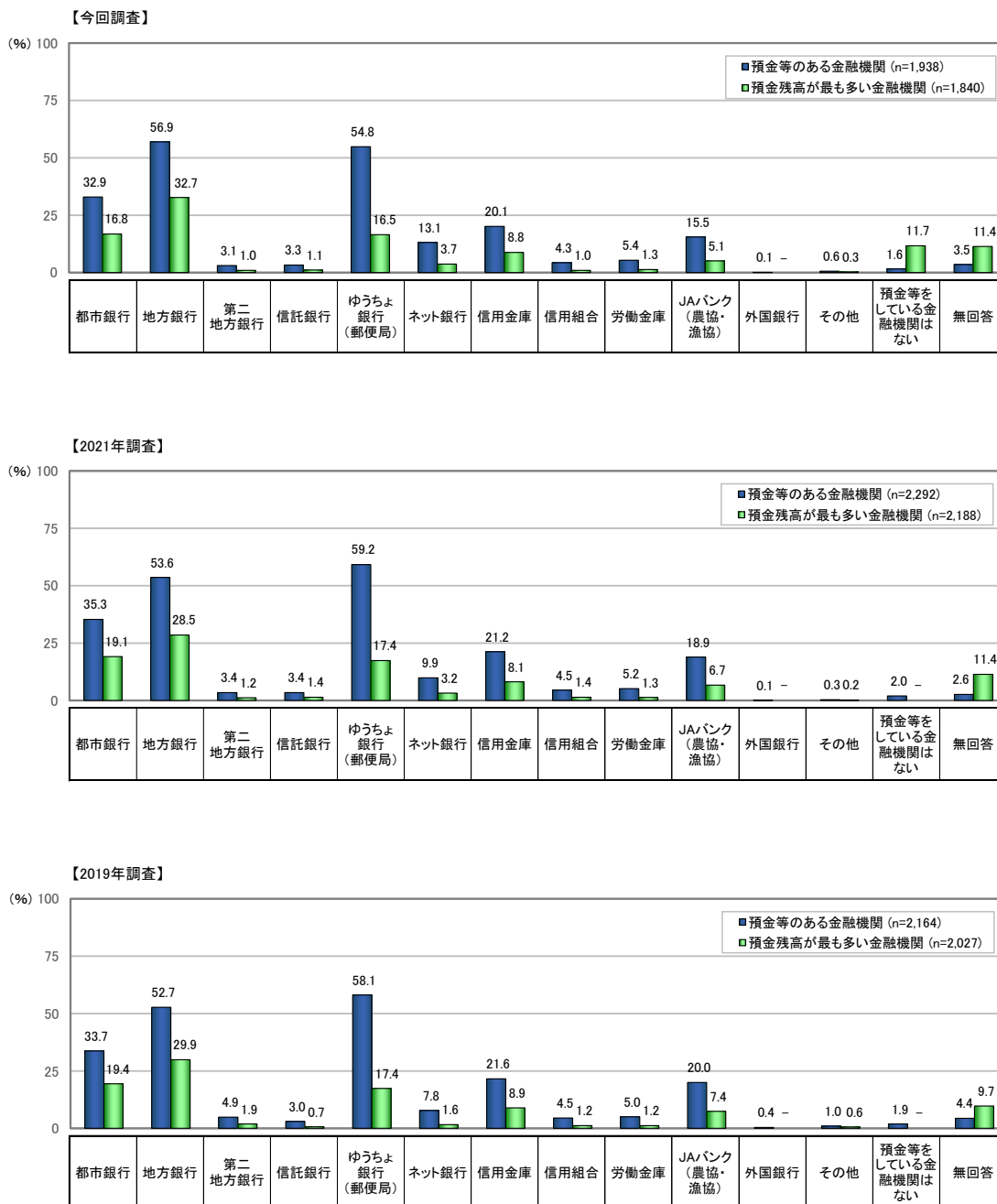


## 12. 金融機関の利用状況について

### (1) 利用している金融機関

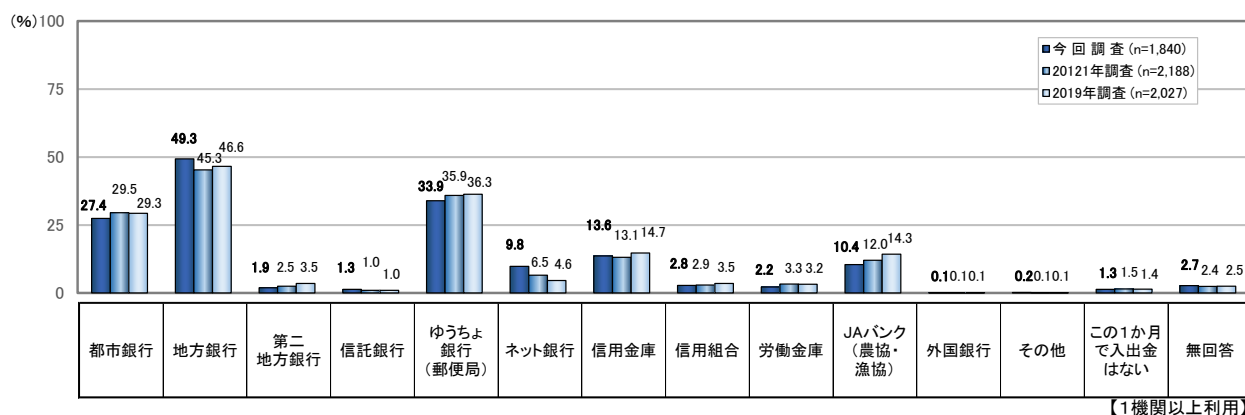
- 現在、預金等をしている金融機関（複数回答）を聞くと、「地方銀行」が56.9%で最も多く、次いで、「ゆうちょ銀行」(54.8%)、「都市銀行」(32.9%)、「信用金庫」(20.1%)、「JAバンク」(15.5%)となった。そのうちで最も預金残高が多い金融機関を聞くと、多い順に「地方銀行」(32.7%)、「都市銀行」(16.8%)、「ゆうちょ銀行」(16.5%)の順になった。(図表12-1-1)
- 金融機関を利用している回答者(n=1,840)に、最近1か月間で入出金のあった金融機関（複数回答）を聞くと、多い順に「地方銀行」(49.3%)、「ゆうちょ銀行」(33.9%)、「都市銀行」(27.4%)の順となった。(図表12-1-2)

(図表12-1-1) 預金等をしている金融機関（問47、複数回答）





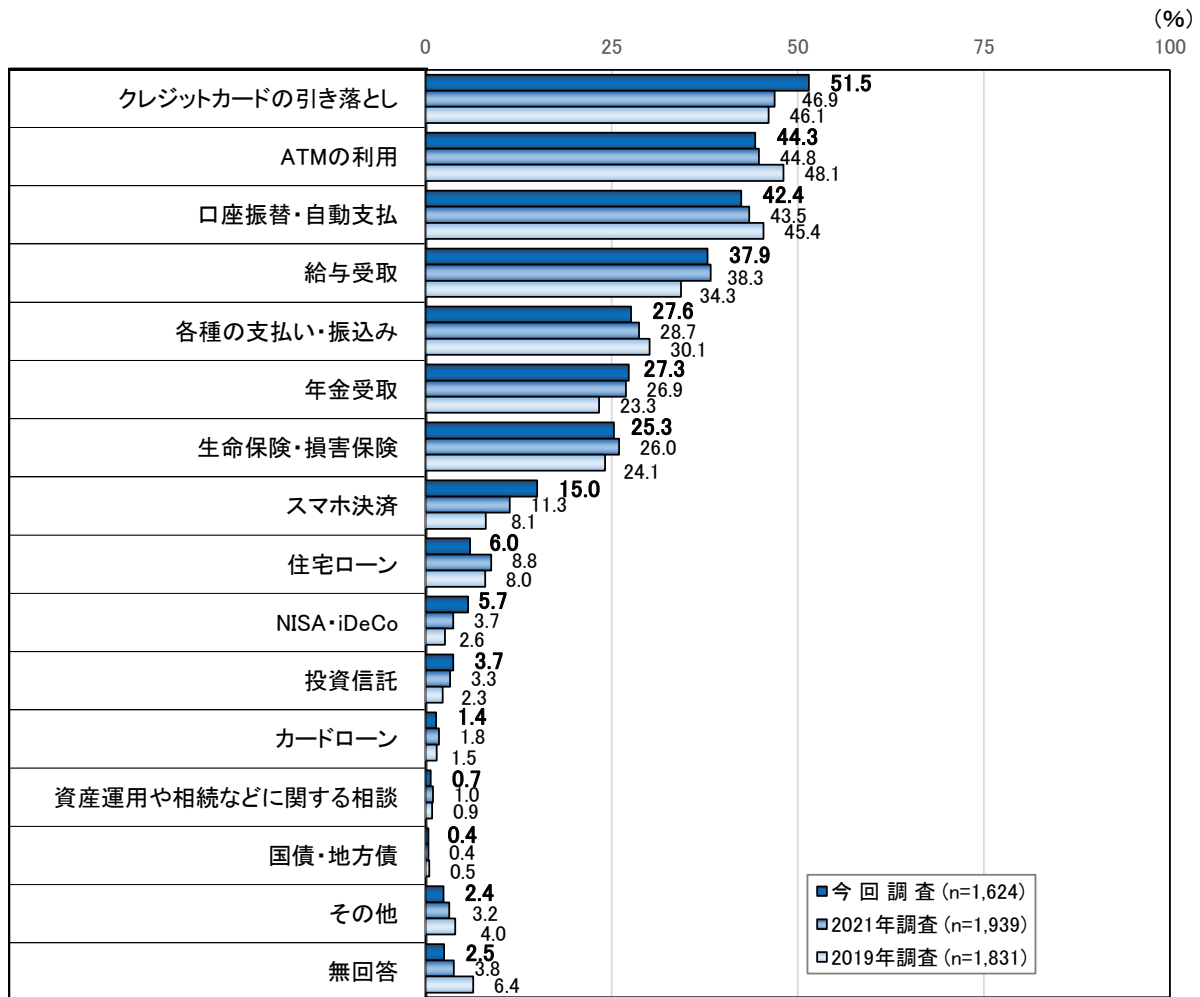
(図表 1 2 - 1 - 2) 過去 1 か月間で入出金のあった金融機関 (問 48、複数回答)



(2) 最も預金残高が多い金融機関での利用サービス

- 最も預金残高が多い金融機関で利用しているサービス（複数回答）を聞くと、「クレジットカードの引き落とし」（51.5%）が5割台、「ATMの利用」（44.3%）、「口座振替・自動支払」（42.4%）が4割台で多く、次いで「給与受取」（37.9%）が4割弱が続いた。（図表 12-2）

(図表 12-2) 最も預金残高が多い金融機関での利用サービス（問 49、複数回答）

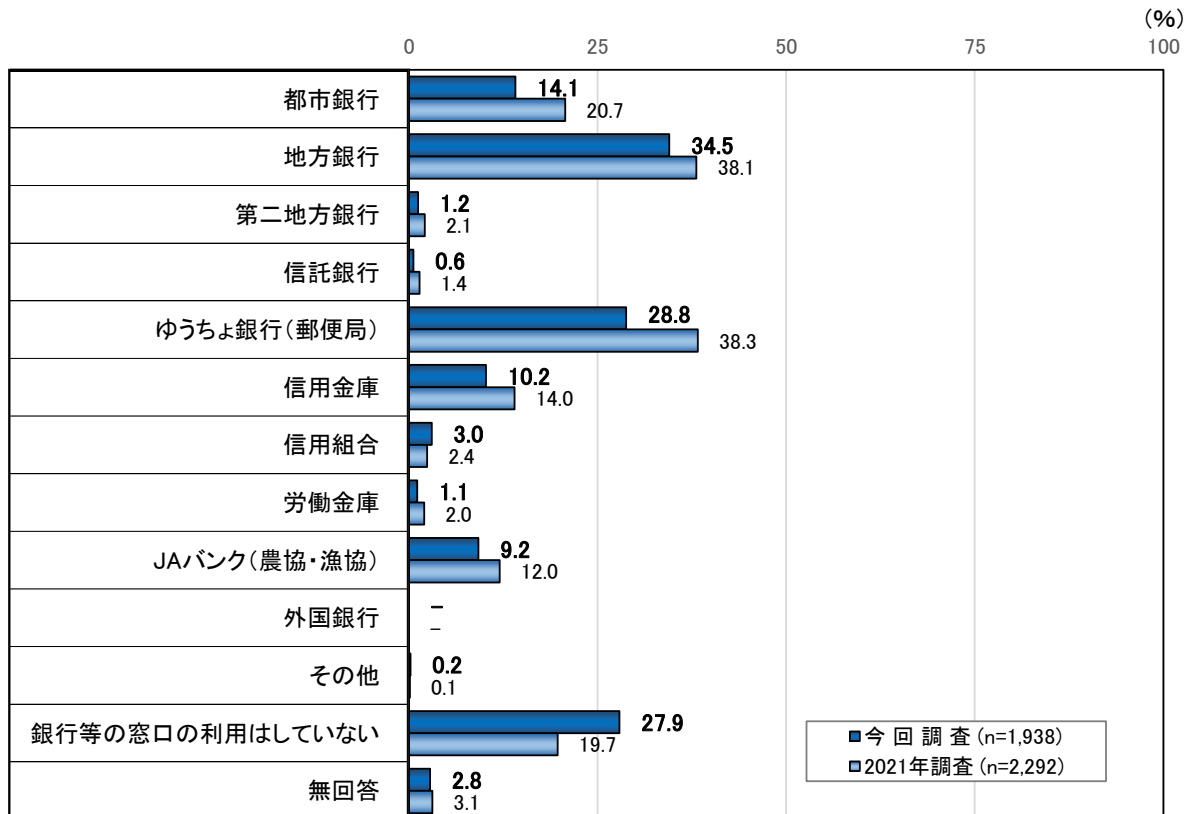


【最も預金残高が多い金融機関回答者】

(3) 行員等がいる窓口を利用している金融機関

- 行員等がいる窓口を利用している金融機関（複数回答）を聞くと、「地方銀行」が34.5%で最も多く、次いで「ゆうちょ銀行」(28.8%)、「都市銀行」(14.1%)、「信用金庫」(10.2%)、「JAバンク」(9.2%)の順だった。「銀行等の窓口は利用していない」は27.9%だった。(図表 12-3)

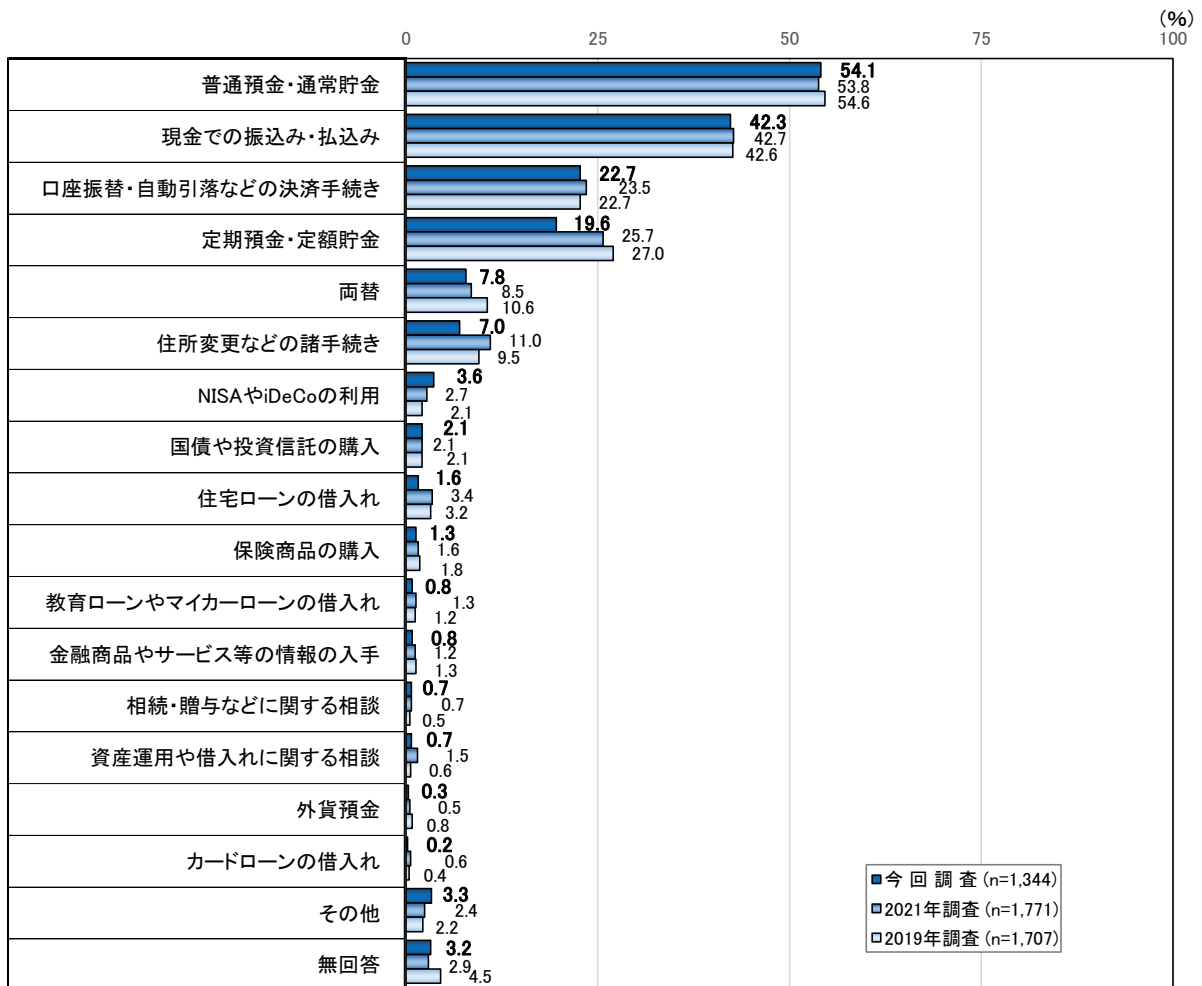
(図表 1 2 - 3) 銀行等の窓口を利用している金融機関 (問 50、複数回答)



#### (4) 銀行等の窓口を利用する目的、理由

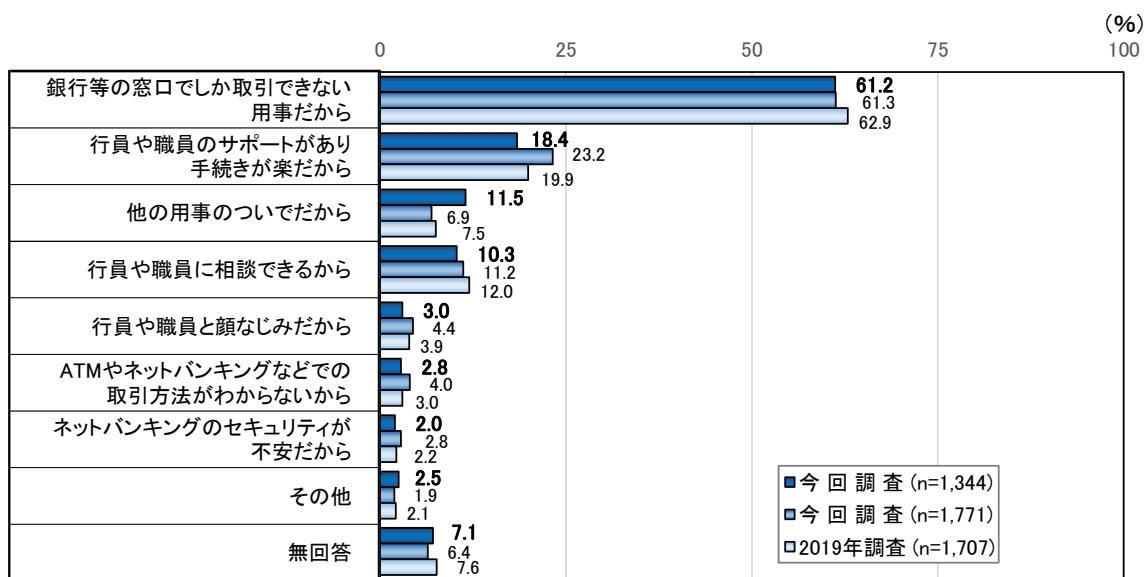
- 銀行等の窓口を利用する人 (n=1,344) に、窓口を利用する目的 (複数回答) を聞くと、「普通預金・通常貯金」が 54.1% で最も多く、次いで「現金での振込み・払込み」(42.3%)、「口座振替・自動引落などの決済手続き」(22.7%)、「定期預金・定額貯金」(19.6%)、の順で続く。(図表 12-4-1)
- 窓口を利用する理由 (複数回答) を聞くと、「銀行等の窓口でしか取引できない用事だから」(61.2%) が 6 割以上で最も多く、次いで「行員や職員のサポートがあり手続きが楽だから」(18.4%)、「他の用事のついでだから」(11.5%)、「行員や職員に相談できるから」(10.3%) が 1 割台で続く。その他の選択肢は 1 割未満だった。(図表 12-4-2)

(図表 12-4-1) 銀行等の窓口を利用する目的 (問 51、複数回答)



【銀行等窓口利用者】

(図表 1 2 - 4 - 2) 銀行等の窓口を利用する理由 (問 52、複数回答)

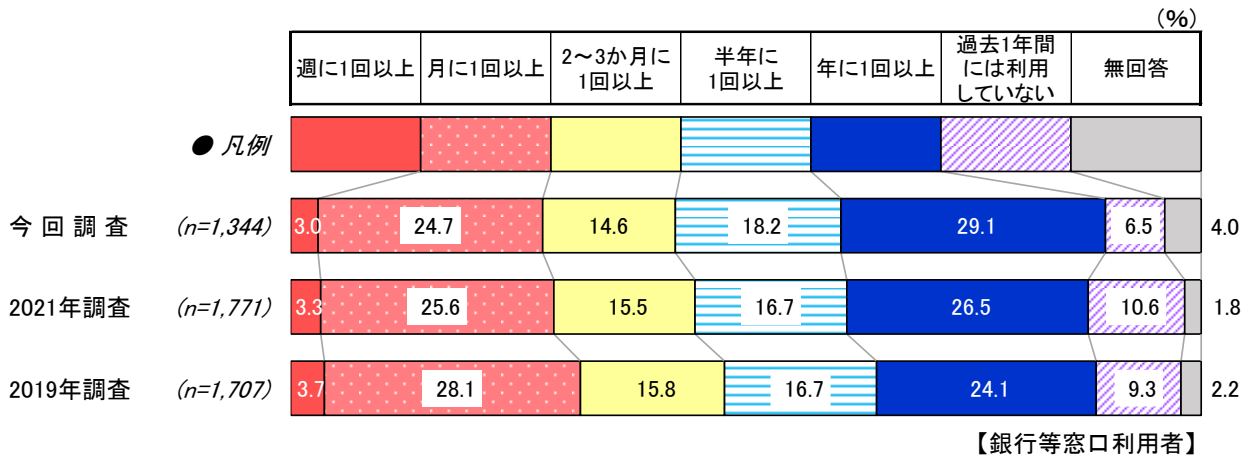


【銀行等窓口利用者】

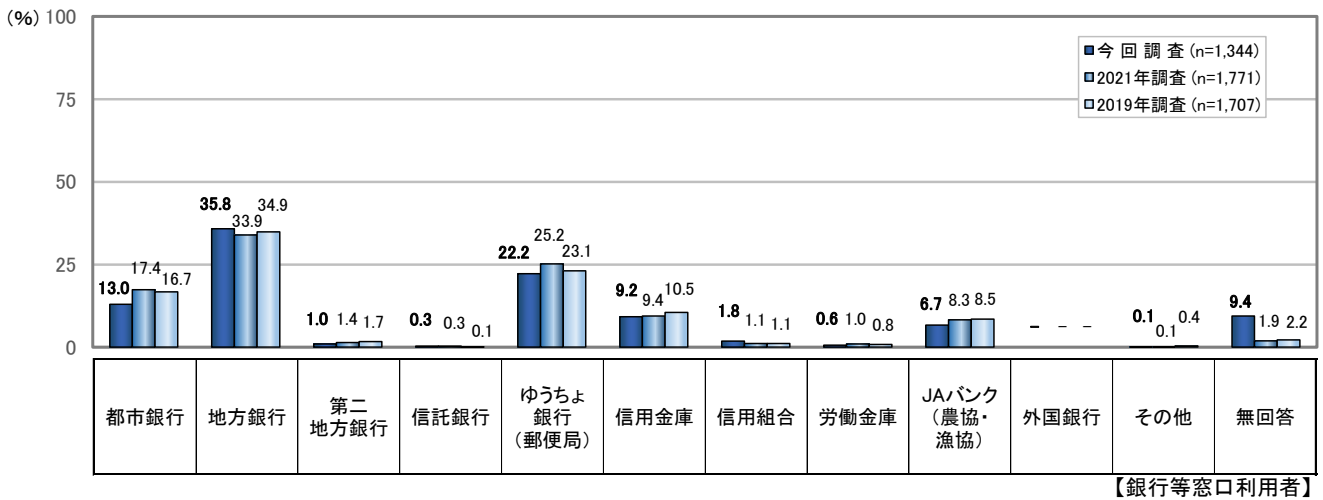
(5) 銀行等の窓口を利用する頻度・最もよく窓口を利用する金融機関

- 銀行等の窓口を利用する人 (n=1,344) が窓口を利用する頻度は、「年に1回以上」が29.1%、「月に1回以上」が24.7%で2割台となった。(図表 12-5-1)
- 最もよく窓口を利用する金融機関は、「地方銀行」(35.8%)、「ゆうちょ銀行」(22.2%)、「都市銀行」(13.0%)の順。(図表 12-5-2)

(図表 12-5-1) 銀行等の窓口を利用する頻度 (問 53)



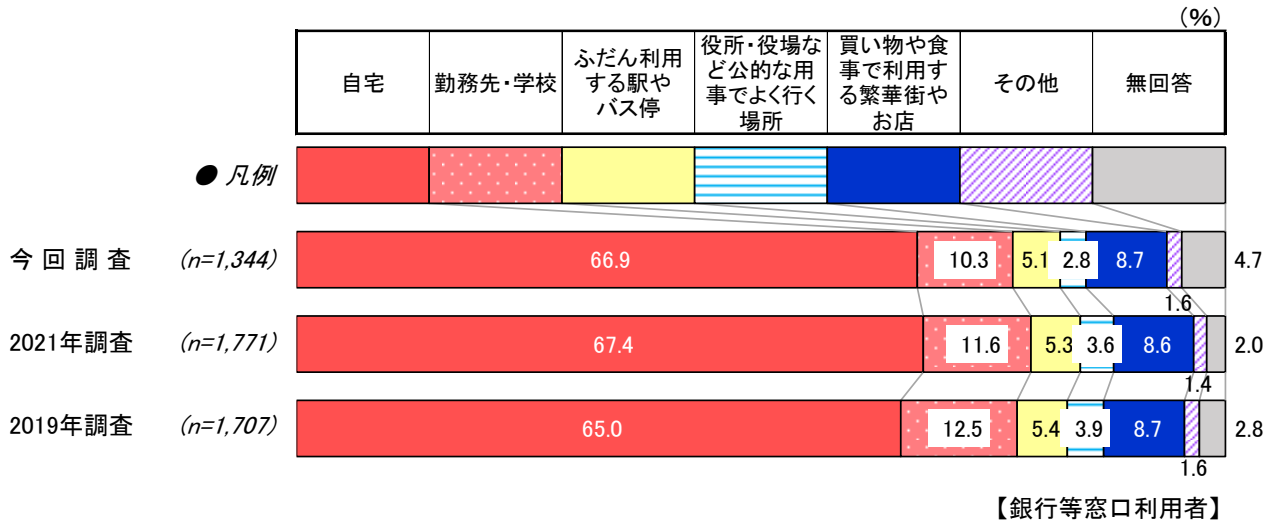
(図表 12-5-2) 最もよく窓口を利用する金融機関 (問 54)



(6) 最もよく窓口利用する金融機関のロケーション

- 銀行等の窓口を利用する人 (n=1,344) に、最もよく窓口利用する金融機関のロケーションが「どこ」の近くかを聞くと、「自宅」が 66.9%を占め、次いで「勤務先・学校」(10.3%)、「買い物や食事で利用する繁華街やお店」(8.7%)、「ふだん利用する駅やバス停」(5.1%)、「役所・役場など公的な用事でよく行く場所」(2.8%) の順だった。(図表 12-6)

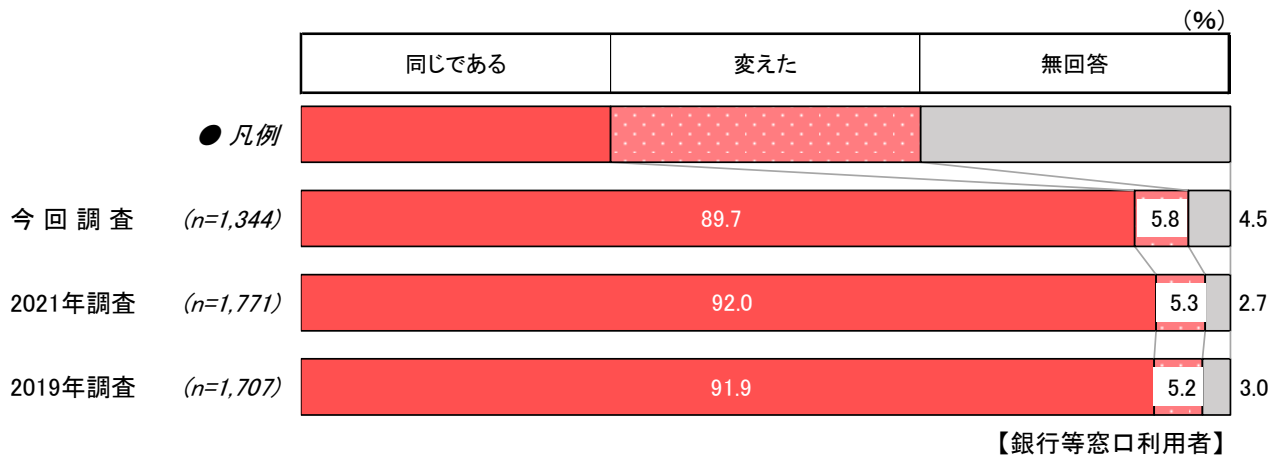
(図表 1 2 - 6) 最もよく窓口を利用する金融機関の近隣にあるもの (問 55)



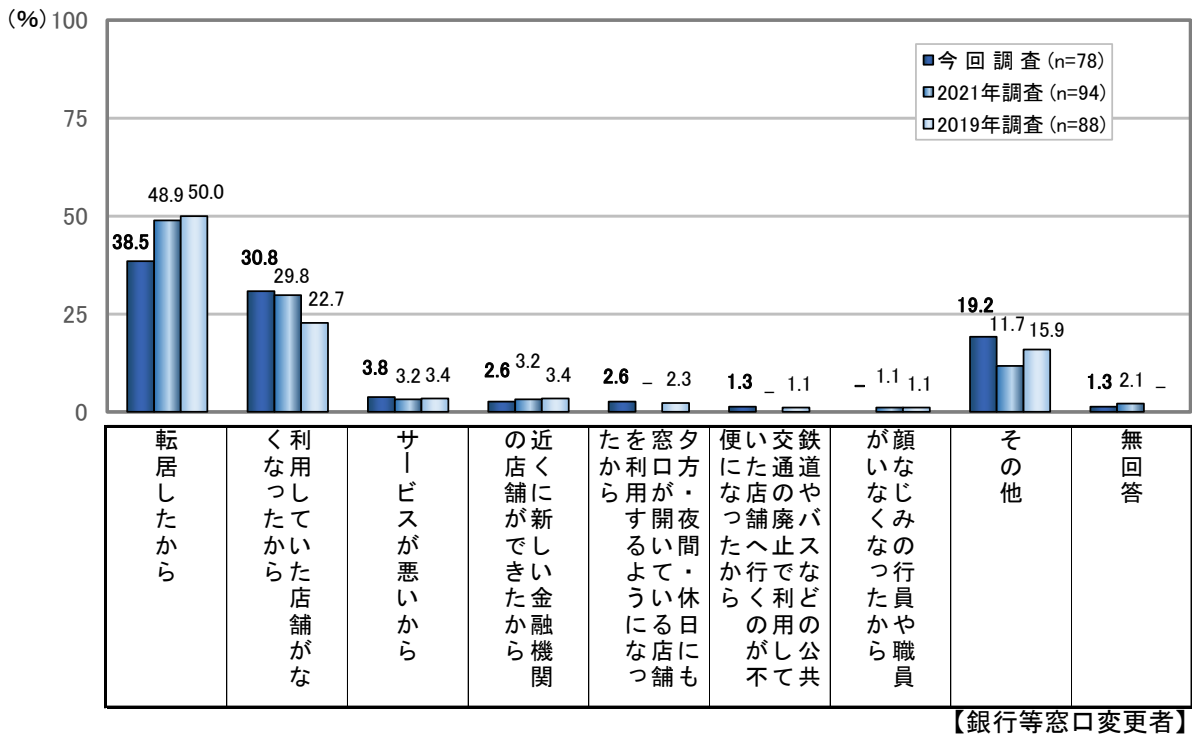
(7) 窓口利用する金融機関の店舗の変更

- 銀行等の窓口を利用する人(n=1,344)に、現在最もよく窓口を利用する店舗が2年前と同じか変更したかを聞いたところ、「同じである」が89.7%と約9割を占め、「変えた」は5.8%だった。  
(図表 12-7-1)
- 窓口を「変えた」人 (n=78) に変更した最も大きな理由を聞くと、「転居したから」が38.5%で最も多く、次いで「利用していた店舗がなくなったから」が30.8%だった。(図表 12-7-2)

(図表 12-7-1) 最もよく窓口を利用する店舗の2年前と現在の変化 (問 56)



(図表 12-7-2) 最もよく窓口を利用する金融機関の店舗を変えた最大の理由 (問 56-1)

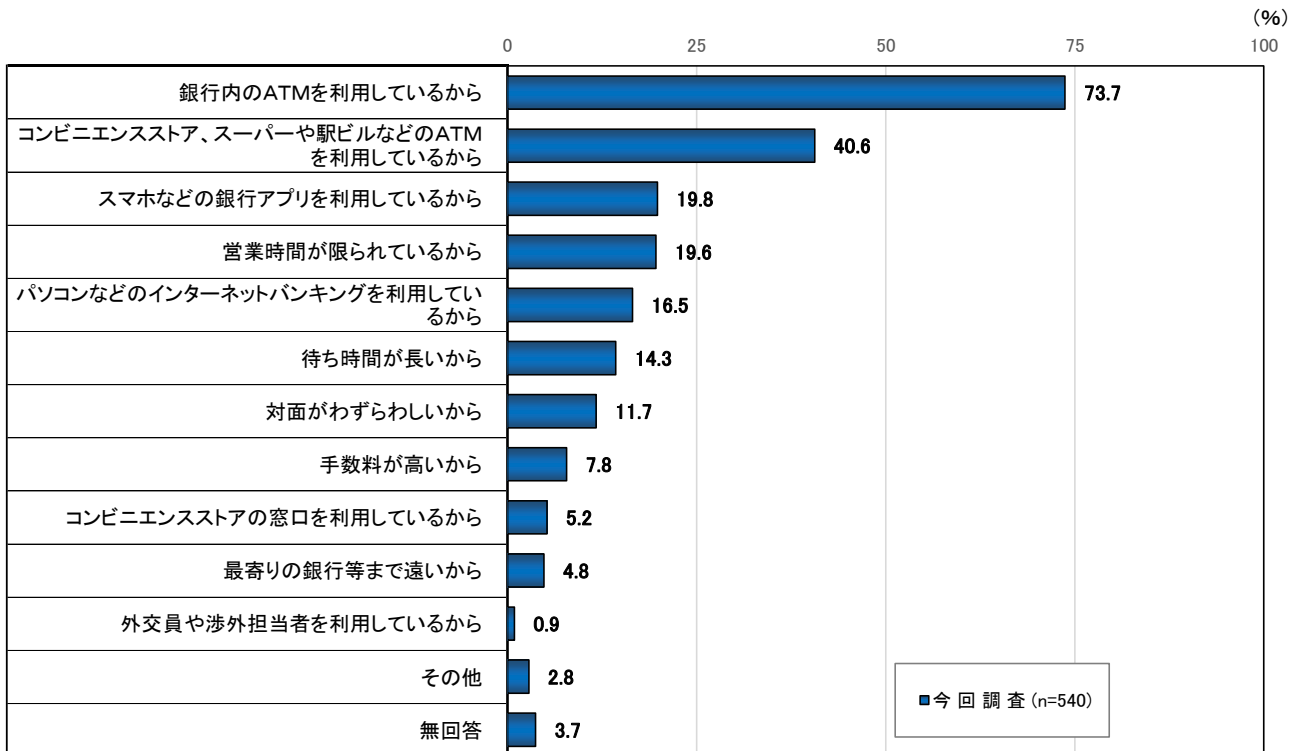




(8) 銀行等の窓口を利用しない理由

- 銀行等の窓口を利用しない人(n=540)に、利用しない理由(複数回答)を聞いたところ、「銀行内のATMを利用しているから」が73.7%で最も多く挙げられ、次いで「コンビニエンスストア、スーパーや駅ビルなどのATMを利用しているから」が40.6%だった。(図表12-8)

(図表12-8) 銀行等の窓口を利用しない理由(問57、複数回答)



【銀行等窓口非利用者】



### Ⅲ 調査票（付：単純集計結果）



# 「第6回くらしと生活設計に関する調査」 調査票

- ・この調査は金融やくらしについて、日ごろお考えになられていることなどをお伺いするものです。
- ・封筒のあて名の方ご本人がお答えください。
- ・調査データはすべて数値に置き換え、個人情報とは切り離します。お答えいただいた結果は、「〇〇という回答が△△%」というように統計的にまとめて公表するとともに、金融行動等に関する今後の学術研究に役立ってます。個人情報が出ることは一切ございませんので、ご安心ください。
- ・お答えは、あてはまる選択肢の番号を○で囲んでいただく場合と、マスの中に数字を記入していただく場合があります。「その他」にあてはまるときは選択肢の番号を○で囲み、( )内に具体的な内容を記入してください。
- ・金額など数値をお尋ねしている設問では、それぞれの単位に合わせて、その1つ下の位を四捨五入して回答ください。  
例) 金額を「万円」の単位でお伺いしている場合：64,000 円であれば千の位「4」を四捨五入して「6万円」と回答してください。
- ・質問番号順にお答えください。質問の中には、一部の方にだけおたずねする部分もありますが、その場合は指定された方法に従ってお答えください。
- ・⑩=1、⑪～⑳などの数字はコンピュータで処理するためのマークですので、お気になさらずにお答えください。

## 【調査票の回収方法について】

ご記入いただいた調査票は、① 郵送による回収、② 調査員による回収のどちらかご都合の良い方法でご提出ください。調査にご協力いただいた方には、謝礼として1,000円分のQUOカードを贈呈いたします。

### ① 郵送による回収

ご記入済の調査票を同封の返送用封筒に入れて12月10日(日)までにご投函下さい。(※切手は不要です。)期限までにご投函くださった方には、2024年1月中旬に謝礼を郵送にてお送りいたします。

### ② 調査員による回収

11月17日(金)～12月3日(日)の間に、一般社団法人 中央調査社の調査員が訪問しますので、同封の回収用封筒に入れて調査員にお渡しください。謝礼は調査員が調査票と引き換えにお渡しいたします。

## 【調査の企画】 一般財団法人 ゆうちよ財団 金融行動調査ワーキングチーム

神戸大学 経済経営研究所 特命教授 ホリオカ・チャールズ・ユウジ

〒101-0061

文京学院大学 人間学部教授 寺島 拓幸

東京都千代田区神田三崎町3-7-4

日本女子大学 人間社会学部教授 周 燕飛

ホームページ <https://www.yu-cho-f.jp/>

## 【調査の委託先】 一般社団法人 中央調査社

〒104-8179

東京都中央区銀座5-15-8

ホームページ <https://www.crs.or.jp/>



一般社団法人 中央調査社は一般財団法人 日本情報経済社会推進協会の「プライバシーマーク」の認定を受けております。個人情報保護方針にしたがい、情報の管理を徹底いたします。

## 【お問い合わせ先】 0120-48-5351(フリーダイヤル) / 03-3549-3125

(平日 9:00～17:00、担当：管理部)

整理番号				

点検者

**消費生活等についてお伺いします。**

**【全員の方へ】**

問1 次に示されたa～tの買い物についての考え方や行動が、あなたにどのくらいあてはまるかお答えください。(○はそれぞれ1つずつ)

(N=1,938)

		あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	無回答
a. 新しい商品が出るとほしくなる	⇒	( 6.4)	(30.5)	(39.6)	(22.2)	( 1.3)
b. 広告を見ると、その商品がほしくなる	⇒	( 3.4)	(25.9)	(46.9)	(22.4)	( 1.4)
c. 周囲の人がもっている商品をもっていないと気になる	⇒	( 1.4)	(10.7)	(38.2)	(48.0)	( 1.6)
d. 流行や話題になっている商品を選ぶ	⇒	( 3.5)	(26.1)	(40.2)	(28.2)	( 2.1)
e. ショッピングは楽しい	⇒	(29.8)	(42.8)	(18.6)	( 7.4)	( 1.3)
f. いろいろなお店を見てまわるのが好きだ	⇒	(23.8)	(31.6)	(27.6)	(15.0)	( 2.0)
g. 必要なものを必要な量だけ買う	⇒	(34.4)	(43.3)	(17.8)	( 3.0)	( 1.6)
h. 買い物は素早く済ませる	⇒	(29.1)	(38.2)	(26.0)	( 5.1)	( 1.7)
i. コストパフォーマンスをよく検討して商品を選ぶ	⇒	(26.7)	(41.4)	(21.5)	( 8.6)	( 1.7)
j. 事前にいろいろと情報収集してから商品を買う	⇒	(21.1)	(43.4)	(24.3)	( 9.8)	( 1.4)
k. できるだけセール価格で商品を買う	⇒	(25.1)	(43.4)	(23.5)	( 6.5)	( 1.5)
l. 少し値段が高くても、品質のよい商品を選ぶ	⇒	(19.6)	(51.8)	(22.6)	( 4.5)	( 1.6)
m. 少し値段が高くても、有名なブランドやメーカーの商品を選ぶ	⇒	( 6.4)	(29.5)	(37.4)	(25.2)	( 1.4)
n. インテリアや服装などはコーディネート(組み合わせ)を考えて商品を選ぶ	⇒	(18.3)	(41.1)	(26.6)	(12.6)	( 1.3)
o. おしゃれにお金をかける	⇒	( 4.7)	(19.7)	(43.0)	(30.9)	( 1.6)
p. 性能よりもデザイン(色や形)を重視して商品を選ぶ	⇒	( 4.2)	(25.5)	(47.4)	(21.5)	( 1.4)
q. 人とは違った個性的な商品を選ぶ	⇒	( 5.4)	(23.2)	(43.1)	(26.9)	( 1.4)
r. 自分のこだわりの商品を探求する	⇒	(12.5)	(37.5)	(32.2)	(16.3)	(1.5)
s. 長く使えるものを選ぶ	⇒	(31.3)	(52.0)	(13.0)	( 2.4)	( 1.2)
t. 環境にやさしい商品を選ぶ	⇒	(11.6)	(43.9)	(33.6)	( 9.8)	( 1.2)

問2 あなたが普段お出かけになる時に、傘などの雨具を持って出かけるのは、降水確率が何%以上のときですか。(実数記入) (N=1, 938)

※いつも雨具を持ち歩いている方は「0」、雨が実際に降っている時以外は雨具を持ち歩かない方は「100」とお書きください。

降水確率が	(12.2) 10%未満 (0.6) ~20%未満 (2.1) ~30%未満 (8.2) ~40%未満	(8.0) ~50%未満 (18.2) ~60%未満 (8.3) ~70%未満 (7.5) ~80%未満	(5.3) ~90%未満 (1.1) ~100%未満 (27.7) 100% (0.8) 無回答
-------	--	---	---

問3 50%の確率で当たれば10万円、外れた場合は何ももらえない当たりくじがあります。あなたは、いくらなら買いますか。それぞれの金額ごとに買う場合は「1」に、買わない場合は「2」に○をおつけください。(○はそれぞれに1つつ) (N=1, 938)

100円なら	(78.3) 1 買う	(17.0) 2 買わない	(4.7) 無回答
1,000円なら	(75.5) 1 買う	(21.3) 2 買わない	(3.2) 無回答
5,000円なら	(46.4) 1 買う	(48.9) 2 買わない	(4.6) 無回答
10,000円なら	(29.9) 1 買う	(65.4) 2 買わない	(4.7) 無回答
20,000円なら	(11.6) 1 買う	(82.8) 2 買わない	(5.6) 無回答
30,000円なら	(6.7) 1 買う	(87.8) 2 買わない	(5.5) 無回答
40,000円なら	(3.6) 1 買う	(90.7) 2 買わない	(5.7) 無回答
50,000円なら	(3.2) 1 買う	(91.4) 2 買わない	(5.4) 無回答

問4 あなたは、電車やバスの中で他人に席を譲りますか。(○は1つつ) (N=1, 938)

(14.8) 1 よくする	(59.0) 2 たまにする	(25.0) 3 ほとんどしない	(1.2) 無回答
---------------	----------------	------------------	-----------

問5 あなたは、直近の1年間にどのくらい寄付(ふるさと納税は除く)や募金をしましたか。(○は1つつ) (N=1, 938)

(58.2) 1 0回	(30.7) 2 1~2回	(6.1) 3 3~4回	(4.7) 4 5回以上	(0.3) 無回答
-------------	---------------	--------------	--------------	-----------

**小学生の頃のことについてお伺いします。**

【全員の方へ】

問6 あなたが小学校高学年の頃、ご家族とどれくらい外食をしていましたか。(○は1つつ) (N=1, 938)

(2.0) 1 週に数回以上	(26.3) 3 年に数回程度	(11.4) 5 覚えていない
(21.1) 2 月に数回程度	(38.3) 4 ほとんどない	(0.7) 6 その他(具体的に )

(0.3) 無回答

問7 あなたが小学校高学年の頃、世間一般と比べてご家庭の収入状況は、以下のどれに最もあてはまりますか。(○は1つつ) (N=1, 938)

(12.5) 1 平均よりかなり少ない	(36.3) 3 ほぼ平均	(3.7) 5 平均よりかなり多い
(16.9) 2 平均よりやや少ない	(16.8) 4 平均よりやや多い	(13.4) 6 覚えていない

(0.3) 無回答

問 8 あなたが小学校高学年の頃、あなたのお父様とお母様が従事していたお仕事等は、次のどれにあたり  
ますか。下の枠組みの中からあてはまるものを1つ選び、番号をご記入ください。(N=1, 938)

	父親	母親
	↓	↓
1 経営者、役員、理事、課長相当以上の管理職（公務員を含む）	(16.9)	(2.3)
2 常時雇用されている一般従業者（公務員を含む）	(47.9)	(16.0)
3 農林漁業の自営業（家族従業員を含む）	(11.6)	(11.2)
4 農林漁業以外の自営業（家族従業員を含む）	(9.6)	(6.5)
5 臨時雇い・パート・アルバイト・内職	(0.8)	(32.2)
6 その他（具体的に）	(2.6)	(1.7)
7 無職	(0.3)	(23.9)
8 わからない	(1.8)	(1.9)
9 父親はいなかった	(5.6)	
10 母親はいなかった		(1.2)
	無回答 (2.8)	(3.0)

問 9 あなたが小学校高学年の頃、ご両親からもらうおこづかいやプレゼントの金額は友だちとくらべて  
どれくらいでしたか。(〇は1つ) (N=1, 938)

(5.1) 1 多いほうだった	(21.8) 3 少ないほうだった	(16.9) 5 もらうことがなかった
(40.7) 2 ふつうだった	(13.3) 4 覚えていない	(1.4) 6 その他（具体的に）
(0.8) 無回答		

問 10 あなたが小学校高学年の頃、家の仕事（料理、洗濯、掃除、おつかいなど）を手伝いましたか。  
(〇は1つ) (N=1, 938)

(32.0) 1 手伝った	(23.1) 3 あまり手伝わなかった	(3.3) 5 覚えていない
(33.1) 2 やや手伝った	(7.6) 4 手伝わなかった	(0.2) 6 その他（具体的に）
(0.8) 無回答		

問 11 あなたが小学生の頃、ご両親は次のようなことをしていましたか。(〇はそれぞれいくつでも)  
(N=1, 938)

	父親	母親
	↓	↓
宝くじ	(16.3)	(10.0)
公営競技(競馬・競輪・競艇・オートレース)	(8.2)	(0.5)
パチンコ・パチスロ	(19.3)	(3.4)
マーじゃん	(9.5)	(1.3)
上記、いずれもしていなかった	(49.3)	(72.8)
当時、父親(母親)はいなかった	(4.7)	(1.4)
覚えていない	(6.7)	(6.4)
	無回答 (2.3)	(5.8)



**金融の知識についてお伺いします。**

問 1 2 あなたは、どのような金融に関する知識・情報が暮らしに役立つと思いますか。(○は3つまで)  
(N=1, 938)

- (32.0) 1 金融商品・サービスの種類や商品性(リスクを含む)に関する知識・情報
- (21.0) 2 金融機関が破たん(倒産)しても預金を一定額まで保護する仕組みや、破たんのおそれがないかを判断するために必要な知識・情報
- (23.9) 3 金融・経済の仕組みに関する知識・情報(例:金融機関や株式市場の役割・機能について)
- (7.7) 4 多重債務に陥らないための知識・情報
- (26.0) 5 金融取引においてトラブルに巻き込まれないための知識・情報
- (43.1) 6 将来の生活設計やこれに必要な資金計画などに関する知識・情報
- (56.5) 7 介護保険、年金、税金などの制度面に関する知識・情報
- (20.5) 8 子どもの健全な金銭感覚を育成するのに役立つ知識・情報
- (4.5) 9 どれも役立つと思わない
- (0.5) 10 その他(具体的に )

(3.4) 無回答

問 1 3 銀行で取り扱われている以下の金融商品のうち預金保険の保護の対象となっているのは、どれだと思いますか。(○は1つ)(N=1, 938)

- (1.5) 1 外貨預金 (1.1) 3 公社債投資信託 (6.8) 5 住宅火災保険 (18.2) 7 どれも
- (1.4) 2 株式投資信託 (7.7) 4 国債 (54.3) 6 定期預金 保護されない

(8.9) 無回答

問 1 4 預貯金口座に100万円の残高があり、預金金利が年率2%であるとします。預金を引き出さずにそのままにした場合、10年後の金額(税引前)はいくらだと思いますか。(○は1つ)(N=1, 938)

- (35.8) 1 120万円超 (22.0) 2 120万円ちょうど (37.8) 3 120万円未満

(4.3) 無回答

問 1 5 一社の株式を購入する場合と、複数社の株式に投資する投資信託を購入する場合では、一般的に、一社の株を購入した方が、損益の振れ幅が小さくなる。(○は1つ)(N=1, 938)

- (5.6) 1 正しい (40.4) 2 間違っている (51.1) 3 分からない

(2.9) 無回答

問 1 6 10万円を投資すると半々の確率で2万円の値上がり益か1万円の値下がり損のいずれかが発生するとします。あなたならどうしますか。(○は1つ)(N=1, 938)

- (19.5) 1 投資する (78.3) 2 投資しない

(2.3) 無回答

問 1 7 あなたは、これまでに学校や企業等の中で金融教育を受けたことがありますか。(○はいくつでも)(N=1, 938)

- (6.3) 1 小学校のころ道徳や家庭科の授業で受けた
- (12.8) 2 中学校や高等学校の公民分野の授業で受けた
- (2.4) 3 大学等で専門的に学習した
- (8.9) 4 所属企業等で実施する資産形成・ライフプランの研修等を受けた
- (3.0) 5 所属企業等で実施(補助)する通信講座・セミナー等を受けた
- (5.9) 6 プライベートで資産形成・ライフプラン研修等や通信講座・セミナー等を受けた
- (2.0) 7 その他(具体的に )
- (66.4) 8 1~7のような金融教育を受けたことがない

(1.8) 無回答

**クレジットカードや消費者金融についてお伺いします。**

【全員の方へ】

問18 クレジットカードに対する次のa～fの意見について、あなたはどのように思いますか。

(○はそれぞれ1つずつ) (N=1,938)

	⇒	そう思う	やや そう思う	あまり そう思わない	そう思わない	無回答
a. 持っている则便利だ	⇒	(60.9)	(22.6)	( 7.5)	( 7.3)	( 1.8)
b. 現金で買うよりもお得(ポイントなど)	⇒	(42.6)	(31.8)	(15.3)	( 7.7)	( 2.5)
c. 持っている则ステータスになる	⇒	( 6.6)	(13.5)	(39.9)	(36.0)	( 4.0)
d. 使いすぎる恐れがある	⇒	(39.0)	(36.0)	(14.5)	( 8.5)	( 2.1)
e. 犯罪に利用される恐れがある	⇒	(40.5)	(43.0)	(10.4)	( 3.6)	( 2.5)
f. 宣伝を法律で制限すべきだ	⇒	(16.3)	(23.8)	(40.0)	(16.8)	( 3.1)

問19 あなたは、ご自分名義のクレジットカードを持っていますか。家族カードや使用していないものも含みます。(○は1つ) (N=1,938)

(79.0) 1 持っている	(20.0) 2 持っていない	→ 次ページ問20へお進みください	( 1.0) 無回答
----------------	-----------------	-------------------	------------

【問19で「1」を回答した方へ】

問19-1 何枚のクレジットカードをお持ちですか。(実数記入) (N=1,531)

(26.8) 1枚	(10.4) 4枚	( 0.5) 11～20枚
(27.0) 2枚	( 8.0) 5枚	( - ) 21枚以上
(21.0) 3枚	( 5.4) 6～10枚	( 1.0) 無回答

問19-2 あなたご自身のひと月あたりの私的なショッピングでのクレジットカード利用額はどれくらいですか。クレジットカードを複数枚お持ちの方は合計利用額をお答えください。

(実数記入、または○を1つ) (N=1,531)

※ショッピングでの利用がない場合は「× 利用していない」に○をおつけください。

ひと月あたり約	( 6.7) 1万円未満	( 2.5) ～5万円未満	( 2.0) ～9万円未満
	(13.7) ～2万円未満	( 9.9) ～6万円未満	( 0.4) ～10万円未満
	( 9.9) ～3万円未満	( 2.9) ～7万円未満	(12.3) ～20万円未満
	(10.1) ～4万円未満	( 2.1) ～8万円未満	( 4.8) 20万円以上
			(20.6) 利用していない

( 2.1) 無回答

問19-3 あなたがお持ちのクレジットカードのうち、最も利用額が高いものの年会費(税抜き)はいくらですか。(○は1つ) (N=1,531)

(60.9) 1 無料	(10.1) 3 1万円以上2万円未満	( 1.2) 5 3万円以上5万円未満
(23.2) 2 1円以上1万円未満	( 0.9) 4 2万円以上3万円未満	( 1.3) 6 5万円以上

( 2.5) 無回答

問19-4へ

【引き続き、問19で「1」を回答した方へ】

問19-4 あなたは、どのような基準で、最も利用額が高いクレジットカードを選びましたか。

(〇はいくつでも) (N=1, 531)

(51.1) 1 ポイントやマイルを貯めやすい	(4.2) 10 各種補償や保険が充実している
(53.2) 2 年会費が安い、または無料	(6.1) 11 空港ラウンジなどの付帯サービスが充実している
(12.7) 3 銀行・ゆうちょなどのキャッシュカードと一体型	(14.1) 12 発行会社の知名度が高い
(4.6) 4 交通系電子マネー (Suica やPASMO など) と一体型	(1.9) 13 ステータスがある
(18.2) 5 よく利用するお店で割引サービスなどが受けられる	(2.2) 14 カードのデザインが良い
(15.4) 6 ポイントと交換できる商品などが良い	(3.1) 15 その他
(6.3) 7 サポート体制 (サービスデスクなど) がしっかりしている	(11.0) 16 特に理由はない
(3.3) 8 利用限度額が高い	(具体的に )
(9.2) 9 入会時などのキャンペーンが充実している	

(2.4) 無回答

問19-5 あなたは、どのような支払いにクレジットカードを利用していますか。(〇はいくつでも)

(N=1, 531)

(60.4) 1 インターネットショッピング	(46.1) 6 百貨店・家電量販店	(18.2) 11 電子マネーのチャージ
(41.3) 2 公共料金・通信費	(33.8) 7 レストラン・飲食店	(20.7) 12 病院・医療機関
(43.8) 3 スーパーマーケット	(39.8) 8 ガソリンスタンド	(4.4) 13 その他
(23.9) 4 コンビニエンスストア	(21.7) 9 航空券・乗車券・定期券	(具体的に )
(27.6) 5 ドラッグストア	(40.5) 10 高速道路料金 (ETC)	

(2.5) 無回答

クレジットカードや消費者金融からの借り入れについてお伺いします。

【全員の方へ】

問20 現在、カードローンや消費者金融からの借入残高はありますか。(〇は1つ) (N=1, 938)

(4.7) 1 カードローンがある	(1.3) 2 消費者金融がある	(1.2) 3 カードローンと 消費者金融両方ある	(89.8) 4 現在は両方ともない
-------------------	------------------	------------------------------	--------------------

次ページ問21へお進みください

(2.9) 無回答

【問20で「1~3」と回答した方へ】

問20-1 あなたは、最近の3年間にカードローンや消費者金融から何回お金を借りましたか。

※問20で借入残高があるものについてお答えください。(a、bそれぞれ〇は1つ)

	a. カードローン (N=115)	b. 消費者金融 (N=48)
1回ある	(25.2)	(29.2)
2~5回ある	(33.0)	(20.8)
6~9回ある	(6.1)	(10.4)
10回以上ある	(19.1)	(16.7)
最近3年間はない	(13.9)	(18.8)
無回答	(2.6)	(4.2)

問20-2へ

【引き続き、問20で「1～3」と回答した方へ】

問20-2 現在の借入残高の総額はいくらですか。カードローン・消費者金融それぞれについてお答えください。回答可能な範囲でお答えいただければ結構です。**(実数記入)**  
 ※問20で借入残高があるものについてお答えください。

a. カードローン (N=115)	( - )	0万円	(24.3)	～300万円未満	(9.6) 無回答
	(8.7)	～10万円未満	(2.6)	～500万円未満	
	(20.0)	～30万円未満	(0.9)	～1000万円未満	
	(16.5)	～50万円未満	(2.6)	1000万円以上	
	(14.8)	～100万円未満			

b. 消費者金融 (N=48)	( - )	0万円	(25.0)	～300万円未満	(14.6) 無回答
	(6.3)	～10万円未満	(4.2)	～500万円未満	
	(6.3)	～30万円未満	( - )	～1000万円未満	
	(16.7)	～50万円未満	(4.2)	1000万円以上	
	(22.9)	～100万円未満			

問20-3 カードローンや消費者金融からの借入について、その返済に困難を感じていますか。  
 ※問20で借入残高があるものについてお答えください。**(a、bそれぞれ〇は1つ)**

	a. カードローン (N=115)	b. 消費者金融 (N=48)
まったく困難を感じていない	(38.3)	(20.8)
少し困難を感じている	(44.3)	(43.8)
すでに返済困難な状況になっている	(7.8)	(22.9)
多重債務、個人破産に追い込まれている	(2.6)	(4.2)
無回答	(7.0)	(8.3)

**決済方法についてお伺いします。**

【全員の方へ】

問21 あなたは、スーパーやコンビニでの買い物の支払いに次のどのような方法を利用されていますか。  
**(〇はいくつでも) (N=1,938)**

(79.8) 1 現金	(37.9) 7 スマホ決済※
(6.7) 2 金券	(5.5) 8 プリペイドカード
(38.0) 3 クレジットカード	(15.0) 9 ポイント
(2.6) 4 デビットカード	( - ) 10 仮想通貨(暗号資産)
(10.6) 5 カード型交通系電子マネー(Suica、PASMO など)	(0.2) 11 その他(具体的に )
(15.5) 6 カード型流通系電子マネー(nanaco、WAON など)	

(0.6) 無回答

※スマホ決済：スマホアプリを使った決済。Suica や nanaco 等の電子マネー系と、PayPay や楽天ペイ等のバーコード・QRコード系がある。

問22 あなたは、電気・ガス・水道代などの公共料金の支払いに次のどのような方法を利用されていますか。  
**(〇はいくつでも) (N=1,938)**

(70.1) 1 口座振替・自動引落	(3.0) 6 スマホ決済
(2.7) 2 銀行等や郵便局の窓口での支払い	(0.4) 7 インターネットバンキング
(1.0) 3 ATMでの支払い	(0.6) 8 その他(具体的に )
(11.3) 4 コンビニでの支払い	(11.9) 9 支払っていない
(24.5) 5 クレジットカード	

(0.8) 無回答

問 2 3 あなたは、家賃・給食費・新聞購読代などの公共料金以外の定期的な支払いには次のどのような方法を利用されていますか。(○はいくつでも) (N=1, 938)

(58.3) 1	口座振替・自動引落	( 3.3) 6	スマホ決済
( 4.0) 2	銀行等や郵便局の窓口での支払い	( 1.5) 7	インターネットバンキング
( 2.8) 3	ATMでの支払い	( 4.9) 8	その他(具体的に )
( 8.5) 4	コンビニでの支払い	(18.3) 9	支払っていない
(20.1) 5	クレジットカード		

( 1.4) 無回答

問 2 4 あなたは、固定資産税などの税金や国民年金保険料などの社会保険料の支払いには次のどのような方法を利用されていますか。(○はいくつでも) (N=1, 938)

(53.7) 1	口座振替・自動引落	( 4.4) 6	スマホ決済
(17.3) 2	銀行等や郵便局の窓口での支払い	( 0.9) 7	インターネットバンキング
( 2.5) 3	ATMでの支払い	( 3.0) 8	その他(具体的に )
(20.2) 4	コンビニでの支払い	(10.6) 9	支払っていない
( 3.9) 5	クレジットカード		

( 1.1) 無回答

問 2 5 あなたは、ネット通販で購入された代金の支払いには次のどのような方法を利用されていますか。

(○はいくつでも) (N=1, 938)

( 5.7) 1	銀行等や郵便局の窓口での支払い	( 0.8) 7	プリペイドカード
( 3.1) 2	ATMでの支払い	( 6.2) 8	ポイント
(25.3) 3	コンビニでの支払い	( - ) 9	仮想通貨(暗号資産)
(52.0) 4	クレジットカード	(11.6) 10	代金引換
( 1.8) 5	デビットカード	( 0.1) 11	その他(具体的に )
(11.6) 6	スマホ決済	(20.1) 12	ネット通販は利用していない

( 1.1) 無回答

問 2 6 最近さまざまなスマホ決済が利用できるようになってきましたが、あなたは、スマホ決済を利用したいと思いますか。(○は1つ) (N=1, 938)

※スマホ決済とは、スマホアプリを使った決済のことです。

(46.7) 1	現在利用している	( 7.1) 2	今後利用してみたい	(30.0) 3	利用するつもりはない	(14.7) 4	わからない
				↓ 次ページ問 2 7-3 へ お進みください		↓ 次ページ問 2 8 へ お進みください	

( 1.5) 無回答

【問 2 6 で「1」または「2」と回答した方へ】

問 2 7-1 あなたが現在利用している、または今後利用してみたいスマホ決済は次のどれですか。

(○はいくつでも) (N=1, 043)

(44.8) 1	スマホアプリの電子マネー決済 (Suica、nanaco、WAON など)	→ 次ページ問 2 7-2 (1) をお答えください
(91.9) 2	スマホのバーコード・QRコード決済 (楽天ペイ、PayPay、d払いなど)	→ 次ページ問 2 7-2 (2) をお答えください
( 0.2) 3	その他(具体的に )	

( 0.9) 無回答



「1」と「2」をどちらも選ばなかった方は、次ページ問 2 8 へお進みください。

【問27-1で「1」と回答した方へ】

問27-2 (1) 現在利用している、または今後利用してみたいのは、次のどの電子マネー決済ですか。

(〇はいくつでも) (N=467)

(62.3) 1	交通系電子マネー (Suica、PASMO など)	(16.9) 5	id
(30.0) 2	nanaco	(16.1) 6	QUICPay
(31.5) 3	WAON	(0.9) 7	その他 (具体的に )
(14.1) 4	楽天Edy		

(1.9) 無回答

【問27-1で「2」と回答した方へ】

問27-2 (2) 現在利用している、または今後利用してみたいのは、次のどのバーコード・QRコード決済ですか。(〇はいくつでも) (N=959)

(24.3) 1	楽天ペイ	(20.3) 5	au PAY	(1.8) 9	ゆうちょ Pay
(69.3) 2	PayPay	(5.9) 6	メルペイ	(3.9) 10	FamiPay
(8.0) 3	LINE Pay	(1.4) 7	QUO カード Pay	(0.8) 11	その他 (具体的に )
(28.1) 4	d払い	(-) 8	PAY ID		

(2.9) 無回答

【問26で「3」と回答した方へ】



ここまで回答した方は、問28へお進みください。

問27-3 あなたが、スマホ決済を利用されない理由は次のどれですか。(〇はいくつでも) (N=581)

(17.6) 1	スマホを持っていないから	(15.7) 6	ついお金を使い過ぎてしまいそうだから
(2.8) 2	使える場所が限られているから	(42.0) 7	現在の決済方法で満足しているから
(20.0) 3	個人情報が漏れるのが怖いから	(33.2) 8	利用の仕方がわからなく、面倒だから
(26.9) 4	セキュリティに不安があるから	(2.6) 9	その他 (具体的に )
(21.5) 5	スマホの紛失や故障時に心配だから		

(7.1) 無回答

【全員の方へ】

問28 キャッシュレス決済の普及等のため、労働者が同意した場合は、厚生労働大臣が指定した資金移動業者(●●Payなど)の口座へ賃金支払いが認められることになりました。あなたは、職場で「賃金のデジタル払い」が可能になれば利用しますか。(〇は1つ) (N=1,938)

(0.7) 1 既に利用している (8.9) 2 利用したい (48.2) 3 利用したくない (36.9) 4 わからない

→ 次ページ問29へお進みください

(5.2) 無回答

【問28で「1」または「2」と回答した方へ】

問28-1 「賃金のデジタル払い」では、賃金の全部または一部を資金移動業者の口座へ振り込むことが可能です。「賃金のデジタル払い」を利用して、毎月口座に振り込む金額(ひと月分)についてお答えください。まだ利用されていない方は、希望の金額をお答えください。(〇は1つ)

(N=186)

(18.8) 1	~ 20,000 円	(30.1) 2	20,001 ~ 50,000 円	(19.4) 3	50,001 ~ 100,000 円	(11.8) 4	100,001 ~ 150,000 円	(19.4) 5	150,001 円 以上
----------	------------	----------	-------------------	----------	--------------------	----------	---------------------	----------	--------------

(0.5) 無回答

問29へ

## 相続対策についてお伺いします。

### 【全員の方へ】

問29 相続について、あなたは、ご自身の財産の相続に対する準備をしていますか。(○は1つ) (N=1,938)

(7.0) 1 している	(81.4) 2 していない	(9.6) 3 相続する者がいない
→ 問29-3へお進みください		→ 次ページ問30へお進みください

(1.9) 無回答

問29-1 具体的にはどのような対策に取り組んでいますか。(○はいくつでも) (N=136)

- (20.6) 1 遺言書を作成
- (33.1) 2 生前贈与による相続財産の削減
- (5.1) 3 相続時精算課税制度を活用
- (32.4) 4 生命保険金の非課税制度を活用
- (2.2) 5 金融機関の「遺言信託」を活用
- (16.2) 6 不必要な不動産の処分
- (20.6) 7 墓地や仏具などを生前購入
- (6.6) 8 その他 (具体的に )

(0.7) 無回答

問29-2 相続対策を行うようになった主なきっかけについてお答えください。(○は2つまで) (N=136)

- (28.7) 1 子どもや孫の誕生、その成長
- (52.9) 2 自身もしくは親の高齢化 (健康状態を含む)
- (12.5) 3 周囲での相続に関するトラブル
- (2.9) 4 マスメディア等からの情報
- (8.1) 5 周囲 (金融機関等も含む) からのアドバイス
- (16.9) 6 節税対策
- (5.1) 7 その他 (具体的に )

(5.1) 無回答

### 【問29で「2」と回答した方へ】

⇨ ここまで回答した方は、次ページ問30へお進みください。

問29-3 相続対策を行っていない理由についてお答えください。(○は1つ) (N=1,578)

- (12.9) 1 必要だと思っているがやり方がわからない
- (41.3) 2 将来的にはやりたいが今は早すぎる
- (8.3) 3 検討はしたがそこまでは不要
- (3.2) 4 その他 (具体的に )
- (31.4) 5 特に理由はない

(2.9) 無回答

問29-4 金融機関で相続に関する次のような商品やサービスがあれば利用したいと思いますか。(○はいくつでも) (N=1,578)

- (21.7) 1 生前にご家族 (子や孫) へ計画的に贈与できる商品やサービス
- (23.6) 2 相続に関するアドバイスや事務を代行するサービス
- (17.4) 3 相続の事前準備に関する相談会の実施
- (13.9) 4 相続に関する専門家 (弁護士、司法書士、税理士、行政書士) の紹介
- (0.4) 5 その他 (具体的に )
- (47.0) 6 特になし

(7.0) 無回答

問30へ

【全員の方へ】

問30 相続について、あなたの親は、相続に対する準備をしていますか。(○は1つ) (N=1,938)

(9.3) 1 している	(24.5) 2 していない	(30.8) 3 両親ともいない	(32.2) 4 わからない
--------------	----------------	------------------	----------------

→ 問31へお進みください

(3.1) 無回答

【問30で「1」と回答した方に】

問30-1 具体的にはどのような対策に取り組んでいますか。(○はいくつでも)

(28.2) 1 遺言書を作成
(40.3) 2 生前贈与による相続財産の削減
(2.2) 3 相続時精算課税制度を活用
(18.8) 4 生命保険金の非課税制度を活用
(4.4) 5 金融機関の「遺言信託」を活用
(16.6) 6 不必要な不動産の処分
(22.7) 7 墓地や仏具などを生前購入
(8.8) 8 その他 (具体的に )

(1.1) 無回答

**リスク性金融商品についてお伺いします。**

【全員の方へ】

問31 あなたは、リスク性金融商品を保有・運用されていますか。(○は1つ) (N=1,938)

※「リスク性金融商品」とは、価格・金利・為替相場の変動により利益率が変動するため、状況によっては元本割れとなる可能性のある金融商品。

(22.1) 1 現在、保有・運用している
(4.4) 2 過去に保有・運用したことがある
(51.3) 3 いままで保有・運用したことはない → 次ページ問31-3へお進みください
(19.6) 4 わからない → 次ページ問32へお進みください

(2.7) 無回答

→ 【問31で「1」または「2」と回答した方へ】

問31-1 あなたが、保有・運用されたことのあるリスク性金融商品は次のどれですか。(○はいくつでも)

(N=513)

(48.0) 1 国内株式	(7.6) 6 外貨建ての債券	(1.9) 11 先物・オプション商品
(18.9) 2 外国株式	(13.5) 7 外貨預金	(2.1) 12 ラップ口座
(60.0) 3 投資信託	(4.1) 8 外国為替証拠金(FX)、 差金決済(CFD)	(5.8) 13 仮想通貨 (暗号資産)
(2.9) 4 REIT	(3.1) 9 外貨建てMMF	(1.4) 14 その他 (具体的に )
(2.7) 5 国債以外の 国内債券	(10.3) 10 外貨建て個人年金保険	

(1.8) 無回答

問31-2へ



【引き続き、問31で「1」または「2」と回答した方へ】

問31-2 (1) あなたが、リスク性金融商品を保有・運用された目的は次のどれですか。(〇はいくつでも)

(2) (1) で選ばれた目的のうち、最も重要視されたのはどれですか。(〇は1つ) (N=513)

	(1) 運用の目的 (いくつでも)	(2) 最も重視 (1つだけ)
配当金・分配金・利子を得るため	(68.6)	(27.1)
長期の資産形成・資産運用のため	(62.6)	(34.3)
短期の運用益を得るため	(18.7)	(4.5)
株主優待を得るため	(21.6)	(2.1)
社会的に貢献度が高い活動をしている企業を応援するため	(2.1)	(0.2)
老後の生活資金のため	(43.7)	(15.2)
教育資金のため	(8.2)	(0.8)
住宅購入資金のため	(1.9)	(-)
レジャーや高額品の購入資金のため	(6.0)	(0.4)
信頼できる営業担当者に勧められたため	(11.5)	(2.1)
投資の勉強のため	(18.9)	(2.3)
時間の有効活用のため	(6.2)	(0.2)
その他(具体的に )	(2.1)	(1.2)
無回答	(2.5)	(9.6)



ここまで回答した方は、問32へお進みください。

【問31で「3」と回答した方へ】

問31-3 あなたが、リスク性金融商品を保有・運用されていない理由は次のどれですか。

(〇はいくつでも) (N=994)

(44.9) 1 手元に資金がないから	(29.8) 7 取引の仕方がわからないから
(34.2) 2 損をしそうだから	(30.7) 8 面倒だから
(29.6) 3 元本割れリスクのある取引はしたくないから	(4.4) 9 手数料や信託報酬がかかるから
(25.1) 4 リスク性金融商品に関する知識がないから	(10.4) 10 税制がわからないから
(1.4) 5 近くに証券会社や銀行などの金融機関の店舗がないから	(11.4) 11 時間的余裕がないから
(13.7) 6 安心して相談できる専門家がないから	(3.2) 12 その他(具体的に )

(1.7) 無回答

【全員の方へ】

問32 投資信託などのリスク性金融商品を保有することによって長期の資産形成をすることが推進されていますが、あなたは必要性を感じますか。(〇は1つ) (N=1,938)

(10.1) 1 非常に必要性を感じる	(26.0) 3 どちらともいえない	(18.2) 5 まったく必要性を感じない
(18.8) 2 やや必要性を感じる	(23.5) 4 あまり必要性を感じない	

(3.5) 無回答

問33 リスク性金融商品の場合、どのような金融商品であれば魅力を感じますか。(〇はいくつでも)  
(N=1,938)

- |                         |                          |
|-------------------------|--------------------------|
| (32.5) 1 少額から始められる金融商品  | (19.9) 5 手数料や信託報酬が低い金融商品 |
| (36.6) 2 リスクの少ない金融商品    | (0.9) 6 その他(具体的に )       |
| (28.8) 3 税金が優遇される金融商品   | (33.7) 7 わからない           |
| (31.1) 4 仕組みが分かりやすい金融商品 |                          |

(3.5) 無回答

問34 税金が優遇される長期資産形成の制度として次のようなものがありますが、あなたは利用されていますか。(〇はいくつでも) (N=1,938)

- |                   |               |                                   |
|-------------------|---------------|-----------------------------------|
| (8.9) 1 一般NISA    | (10.2) 3 つみたて | (76.1) 5 どれも利用していない → 問35へお進みください |
| (1.2) 2 ジュニア NISA | (5.3) 4 iDeCo |                                   |

(3.8) 無回答

→ 【問34で「1~4」のいずれかを回答した方へ】

問34-1 あなたが、NISAやiDeCoの運用商品を選ぶ際に困っていることはありますか。(〇はいくつでも)  
(N=390)

- |                                 |                          |
|---------------------------------|--------------------------|
| (33.1) 1 多くの運用商品があり過ぎて仕組みがわからない | (9.2) 5 信頼できる情報がない       |
| (32.3) 2 自分に適した運用商品がわからない       | (13.8) 6 安心して相談できる専門家がない |
| (14.6) 3 資産の配分方法がわからない          | (5.6) 7 信頼できる金融機関がわからない  |
| (20.3) 4 分配金など損得の判断が難しい         | (1.0) 8 その他(具体的に )       |
|                                 | (37.7) 9 困っていることはない      |

(1.5) 無回答

【全員の方へ】

問35 2024年からNISAの抜本的拡充や恒久化(※)が図られ、新しいNISA制度が導入される予定です。新しいNISAを利用したいと思いますか。(〇は1つ) (N=1,938)

- |                         |                              |
|-------------------------|------------------------------|
| (19.0) 1 利用したい(継続利用を含む) | (5.3) 3 専門家(金融機関等)に相談して検討したい |
| (47.4) 2 利用するつもりはない     | (24.6) 4 これから自身で検討したい        |

(3.7) 無回答

※非課税保有期間の無期限化、口座開設期間の恒久化、つみたて投資(つみたてNISA相当)枠と成長投資(従来の一般NISA相当)の併用可、年間投資枠の拡大(つみたて投資枠:年間120万円、成長投資枠:年間240万円、合計最大年間360万円まで)、非課税保有限度額は、全体で1,800万円(成長投資枠:1,200万円。枠の再利用が可能)。

→ 【問35で「2」と回答した方に】 → 「2」を選ばなかった方は、次ページ問36へお進みください。

問35-1 新しいNISAを利用するつもりがないのは、どのような理由からですか。主な理由を2つまでお答えください。(〇は2つまで) (N=918)

- |                                |  |
|--------------------------------|--|
| (19.0) 1 預金のように元本保証がないから       |  |
| (32.1) 2 投資に関する知識がないから         |  |
| (29.0) 3 余裕資金がないから             |  |
| (1.4) 4 コスト(販売手数料・信託報酬)が高そうだから |  |
| (4.6) 5 忙しくて時間がないから            |  |
| (14.7) 6 損をしそうで怖いから            |  |
| (23.6) 7 制度がわかりにくいから           |  |
| (3.6) 8 その他(具体的に )             |  |
| (19.7) 9 特に理由はない               |  |

(1.7) 無回答

問36へ

**ご自身のお仕事についてお伺いします。**

**【全員の方へ】**

問36 あなたは、現在、収入をともなう仕事をしていますか。(〇は1つ) (N=1,938)

(65.3) 1 している	(5.7) 2 していない(求職中)	} → 次ページ問37へお進みください
	(27.9) 3 していない(求職活動もしていない)	

(1.0) 無回答

**【問36で「1」と回答した方へ】**

問36-1 あなたの現在のお仕事についてお答えください。複数の仕事をお持ちの場合は、主な仕事1つだけについてお答えください。(N=1,266)※②業種は28ページの「業種分類表」にしたがって回答してください。

①雇用形態 (〇は1つ)	(53.9) 1 正社員・正規職員 (7.3) 2 嘱託・契約社員 (2.1) 3 派遣社員	(23.3) 4 パート・アルバイト (3.8) 5 自営業(雇人あり) (6.2) 6 自営業(雇人なし)	(1.9) 7 自営業の手伝い (0.6) 8 内職 (0.5) 9 その他(具体的に ) (0.5) 無回答			
②業種 (〇は1つ)	(2.1) 1 農林漁鉱業 (7.9) 2 建設業 (15.5) 3 製造業	(5.6) 4 運輸業、郵便業 (10.5) 5 卸売業、小売業 (4.9) 6 宿泊業、飲食サービス業	(14.8) 7 医療、福祉 (11.0) 8 公務、教育、電気水道業 (25.4) 9 その他サービス業 (2.3) 無回答			
③職種 (〇は1つ)	(21.6) 1 専門・技術的職業(医師、看護師、弁護士、教師、技術者、デザイナーなど) (5.1) 2 管理的な仕事(企業・官公庁における課長職以上、議員、経営者など) (18.4) 3 事務的な仕事(企業・官公庁における一般事務、経理、内勤の営業など) (12.7) 4 営業・販売の仕事(小売・卸売店主、店員、不動産売買、保険外交、外勤のセールスなど) (13.4) 5 技能工・生産工程に関わる職業(製品製造・組立て、自動車整備、建設作業員、大工、電気工事、農水産物加工など) (4.6) 6 運輸・通信の仕事(トラック・タクシー運転手、船員、郵便配達、通信士など) (1.9) 7 保安的職業(警察官、消防士、自衛官、警備員など) (2.4) 8 農林漁業に関わる職業 (13.5) 9 サービスの職業(理・美容師、料理人、ウェイトレス、ホームヘルパーなど) (3.4) 10 その他(具体的に ) (3.1) 無回答					
④従業員数 (パート・アルバイトなどを含む) (〇は1つ)	(13.3) 1 5人未満 (6.2) 2 5人以上10人未満 (12.7) 3 10人以上30人未満	(15.8) 4 30人以上100人未満 (12.0) 5 100人以上300人未満 (4.1) 6 300人以上500人未満	(6.9) 7 500人以上1,000人未満 (15.2) 8 1,000人以上 (3.9) 9 官公庁 (6.2) 10 わからない (3.6) 無回答 ※派遣社員や業務委託社員の方は、実際に働いている会社の従業員数をお答えください。			
⑤就労時間 (実数記入)	週平均 (34.04 時間)	(14.0) 10時間未満 (9.0) 20時間未満 (7.3) 30時間未満 (10.9) 40時間未満	(38.4) 50時間未満 (9.8) 60時間未満 (2.1) 70時間未満 (1.0) 80時間未満	(0.7) 90時間未満 (0.1) 100時間未満 (0.4) 100時間以上 (6.2) 無回答	うち残業時間 週平均(3.8時間) (27.0) 0時間 (15.4) 5時間未満 (8.1) 10時間未満	(7.4) 15時間未満 (3.3) 15時間以上 (38.7) 無回答
⑥就職時期 (現在の就業先 について) (実数記入)	西暦 (0.1) 1950年代以前 (0.5) 1960年代 (1.9) 1970年代 (5.1) 1980年代 (11.7) 1990年代 (15.0) 2000年代 (31.5) 2010年代 (26.9) 2020年代 (7.3) 無回答			月		
※27ページの「西暦・元号対比表」をご参照ください。 ※いったん退職した後に同じ会社で再就職した場合には、再就職した時点を記入してください。 ※自営業の場合には、事業を始められた時期を記入してください。						
⑦仕事に対する満足度 (〇は1つ)	(20.3) 1 満足 (38.5) 2 まあまあ満足	(14.4) 3 やや不満 (6.9) 4 不満	(17.9) 5 どちらともいえない (2.1) 無回答			

問36-2へ

【引き続き、問36で「1」と回答した方へ】

問36-2 あなたの直近の1か月の就労収入（仕事からの税込収入）は、昨年と同じ月と比較して変化していますか。（○は1つ）（N=1,266）

※昨年と同じ月に非就業の場合は、「4 昨年と同じ月は非就業」に○をおつけください。

(56.0) <b>1</b> 変わらない	(22.0) <b>2</b> 増えた	(13.7) <b>3</b> 減った	(2.4) <b>4</b> 昨年と同じ月は非就業	(5.9) 無回答
→ 問37へお進みください			→ 問37へお進みください	

【問36-2で「2」または「3」と回答した方へ】

問36-3 あなたの直近の1か月の就労収入は、昨年と同じ月と比較して何%に変化しましたか。

(実数記入) (N=452)

昨年と同じ月を100%とすると、  
直近の1か月の月収は

平均 (97.02%)	%程度
(1.5) 20%未満	(16.8) 100%未満
(1.8) 40%未満	(42.3) 120%未満
(3.8) 60%未満	(15.3) 120%以上
(11.5) 80%未満	(7.1) 無回答

※例えば、昨年と同じ月の収入が税込20万円で、直近の月収が税込25万円に増えている場合は、 $25/20$ となるので、「125」%程度と記入してください。  
昨年と同じ月の収入が税込20万円で、直近の月収が税込15万円に減っている場合は、 $15/20$ となるので、「75」%程度と記入してください。

**配偶者の方のお仕事についてお伺いします。**

【全員の方へ】

問37 あなたの配偶者は、現在収入をとまなう仕事をしていますか。配偶者のいない方は「4 配偶者はいない」をお選びください。（○は1つ）（N=1,938）

(40.2) <b>1</b> している	(3.3) <b>2</b> していない (求職中)	} → 17ページ問38へお進みください
	(18.2) <b>3</b> していない (求職活動もしていない)	
	(34.2) <b>4</b> 配偶者はいない	

(4.1) 無回答

問37-1、問37-2へ

【問37で「1」と回答した方へ】

問37-1 配偶者の方のお仕事についてお答えください。複数の仕事をお持ちの場合は、主な仕事1つだけについてお答えください。(N=780)※②業種は28ページの「業種分類表」にしたがって回答してください。

①雇用形態 (〇は1つ)	(52.7) 1 正社員・正規職員 (7.2) 2 嘱託・契約社員 (1.5) 3 派遣社員	(23.6) 4 パート・アルバイト (2.9) 5 自営業(雇人あり) (6.3) 6 自営業(雇人なし)	(2.4) 7 自営業の手伝い (0.1) 8 内職 (1.3) 9 その他(具体的に) (1.9) 無回答
②業種 (〇は1つ)	(2.6) 1 農林漁鉱業 (7.9) 2 建設業 (15.3) 3 製造業	(4.9) 4 運輸業、郵便業 (9.4) 5 卸売業、小売業 (4.1) 6 宿泊業、飲食サービス業	(15.6) 7 医療、福祉 (12.4) 8 公務、教育、電気水道業 (23.1) 9 その他サービス業 (4.7) 無回答
③職種 (〇は1つ)	(21.3) 1 専門・技術的職業(医師、看護師、弁護士、教師、技術者、デザイナーなど) (7.6) 2 管理的な仕事(企業・官公庁における課長職以上、議員、経営者など) (18.8) 3 事務的な仕事(企業・官公庁における一般事務、経理、内勤の営業など) (11.0) 4 営業・販売の仕事(小売・卸売店主、店員、不動産売買、保険外交、外勤のセールスなど) (14.0) 5 技能工・生産工程に関わる職業(製品製造・組立て、自動車整備、建設作業員、大工、電気工事、農水産物加工など) (3.8) 6 運輸・通信の仕事(トラック・タクシー運転手、船員、郵便配達、通信士など) (2.1) 7 保安的職業(警察官、消防士、自衛官、警備員など) (2.7) 8 農林漁業に関わる職業 (11.7) 9 サービスの職業(理・美容師、料理人、ウェイトレス、ホームヘルパーなど) (4.2) 10 その他(具体的に) (2.8) 無回答		
④従業員数 (パート・アルバイトなどを含む) (〇は1つ)	(13.3) 1 5人未満 (5.8) 2 5人以上10人未満 (11.2) 3 10人以上30人未満	(16.0) 4 30人以上100人未満 (10.5) 5 100人以上300人未満 (5.0) 6 300人以上500人未満	(4.6) 7 500人以上1,000人未満 (12.2) 8 1,000人以上 (3.1) 9 官公庁 (11.5) 10 わからない (6.8) 無回答
※派遣社員や業務委託社員の方は、実際に働いている会社の従業員数をお答えください。			
⑤就労時間 (実数記入)	週平均 (33.87 時間)	(13.5) 10時間未満 (6.9) 20時間未満 (10.3) 30時間未満 (9.6) 40時間未満	(33.1) 50時間未満 (8.8) 60時間未満 (3.6) 70時間未満 (1.0) 80時間未満
	(0.6) 90時間未満 (0.3) 100時間未満 (0.3) 100時間以上 (12.1) 無回答	うち残業時間 週平均 (4.21時間)	(26.8) 0時間 (7.6) 5時間未満 (6.0) 10時間未満
	(5.8) 15時間未満 (4.7) 15時間以上 (49.1) 無回答		
⑥就職時期 (現在の就業先 について) (実数記入)	西暦 ( - ) 1950年代以前 (6.0) 1980年代 (29.5) 2010年代	(0.4) 1960年代 (10.4) 1990年代 (19.5) 2020年代	(2.2) 1970年代 (15.9) 2000年代 (16.2) 無回答
	※27ページの「西暦・元号対比表」をご参照ください。 ※いったん退職した後に同じ会社で再就職した場合には、再就職した時点を記入してください。 ※自営業の場合には、事業を始められた時期を記入してください。		

【問37で「1」と回答した方へ】

問37-2 配偶者の方の直近の1か月の就労収入(仕事からの税込収入)は、昨年と同じ月と比較して変化していますか。(〇は1つ)(N=780)

※昨年と同じ月に非就業の場合は、「4 昨年と同じ月は非就業」に〇をおつけください。

(63.1) 1 変わらない	(13.2) 2 増えた	(11.9) 3 減った	(2.7) 4 昨年と同じ月は非就業	(9.1) 無回答
→ 次ページ問38へお進みください			→ 次ページ問38へお進みください	

【問37-2で「2」または「3」と回答した方へ】

問37-3 配偶者の方の直近の1か月の就労収入は、昨年と同じ月と比較して何%に変化しましたか。(N=196)

昨年と同じ月を100%とすると、直近の1か月の月収は

平均 (91.88%)	%程度
(2.6) 20%未満	(14.8) 100%未満
(2.6) 40%未満	(30.1) 120%未満
(5.6) 60%未満	(16.8) 120%以上
(16.3) 80%未満	(11.2) 無回答

問38へ

※例えば、昨年と同じ月の収入が税込20万円で、直近の月収が税込25万円に増えている場合は、25/20となるので、「125」%程度と記入してください。昨年と同じ月の収入が税込20万円で、直近の月収が税込15万円に減っている場合は、15/20となるので、「75」%程度と記入してください。

**収入と支出、社会保険についてお伺いします。**

**【全員の方へ】**

問38 (1) あなたご自身の昨年1年間の就労収入は、およそいくらですか。税金・社会保険料などを差し引かれる前の残業手当、ボーナス、臨時収入、副業収入を含む総収入でお答えください。自営の場合は、売上高などから必要経費を除いた金額を記入してください。収入なしの場合には「0」を記入してください。また、昨年1年間、就労していなかった場合は、「X 昨年1年間は、就労していなかった」に○をおつけください。(実数記入、または○を1つ) (N=1, 938)

(2) 配偶者の方の就労収入も、ご記入ください。配偶者のいない方は「Y 配偶者はいない」に○をおつけください。(実数記入、または○を1つ) (N=1, 938)

(1)あなた (税込)			(2)配偶者 (税込)		
(25.0) 0万円	(7.2) ~500万円未満	(0.9) ~1000万円未満	(16.3) 0万円	(4.3) ~500万円未満	(0.8) ~1000万円未満
(9.1) ~100万円未満	(5.8) ~600万円未満	(1.5) ~1500万円未満	(5.5) ~100万円未満	(2.7) ~600万円未満	(0.9) ~1500万円未満
(9.3) ~200万円未満	(4.0) ~700万円未満	(0.4) ~2000万円未満	(6.9) ~200万円未満	(2.7) ~700万円未満	(0.3) ~2000万円未満
(8.1) ~300万円未満	(2.7) ~800万円未満	(0.1) 2000万円以上	(3.9) ~300万円未満	(1.3) ~800万円未満	(0.1) 2000万円以上
(10.3) ~400万円未満	(1.3) ~900万円未満	(14.2) 無回答	(4.4) ~400万円未満	(1.4) ~900万円未満	(22.0) 無回答
X 昨年1年間は、就労していなかった			X 昨年1年間は、就労していなかった (26.5) Y 配偶者はいない		

問39 あなたの世帯(あなた自身および生計をともにしているご家族)の昨年1年間の総収入は、どこから得たものですか。次のうちあてはまるものをすべてお答えください。(○はいくつでも) (N=1, 938)

(58.3) 1 あなたの就業収入	(0.7) 6 失業給付	(0.7) 11 特別児童扶養手当
(35.8) 2 配偶者の就業収入	(0.3) 7 元夫(妻)からの養育費	(0.8) 12 生活保護
(11.8) 3 その他の世帯員の就業収入	(1.9) 8 親族からの援助	(4.4) 13 財産収入(利子・配当・家賃など)
(31.1) 4 公的年金・恩給	(7.8) 9 児童手当	(0.6) 14 その他(具体的に )
(11.1) 5 個人年金・企業年金	(2.2) 10 児童扶養手当	(1.0) 15 収入はなかった

(6.6) 無回答

問39-1 あなたの世帯(あなた自身および生計をともにしているご家族)の昨年1年間の収入の総額は、およそいくらですか。税金・社会保険料などを差し引かれる前の社会保障給付、贈与、財産収入等を含む総収入(遺産を除く)と、税金・社会保険料などを差し引かれた手取り額でお答えください。(実数記入) (N=1, 938)

総収入:	(0.3) 0万円	(8.2) ~500万円未満	(3.1) ~1000万円未満	(30.2) 無回答
税込	(2.3) ~100万円未満	(7.2) ~600万円未満	(8.1) ~1500万円未満	
	(3.8) ~200万円未満	(6.4) ~700万円未満	(1.8) ~2000万円未満	
	(7.1) ~300万円未満	(5.3) ~800万円未満	(1.1) 2000万円以上	
	(9.7) ~400万円未満	(5.3) ~900万円未満		
手取り:	(0.4) 0万円	(9.3) ~500万円未満	(1.5) ~1000万円未満	(33.4) 無回答
	(5.1) ~100万円未満	(7.4) ~600万円未満	(2.5) ~1500万円未満	
	(5.8) ~200万円未満	(6.2) ~700万円未満	(0.6) ~2000万円未満	
	(10.2) ~300万円未満	(4.5) ~800万円未満	(0.4) 2000万円以上	
	(10.3) ~400万円未満	(2.5) ~900万円未満		

問40 あなたの世帯(あなた自身および生計をともにしている家族)の、昨年のひと月あたりの支出はどのくらいですか。最も平均的な月についてお答えください。(実数記入) (N=1, 938)

ひと月あたり	※支出には次のものを含みます。	
(0.5) 5万円未満	(16.6) ~25万円未満	(5.4) ~45万円未満
(3.1) ~10万円未満	(9.5) ~30万円未満	(1.5) ~50万円未満
(8.3) ~15万円未満	(11.0) ~35万円未満	(6.1) 50万円以上
(10.6) ~20万円未満	(4.2) ~40万円未満	(23.1) 無回答

食費、光熱費、住宅ローンの返済・住宅費(住宅購入費や住宅改修費を除く)、被服費、耐久消費財購入費、交通・通信費、教養娯楽・交際費、医療費

問41 お宅の家計の収支状況は次のうちどれが最も近いですか。(○は1つ) (N=1, 938)

(26.0) 1 黒字                      (26.0) 2 赤字                      (38.6) 3 収支ほぼ拮抗

(9.4) 無回答

問4 1 - 1 消費者物価が、資源高や穀物価格の上昇、円安による値上げなどの影響を受けて上昇しています。この1年間で、お宅の家計では次のようなことがありましたか。(〇はいくつでも) (N=1, 938)

(44.0) 1 家での食費を切り詰めた	(3.4) 6 生活費のために消費者金融やカードローンでお金を借りた
(2.1) 2 子どもの習い事や塾をやめた・あきらめた	
(27.8) 3 貯蓄を取り崩す・貯蓄を生活費にあてた	(1.7) 7 その他(具体的に )
(1.4) 4 家賃や住宅ローンの未払い・滞納があった	(36.8) 8 どれもなかった
(2.5) 5 電気・ガス・水道等の公共料金の未払い・滞納があった	

(6.3) 無回答

問4 2 お宅の家計では金融資産を保有されていますか。保有されている場合の残高はいくらくらいですか。保有されていない場合は「0」とご記入ください。(実数記入) (N=1, 938)

(45.3) 0万円	(3.8) ~200万円未満	(6.5) ~1000万円未満	(20.8) 無回答
(1.2) ~30万円未満	(3.4) ~300万円未満	(5.7) ~2000万円未満	
(0.6) ~50万円未満	(3.1) ~400万円未満	(5.9) ~5000万円未満	
(1.2) ~100万円未満	(0.9) ~500万円未満	(1.6) 5000万円以上	

**住居についてお伺いします。**

【全員の方へ】

問4 3 現在のお宅はどのような住居ですか。親族の住居に同居しており、生計をともにしている場合はその住居についてお答えください。(〇は1つ) (N=1, 938)

(71.7) 1 持ち家(一戸建て)	(2.6) 4 民間の借家(一戸建て)	} 21ページ問4 6へお進みください
(0.7) 2 持ち家(定期借地権付き一戸建て住宅)	(14.8) 5 民間の借家(マンション、アパート等の集合住宅)	
(4.8) 3 持ち家(マンション)	(1.5) 6 住宅供給公社・UR都市機構・公営の賃貸住宅	
	(1.1) 7 社宅・官舎	
	(0.9) 8 その他(具体的に )	

(1.9) 無回答

【問4 3で「1~3」と回答した方へ】

問4 3 - 1 それはどなたの所有ですか。ご自分からみた続柄でお答えください。(〇はいくつでも) (N=1, 496)

(49.0) 1 本人(自分)	(3.7) 3 子供	(1.1) 6 兄弟姉妹	(0.5) 9 その他(具体的に )
(34.9) 2 配偶者	(0.7) 4 子供の配偶者	(20.3) 7 親、配偶者の親	
	(-) 5 孫	(1.1) 8 祖父母、配偶者の祖父母	

(1.0) 無回答

「1」と「2」をどちらも選ばなかった方は、20ページ問4 4へお進みください。

【問4 3 - 1で「1」または「2」と回答した方へ】

問4 3 - 2 それはどのようにして取得されましたか。(〇は1つ) (N=1, 117)

(76.0) 1 自分または配偶者が購入した	(1.2) 3 その他(具体的に )
(20.5) 2 相続または譲渡を受けた	

(2.3) 無回答

【問4 3 - 2で「1」または「2」と回答した方へ】

問4 3 - 3 それを購入・相続・譲渡された時期はいつでしたか。(実数記入) (N=1, 078)

(0.2) 1950年代以前	(12.0) 1980年代	(23.5) 2010年代
(0.9) 1960年代	(15.0) 1990年代	(10.4) 2020年代
(5.6) 1970年代	(21.5) 2000年代	(10.9) 無回答

※27ページの「西暦・元号対比表」をご参照ください。

問4 3 - 2で「1」と回答した方は、次ページ問4 3 - 4へ

問4 3 - 2で「2」と回答した方は、20ページ問4 4へ

【問43-2で「1」と回答した方へ】 ※問43-2で「2」と回答した方は、次ページ問44へお進みください。

問43-4 それを購入した際の購入価格と資金の内訳について、それぞれの金額をご記入ください。(実数記入)

購入価格(総額) (N=849)	(-) 0万円	(3.3) ~1000万円未満	(18.8) ~3000万円未満	(11.9) ~5000万円未満
	(2.1) ~500万円未満	(11.9) ~2000万円未満	(20.8) ~4000万円未満	(6.1) 5000万円以上
(25.0) 無回答				
【内訳】 うち 自己資金 (N=637)	(13.8) 0万円	(19.5) ~1000万円未満	(8.3) ~3000万円未満	(1.6) ~5000万円未満
	(23.4) ~500万円未満	(19.9) ~2000万円未満	(3.3) ~4000万円未満	(1.3) 5000万円以上
(8.9) 無回答				
借入金(親族からの援助を含む) (N=637)	(3.8) 0万円	(7.5) ~1000万円未満	(24.8) ~3000万円未満	(6.0) ~5000万円未満
	(3.0) ~500万円未満	(20.1) ~2000万円未満	(20.4) ~4000万円未満	(2.5) 5000万円以上
(11.9) 無回答				



「借入金」のない方は、次ページ問44へお進みください。

【問43-4で「借入金」のある方へ】

問43-5 借入金(親族からの援助を含む)の利用状況について、それぞれの金額をお答えください。

※利用されていない場合は、「× 利用していない」に○をおつけください。(実数記入、または○を1つ)

(N=537)

①金融機関からの借入金	(1.9) 0万円	(0.7) ~300万円未満	(9.5) ~1000万円未満	(54.2) ~5000万円未満
	(0.2) ~100万円未満	(2.4) ~500万円未満	(23.8) ~2000万円未満	(2.6) 5000万円以上
(4.7) 無回答				
②それ以外の借入金	(41.3) 0万円	(2.0) ~300万円未満	(1.5) ~1000万円未満	(1.7) ~5000万円未満
	(-) ~100万円未満	(1.1) ~500万円未満	(2.0) ~2000万円未満	(-) 5000万円以上
(50.3) 無回答				
③親族からの援助	(38.5) 0万円	(3.2) ~300万円未満	(3.5) ~1000万円未満	(1.3) ~5000万円未満
	(0.2) ~100万円未満	(2.6) ~500万円未満	(3.0) ~2000万円未満	(-) 5000万円以上
(47.7) 無回答				



「①金融機関からの借入金」を利用していない方は、次ページ問44へお進みください。

【問43-5で「①金融機関からの借入金」のある方へ】

問43-6 次のうちの主にどの金融機関から調達されましたか。(○は1つ) (N=502)

(71.1) 1 民間金融機関	(26.7) 2 住宅金融支援機構(旧住宅金融公庫)	} 次ページ問44へお進みください
(1.8) 3 その他(具体的に )		
(0.4) 無回答		

【問43-6で「1」と回答した方へ】

問43-6-1 民間金融機関はどちらでしたか。複数ある場合は、主な金融機関1つだけをお答えください。

(○は1つ) (N=357)

※銀行の種別は、29ページの「銀行一覧」をご参照ください。

(21.8) 1 都市銀行	(12.3) 6 信用金庫
(40.3) 2 地方銀行	(0.6) 7 信用組合
(2.0) 3 第二地方銀行	(8.1) 8 労働金庫
(2.8) 4 信託銀行	(5.9) 9 JAバンク(農協・漁協)
(4.8) 5 ネット銀行	(0.8) 10 その他(具体的に )
(0.6) 無回答	

問43-6-2へ



【引き続き、問43-6で「1」と回答した方へ】

問43-6-2 その金融機関からの借入金について金利のタイプは次のどれにあてはまりますか。

(○は1つ) (N=357)

(44.0) 1 変動金利型	(5.6) 4 全期間固定金利型 (10年以下)
(17.1) 2 固定金利期間選択型 (10年以下)	(14.3) 5 全期間固定金利型 (10年超)
(11.2) 3 固定金利期間選択型 (10年超)	(0.8) 6 その他 (具体的に )

(7.0) 無回答

問43-6-3 その金融機関から借入れたときの金利はおおよそどのくらいでしたか。小数第1位までご記入ください。(実数記入) (N=357)

(5.9) ~0.5%未満	(6.2) ~2.0%未満	(2.5) ~3.5%未満	(0.6) ~5.0%未満
(17.6) ~1.0%未満	(5.0) ~2.5%未満	(3.1) ~4.0%未満	(9.0) ~5.0%以上
(11.5) ~1.5%未満	(5.6) ~3.0%未満	(1.7) ~4.5%未満	

(31.4) 無回答

【問43で「1~3」または「8」と回答した(持ち家・その他の住居にお住まいの方)へ】

問44 お住まいの住居はどのような構造ですか。(○は1つ) (N=1,513)

(66.8) 1 木造	(1.1) 3 ブロック造	(4.2) 5 その他
(3.6) 2 防火木造	(13.7) 4 鉄筋コンクリート	(具体的に )

(10.6) 無回答

問44-1 お住まいの住居は築後何年になりますか。(実数記入)

築後	(9.6) 10年未満	(21.0) ~30年未満	(14.0) ~50年未満	(12.1) 無回答
	(15.5) ~20年未満	(15.0) ~40年未満	(12.8) 50年以上	

問44-2 敷地面積、床面積はそれぞれいくらですか。(マンションは床面積のみ)(実数記入)  
※1坪=3.3㎡として算出してください。

(N=1,420)

ア) 敷地面積 ( )㎡	(4.1) 50㎡未満	(12.0) ~200㎡未満	(9.6) ~500㎡未満	(34.4) 無回答
	(9.3) ~100㎡未満	(13.0) ~300㎡未満	(6.3) 500㎡以上	
	(11.3) ~150㎡未満			

(N=1,513)

イ) 床面積 ( )㎡	(5.8) 50㎡未満	(7.1) ~200㎡未満	(0.7) ~500㎡未満	(46.0) 無回答
	(17.7) ~100㎡未満	(2.9) ~300㎡未満	(0.5) 500㎡以上	
	(19.4) ~150㎡未満			

問45 現在のお住まいについて、3年後のその資産価値はどうなると思いますか。マンションにお住まいの方は専有部分についてのみお答えください。(○は1つ) (N=1,513)

(36.0) 1 下がる	(12.8) 3 変わらない	} 次ページ問47へお進みください
(5.7) 2 上がる	(34.6) 4 わからない	

(10.9) 無回答

【問45で「1」と回答した方へ】

問45-1 下がる幅はおよそどの程度とお考えですか。(○は1つ) (N=544)

(23.7) 1 50%以上	(25.6) 3 30%未満~20%以上	(11.0) 5 10%未満~5%以上
(14.3) 2 50%未満~30%以上	(5.9) 4 20%未満~10%以上	(12.9) 6 5%未満

(6.6) 無回答

【問45で「2」と回答した方へ】



ここまで回答した方は、次ページ問47へお進みください。

問45-2 上がる幅はおよそどの程度とお考えですか。(○は1つ) (N=86)

(51.2) 1 5%未満	(22.1) 3 10%以上~20%未満	(7.0) 5 30%以上~50%未満	( - ) 7
(15.1) 2 5%以上~10%未満	(1.2) 4 20%以上~30%未満	(2.3) 6 50%以上~100%未満	100%以上

(1.2) 無回答



ここまで回答した方は、次ページ問47へお進みください。

【問43で「4～7」と回答した（「持ち家」以外にお住まいの方へ）

問46 ひと月の家賃はどれくらいですか。（千円未満は四捨五入してお答えください。）支払っていない場合は、「0」とご記入ください。（実数記入）（N=388）

(7.0) 3万円未満	(13.7) ～7万円未満	(7.2) ～9万円未満	(7.7) ～20万円未満
(15.5) ～5万円未満	(11.6) ～8万円未満	(3.4) ～10万円未満	(0.5) 20万円以上
(11.1) ～6万円未満			

(22.4) 無回答

**金融機関の利用についてお伺いします。**

【全員の方へ】

問47 (1) 現在、あなたが預金等をされている銀行等の金融機関は、次のどこですか。（〇はいくつでも）  
 (2) 預金等をされている金融機関のうち、最も預金残高が多い金融機関はどこですか。（〇は1つ）  
 ※銀行の種別は、29ページの「銀行一覧」をご参照ください。

	(1) 預金等のある金融機関 (いくつでも) (N=1,938) ↓	(2) 預金残高が最も多い金融 機関(1つだけ) (N=1,840) ↓
都市銀行	(32.9)	(16.8)
地方銀行	(56.9)	(32.7)
第二地方銀行	(3.1)	(1.0)
信託銀行	(3.3)	(1.1)
ゆうちょ銀行（郵便局）	(54.8)	(16.5)
ネット銀行	(13.1)	(3.7)
信用金庫	(20.1)	(8.8)
信用組合	(4.3)	(1.0)
労働金庫	(5.4)	(1.3)
JAバンク（農協・漁協）	(15.5)	(5.1)
外国銀行	(0.1)	(-)
その他（具体的に）	(0.6)	(0.3)
預金等をしている金融機関はない	(1.6)	(11.7)

(3.5) → 次ページ問50へお進みください

【問47(1)で「1～12」のいずれかを回答した（預金等をしている金融機関がある）方へ】

問48 最近1か月で入出金のあった金融機関は、次のどこですか。（〇はいくつでも）（N=1,840）  
 ※銀行の種別は、29ページの「銀行一覧」をご参照ください。

(27.4) <b>1</b> 都市銀行	(2.8) <b>8</b> 信用組合
(49.3) <b>2</b> 地方銀行	(2.2) <b>9</b> 労働金庫
(1.9) <b>3</b> 第二地方銀行	(10.4) <b>10</b> JAバンク（農協・漁協）
(1.3) <b>4</b> 信託銀行	(0.1) <b>11</b> 外国銀行
(33.9) <b>5</b> ゆうちょ銀行（郵便局）	(0.2) <b>12</b> その他（具体的に）
(9.8) <b>6</b> ネット銀行	(1.3) <b>13</b> この1ヶ月で入出金はない
(13.6) <b>7</b> 信用金庫	

(2.7) 無回答

問49へ

【引き続き、問47(1)で「1~12」のいずれかを回答した方へ】

問49 問47(2)で回答した、最も預金残高が多い金融機関で利用されているサービスは次のどれですか。

(〇はいくつでも) (N=1,624)

(51.5) 1	クレジットカードの引き落とし	(0.4) 9	国債・地方債
(44.3) 2	ATMの利用	(3.7) 10	投資信託
(15.0) 3	スマホ決済	(5.7) 11	NISA・iDeCo
(37.9) 4	給与受取	(6.0) 12	住宅ローン
(27.3) 5	年金受取	(1.4) 13	カードローン
(42.4) 6	口座振替・自動支払	(0.7) 14	資産運用や相続などに関する相談
(27.6) 7	各種の支払い・振込み	(2.4) 15	その他(具体的に )
(25.3) 8	生命保険・損害保険		

(2.5) 無回答

【全員の方へ】

問50 あなたが利用されている金融機関のうち、この1年間で行員等がいる窓口(銀行等の窓口)を利用されているのは次のどこですか。(〇はいくつでも) (N=1,938)

(14.1) 1	都市銀行	(3.0) 7	信用組合
(34.5) 2	地方銀行	(1.1) 8	労働金庫
(1.2) 3	第二地方銀行	(9.2) 9	JAバンク(農協・漁協)
(0.6) 4	信託銀行	(-) 10	外国銀行
(28.8) 5	ゆうちょ銀行(郵便局)	(0.2) 11	その他(具体的に )
(10.2) 6	信用金庫	(27.9) 12	銀行等の窓口の利用はしていない

→ 次ページ問57へお進みください

(2.8) 無回答

【問50で「1~11」のいずれかにご回答の(銀行等の窓口を利用する)方へ】

問51 あなたが銀行等の窓口を利用される目的は次のどれですか。(〇はいくつでも) (N=1,344)

(54.1) 1	普通預金・通常貯金	(42.3) 10	現金での振込み・払込み
(19.6) 2	定期預金・定額貯金	(22.7) 11	口座振替・自動引落などの決済手続き
(0.3) 3	外貨預金	(7.8) 12	両替
(2.1) 4	国債や投資信託の購入	(0.8) 13	金融商品やサービスに関する情報の入手
(3.6) 5	NISAやiDeCoの利用	(0.7) 14	資産運用や借入れに関する相談
(1.3) 6	保険商品の購入	(0.7) 15	相続・贈与などに関する相談
(1.6) 7	住宅ローンの借入れ	(7.0) 16	住所変更などの諸手続き
(0.8) 8	教育ローンやマイカーローンの借入れ	(3.3) 17	その他(具体的に )
(0.2) 9	カードローンの借入れ		

(3.2) 無回答

問52 あなたが、銀行等の窓口を利用される理由は次のどれですか。(〇はいくつでも) (N=1,344)

(61.2) 1	銀行等の窓口でしか取引できない用事だから	(11.5) 5	他の用事のついでだから
(18.4) 2	行員や職員のサポートがあり手続きが楽だから	(2.8) 6	ATMやネットバンキングなどでの取引方法がわからないから
(10.3) 3	行員や職員に相談できるから	(2.0) 7	ネットバンキングのセキュリティが不安だから
(3.0) 4	行員や職員と顔なじみだから	(2.5) 8	その他(具体的に )

(7.1) 無回答

問53へ

【引き続き、問50で「1～11」のいずれかにご回答の（銀行等の窓口を利用する）方へ】

問53 あなたが、銀行等の窓口を利用される頻度はどの程度ですか。（○は1つ）（N=1,344）

- |                 |                     |                        |
|-----------------|---------------------|------------------------|
| (3.0) 1 週に1回以上  | (14.6) 3 2～3か月に1回以上 | (29.1) 5 年に1回以上        |
| (24.7) 2 月に1回以上 | (18.2) 4 半年に1回以上    | (6.5) 6 過去1年間には利用していない |

(4.0) 無回答

問54 あなたが最もよく窓口を利用する金融機関はどれですか。（○は1つ）（N=1,344）

- |                      |                      |
|----------------------|----------------------|
| (13.0) 1 都市銀行        | (1.8) 7 信用組合         |
| (35.8) 2 地方銀行        | (0.6) 8 労働金庫         |
| (1.0) 3 第二地方銀行       | (6.7) 9 JAバンク（農協・漁協） |
| (0.3) 4 信託銀行         | (-) 10 外国銀行          |
| (22.2) 5 ゆうちょ銀行（郵便局） | (0.1) 11 その他（具体的に    |
| (9.2) 6 信用金庫         | )                    |

(9.4) 無回答

問55 問54でご回答の、あなたが最もよく窓口を利用する金融機関は、「どこ」の近くにありますか。複数当てはまる場合は、最も当てはまるものを1つお選びください。（○は1つ）（N=1,344）

- |                      |                             |
|----------------------|-----------------------------|
| (66.9) 1 自宅          | (2.8) 4 役所・役場など公的な用事でよく行く場所 |
| (10.3) 2 勤務先・学校      | (8.7) 5 買い物や食事で利用する繁華街やお店   |
| (5.1) 3 ふだん利用する駅やバス停 | (1.6) 6 その他（具体的に            |
|                      | )                           |

(4.7) 無回答

問56 あなたが最もよく窓口を利用する金融機関の店舗は、2年前と同じですか。（○は1つ）（N=1,344）

- |                                 |
|---------------------------------|
| (89.7) 1 同じである → 次ページF1へお進みください |
| (5.8) 2 変えた                     |

(4.5) 無回答

【問56で「2」と回答した方へ】

問56-1 最もよく窓口を利用する金融機関の店舗を変えた最も大きな理由は次のどれですか。（○は1つ）（N=78）

- |   |   |
|---|---|
| (30.8) 1 利用していた店舗がなくなったから                     | (3.8) 5 サービスが悪いから                         |
| (1.3) 2 鉄道やバスなどの公共交通の廃止で利用していた店舗へ行くのが不便になったから | (2.6) 6 近くに新しい金融機関の店舗ができたから               |
| (38.5) 3 転居したから                               | (2.6) 7 夕方・夜間・休日にも窓口が開いている店舗を利用するようになったから |
| (-) 4 顔なじみの行員や職員がいなくなったから                     | (19.2) 8 その他（具体的に                         |
|   | )   |

(1.3) 無回答



ここまで回答した方は、次ページF1へお進みください。

【問50で「12」と回答した方へ】

問57 銀行等の窓口の利用をしていない理由は次のどれですか。（○はいくつでも）（N=540）

- |   |                        |
|---|------------------------|
| (73.7) 1 銀行内のATMを利用しているから                   | (19.6) 7 営業時間が限られているから |
| (40.6) 2 コンビニエンスストア、スーパーや駅ビルなどのATMを利用しているから | (4.8) 8 最寄りの銀行等まで遠いから  |
| (16.5) 3 パソコンなどのインターネットバンキングを利用しているから       | (7.8) 9 手数料が高いから       |
| (19.8) 4 スマホなどの銀行アプリを利用しているから               | (14.3) 10 待ち時間が長いから    |
| (5.2) 5 コンビニエンスストアの窓口を利用しているから              | (11.7) 11 対面がわずらわしいから  |
| (0.9) 6 外交員や渉外担当者を利用しているから                  | (2.8) 12 その他（具体的に      |
|   | )                      |

(3.7) 無回答

F1へ

**最後に、あなたとご家族についてお伺いします。**

**【全員の方へ】**

F 1 あなたの性別（出生時の戸籍・出生届の性別）をお知らせください。（○は1つ）（N=1, 938）

※「出生時」とは、生まれたときに最も近い時点のことを指します。

(48.7) 1 男性	(51.3) 2 女性	( - ) 無回答
-------------	-------------	-----------

F 2 あなたは現在、ご結婚されていますか。（○は1つ）（N=1, 938）

(62.3) 1 既婚	(21.8) 2 未婚	(13.3) 3 離別・死別	(2.6) 無回答
-------------	-------------	----------------	-----------

F 3 現在、あなたの健康状態は良好ですか。既婚の方は配偶者についてもお答えください。配偶者のいない方は「5 配偶者はいない」をお選びください。（○はそれぞれ1つずつ）（N=1, 938）

	健康である	まあ健康である	あまり健康でない	健康でない	配偶者はいない	無回答
あなた ⇒	(38.5)	(43.4)	(10.9)	(4.2)		(3.0)
配偶者 ⇒	(24.9)	(27.7)	(6.9)	(2.4)	(26.8)	(11.4)

F 4 あなたとあなたの配偶者（離別・死別の場合は元配偶者を含む）、それぞれのご両親の生年月（西暦）を教えてください。（実数記入）（N=1, 938）

	あなた	配偶者
	↓	↓
1930年代以前	(4.3)	(4.0)
1940年代	(15.7)	(11.6)
1950年代	(18.3)	(12.8)
1960年代	(16.5)	(12.2)
1970年代	(18.8)	(13.4)
1980年代	(13.0)	(8.0)
1990年代	(9.9)	(3.3)
2000年代	(3.7)	( - )
無回答	( - )	(34.8)

	あなたの父親	あなたの母親	配偶者の父親	配偶者の母親
	↓	↓	↓	↓
1900年代以前	(2.7)	(0.9)	(1.3)	(0.7)
1910年代	(4.6)	(3.7)	(3.1)	(2.6)
1920年代	(10.0)	(9.4)	(6.5)	(6.4)
1930年代	(13.5)	(13.2)	(8.1)	(8.5)
1940年代	(13.8)	(15.2)	(10.5)	(10.2)
1950年代	(9.2)	(11.5)	(5.4)	(7.4)
1960年代	(7.4)	(9.5)	(1.8)	(2.8)
1970年代	(2.6)	(3.5)	(0.3)	(0.3)
1980年代	(0.1)	(0.2)	( - )	( - )
無回答	(36.2)	(32.9)	(63.0)	(61.1)

F 5 あなたとあなたの配偶者（離別・死別の場合は元配偶者を含む）、それぞれのご両親が最後に卒業された学校はどちらですか。下の枠組みの中からあてはまるものを1つ選び、番号をご記入ください。

(N=1, 938)

	あなた	あなたの父親	あなたの母親
	↓	↓	↓
中学校(旧制小・高等小)	( 5.4)	(21.3)	(20.8)
高等学校(旧制中・旧制高女)	(35.4)	(27.2)	(32.2)
専修学校・各種学校	( 9.5)	( 1.9)	( 4.3)
短大・高等専門学校	(12.2)	( 2.3)	( 6.7)
大学・大学院(文系)	(17.6)	( 9.7)	( 4.6)
大学・大学院(理系)	( 8.7)	( 4.8)	( 1.0)
その他(具体的に)	( 0.4)	( 0.2)	( 0.1)
わからない	( 0.1)	(10.2)	( 9.4)
無回答	(10.8)	(22.4)	(20.9)

	配偶者	配偶者の父親	配偶者の母親
	↓	↓	↓
中学校(旧制小・高等小)	( 4.7)	(13.7)	(13.3)
高等学校(旧制中・旧制高女)	(24.8)	(17.6)	(20.7)
専修学校・各種学校	( 5.7)	( 1.0)	( 1.3)
短大・高等専門学校	( 9.4)	( 1.0)	( 3.0)
大学・大学院(文系)	(13.6)	( 5.4)	( 2.6)
大学・大学院(理系)	( 6.3)	( 2.6)	( 0.6)
その他(具体的に)	( 0.1)	( 0.2)	( 0.3)
わからない	( 0.4)	(11.2)	(11.1)
無回答	(34.9)	(47.3)	(47.0)

F 6 ご家族の生計を主として維持している方からみて、あなたは次のどの立場にあたりますか。(○は1つ)  
(N=1, 938)

(51.1) 1 本人	( 0.6) 4 兄弟・姉妹	(11.5) 7 子
(27.3) 2 配偶者	( 2.1) 5 親	( 0.2) 8 子の配偶者
( 0.3) 3 内縁の妻	( 0.1) 6 配偶者の親	( 0.2) 9 その他(具体的に )

( 6.6) 無回答

F 7 あなたのご家庭(住居と生計をともにしている人々)は、あなたも含めて何人ですか。別居している方は除いてお答えください。(実数記入)(N=1, 938)

(12.6) 1人	(32.7) 2人	(21.9) 3人	(17.3) 4人	( 6.3) 5人	( 2.4) 6人	( 1.0) 7人以上
-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-------------

( 5.8) 無回答

F 8 ご自身のお子さん(養子や継子を含む)は全部で何人いらっしゃいますか。生計をともにしている・していないにかかわらず、また、同居・別居に関係なくお答えください。(実数記入)(N=1, 938)  
(お子さんがいらっしゃらない場合は「0」とご記入ください。)

(26.9) 0人	(12.7) 1人	(36.7) 2人	(14.6) 3人	( 3.3) 4人以上
-----------	-----------	-----------	-----------	-------------

( 5.8) 無回答

ご自身のお子さんがいらっしゃる方は、次ページF 9へお進みください。

ご自身のお子さんがいらっしゃらない方は、次ページF 10へお進みください。

【ご自身のお子さん（養子や継子を含む）がいらっしゃる方へ】

F 9 それぞれのお子さんの状況について、①～⑤の項目にお答えください。

	1人目(N=1,304)	2人目(N=1,057)	3人目(N=346) ※4人以上の場合は 末子について
①性別(○は1つ)	(52.0) 1 男 (45.7) 2 女 (2.3) 無回答	(47.7) 1 男 (48.8) 2 女 (3.5) 無回答	(48.0) 1 男 (42.8) 2 女 (9.2) 無回答
②生年月(西暦) (実数記入)	(0.5) 1950年代以前 (17.1) 2000年代 (7.8) 1960年代 (13.0) 2010年代 (16.6) 1970年代 (3.8) 2020年代 (17.3) 1980年代 (9.5) 無回答 (14.4) 1990年代	(0.3) 1950年代以前 (17.7) 2000年代 (5.5) 1960年代 (13.9) 2010年代 (14.9) 1970年代 (3.5) 2020年代 (18.4) 1980年代 (10.8) 無回答 (14.9) 1990年代	(0.3) 1950年代以前 (14.5) 2000年代 (2.9) 1960年代 (14.7) 2010年代 (9.8) 1970年代 (5.5) 2020年代 (15.6) 1980年代 (16.5) 無回答 (20.2) 1990年代
③同別居状況 (○は1つ)	(43.7) 1 同居 (52.5) 2 別居 (3.8) 無回答	(43.2) 1 同居 (51.7) 2 別居 (5.1) 無回答	(45.7) 1 同居 (43.6) 2 別居 (10.7) 無回答
④健康状態 (○は1つ)	(89.4) 1 おおむね良好 (5.1) 2 軽い持病あり (0.6) 3 重病・難病あり (1.7) 4 障害あり (3.1) 無回答	(88.4) 1 おおむね良好 (4.4) 2 軽い持病あり (1.5) 3 重病・難病あり (1.2) 4 障害あり (4.4) 無回答	(83.2) 1 おおむね良好 (2.9) 2 軽い持病あり (0.9) 3 重病・難病あり (2.9) 4 障害あり (10.1) 無回答
⑤学校等教育機関 での在籍状況 (○は1つ)	(3.2) 1 認可保育園 (0.2) 2 認可外保育施設 (認証保育園、 ベビーホテル等) (0.8) 3 幼稚園 (15.2) 4 小中高校(国公立) (3.5) 5 小中高校(私立) (1.7) 6 短大・高専 (9.4) 7 大学・大学院 (0.6) 8 その他教育機関 (33.3) 9 該当なし (32.1) 無回答	(3.0) 1 認可保育園 (0.1) 2 認可外保育施設 (認証保育園、 ベビーホテル等) (1.6) 3 幼稚園 (17.0) 4 小中高校(国公立) (2.9) 5 小中高校(私立) (2.5) 6 短大・高専 (8.8) 7 大学・大学院 (0.5) 8 その他教育機関 (30.5) 9 該当なし (33.1) 無回答	(4.3) 1 認可保育園 (-) 2 認可外保育施設 (認証保育園、 ベビーホテル等) (2.3) 3 幼稚園 (15.9) 4 小中高校(国公立) (2.3) 5 小中高校(私立) (1.7) 6 短大・高専 (5.8) 7 大学・大学院 (0.3) 8 その他教育機関 (32.9) 9 該当なし (34.4) 無回答

【全員の方へ】

F 10 あなたは現在、どなたと一緒に住んでいますか。(○はいくつでも)(N=1,938)

(59.8) 1 配偶者	(3.5) 5 孫	(0.5) 9 友人・知人
(0.7) 2 内縁の夫(妻)	(17.5) 6 あなたの親	(0.6) 10 その他
(29.5) 3 未婚の子ども	(2.8) 7 配偶者の親	(具体的に )
(7.3) 4 既婚の子ども	(6.3) 8 その他の親族	(13.0) 11 いない(自分1人だけ)
(4.3) 無回答		

以上で終了です。ご協力ありがとうございました。

### 西曆・元号对比表

西曆	元号
1920年	大正 9年
1921年	大正 10年
1922年	大正 11年
1923年	大正 12年
1924年	大正 13年
1925年	大正 14年
1926年	大正 15年 昭和 元年
1927年	昭和 2年
1928年	昭和 3年
1929年	昭和 4年
1930年	昭和 5年
1931年	昭和 6年
1932年	昭和 7年
1933年	昭和 8年
1934年	昭和 9年
1935年	昭和 10年
1936年	昭和 11年
1937年	昭和 12年
1938年	昭和 13年
1939年	昭和 14年
1940年	昭和 15年
1941年	昭和 16年
1942年	昭和 17年
1943年	昭和 18年
1944年	昭和 19年
1945年	昭和 20年

西曆	元号
1946年	昭和 21年
1947年	昭和 22年
1948年	昭和 23年
1949年	昭和 24年
1950年	昭和 25年
1951年	昭和 26年
1952年	昭和 27年
1953年	昭和 28年
1954年	昭和 29年
1955年	昭和 30年
1956年	昭和 31年
1957年	昭和 32年
1958年	昭和 33年
1959年	昭和 34年
1960年	昭和 35年
1961年	昭和 36年
1962年	昭和 37年
1963年	昭和 38年
1964年	昭和 39年
1965年	昭和 40年
1966年	昭和 41年
1967年	昭和 42年
1968年	昭和 43年
1969年	昭和 44年
1970年	昭和 45年
1971年	昭和 46年

西曆	元号
1972年	昭和 47年
1973年	昭和 48年
1974年	昭和 49年
1975年	昭和 50年
1976年	昭和 51年
1977年	昭和 52年
1978年	昭和 53年
1979年	昭和 54年
1980年	昭和 55年
1981年	昭和 56年
1982年	昭和 57年
1983年	昭和 58年
1984年	昭和 59年
1985年	昭和 60年
1986年	昭和 61年
1987年	昭和 62年
1988年	昭和 63年
1989年	昭和 64年 平成 元年
1990年	平成 2年
1991年	平成 3年
1992年	平成 4年
1993年	平成 5年
1994年	平成 6年
1995年	平成 7年
1996年	平成 8年
1997年	平成 9年

西曆	元号
1998年	平成 10年
1999年	平成 11年
2000年	平成 12年
2001年	平成 13年
2002年	平成 14年
2003年	平成 15年
2004年	平成 16年
2005年	平成 17年
2006年	平成 18年
2007年	平成 19年
2008年	平成 20年
2009年	平成 21年
2010年	平成 22年
2011年	平成 23年
2012年	平成 24年
2013年	平成 25年
2014年	平成 26年
2015年	平成 27年
2016年	平成 28年
2017年	平成 29年
2018年	平成 30年
2019年	平成 31年 令和 元年
2020年	令和 2年
2021年	令和 3年
2022年	令和 4年
2023年	令和 5年



## 業種分類表

1 農林漁鉱業	農業、林業、漁業、水産養殖業、鉱業、採石業、砂利採取業
2 建設業	総合工事業、一般土木建築工事業、土木工事業、舗装工事業、建築工事業、木造建築工事業、建築リフォーム工事業、大工工事業、とび・土木・コンクリート工事業、鉄骨・鉄筋工事業、石工・れんが・タイル・ブロック工事業、左官工事業、板金・金物工事業、塗装工事業、床・内装工事業、その他の職別工事業、電気工事業、電気通信・信号装置工事業、管工事業、機械器具設置工事業、その他の設備工事業
3 製造業	食料品製造業、飲料・たばこ・飼料製造業、繊維工業、木材・木製品製造業、家具・装備品製造業、パルプ・紙・紙加工品製造業、印刷・同関連業、化学工業、石油製品・石炭製品製造業、プラスチック製品製造業、ゴム製品製造業、なめし革・同製品・毛皮製造業、窯業・土石製品製造業、鉄鋼業、非鉄金属製造業、金属製品製造業、はん用機械器具製造業、生産用機械器具製造業、業務用機械器具製造業、電子部品・デバイス・電子回路製造業、電気機械器具製造業、情報通信機械器具製造業、輸送用機械器具製造業、精密機械器具製造業、その他の製造業
4 運輸業、郵便業	鉄道業、道路旅客運送業、道路貨物運送業、水運業、航空運輸業、倉庫業、運輸に附帯するサービス業、郵便業
5 卸売業、小売業	各種商品卸売業、繊維・衣服等卸売業、飲食料品卸売業、建築材料・鉱物・金属材料等卸売業、機械器具卸売業、その他の卸売業、各種商品小売業、織物・衣服・身の回り品小売業、飲食料品小売業、機械器具小売業、その他の小売業、無店舗小売業
6 宿泊業、飲食サービス業	宿泊業、飲食店、持ち帰り・配達飲食サービス業
7 医療、福祉	医療業、保険衛生、社会保険・社会福祉・介護事業
8 公務、教育、電気水道業	国家公務（他に分類されないもの）、地方公務（他に分類されないもの）、学校教育、その他の教育、学習支援業、電気業、ガス業、熱供給業、水道業
9 その他サービス業	情報通信業（通信業、放送業、情報サービス業、インターネット付随サービス業、映像・音声・文字情報制作業）、金融・保険業（銀行業、協同組織金融業、貸金業、クレジットカード業等非預金信用機関、金融商品取引業、商品先物取引業、補助的金融業等、保険業＜保険媒介代理業、保険サービス業を含む＞）、不動産業、物品賃貸業（不動産取引業、不動産賃貸業・管理業、物品賃貸業）、複合サービス事業（郵便局、協同組合＜他に分類されないもの＞）、学術研究、専門・技術サービス業（学術・開発研究機関、専門サービス業＜他に分類されないもの＞）、広告業、技術サービス業＜他に分類されないもの＞）、生活関連サービス業、娯楽業（洗濯・理容・美容・浴場業、その他の生活関連サービス業、娯楽業）、サービス業（他に分類されないもの＜廃棄物処理業、自動車整備業、機械等修理業、職業紹介・労働者派遣業、その他の事業サービス業、政治・経済・文化団体、宗教、その他のサービス業、外国公務＞）、分類不能の産業

## 銀行一覧

都市銀行	みずほ銀行、三菱UFJ銀行、三井住友銀行、りそな銀行
地方銀行 (北から南の順)	北海道銀行、青森銀行、みちのく銀行、秋田銀行、北都銀行、荘内銀行、山形銀行、岩手銀行、東北銀行、七十七銀行、東邦銀行、群馬銀行、足利銀行、常陽銀行、筑波銀行、武蔵野銀行、千葉銀行、千葉興業銀行、きらぼし銀行、横浜銀行、第四北越銀行、山梨中央銀行、八十二銀行、北陸銀行、富山銀行、北國銀行、福井銀行、静岡銀行、スルガ銀行、清水銀行、大垣共立銀行、十六銀行、三十三銀行、百五銀行、滋賀銀行、京都銀行、関西みらい銀行、池田泉州銀行、南都銀行、紀陽銀行、但馬銀行、鳥取銀行、山陰合同銀行、中国銀行、広島銀行、山口銀行、阿波銀行、百十四銀行、伊予銀行、四国銀行、福岡銀行、西日本シティ銀行、北九州銀行、筑邦銀行、佐賀銀行、十八親和銀行、肥後銀行、大分銀行、宮崎銀行、鹿児島銀行、琉球銀行、沖縄銀行
第二地方銀行 (北から南の順)	北洋銀行、きらやか銀行、北日本銀行、仙台銀行、福島銀行、大東銀行、東和銀行、栃木銀行、京葉銀行、東日本銀行、東京スター銀行、神奈川銀行、大光銀行、長野銀行、富山第一銀行、福邦銀行、静岡中央銀行、愛知銀行、名古屋銀行、中京銀行、みなと銀行、島根銀行、トマト銀行、もみじ銀行、西京銀行、徳島大正銀行、香川銀行、愛媛銀行、高知銀行、福岡中央銀行、佐賀共栄銀行、長崎銀行、熊本銀行、豊和銀行、宮崎太陽銀行、南日本銀行、沖縄海邦銀行
信託銀行	三菱UFJ信託銀行、みずほ信託銀行、三井住友信託銀行、野村信託銀行、ニューヨークメロン信託銀行、日本マスタートラスト信託銀行、オリックス銀行、ステート・ストリート信託銀行、SMBC信託銀行、農中信託銀行、新生信託銀行、日証金信託銀行、日本カストディ銀行
ネット銀行	PayPay銀行、ソニー銀行、楽天銀行、住信SBIネット銀行、GMO あおぞらネット銀行 auじぶん銀行、大和ネクスト銀行、イオン銀行、ローソン銀行、セブン銀行、みんなの銀行、UI銀行、SBJ銀行
その他	あおぞら銀行、SBI新生銀行、埼玉りそな銀行、ゆうちょ銀行